

令和 5 年度

兵庫県立美術館 年報



目 次

所蔵資料

A. 令和5年度収蔵作品	4
B. 令和5年度美術品館外貸出状況	22
C. 令和5年度美術品修復状況	25
D. 令和5年度収蔵図書資料	32

事業

A. 展覧会	34
B. 教育・普及活動及びイベント	94
C. 保存・修復	114
D. 美術情報センター	115
E. 国際交流	118
F. 出版	119
G. 施設貸出	121
H. その他の活動	124

業務一覧	127
------	-----

利用統計	145
------	-----

美術情報システムの構築と運用	149
----------------	-----

関係法規

A. 兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例	152
B. 兵庫県立美術館管理規則	157
C. 兵庫県立美術館の管理に関する規定	161
D. 兵庫県立美術館の運営にかかる有識者会議開催要綱	162
E. 兵庫県立美術館作品収集会議開催要綱	162
F. 兵庫県立美術館美術品取扱要綱	163
G. 美術情報システム運用管理規定	164
H. 美術品等取得基金条例	168

委員及び職員名簿	169
----------	-----

建築概要	170
------	-----

沿革	172
----	-----

所蔵資料

- A. 令和5年度収蔵作品
- B. 令和5年度美術品館外貸出状況
- C. 令和5年度美術品修復状況
- D. 令和5年度収蔵図書資料

A. 令和5年度収蔵作品

〈日本画〉

- 橋本 関雪 (1883-1945)
《竹園併讃屈而能伸》
制作年不詳
紙本墨画
37.4 × 86.4
味村多佳子氏寄贈
- 不動 立山 (1886-1975)
《みのる秋》
1927 (昭和2) 年
絹本着色
154.3 × 171.3
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

〈洋画〉

- 岡田 謙三 (1902-1982)
《レッドライン》
1958 (昭和33) 年頃
油彩・布
172.6 × 132.0
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
- 金山 平三 (1883-1964)
《潮来》
1935 (昭和10) -1942 (昭和17) 年頃
油彩・布
45.4 × 60.6
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
- ヨシダ ミノル (1935-2010)
《作品》
1965 (昭和40) 年
油彩・布
350.0 × 130.1
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

〈版画〉

- 招 瑞娟 (1924-2020)
《慟哭》
1960 (昭和35) 年
木版・紙
40.5 × 28.0
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《漁船と子供》
1963 (昭和38) 年
木版・紙
33.5 × 54.5
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《漁船と子供 I》
1964 (昭和39) 年
木版・紙
33.5 × 55.0
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《戦争 (I)》
1966 (昭和41) 年
木版・紙
41.0 × 70.5
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《戦争 (II)》
1969 (昭和44) 年
木版・紙
33.5 × 71.5
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《戦争 (III)》
1969 (昭和44) 年
木版・紙
34.4 × 58.5
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《鳩と少女 (もう戦争は嫌...)》
1970 (昭和45) 年
木版・紙
37.5 × 48.6
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《鳩と少年》
1971 (昭和46) 年
木版・紙
40.0 × 51.0
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《集体》
1972 (昭和47) 年
木版・紙
41.0 × 60.0
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《不安 (I)》
1973 (昭和48) 年
木版・紙
36.0 × 60.0
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《PCB 油症患者》
1973 (昭和48) 年
木版・紙
60.8 × 41.9
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《シャボン玉の中の私》
1976 (昭和51) 年
木版・紙
36.1 × 60.0
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《海女》
1981 (昭和56) 年
木版・紙
57.0 × 39.8
詹永年氏寄贈
- 招 瑞娟 (1924-2020)
《カーチャン (1995 年1月17日 5時46分阪神大震災)》
1997 (平成9) 年
木版・紙
46.0 × 60.0
詹永年氏寄贈
- 清宮 質文 (1917-1991)
《むかしのななし》
1958 (昭和33) 年
木版・紙
8.2 × 16.6
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
- 清宮 質文 (1917-1991)
《はるかなるもの》
1960 (昭和35) 年
木版・紙
30.4 × 23.8
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
- 清宮 質文 (1917-1991)
《林の中の家》
1963 (昭和38) 年
木版・紙
14.0 × 11.3
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
- 清宮 質文 (1917-1991)
《幼きもの》
1963 (昭和38) 年
木版・紙
24.1 × 21.3
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
- 清宮 質文 (1917-1991)
《夜》
1964 (昭和39) 年
木版・紙
3.6 × 8.1
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
- 清宮 質文 (1917-1991)
《九月の海辺》
1970 (昭和45) 年
木版・紙
13.4 × 23.4
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
- 清宮 質文 (1917-1991)
《虜囚の窓》
1972 (昭和47) 年
木版・紙
24.3 × 20.2
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
- 清宮 質文 (1917-1991)
《窓のランタン》
1972 (昭和47) 年
木版・紙
23.2 × 22.0
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
- 清宮 質文 (1917-1991)
《告別》
1974 (昭和49) 年
木版・紙
26.6 × 21.3
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

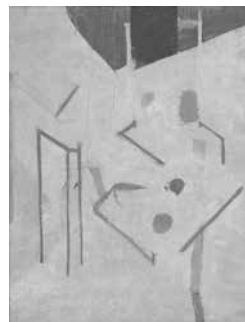
1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.



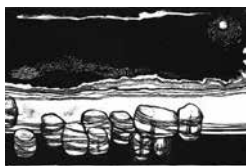
8.



9.



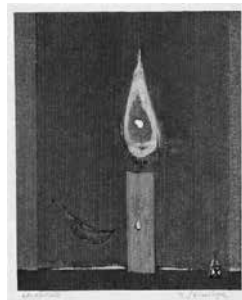
14.



19.



24.



10.



15.



20.



25.



11.



16.



21.



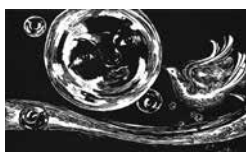
26.



12.



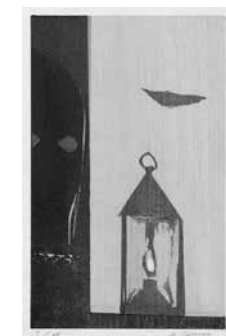
17.



22.



27.



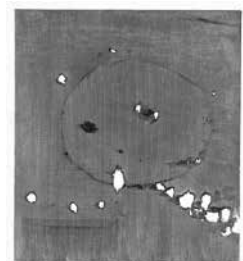
13.



18.



23.



28.



29. 清宮 質文 (1917-1991)
《星占い(去り行く凶星)》
1975 (昭和50) 年
木版・紙
15.2 × 17.9
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

30. 清宮 質文 (1917-1991)
《秋の夕日》
1976 (昭和51) 年
木版・紙
16.0 × 14.2
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

31. 清宮 質文 (1917-1991)
《パンドラの箱》
1977 (昭和52) 年
木版・紙
11.6 × 18.8
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

32. 清宮 質文 (1917-1991)
《遠い太陽》
1977 (昭和52) 年
木版・紙
15.2 × 17.9
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

33. 清宮 質文 (1917-1991)
《早春の静物》
1977 (昭和52) 年
木版・紙
26.0 × 22.0
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

34. 清宮 質文 (1917-1991)
《夏の夜》
1979 (昭和54) 年
木版・紙
17.5 × 15.5
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

35. 清宮 質文 (1917-1991)
《みちるべ》
1985 (昭和60) 年
木版・紙
9.0 × 8.8
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

36. 詹 永年 (1926-)
《造船所の一角》
1971 (昭和46) 年
木版・紙
56.0 × 39.0
作者寄贈

37. 詹 永年 (1926-)
《漁婦》
1972 (昭和47) 年
木版・紙
49.0 × 24.3
作者寄贈

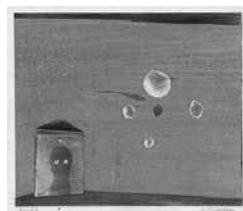
38. 詹 永年 (1926-)
《働く漁師達》
2004 (平成16) 年
木版・紙
39.2 × 48.3
作者寄贈

※以上、令和5年度新収蔵品 38

日本画	2
洋画	3
版画	33

※本年度に写真を掲載するのは、兵庫県立美術館で収蔵する作品のみ。

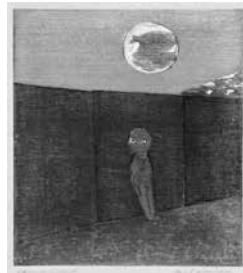
29.



34.



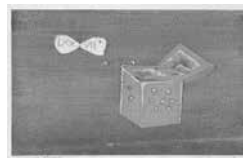
30.



35.



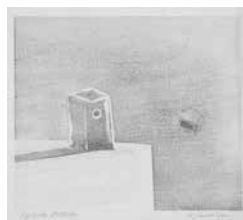
31.



36.



32.



37.



33.



38.



※以下に記載の梅舒適コレクションは
令和元年度および令和3年度に稲
田和子氏から寄贈、令和5年度収
集会議に諮り収蔵品とした。

〈梅舒適コレクション 絵画〉

1. 朱儁（1826～1900）
《菰果図》
光緒12（1886）年
金箋着色
径24.8
1幅
2. 朱儁（1826～1900）
《翡翠図》
光緒（1888）14年
絹本着色
径24.8
1幅
3. 蒲華（1830～1911）
《墨竹図・行書》
光緒26（1900）年
紙本墨画、紙本墨書
各17.0×51.8
1幅
4. 金心蘭（1841～1909）
《墨梅図》
光緒21（1895）年
紙本墨画
140.2×38.2
1幅
5. 金心蘭（1841～1909）
《嫩寒春曉図》
清時代（19～20世紀）
紙本墨画
97.8×21.0
1幅
6. 吳石僊（1845～1916）
《山水図》
光緒25（1899）年
紙本着色
97.8×24.4
1幅
7. 費念慈（1855～1905）
陸恢（1851～1920）賛
《梅花美人図》
光緒22（1896）年
紙本着色
103.8×32.5
1幅
8. 倪田（1855～1919）
《秋溪飲馬図》
中華民國8（1919）年
紙本淡彩
33.3×44.6
1幅
9. 倪田（1855～1919）
《金谷名姝図》
清～中華民國時代（19～20世紀）
紙本墨画淡彩
90.3×23.2
1幅
10. 黄山寿（1855～1919）
《詩解國風図》
清～中華民國時代（19～20世紀）
絹本着色
133.1×32.4
1幅
11. 齊白石（1864～1957）
《藤花園》
中華民國25（1936）年
紙本墨画淡彩
112.7×33.5
1幅
12. 齊白石（1864～1957）
《芭蕉五瓣図》
清時代～中華人民共和国（19～20世紀）
紙本墨画
132.4×33.5
1幅
13. 齊白石（1864～1957）
《水墨菊花図》
清時代～中華人民共和国（19～20世紀）
紙本墨画
30.6×33.1
1幅
14. 楊逸（1864～1929）
《墨梅図》
中華民國2（1913）年
紙本墨画
20.2×133.1
1面

1.



2.



3.



4.



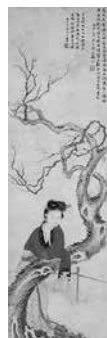
5.



6.



7.



8.



9.



10.



11.



12.



13.



14.



15. 黄賓虹 (1865 ~ 1955)
《山水図》
清時代~中華人民共和国 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨画
136.3 × 34.1
1 幅
- 16-1. 顧麟士 (1865 ~ 1930)
《松壑鳴泉図》
中華民國 10 (1921) 年
紙本墨画淡彩
18.7 × 45.6
1 面 (1 本のうち)
- 16-2. 沈曾植 (1850 ~ 1922)
《行書》
清~中華民国時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨書
18.7 × 45.6
1 面 (1 本のうち)
17. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《黑猫図》
中華民國 4 (1915) 年
紙本墨画淡彩
94.1 × 42.0
1 幅
18. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《紅梅図》
中華民國 4 (1915) 年
紙本墨画淡彩
33.6 × 110.5
1 面
19. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《竹雀図》
中華民國 5 (1916) 年
紙本墨画
124.3 × 50.0
1 幅
20. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《蝦蟇仙人図》
中華民國 6 (1917) 年
紙本着色
94.8 × 44.7
1 幅
21. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《松石図・竹石図》
中華民國 7 (1918) 年
絹本墨画
各 138.6 × 54.0
2 幅
22. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《萬丈飛涛図》
中華民國 7 (1918) 年
紙本墨画
140.9 × 41.0
1 幅
23. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《山水仙仏図》
中華民國 9 (1920) 年
紙本着色
137.0 × 33.9
1 幅
24. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《楓葉五雀図》
中華民國 10 (1921) 年
紙本墨画淡彩
136.0 × 33.2
1 幅
25. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《蘆葉達磨図》
中華民國 11 (1922) 年
紙本墨画
142.2 × 38.8
1 幅
26. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《柳下喫茶図》
中華民國 11 (1922) 年
紙本墨画淡彩
130.0 × 34.0
1 幅
27. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《楊柳春風図》
中華民國 11 (1922) 年
紙本墨画
138.2 × 40.5
1 幅
28. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《石蘭図》
中華民國 12 (1923) 年
紙本着色
124.2 × 50.5
1 幅
29. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《林和靖放鶴図》
中華民國 13 (1924) 年
紙本墨画淡彩
151.0 × 43.0
1 幅
30. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《牡丹図》
中華民國 15 (1926) 年
紙本着色
114.2 × 41.8
1 幅
31. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《高梁飛雀図》
中華民國 16 (1927) 年
紙本墨画着色
136.8 × 33.3
1 幅
32. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《瓶菊図》
中華民國 16 (1927) 年
紙本墨画着色
68.3 × 45.0
1 幅
33. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《松鶴図》
中華民國 20 (1931) 年
紙本着色
136.5 × 68.8
1 幅
34. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《水禽図》
中華民國 24 (1935) 年
紙本着色
133.5 × 51.7
1 幅
35. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《漁夫図》
清~中華民国時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨画淡彩
135.5 × 33.4
1 幅
36. 丁二仲 (1868 ~ 1935)
《歲寒仙侶図》
中華民國 12 (1923) 年
紙本着色
131.7 × 43.3
1 幅
37. 童大年 (1873 ~ 1954)
《花卉図》
中華民國 34 (1945) 年
紙本着色
70.2 × 34.7
1 幅
38. 童大年 (1873 ~ 1954)
《方斗梅図》
中華民國 35 (1946) 年
紙本墨画
34.6 × 36.8
1 幅
39. 傅寿宜 (1873 ~ 1945)
易大庵 (1874 ~ 1941) 賛
《菊酒松齡図》
清~中華民国時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨画淡彩
63.2 × 30.4
1 幅
40. 趙雲壑 (1874 ~ 1955)
《文房清供図》
中華民國 13 (1924) 年
紙本墨拓・着色
92.6 × 45.9
1 幅
41. 趙雲壑 (1874 ~ 1955)
《桃石図》
中華民國 29 (1940) 年
紙本着色
87.2 × 36.4
1 幅
42. 趙雲壑 (1874 ~ 1955)
《山邦人語図》
中華民國 31 (1942) 年
紙本墨画
99.9 × 46.1
1 幅
43. 趙雲壑 (1874 ~ 1955)
《吉祥花卉図》
1951 年
紙本着色
81.1 × 39.8
1 幅

15.



19.



16-1.



20.



16-2.



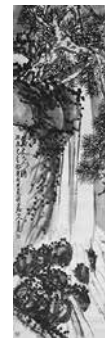
21.



17.



22.



18.



23.



24.



29.



34.



39.



25.



30.



35.



40.



26.



31.



36.



41.



27.



32.



37.



42.



28.



33.



38.



43.



44. 趙雲壑 (1874 ~ 1955) · 孫松 (1882 ~ 1962) ほか
《松園》
清時代~中華人民共和國 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨畫
18.7 × 54.9
1 枚
45. 趙時桐 (1874 ~ 1945)
《菊園·七言詩》
中華民國 12 (1923) 年
紙本墨畫淡彩、彩箋墨書
18.0 × 51.3、18.0 × 51.0
1 幅
46. 易大庵 (1874 ~ 1941)
《菊梅記園》
清~中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨畫淡彩
72.5 × 34.4
1 幅
47. 易大庵 (1874 ~ 1941)
《菊花園》
清~中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨畫淡彩
51.7 × 23.8
1 幅
48. 易大庵 (1874 ~ 1941)
《芭蕉園》
清~中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨畫淡彩
126.0 × 64.6
1 幅
49. 慧齋
易大庵 (1874 ~ 1941) 贊
《山水圖》
清~中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨畫淡彩
94.9 × 31.4
1 幅
50. 陳年 (1876 ~ 1970)
《祥南手水仙圖》
中華民國 30 (1941) 年
紙本着色
102.7 × 29.5
1 幅
51. 陳年 (1876 ~ 1970)
《墨梅圖》
清時代~中華人民共和國 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨畫
64.8 × 22.7
1 幅
52. 陳年 (1876 ~ 1970)
《長春花圖》
清時代~中華人民共和國 (19 ~ 20 世紀)
紙本着色
99.8 × 32.4
1 幅
53. 吳涵 (1876 ~ 1927)
《水仙圖》
中華民國 11 (1922) 年
紙本墨畫淡彩
150.2 × 39.4
1 幅
54. 吳涵 (1876 ~ 1927)
《無量壽仏圖》
中華民國 13 (1924) 年
紙本着色
115.8 × 33.0
1 幅
55. 陳師曾 (1876 ~ 1923)
《紅梅圖》
清~中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本着色
138.8 × 33.5
1 幅
56. 陳師曾 (1876 ~ 1923)
《雨洗鉛華圖》
清~中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
絹本墨畫淡彩
32.2 × 32.9
1 幅
57. 陳師曾 (1876 ~ 1923)
《芙蓉圖》
清~中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨畫
20.0 × 53.3
1 幅
58. 絳亨頤 (1877 ~ 1938)
《墨桃圖》
中華民國 18 (1929) 年
紙本墨畫淡彩
135.0 × 42.8
1 幅
59. 汪琨 (1877 ~ 1946)
《石壁過雲圖》
清~中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本着色
150.6 × 40.8
1 幅
60. 高野侯 (1878 ~ 1952)
王秀仁
《博古花卉圖》
中華民國 18 (1929) 年
紙本墨拓·着色
各 102.2 × 33.0
2 幅
61. 高野侯 (1878 ~ 1952)
《墨梅圖》
中華民國 29 (1940) 年
紙本墨畫
66.6 × 26.8
1 幅
62. 高野侯 (1878 ~ 1952)
《梅花園》
中華民國 31 (1942) 年
紙本着色
85.1 × 21.9
1 幅
63. 高野侯 (1878 ~ 1952)
《墨梅圖》
中華民國 32 (1943) 年
紙本墨畫
83.0 × 38.1
1 幅
64. 高野侯 (1878 ~ 1952)
《磚拓紅梅圖》
中華民國 34 (1945) 年
紙本墨拓·着色
67.1 × 32.2
1 幅
65. 高野侯 (1878 ~ 1952)
《磚拓紅梅圖》
中華民國 34 (1945) 年
紙本墨拓·着色
65.2 × 31.2
1 幅
66. 吳徵 (1878 ~ 1949)
《福庵選印圖》
中華民國 13 (1924) 年
紙本墨畫淡彩
28.6 × 34.4
1 幅
67. 吳徵 (1878 ~ 1949)
《梅花水仙圖》
中華民國 24 (1935) 年
紙本墨畫淡彩
108.2 × 27.2
1 幅
68. 吳徵 (1878 ~ 1949)
《羅浮春及圖》
中華民國 25 (1936) 年
紙本墨畫淡彩
31.4 × 36.7
1 幅
69. 吳徵 (1878 ~ 1949)
《甘谷泉香圖》
中華民國 26 (1937) 年
紙本墨畫淡彩
33.4 × 33.2
1 幅
70. 樓邨 (1881 ~ 1950)
《春景山水圖》
清時代~中華人民共和國 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨畫淡彩
100.2 × 31.2
1 幅
71. 方洺 (1882 ~ ?)
《觀瀑圖》
中華民國 15 (1926) 年
紙本墨畫淡彩
150.8 × 40.9
1 幅
72. 方洺 (1882 ~ ?)
《紅杏圖》
清時代~中華人民共和國 (20 世紀)
紙本墨畫着色
21.8 × 32.7
1 幅

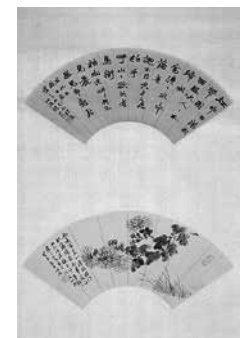
44.



49.



45.



50.



46.



51.



47.



52.



48.



53.



54.



59.



64.



69.



55.



60.



65.



70.



56.



61.



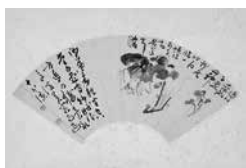
66.



71.



57.



62.



67.



72.



58.



63.



68.



- 73-1. 吳東邁 (1886 ~ 1963)
《牡丹図》
清時代 ~ 中華人民共和国 (20 世紀)
紙本着色
13.4 × 41.0
1 面 (1 本のうち)
- 73-2. 吳東邁 (1886 ~ 1963)
《篆書》
1962 年
紙本墨書
13.4 × 41.0
1 面 (1 本のうち)
74. 吳東邁 (1886 ~ 1963)
《牡丹水仙図》
清時代 ~ 中華人民共和国 (20 世紀)
紙本着色
109.0 × 44.8
1 幅
75. 吳東邁 (1886 ~ 1963)
《桂花酒壺図》
清時代 ~ 中華人民共和国 (20 世紀)
紙本着色
100.9 × 33.4
1 幅
76. 王雲 (1888 ~ 1934)
《菊蟹図》
清 ~ 中華民国時代 (20 世紀)
絹本着色
95.0 × 32.7
1 幅
77. 馬公愚 (1890 ~ 1969)
《黃眉紅綵図》
清時代 ~ 中華人民共和国 (20 世紀)
紙本着色
67.2 × 33.5
1 幅
78. 梅蘭芳 (1894 ~ 1961)
《墨梅図》
中華民国時代 ~ 中華人民共和国 (20 世紀)
紙本墨画
29.0 × 40.0
1 幅
79. 王个簪 (1897 ~ 1988)
《蓮図》
中華民國 25 (1936) 年
紙本墨画淡彩
131.8 × 40.6
1 幅
80. 王个簪 (1897 ~ 1988)
《無量寿仏図》
中華民國 32 (1943) 年
紙本着色
120.0 × 30.6
1 幅
81. 王个簪 (1897 ~ 1988)
《紅梅図》
中華民國 37 (1948) 年
紙本着色
93.6 × 33.4
1 幅
82. 王个簪 (1897 ~ 1988)
《棕櫚枇杷図》
1957 年
紙本墨画淡彩
132.1 × 33.8
1 幅
83. 王个簪 (1897 ~ 1988)
《歲寒冷艶図》
1957 年
紙本着色
105.2 × 34.4
1 幅
84. 王个簪 (1897 ~ 1988)
《花卉石図》
1962 年
紙本着色
138.6 × 34.0
1 幅
85. 王个簪 (1897 ~ 1988)
《千年古柏図》
1963 年
紙本墨画
34.0 × 69.0
1 面
86. 王个簪 (1897 ~ 1988)
《菊石図》
1979 年
紙本着色
134.5 × 68.0
1 幅
87. 王个簪 (1897 ~ 1988)
《蘭石図》
1982 年
紙本墨画淡彩
96.4 × 43.9
1 幅
88. 錢瘦鉄 (1897 ~ 1967)
《東坡故事図》
中華民國 33 (1944) 年
紙本墨画
103.3 × 42.0
1 幅
89. 錢瘦鉄 (1897 ~ 1967)
《山水図》
中華民国時代 ~ 中華人民共和国 (20 世紀)
紙本墨画淡彩
126.3 × 33.8
1 幅
90. 張大千 (1899 ~ 1983)
《山水図》
中華民國 21 (1932) 年
紙本墨画淡彩
86.0 × 40.3
1 幅
91. 諸楽三 (1902 ~ 1984)
《紅梅図》
中華民國 15 (1926) 年
紙本着色
32.8 × 41.0
1 幅
92. 諸楽三 (1902 ~ 1984)
《美意延年図》
中華民國 22 (1933) 年
紙本着色
137.4 × 33.7
1 幅
93. 諸楽三 (1902 ~ 1984)
《藤花図・篆書》
1983 年
紙本墨画、紙本墨書
19.3 × 55.0、19.2 × 53.0
1 幅
94. 来楚生 (1904 ~ 1975)
唐雲 (1910 ~ 1993) 賛
《雀岩図》
1968 年
紙本墨画
73.2 × 33.8
1 幅
95. 来楚生 (1904 ~ 1975)
《蔬菜図》
中華民国時代 ~ 中華人民共和国 (20 世紀)
紙本着色
89.2 × 23.0
1 幅
96. 吳野洲 (1904 ~ 1997)
来楚生 (1904 ~ 1975) 賛
《歲寒清侶図》
中華民國 32 (1943) 年
紙本墨画淡彩
98.5 × 32.7
1 幅
- 《梅舒適コレクション 書跡》
97. 《石鼓文拓 (徐乃昌旧藏本)》
戦国時代 (前 5 ~ 前 4 世紀)
紙本墨拓
各 23.2 × 13.8
1 帖
98. 文徵明 (1470 ~ 1559)
《行書松納空光之句因以為韻賦小詩
十首其二》
明時代 (15 ~ 16 世紀)
絹本墨書
125.0 × 33.2
1 幅
99. 周天球 (1514 ~ 1595)
《行書五言律詩》
明時代 (16 世紀)
紙本墨書
15.4 × 47.0
1 幅
100. 王鐸 (1592 ~ 1652)
《行書五言律詩》
順治 8 (1651) 年
絹本墨書
175.8 × 50.5
1 幅
101. 王鐸 (1592 ~ 1652)
《臨吳興帖》
明 ~ 清時代 (17 世紀)
金箋墨書
16.7 × 53.0
1 幅

73-1.



73-2.



77.



78.



74.



79.



75.



80.



76.



81.



82.



87.



92.



97.



(表紙)

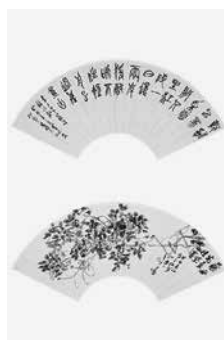
83.



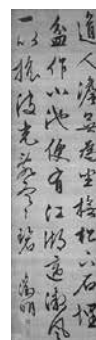
88.



93.



98.



84.



89.



94.



99.



85.



90.



95.



100.



86.



91.



96.



101.



102. 高鳳翰 (1683～1749)
《尺牘冊》
乾隆 11 (1746) 年ほか
紙本墨書
各 23.3 × 13.3
1 帖
103. 鄭板橋 (1693～1766)
《行書漁家傲王荊公新居詞》
清時代 (18 世紀)
紙本墨書
181.0 × 44.5
1 幅
104. 鄭板橋 (1693～1766)
《行書入雲龍馬試精神》
清時代 (18 世紀)
紙本墨書
131.9 × 29.5
1 幅
105. 鄭板橋 (1693～1766)
《行書七言絕句》
清時代 (18 世紀)
紙本墨書
30.5 × 28.3
1 幅
106. 梁巘 (1710～1788)
《臨張季明帖》
清時代 (18 世紀)
紙本墨書
94.9 × 45.5
1 幅
107. 劉墉 (1719～1804)
《行書東坡養生論識語》
清時代 (18～19 世紀)
紙本墨書
114.5 × 53.0
1 幅
108. 劉墉 (1719～1804)
《行書七言聯》
清時代 (18～19 世紀)
彩箋墨書
各 185.5 × 34.4
2 幅
109. 桂馥 (1736～1805)
《隸書七言聯》
清時代 (18～19 世紀)
紙本墨書
各 140.0 × 24.8
2 幅
110. 鄧石如 (1743～1805)
《隸書七言聯》
清時代 (18～19 世紀)
絹本墨書
各 177.2 × 38.5
2 幅
111. 鄧石如 (1743～1805)
《篆書七言聯》
清時代 (18～19 世紀)
紙本墨書
各 127.2 × 27.8
2 幅
112. 孫星衍 (1753～1818)
《篆書古鏡銘》
清時代 (18～19 世紀)
彩箋墨書
各 60.8 × 28.5
4 幅
113. 姚元之 (1773～1852)
《隸書七言聯》
嘉慶 21 (1816) 年
彩箋墨書
各 122.9 × 26.6
2 幅
114. 翟雲昇 (1776～1858)
《隸書六言聯》
清時代 (18～19 世紀)
紙本墨書
各 122.0 × 29.3
2 幅
115. 翟雲昇 (1776～1858)
《隸書六言聯》
清時代 (18～19 世紀)
紙本墨書
各 106.1 × 26.7
2 幅
116. 趙之琛 (1781～1852)
《「仲堂近卜約齋鄰」白文方印》
道光 26 (1846) 年
石製
2.2 × 2.2 × 3.8
1 顆

117. 吳熙載 (1799～1870)
《「仲陶藉說」白文方印》
清時代 (19 世紀)
石製
1.6 × 1.5 × 3.5
1 顆
118. 何紹基 (1799～1873)
《草書陶淵明詩二首》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 178.4 × 45.5
4 幅
119. 何紹基 (1799～1873)
《行書魏書陳矯伝語》
清時代 (19 世紀)
彩箋墨書
84.2 × 41.3
1 幅
120. 何紹基 (1799～1873)
《臨孔羨碑》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 174.1 × 46.7
4 幅
121. 吳雲 (1811～1883)
《行書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 127.0 × 31.2
2 幅
122. 楊沂孫 (1813～1881)
《篆書十言聯》
光緒 5 (1879) 年
紙本墨書
各 126.6 × 12.8
2 幅
123. 楊沂孫 (1813～1881)
《篆書八言聯》
光緒 6 (1880) 年
紙本墨書
各 145.2 × 25.7
2 幅
124. 楊沂孫 (1813～1881)
《隸書八言聯》
清時代 (19 世紀)
彩箋墨書
各 163.2 × 31.8
2 幅
125. 楊沂孫 (1813～1881)
《篆書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 134.7 × 33.0
2 幅
126. 楊峴 (1819～1896)
《隸書焦氏易林語》
光緒 3 (1877) 年
紙本墨書
17.6 × 51.5
1 幅
127. 楊峴 (1819～1896)
《隸書七言聯》
清時代 (19 世紀)
彩箋墨書
各 175.0 × 32.0
2 幅
128. 楊峴 (1819～1896)
《隸書十言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 239.2 × 52.5
2 幅
129. 楊峴 (1819～1896)
《行書澤雅堂詩集詩》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
34.4 × 36.4
1 幅
130. 楊峴 (1819～1896)
《隸書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
29.0 × 123.3
1 面
131. 胡澍 (1825～1872)
《篆書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 127.2 × 29.7
2 幅

102.

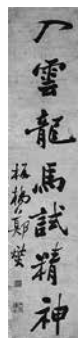


(部分)

103.



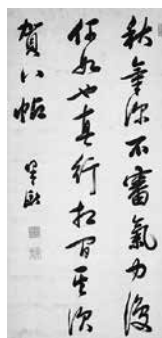
104.



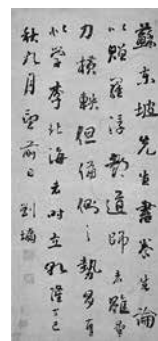
105.



106.



107.



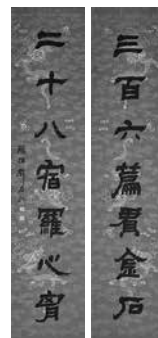
108.



109.



110.



111.



112.



117.



122.



127.



113.



118.



123.



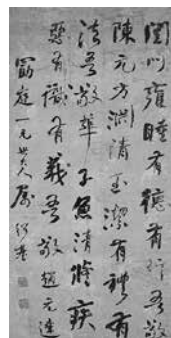
128.



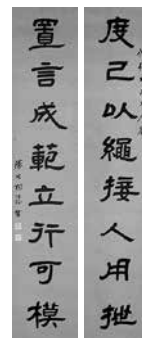
114.



119.



124.



129.



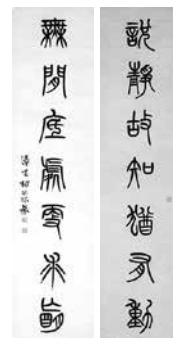
115.



120.



125.



130.



116.



121.



126.



131.



132. 胡澍 (1825 ~ 1872)
趙之謙 (1829 ~ 1884)
《篆書・行書團扇》
清時代 (19 世紀)
絹本墨書
25.6 × 26.7
1 幅
133. 徐三庚 (1826 ~ 1890)
《篆書七言聯》
同治 12 (1873) 年
紙本墨書
各 107.4 × 21.0
2 幅
134. 徐三庚 (1826 ~ 1890)
《隸書龍門對句》
光緒 3 (1877) 年
紙本墨書
各 111.5 × 28.7
4 幅
135. 趙之謙 (1829 ~ 1884)
《行書俞桂詩四首》
光緒 5 (1879) 年
紙本墨書
各 172.5 × 47.7
4 幅
136. 趙之謙 (1829 ~ 1884)
《行書杭世駿詩》
清時代 (19 世紀)
絹本墨書
徑 25.7
1 幅
137. 潘祖蔭 (1830 ~ 1890)
《博古拓識語》
光緒 2 (1876) 年
紙本墨拓・墨書
122.5 × 53.2
1 幅
138. 吳大澂 (1835 ~ 1902)
《篆書八言聯》
清時代 (19 ~ 20 世紀)
彩箋墨書
各 166.2 × 29.3
2 幅
139. 原跡：吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《西泠印社新建觀衆樓之碑拓》
中華民國 9 (1920) 年
紙本墨拓
各 24.9 × 12.8
1 冊
140. 高崑 (1850 ~ 1921)
《臨石鼓文》
光緒 21 (1895) 年
紙本墨書
142.7 × 38.5
1 幅
141. 齊白石 (1864 ~ 1957)
《隸書行惠者壽》
1954 年
紙本墨書
40.2 × 148.1
1 面
142. 葉銘 (1867 ~ 1948)
《篆書八言聯》
中華民國 33 (1944) 年
紙本墨書
各 172.2 × 35.3
2 幅
143. 葉銘 (1867 ~ 1948)
《篆書十二言聯》
中華民國 34 (1946) 年
紙本墨書
各 130.0 × 21.3
2 幅
144. 葉銘 (1867 ~ 1948)
《「慈溪嚴氏小長蘆館珍藏」朱文長方印》
光緒 28 (1902) 年
石製
2.0 × 2.9 × 5.3
1 顆
145. 葉銘 (1867 ~ 1948)
《「壽芝」白文方印》
中華民國 8 (1919) 年
石製
3.1 × 3.1 × 9.4
1 顆
146. 葉銘 (1867 ~ 1948)
《「臧山」朱文方印》
中華民國 17 (1928) 年
石製
2.7 × 2.7 × 4.4
1 顆

147. 葉銘 (1867 ~ 1948)
《「大吉祥」朱文梅門印》
中華民國 37 (1948) 年
石製
3.6 × 1.4 × 3.7
1 顆
148. 吳隱 (1867 ~ 1922)
《「孔孟好學」朱文方印》
光緒 28 (1902) 年
石製
2.3 × 2.3 × 2.7
1 顆
149. 吳隱 (1867 ~ 1922)
《「安分養神」白文方印》
光緒 32 (1906) 年
石製
2.7 × 2.7 × 7.6
1 顆
150. 吳隱 (1867 ~ 1922)
《「讀書修福」朱文方印》
光緒 32 (1906) 年
石製
2.7 × 2.6 × 7.5
1 顆
151. 吳隱 (1867 ~ 1922)
《「金石癖」白文方印》
光緒 33 (1907) 年
石製
2.8 × 2.4 × 2.3
1 顆
152. 吳隱 (1867 ~ 1922)
《「尚一点稍磨未尽愛華成癖」朱文長方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
1.7 × 2.8 × 8.8
1 顆
153. 徐乃昌 (1869 ~ 1943)
《隸書八言聯》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
彩箋墨書
各 154.7 × 18.8
2 幅
- 154-1. 趙雲壑 (1874 ~ 1955)
《臨石鼓文》
中華民國 22 年 (1933)
彩箋墨書
18.5 × 45.6
1 面 (1 本のうち)
- 154-2. 蘇逢聖 (? ~ 1888 ~ ?)
《藻魚蝦蛙圖》
中華民國 27 (1938) 年
紙本墨畫淡彩
18.5 × 45.6
1 面 (1 本のうち)
155. 趙雲壑 (1874 ~ 1955)
《篆書十言聯》
中華民國 31 (1942) 年
紙本墨書
各 129.3 × 21.0
2 幅
156. 陳師曾 (1876 ~ 1923)
《臨曾伯燾畫銘》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨書
128.9 × 29.3
1 幅
157. 吳涵 (1876 ~ 1927)
《「鶴壽」朱文方印》
中華民國 2 (1913) 年
石製
3.0 × 3.0 × 7.0
1 顆
158. 吳涵 (1876 ~ 1927)
《「老梅」朱文方印》
中華民國 9 (1920) 年
石製
2.1 × 2.1 × 6.7
1 顆
159. 高時豐 (1876 ~ 1960) 題
丁仁 (1879 ~ 1949) 題畫
《全韻畫梅詩冊》
彩箋墨書・紙本墨畫
各 16.9 × 23.1
1 冊
160. 丁仁 (1879 ~ 1949)
《「鶴廬尺牘」》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨書
37.0 × 50.9
1 幅

132.



133.



134.



135.



136.



137.



138.



139.

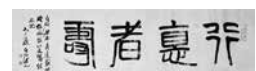


(部分)

140.



141.



142.



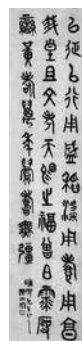
147.



152.



156.



143.



148.



153.



157.



144.



149.



154-1.



158.



145.



150.



154-2.



159.



(部分)

146.



151.



155.



160.



161. 丁仁 (1879 ~ 1949)
《「美意延年」朱文方印》
宣統 2 (1910) 年
石製
2.9 × 2.9 × 1.5
1 顆
162. 丁仁 (1879 ~ 1949)
《「長壽」朱文方印》
宣統 2 (1910) 年
石製
2.9 × 2.9 × 1.5
1 顆
163. 王昶 (1880 ~ 1960)
《篆書集石鼓所有文成十章制鼓重刻詩》
光緒 27 (1901) 年
紙本墨書
17.6 × 52.0
1 枚
164. 原跡：王昶 (1880 ~ 1960)
《西泠印社記拓》
中華民國 9 (1920) 年
紙本墨拓
200.2 × 43.7
1 幅
165. 王昶 (1880 ~ 1960)
《篆書十言聯》
中華民國 32 (1943) 年
紙本墨書
各 142.7 × 24.2
2 幅
166. 王昶 (1880 ~ 1960)
《臨散氏盤》
清時代 ~ 中華人民共和國 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨書
126.3 × 31.4
1 幅
167. 王昶 (1880 ~ 1960)
《「穀莊」朱文方印》
中華民國 19 (1930) 年
石製
1.6 × 1.7 × 5.6
1 顆
168. 王昶 (1880 ~ 1960)
《「新州葉氏」白文方印》
中華民國 21 (1932) 年
石製
2.8 × 2.6 × 7.6
1 顆
169. 王昶 (1880 ~ 1960)
《「登瀛」朱文方印》
中華民國 32 (1941) 年
石製
1.1 × 1.1 × 3.0
1 顆
170. 王昶 (1880 ~ 1960)
《「平子四愁伯鸞五噫孟陽七哀子慎九憤賈長沙痛哭者一流涕者二太息者六」白文方印》
中華民國 34 (1945) 年
石製
3.2 × 3.1 × 6.3
1 顆
171. 馬衡 (1881 ~ 1955)
《篆書七言聯》
清時代 ~ 中華人民共和國 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨書
各 169.8 × 36.0
2 幅
172. 張宗祥 (1882 ~ 1965)
《行書七言聯》
1964 年
紙本墨書
各 131.0 × 33.5
2 幅
173. 吳東邁 (1886 ~ 1963)
《臨石鼓文》
中華民國 22 (1933) 年
紙本墨書
78.8 × 143.1
1 面
174. 馬公愚 (1890 ~ 1969)
《臨石鼓文》
清時代 ~ 中華人民共和國 (20 世紀)
紙本墨書
141.5 × 58.0
1 幅
175. 王个簃 (1897 ~ 1988)
《篆書金石樂書圖緣》
1980 年
紙本墨書
118.2 × 65.4
1 幅
176. 沙孟海 (1900 ~ 1992)
《行書集蘭亭詩》
1981 年
紙本墨書
68.2 × 33.4
1 幅
177. 來楚生 (1904 ~ 1975)
《隸書・臨石鼓文》
中華民國時代 ~ 中華人民共和國 (20 世紀)
紙本墨書
24.2 × 31.4, 24.1 × 31.4
1 幅
178. 沙曼翁 (1916 ~ 2011)
《「梅舒適」白文方印》
1985 年
石製
2.5 × 2.5 × 6.0
1 顆
179. 沙曼翁 (1916 ~ 2011)
《「老梅」朱文方印》
1988 年
石製
1.5 × 1.5 × 5.1
1 顆
- 《梅舒適コレクション 典籍》
180. 吳昌碩 (1844 ~ 1927) 作
松尾謙三 編
《德鄰堂欣賞》
昭和時代 (20 世紀)
紙本鈐印
各 24.4 × 14.6
1 冊
181. 嚴信厚 (1838 ~ 1906) 編
《小長蘆館集帖》
光緒 26 (1900) 年
紙本墨拓
各 29.0 × 13.5
11 冊
182. 吳昌碩 (1844 ~ 1927) 作
《缶廬印存 初集》
光緒 15 (1889) 年
紙本鈐印
各 29.1 × 12.7
4 冊
183. 吳昌碩 (1844 ~ 1927) 作
《缶廬印存 二集》
光緒 26 (1900) 年
紙本鈐印
各 28.8 × 12.8
4 冊
184. 吳昌碩 (1844 ~ 1927) 作
《缶廬印存 三集》
中華民國 3 年 (1914)
紙本鈐印
各 28.9 × 13.1
4 冊
185. 吳昌碩 (1844 ~ 1927) 作
《缶廬印存 四集》
中華民國 4 (1915) 年
紙本鈐印
各 29.0 × 13.0
4 冊
186. 吳隱 (1867 ~ 1922) 作
《古今楹聯彙刻》
光緒 26 (1900) 年跋
紙本墨拓
各 29.8 × 13.6
12 冊 (附：小伝 2 冊)
187. 吳隱 (1867 ~ 1922) 編
《遜齋集古印存 初集》
光緒 34 (1908) 年
紙本鈐印
各 28.7 × 13.3
4 冊
188. 丁仁 (1879 ~ 1949)・
高時敷 (1886 ~ 1976)・
葛昌楹 (1892 ~ 1963)・
俞人華 (1897 ~ 1942) 編
《丁丑劫餘印存》
中華民國 28 (1939) 年
紙本鈐印
各 29.8 × 17.0
12 冊

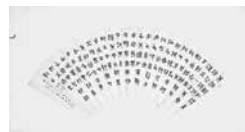
161.



162.



163.



164.



165.



166.



167.



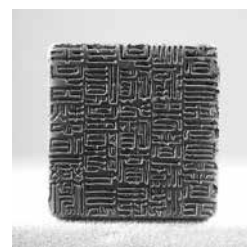
168.



169.



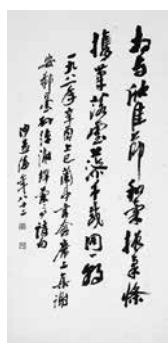
170.



171.



176.



181.



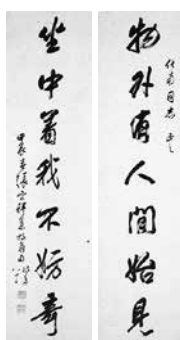
(表紙)

186.



(表紙)

172.



177.



182.



(表紙)

187.



(表紙)

173.



178.

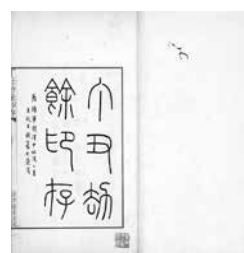


183.



(表紙)

188.



(部分)

174.



179.



184.

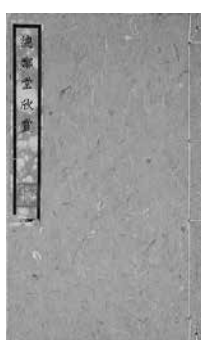


(表紙)

175.



180.



(表紙)

185.



(表紙)

- 189-1. 王禔 (1880～1960) 編
《樂硯齋印存》
中華民國 25 (1936) 年
紙本鈐印
各 26.0 × 15.1
20 冊
- 189-2. 王禔 (1880～1960) 編
《樂硯齋印存》(重輯本)
中華民國 27 (1938) 年
紙本鈐印
各 25.7 × 14.6
4 冊
190. 吳昌碩 (1920～2009) 編
《吳昌碩自用印印譜》
1980 年
紙本鈐印
23.0 × 67.0
1 枚
- 《梅舒適コレクション 資料》
191. 葉銘 (1867～1948) 編
《印人伝 (正・続・再続)》
宣統 2 (1910) 年
紙本印刷
各 20.0 × 13.0
8 冊
192. 吳昌碩 (1844～1927)・
吉井民三郎 (1889～1964) ほか
《吉井民三郎旧蔵吳昌碩関連資料》
中華民國時代 (20 世紀)、
昭和時代 (20 世紀)
紙本墨書、紙本印刷ほか
一式 (22 件)
- 《梅舒適コレクション 梅舒適作品》
193. 梅舒適 (1916～2008)
《山水図》
昭和 57 (1982) 年
紙本着色
133.4 × 31.2
1 幅
194. 梅舒適 (1916～2008)
《義之觀鵝図》
平成時代 (20 世紀)
紙本着色
68.3 × 33.7
1 幅
195. 梅舒適 (1916～2008)
《墮甌不顧》
昭和 46 (1971) 年
紙本鈐印
30.4 × 21.1
1 面
196. 梅舒適 (1916～2008)
《惜華》
昭和 59 (1984) 年
紙本鈐印
29.0 × 18.5
1 面

197. 梅舒適 (1916～2008)
《別蕪園》
昭和 59 (1984) 年
紙本墨書・鈐印
32.3 × 123.8
1 面
198. 梅舒適 (1916～2008)
《虎口餘生》
平成 9 (1997) 年
紙本鈐印
29.9 × 22.1
1 面
199. 梅舒適 (1916～2008)
《「墮甌不顧」白文方印》
昭和 46 (1971) 年
石製
5.4 × 5.4 × 6.7
1 顆
200. 梅舒適 (1916～2008)
《「惜華」朱文長方印》
昭和 59 (1984) 年
石製
4.0 × 2.0 × 6.7
1 顆
201. 梅舒適 (1916～2008)
《「虛亭會百泉」朱文方印》
昭和 59 (1984) 年
石製
3.5 × 3.5 × 6.3
1 顆
202. 梅舒適 (1916～2008)
《「用是名蕪園」朱文方印》
昭和 59 (1984) 年
石製
3.1 × 3.1 × 5.3
1 顆
203. 梅舒適 (1916～2008)
《「容膝欣得所」白文方印》
昭和 59 (1984) 年
石製
3.5 × 3.5 × 6.1
1 顆
204. 梅舒適 (1916～2008)
《「破屋漏一雨」白文方印》
昭和 59 (1984) 年頃
石製
2.9 × 3.0 × 4.7
1 顆
205. 梅舒適 (1916～2008)
《「虎口餘生」朱文方印》
平成 9 (1997) 年
石製
6.0 × 6.2 × 7.6
1 顆

189-1.



(表紙)

189-2.



(表紙)

190.



191.



(表紙)

192.



(部分)

193.



194.



195.



196.



197.



- ※ 以上、令和5年度美術品取得品 205
- | | |
|----|----|
| 絵画 | 98 |
| 書跡 | 94 |
| 典籍 | 11 |
| 資料 | 2 |

198.



203.



199.



204.



200.



205.



201.



202.



B. 令和5年度美術品館外貸出状況（令和5年度完了分）

1. 憧憬の地 ブルターニューモネ、ゴーガン、黒田清輝らが見た異郷

2023/3/18～6/11

国立西洋美術館

金山平三《ケルゴエスの宿》1912年（O-0111）

金山平三《林檎の下（ブルターニュ）》1915年（O-0171）

金山平三関連資料（コンカルノーの絵葉書集／ブルターニュの衣装を着た金山のポートレート／フィニステール県の通行許可証／鉄道運賃表／金山平三宛て絵葉書8点（ブルターニュ滞在時7点、帰国後1点）／手帳（住所録）／絵葉書アルバム3冊）

2. 開館1周年記念展 デザインに恋したアート♡アートに嫉妬したデザイン

2023/4/15～6/18

大阪中之島美術館

山口勝弘《作品（ハート）》1963年（O-1040）

藪内佐斗司《犬モ歩ケバ》1989年（Sj-H02-31）

3. 境界をこえる

2023/4/29～6/18

徳島県立近代美術館

元永定正《作品5》1960年（O-1011）

元永定正《作品8》1960年（O-1008）

元永定正《作品10》1960年（O-1009）

八木一夫《出発》1974年（Sj-69）

4. あこがれの祥啓—啓書記の幻影と実像—

2023/4/29～6/18

神奈川県立歴史博物館

祥啓《高士観瀑図》室町時代（15世紀）（EP-R03-007）

祥啓《鍾馗抜鬼眼睛図》室町時代（15世紀）（EP-R03-008）

5. 開館60周年記念 Re:スタートライン 1963-70/2023

現代美術の動向展シリーズにみる美術館とアーティストの共感関係

2023/4/28～7/2

京都国立近代美術館

村上三郎《作品》1963年（O-998）

平田洋一《ムシムシマルイエ》1966年（O-H10-05）

6. 安藤忠雄展 青春

2023/4/1～12/3

Museum SAN（韓国、原州）

安藤忠雄《兵庫県立美術館＋神戸市水際広場 木模型（1：250）》1997-2001年（M-H16-64-5）

安藤忠雄《淡路夢舞台 FRP模型（1：500）》1993-1999年（M-H16-65-5）

7. 生誕270年 長沢芦雪 一奇想の旅、天才絵師の全貌—

2023/10/7～12/3

大阪中之島美術館

長沢蘆雪《月夜山水図》江戸時代（18世紀）重要美術品（EP-R03-051）

8. 小磯良平生誕120年特別展 働く人びと 働くてなんだ？日本戦後／現代の人間主義

2023/10/7～12/17

神戸市立小磯記念美術館

田中忠雄《鉄》1948年（O-0905）

小磯良平《男》1953年（M-03-027）

小磯良平《ズボン》1953年（M-03-032）
 小磯良平《網を持つ男》1953年（M-03-033）
 小磯良平《網を持つ男達》1953年（M-03-035-01）
 小磯良平《網を持つ男（顔）》1953年（M-03-035-01）
 小磯良平《くわをもつ男達》1953年（M-03-045）
 小磯良平《婦人立像（二人）》1953年（M-03-247）
 小磯良平《裸婦と麦》1954年（M-03-034）
 小磯良平《働く人（夫婦）》1955年（M-03-026）
 小磯良平《棒をもつ男（一人）》1955年（M-03-064）
 小磯良平《働く人と家族》1955年（O-0823）
 小磯良平《歩む男達》1955年（O-0824）

9. 本阿弥光悦の大宇宙

2024/1/16～3/10

東京国立博物館

長次郎《赤楽茶碗 銘 無一物》桃山時代（16世紀）重要文化財（EH-R03-008）

10. 生誕180年記念 呉昌碩の世界—その魅力と受容—

2024/1/4～3/17

台東区立書道博物館

蒲華《墨竹図》清・光緒21（1895）年（EP-R04-025）
 蒲華《富貴図》清・19～20世紀（EP-R04-027）
 呉昌碩《墨梅図》清・光緒11（1885）年（EP-R04-035）
 呉昌碩《灯梅図》清・光緒28（1902）年（EP-R04-038）
 呉昌碩《玉蘭図》清・宣統3（1911）年（EP-R04-041）
 呉昌碩《荷花図》中華民国5（1916）年（EP-R04-049）
 呉昌碩《紅梅図》中華民国6（1917）年（EP-R04-050）
 呉昌碩《墨竹図》中華民国10（1921）年（EP-R04-059）
 呉昌碩《枇杷図》清・19～20世紀（EP-R04-064）
 呉昌碩《鳳仙花図》清～中華民国（19～20世紀）（EP-R04-065）
 顧澐《曼生壺花卉図》清・光緒30（1904）年（EP-R04-072）
 楊峴《隸書五言聯》清・19世紀（EC-R04-058）
 呉昌碩《臨張遷碑額》清・光緒25（1899）年（EC-R04-073）
 呉昌碩《數字識語》清・光緒25（1899）年（EC-R04-074）
 呉昌碩《篆書七言聯》中華民国元（1912）年（EC-R04-078）
 呉昌碩《篆書七言絶句五首》中華民国7（1918）年（EC-R04-082）
 呉昌碩《篆書慎齋》中華民国7（1918）年（EC-R04-083）
 呉昌碩《臨石鼓文》中華民国7（1918）年（EC-R04-084）
 呉昌碩《篆書飲且食寿而康》中華民国12（1923）年（EC-R04-094）
 呉昌碩《隸書飲且食寿而康》中華民国12（1923）年（EC-R04-095）
 呉昌碩《篆書八言聯》中華民国13（1924）年（EC-R04-098）
 呉昌碩《篆書萬歲》中華民国15（1926）年（EC-R04-102）
 呉昌碩《臨秦權量銘》清～中華民国・19～20世紀（EC-R04-105）
 呉昌碩《尺牘冊》清～中華民国・19～20世紀（EC-R04-108）
 呉昌碩《「蒲作英」朱文方印》清・光緒12（1886）年（EC-R04-113）
 呉昌碩《「隨齋」朱文方印》中華民国7（1918）年（EC-R04-123）
 呉昌碩《「抱円天」朱文方印》中華民国9（1920）年（EC-R04-125）
 呉昌碩《「美意延年」白文方印》中華民国9（1920）年（EC-R04-126）
 呉昌碩《「万事随縁是安樂法」朱文方印》中華民国9（1920）年（EC-R04-127）

呉昌碩《「均将私印」白文方印》清・19世紀（EC-R04-130）
原跡：任伯年《呉昌碩像拓》清・光緒12（1886）年（EM-R04-002）
《石鼓文（徐乃昌旧蔵本）》戦国・前5～前4世紀（EC-R05-001）
徐乃昌《隸書八言聯》中華民国・20世紀（EC-R05-057）
梅舒適《惜華》昭和59（1984）年（EC-R05-085）
梅舒適《「惜華」朱文長方印》昭和59（1984）年（EC-R05-089）
呉昌碩・松尾謙三編《徳鄰堂欣賞》昭和・20世紀（EB-R05-001）
呉昌碩ほか《吉井民三郎旧蔵呉昌碩関連資料》中華民国、昭和・20世紀（EM-R05-002）
梅舒適書斎設え一式 昭和・20世紀

11. レアリスムの視線―戦後具象美術と抽象美術

2024/1/27～3/17

岡崎市美術博物館

田中敦子《作品》1959年（O-0898）
田中敦子《作品》1961年（O-0900）
元永定正《作品2》1959年（O-1003）

12. 生誕270年 長沢芦雪―若冲、応挙につづく天才画家

2024/2/6～3/31

九州国立博物館

長沢蘆雪《月夜山水図》江戸時代（18世紀）重要美術品（EP-R03-051）

C. 令和5年度美術品修復状況

〈洋画〉

	目録番号	作家名	作品名/シリーズ名	処置内容	備考
1	O-0111	金山 平三	ケルゴエスの宿	裏面乾式洗浄、額装改善[裏板作製装着]	貸出
2	O-0824	小磯 良平	歩む男達	額装改善[吊り金具交換、裏板交換]	貸出
3	O-1008	元永 定正	作品8	裏面乾式洗浄、額装改善[裏板作製装着、輸送展示用金具取付]	貸出
4	O-1009	元永 定正	作品10	裏面乾式洗浄、額装改善[裏板作製装着、輸送展示用金具取付]	貸出
5	O-1011	元永 定正	作品5	裏面乾式洗浄、ポリエステル布によるストレッチャーバーライニング、額装改善[ドロ足作製装着、裏板作製装着、輸送展示用金具取付]	貸出
6	O-1040	山口 勝弘	作品(ハート)	鋼鉄フレーム浮き錆除去、防錆処置(バラロイドB72)、鋼鉄フレーム溶接外れ部分再接着、展示金具交換	貸出
7	O-H10-05	平田 洋一	ムシムシマルイエ	フレーム部分表面乾式洗浄、展示補助金具取付	貸出
8	O-0898	田中 敦子	作品	額装改善[ラベル分離、輸送展示用金具取付]	貸出
9	O-0753	金山 平三	祭りの女	額装改善[入れ子固定方法変更、入れ子部分のシーリング、刃先にフェルト貼付、裏板作製装着、吊り金具交換]	R05-II
10	O-0936	中村 義夫	めがねの婦人	付着物除去、破れの繕い、欠損部の補紙、補紙の色調調整、マウント(仕様1)、額装改善[入れ子部分のシーリング、裏板交換、吊り金具交換]	R05-II
11	O-R03-11	北山 善夫	歴史は死者がつくった	付着物除去、破れの繕い、穴の補強、紙管付中性紙保管箱作製*1	R05-II
12	O-R04-03	岡田 三郎助	桃の咲きたる風景	額装改善[入れ子固定、作品固定金具取付、吊り金具交換]	R05-II
13	O-R04-05	小出 楠重	芸術家の家族	額装改善[入れ子固定方法変更、作品固定金具交換、吊り金具交換]	R05-II
14	O-R04-06	須田 昶太	抽象	乾式洗浄、マウント(仕様3)	R05-II
15	O-R04-07	須田 昶太	抽象	乾式洗浄、マウント(仕様3)	R05-II
16	O-R04-14	丸本 耕	作品	額装改善[吊り金具取付]	R05-II
17	O-R04-15	丸本 耕	作品	額装改善[吊り金具取付]	R05-II
18	O-R04-17	三尾 公三	蒼天	額装改善[入れ子固定、刃先にフェルト貼付、吊り金具交換]	R05-II
19	O-R04-18	ブルリユーク、 ダヴィット	大島から見た富士山	額装改善[入れ子固定、作品固定金具変更]	R05-II
20	O-R04-19	ブルリユーク、 ダヴィット	西須摩海岸	額装改善[入れ子固定方法変更、入れ子部分のシーリング、刃先にフェルト貼付、作品固定金具交換、吊り金具取付]	R05-II
21	O-R04-12	藤田 鶴夫	作品	裏面乾式洗浄、画面湿式洗浄(精製水)、付着物除去、絵具層浮き上がり接着(MFK)、額縁の汚損軽減、額装改善[吊り金具交換]	R05-II
22	O-0628	中山 正實	黙示録の騎士	額装改善[吊り金具交換]	R05-III
23	O-0948	中山 正實	黙示録の天国	額装改善[吊り金具交換]	R05-III
24	O-H15-001	片山 招弘	重油富士	裏面乾式洗浄、額装改善[額縁木部割れ部分の接着、作品固定金具変更、吊り金具交換]	R05-III
25	O-H21-12	東山 嘉事	モー・モー・モー	絵具層浮き上がり接着(MFK)、支持体裂けの補修、画面のカビ除去、画面乾式洗浄、画面湿式洗浄(精製水)、裏面乾式洗浄、四辺の合板の剝離部分接着(プレキシトルD498)、額縁木部脆弱化部分を樹脂により補強(バラロイドB72)、額装改善[裏板作製装着、吊り金具交換]	R05-III
26	O-H24-327	中辻 悦子	合図eyes-人の形	額装改善[吊り金具取付]	R05-III
27	O-R04-13	丸本 耕	閉じた天邪鬼	額装改善[吊り金具取付]	R05-III
28	O-0109	金山 平三	水汲み女	画面の乾式洗浄、額装改善[入れ子固定方法変更、作品固定金具交換、吊り金具交換]	金山平三展
29	O-0155	金山 平三	無題(橋)	額装解除、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
30	O-0306	金山 平三	まゆみ	裏面乾式洗浄、画面のカビ除去、画面湿式洗浄(精製水)、額装改善[入れ子固定方法変更、入れ子部分のシーリング、刃先にフェルト貼付、作品固定金具取付、裏板作製装着、吊り金具交換]	金山平三展
31	O-0383	金山 平三	無題(大序・段切れ) ／芝居絵	額装解除、酸性紙マット分離、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
32	O-0384	金山 平三	無題(三段目師直と 若狭之助)／芝居絵	額装解除、酸性紙マット分離、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
33	O-0385	金山 平三	無題(四段目上使) ／芝居絵	額装解除、酸性紙マット分離、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
34	O-0386	金山 平三	判官切腹／芝居絵	酸性紙マット分離、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
35	O-0387	金山 平三	でーも／芝居絵	酸性紙マット分離、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
36	O-0390	金山 平三	無題(五段目山崎街 道)／芝居絵	額装解除、酸性紙マット分離、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
37	O-0391	金山 平三	与一兵衛と定九郎 ／芝居絵	酸性紙マット分離、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展

*1 令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵に伴い中性紙保管箱を作製

38	O-0393	金山 平三	七段目の花道	酸性紙マット分離、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
39	O-0394	金山 平三	獅子心中の蟲	額装解除、酸性紙マット分離、付着物除去、面ガラスから題箋を分離後洗浄、マウント(仕様1)、題箋の再貼付(窓マット)	金山平三展
40	O-0395	金山 平三	御無用	額装解除、酸性紙マット分離、付着物除去、面ガラスから題箋を分離後洗浄、マウント(仕様1)、題箋の再貼付(窓マット)	金山平三展
41	O-0397	金山 平三	無題(大詰討入り・炭部屋)	額装解除、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
42	O-0594	児島 虎次郎	金山平三像	額装改善[入れ子部分のシーリング、刃先にフェルト貼付、スペーサー取付、作品固定金具取付、裏板交換]	金山平三展
43	O-0776	金山 平三	無題(兵隊1)	額装解除、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
44	O-0777	金山 平三	無題(兵隊2)	額装解除、付着物除去、マウント(仕様1)	金山平三展
45	O-H10-02	金山 平三	菊	裏面乾式洗浄、画面の付着物除去、画面湿式洗浄(精製水)、額装改善[入れ子部分のシーリング、刃先にフェルト貼付、吊り金具交換、裏板交換、額縁彩色層欠損部補彩(水彩絵具)]	金山平三展

<版画>

	目録番号	作家名	作品名/シリーズ名	処置内容	備考
1	Pj-401	前田 藤四郎	サンドイッチマン	マウント(仕様1)	R05-II
2	Pj-R04-24	前田 藤四郎	カッパドキヤ	マウント(仕様1)	R05-II
3	Pj-H30-13	舟越 桂	眠らないスフィンクス	マウント(仕様1)	R05-II
4	Pj-R04-20	恩地 孝四郎	海	裏面乾式洗浄、付着物除去、マウント(仕様1)、額新規作製*2	R05-II
5	Pj-R04-21	須田 剋太	むくげ/須田剋太版画集 PART1 "花と華"	画面余白、裏面乾式洗浄、マウント(仕様1)	R05-II
6	Pj-R04-22	須田 剋太	ひまわり/須田剋太版画集 PART1 "花と華"	画面余白、裏面乾式洗浄、マウント(仕様1)	R05-II
7	Pj-R04-23	須田 剋太	つばき/須田剋太版画集 PART1 "花と華"	画面余白、裏面乾式洗浄、マウント(仕様1)	R05-II
8	Pj-R04-28	三尾 公三	床の女 / fiction space PARTI	画面余白、裏面乾式洗浄、マウント(仕様1)	R05-II
9	Pj-R04-29	三尾 公三	紙の女 / fiction space PARTI	画面余白、裏面乾式洗浄、マウント(仕様1)	R05-II
10	Pj-R04-30	三尾 公三	室の女 / fiction space PARTI	画面余白、裏面乾式洗浄、マウント(仕様1)	R05-II
11	Pj-R04-31	三尾 公三	布の女 / fiction space PARTIII	画面余白、裏面乾式洗浄、マウント(仕様1)	R05-II
12	Pj-R04-32	三尾 公三	卓の女 / fiction space PARTIII	画面余白、裏面乾式洗浄、マウント(仕様1)	R05-II
13	Pj-R04-33	三尾 公三	牀の女 / fiction space PARTIII	画面余白、裏面乾式洗浄、マウント(仕様1)	R05-II
14	Pf-023-2-01	タリ, サルバドール	デュモンの到着 (「双生児あるいは困難なる選択」より) / マルキ・ド・サドの3つの戯曲に基づくグワッシュ原画による25点のリトグラフ	マウント(仕様1)	R05-III
15	Pf-023-2-02	タリ, サルバドール	デュモンとマルトン (「双生児あるいは困難なる選択」より) / マルキ・ド・サドの3つの戯曲に基づくグワッシュ原画による25点のリトグラフ	マウント(仕様1)	R05-III
16	Pf-023-2-03	タリ, サルバドール	セリス、ジュルメイユの便りを受けとる (「双生児あるいは困難なる選択」より) / マルキ・ド・サドの3つの戯曲に基づくグワッシュ原画による25点のリトグラフ	マウント(仕様1)	R05-III
17	Pf-023-2-04	タリ, サルバドール	アデレードの約束 (「双生児あるいは困難なる選択」より) / マルキ・ド・サドの3つの戯曲に基づくグワッシュ原画による25点のリトグラフ	マウント(仕様1)	R05-III

*2 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」より額縁作製費用の一部を支援(p.112参照)

18	Pf-023-2-05	ダリ, サルパドール	ダミスとデュルバル （「双生児あるいは 困難なる選択」より） ／マルキ・ド・サドの3 つの戯曲に基づくグ ワッシュ原画による25 点のリトグラフ	マウント(仕様1)	R05-Ⅲ
19	Pf-023-2-06	ダリ, サルパドール	ダミスのディレンマ （「双生児あるいは困 難なる選択」より） ／マルキ・ド・サドの3つ の戯曲に基づくグワッ シュ原画による25点 のリトグラフ	マウント(仕様1)	R05-Ⅲ
20	Pf-023-2-07	ダリ, サルパドール	双生児、ダミスの裏を かく（「双生児ある いは困難なる選択」 より）／マルキ・ド・サ ドの3つの戯曲に基づ くグワッシュ原画によ る25点のリトグラフ	マウント(仕様1)	R05-Ⅲ
21	Pf-023-2-08	ダリ, サルパドール	「終わりなければすべ てよし」（「双生児あ るいは困難なる選択 」より）／マルキ・ド・サ ドの3つの戯曲に基 づくグワッシュ原画に よる25点のリトグラフ	マウント(仕様1)	R05-Ⅲ
22	Pj-H13-192	横尾 忠則	うろつき夜太 I	マウント(仕様1)	R05-Ⅲ
23	Pj-H13-193	横尾 忠則	うろつき夜太 II	マウント(仕様1)	R05-Ⅲ
24	Pj-H13-194	横尾 忠則	うろつき夜太 III	マウント(仕様1)	R05-Ⅲ
25	Pj-H13-195	横尾 忠則	うろつき夜太 IV	マウント(仕様1)	R05-Ⅲ
26	Pj-R04-36	三尾 公三	青い鳥	画面余白・裏面乾式洗浄	
27	Pj-R04-34	三尾 公三	レモン	画面余白・裏面乾式洗浄	
28	Pj-R04-40	三尾 公三	青空と蝶	画面余白・裏面乾式洗浄	
29	Pj-R04-26	三尾 公三	女	画面余白・裏面乾式洗浄	
30	Pj-R04-25	三尾 公三	(タイトル不詳)	画面余白・裏面乾式洗浄	
31	Pj-R04-27	三尾 公三	追想	画面余白・裏面乾式洗浄	
32	Pj-R04-39	三尾 公三	(タイトル不詳)	画面余白・裏面乾式洗浄	
33	Pj-R04-38	三尾 公三	ERIKA	画面余白・裏面乾式洗浄	
34	Pj-R04-37	三尾 公三	乾薔薇と女	画面余白・裏面乾式洗浄	
35	Pj-R04-35	三尾 公三	女の風景A	画面余白・裏面乾式洗浄	

〈写真〉

	目録番号	作家名	作品名	処置内容	備考
1	F-R04-49	澤田 知子	cover/B	裏面乾式洗浄、吊り金具取付	R05-II
2	F-R04-50	澤田 知子	cover/C	裏面乾式洗浄、吊り金具取付	R05-II
3	F-R04-51	澤田 知子	AMASAN	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
4	F-R04-52	澤田 知子	BASUGAIDO	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
5	F-R04-53	澤田 知子	FUKEI	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
6	F-R04-54	澤田 知子	HAISHA	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
7	F-R04-55	澤田 知子	HOIKUSHI	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
8	F-R04-56	澤田 知子	KANGOFU	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
9	F-R04-57	澤田 知子	KASHISHOKUNIN	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
10	F-R04-58	澤田 知子	KEIBIN	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
11	F-R04-59	澤田 知子	NOMIYA	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
12	F-R04-60	澤田 知子	OHANAYASAN	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
13	F-R04-61	澤田 知子	OKAMI	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
14	F-R04-62	澤田 知子	OMIZU	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
15	F-R04-63	澤田 知子	SEISOUIN	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
16	F-R04-64	澤田 知子	SHINBUN-HAITATSU	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
17	F-R04-65	澤田 知子	SHISUTA	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
18	F-R04-66	澤田 知子	SHOP-TENIN	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
19	F-R04-67	澤田 知子	TAKUSHI-DORAIVA	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
20	F-R04-68	澤田 知子	TEISHOKUYA	裏面乾式洗浄、付着物除去	

21	F-R04-69	澤田 知子	UEITORESU	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
22	F-R04-70	澤田 知子	UKETSUKEJO	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
23	F-R04-71	澤田 知子	URANAISHI	裏面乾式洗浄、付着物除去	
24	F-R04-72	澤田 知子	YAOKA	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
25	F-R04-73	澤田 知子	BIJUTSU-KANCHŌ/1	裏面乾式洗浄、付着物除去、落下防止金具取付	R05-II
26	F-R04-74	澤田 知子	BIJUTSU-KANCHŌ/2	裏面乾式洗浄、付着物除去	R05-II
27	F-H27-01	田淵 銀芳	父子／流唄ユダヤ	マウント(仕様1)	R05-III
28	F-H27-03	田淵 銀芳	題不詳／流唄ユダヤ	マウント(仕様1)	R05-III

〈書〉

	目録番号	作家名	作品名	処置内容	備考
1	C-R04-46	須田 剋太	行心	額装解除、画面余白・裏面乾式洗浄	
2	C-R04-47	須田 剋太	生命根源	額装解除、画面余白・裏面乾式洗浄	

〈彫刻〉

	目録番号	作家名	作品名	処置内容	備考
1	Sf-R04-45	アーミティジ、ケネス	縞模様のスカートの少女	表面の汚れの軽減(精製水)	R05-II
2	Sj-R03-1	プーデル、エミール＝アントワース	勝利(頭部)	固定金具用ボルト穴加工、作品と展示台の固定	R05-III ボルト穴加工は外部委託業務
3	Sj-R03-2	金子 潤	無題(07-06-03)	固定金具用ボルト穴を台座に加工、作品と台座の固定	外部委託業務

〈その他〉

	目録番号	作家名	作品名	処置内容	備考
1	Z-R03-08	林 勇気	times	ステンレスパーツの付着物除去	

〈資料〉

	目録番号	作家名	作品名	処置内容	備考
1	M-03-027	小磯 良平	男	マウント(仕様1)	貸出
2	M-03-032	小磯 良平	ズボン	マウント(仕様1)	貸出
3	M-03-034	小磯 良平	裸婦と麦	マウント(仕様1)	貸出
4	M-03-064	小磯 良平	棒をもつ男(1人)	マウント(仕様1)	貸出
5	M-03-247	小磯 良平	婦人立像(二人)	マウント(仕様1)	貸出

*美術品外資料

	目録番号	作家名	資料名	処置内容	備考
1		金山平三資料	絵葉書アルバム中1 (ノルマンディ地方・ブルターニュ地方)	台紙の破れの繕い、折れの補強	貸出
2		金山平三資料	絵葉書アルバム中2 (ブルターニュ地方・シャルトル・プロヴァンス地方)	台紙の破れの繕い、折れの補強	貸出
3		金山平三資料	絵葉書アルバム中3 (スペイン・ブルターニュ地方)	表紙・見返しの乾式洗浄、表紙革のコンソリデーション、破損した背表紙と表紙接合部の接着、欠損部に色調調整した補修紙を挿入して補強、展示用ブックサポート作製	貸出
4		金山平三資料	写真アルバム(滞欧時代)	表紙・見返しの乾式洗浄、表紙革のコンソリデーション、背表紙と表紙接合部分の亀裂、破れの安定化、展示用ブックサポート調整	貸出
5		金山平三資料	手帳(住所録)	表紙・見返し・展示頁の乾式洗浄、表紙革のコンソリデーション、表紙革破損部の接着、欠損部に色調調整した補修紙を挿入して補強、展示用ブックサポート作製	貸出
6		金山平三資料	鉄道運賃表(ブルターニュ)	破れの繕い、折れの補強	貸出
7		安井仲治資料	『写真実技大講座 5 風景撮影の実際』玄光社 1938年3月1日	破損したノド、背の補強、綴じ直し、展示用ブックサポート作製	貸出
8		金山平三資料	絵葉書アルバム大4 (ブルターニュ地方・疎開先・パリとその近郊・スペイン)	背表紙の剥がれ貼り直し(応急処置)、展示用ブックサポート作製	金山平三展

9		金山平三資料	写真アルバム(1924年中国旅行)	展示用ブックサポート作製	金山平三展
10		金山平三資料	写真アルバム(『踊り初め頃』)	展示用ブックサポート作製	金山平三展
11		金山平三資料	写真アルバム(アトリエ・芝居絵制作)	展示用ブックサポート作製	金山平三展
12		金山平三資料	絵葉書アルバム中7(朝鮮半島)	展示用ブックサポート作製	金山平三展
13		金山平三資料	写真アルバム(『雪国』)	展示用ブックサポート作製	R05-Ⅲ

〈寄託作品〉

洋画1点の額装改善、写真作品23点の処置、資料3点の処置、8点の展示用ブックサポート作製を行った

〈特別展の補助作業〉

展覧会名	作業内容
金山平三と同時代の画家たち	所蔵資料の修復処置、資料展示サポート作製、借用品の額装改善処置、資料展示サポート作製、所蔵作品の額装作業（外部委託業者と共同）、展示・撤収作業補助
没後80年・生誕120年 安井仲治	収蔵作品（寄託写真作品・資料）の修復処置、写真作品のマウントと額装作業（外部委託業者と共同）、コンディションレポート作製、輸送梱包管理、資料の展示サポート作製、展示・撤収作業補助
スーラージュと森田子龍	借用作品2点の展示補助金具取付け

【注記】

- ・作品の制作年、寸法、技法、材質などについては、当館ホームページの所蔵品データベースで検索が可能である。
- ・備考の「R05-Ⅱ」、「R05-Ⅲ」はそれぞれ「令和5年コレクション展Ⅱ」、「令和5年コレクション展Ⅲ」で活用したことを示している。

・マウントの仕様について

紙作品の展示・保管は中性紙ブックマットの装着を基本としている。また、作品の状態や展示効果によってマウントの方法は異なるため、担当学芸員と協議したうえでマウント仕様を決定している。なお、ブックマットは、当館が作成した使用材料、寸法などの指定に基づき、外部委託で作製されており、マットへの作品固定は保存担当学芸員が行っている。当館で行っている主なマウント仕様を以下に記す。

マウント仕様1：ブックマットに和紙のヒンジによる吊り下げ方式で作品を装着する。窓マットが作品の余白を覆う。

マウント仕様2：ブックマットに和紙の隠しヒンジによるフロート方式で作品を装着する。窓マットは作品の4辺より一回り大きく削り抜かれ、作品支持体の端まで見せる必要がある場合に用いる。

マウント仕様3：ペーパーハニカム又は厚手のマットを台紙として和紙のヒンジによるスリット方式で作品を装着する。窓マットを意図的に必要としない場合に用いる。

マウント仕様4：ブック型マットに中性紙を使用したコーナーヒンジで作品を装着する。作品のマット装着解除や入れ替えが容易にでき、寄託作品や一時的にマット装着が必要な場合に用いる。

・マウントに使用した主な材料

- マット：ライジングミュージアムボード（8ply、4ply）
特種東海製紙株式会社製ピュアマット（特厚口）
- ヒンジ：楮100%手漉和紙 各種
- ヒンジ固定接着剤：生麩糊、メチルセルロース
- コーナーヒンジ：特種東海製紙株式会社製ピュアガード、NESCEN社フィルムプラスTP90
- ペーパーハニカム：タイコアマウンティングパネル（12.7mm厚）

・処置に使用した材料について

基本的な考え方として、作品に悪影響を及ぼさないこと、材質的に安定していること、将来的に除去できることを前提にして、個々の作品の状態にあったものを選択している。以下に主な材料を記す。

(油彩画)

絵具層の浮き上がり接着・剥落止め等：チョウザメ膠、ウサギ膠、アクリル樹脂パラロイドB72、エチレン酢酸ビニールエマルジョンD-8、ヒドロキシプロピルセルロース クルーセル G、水中分散型ブチルアクリレート・メチルメタクリレート型熱可塑性接着剤プレキシトールD498、水溶性アクリル接着剤498HV、アクリル系接着剤MFK (Medium fuer Konsolidierung)

(紙作品)

破れの繕い・折れの補強：楮100%手漉和紙各種、生麩糊、メチルセルロース

絵具層の浮き上がり接着・剥落止め：三千本膠、チョウザメ膠、ゼラチン、ヒドロキシプロピルセルロース クルーセル G

〈梅舒適コレクション等 絵画〉

	目録番号	作家名	作品名	形態	員数	処置内容	備考
1	EP-R04-028	蒲華	山水図	掛軸	1幅	改装	外部委託業務
3	EP-R04-037	呉昌碩	墨梅図	掛軸	1幅	改装	外部委託業務
2	EP-R04-038	呉昌碩	灯梅図	掛軸	1幅	改装	外部委託業務
4	EP-R04-069	呉昌碩	荷花図	掛軸	1幅	表具裂地欠損部分修理	外部委託業務
5	EP-R05-053	呉涵	水仙図	掛軸	1幅	改装	外部委託業務

〈梅舒適コレクション等 書跡〉

	目録番号	作家名	作品名	形態	員数	処置内容	備考
1	EC-R04-098	呉昌碩	篆書八言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務
2	EC-R04-109	呉昌碩	行書七言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務
3	EC-R05-025	呉雲	行書七言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務
4	EC-R05-042	呉大澂	篆書八言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務

すべて「梅舒適コレクション活用・研究事業」より保存修復費を負担

D. 令和 5 年度収蔵図書資料

	令和5年度増減数				令和6年3月末総数			
	購 入	寄 贈	除 籍	小 計	購 入	寄 贈	除 籍	小 計
図 書		750	△ 6	744	5,097	28,301	△ 25	33,373
カタログ		782	△ 2	780	98	38,947	△ 21	39,024
逐次刊行物	286	539		825	13,757	38,627	△ 37	52,347
A Vソフト				0	468	120		588
合 計	286	2,071	△ 8	2,349	19,420	105,995	△ 83	125,332

事業

- A. 展覧会
- B. 教育・普及活動及びイベント
- C. 保存・修復
- D. 美術情報センター
- E. 国際交流
- F. 出版
- G. 施設貸出
- H. その他の活動

A. 展覧会

a. 常設展

1. コレクション展Ⅰ

- (1) 特集1 虚実のあわい
- (2) 特集2 中国明清の書画篆刻—梅舒適コレクションの精華—

2. コレクション展Ⅱ

- (1) 特集 Welcome! 新収蔵品歓迎会
- (2) 小企画 美術の中のかたち—手で見る造形 遠藤薫 眼と球

3. コレクション展Ⅲ

- (1) 特集 美術の中の物語
- (2) 小企画 生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西泠名家—

b. 特別展

1. 出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像

日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち

2. Perfume COSTUME MUSEUM

3. 生誕120年 安井仲治—僕の大切な写真

4. スーラージュと森田子龍

c. その他の主催展覧会

1. 2023県展

2. 注目作家紹介プログラム チャンネル14

吉本直子 いのちをうたう—衣服、痕跡、その祈り

d. Ando Gallery

a. 常設展

1. コレクション展 I

(1) 特集1 虚実のあわい

令和5年1月21日(土)～7月23日(日)

前期：1月21日(土)～4月9日(日)

後期：4月29日(土)～7月23日(日)

主 催：兵庫県立美術館

協 賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

「大和卓司氏遺贈記念収蔵」により2021年度（一部2022年度）に収蔵した作品群について、当館では2022年コレクション展 I 及び II で順次公開してきた。それに続く本展特集1（展示室1～5）では「虚実のあわい」というテーマのもと、同記念収蔵による作品の中からこれまでに公開していなかった作品を交えて展示を構成した。古来より美術作品には虚構と現実のあわいをゆれ動く側面があったことから、本特集では当館収蔵品の中でも特に「リアル」と「フィクション」のあわいに位置する作品を展覧した。

展示室6では、前期に特集2「中国明清の書画篆刻—梅舒適コレクションの精華—」を開催し、篆刻家・梅舒適が収集した文物の中から中国明・清時代の作品を紹介した。後期は「近現代の書」として当館蔵の明治から平成までの書作品を展示した。小磯良平記念室では巧みな具象表現で捉えられた人物画や静物画を、また金山平三記念室では画家が時をおいて何度も滞在し作品を制作した土地に着目して、主に風景画を展示した。



チラシ

関連事業 ※参加者数等は令和4年度年報p.70および本年報p.103参照

(1) 学芸員による解説会

2月18日(土)、4月9日(日)、5月20日(土)

いずれも15:00～15:45

(2) こどものイベント「美術館探偵、コレクション展 I を調査せよ！」

5月27日(土) 10:30～12:10

(3) こどものイベント「書の世界へようこそ！」

6月24日(土) 13:30～16:00

(4) ゆっくり解説会 ※金山平三展と共通

7月11日(火) 11:00～12:00



鑑賞ガイド

印刷物

〔チラシ〕 A4 両面カラー ※特集2と共通

〔鑑賞ガイド〕 B6 蛇腹折り8頁 両面カラー ※特集2と共通

出 品 目 録							
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考	展示期間
I リアルの追求／リアルへの脱出							
1	木 下 晋	祖母ソノ像	1979年	油彩・布	90.9×72.7	令和2年度美木剛氏寄贈	
2	木 下 晋	ゴゼ小林ハル像	1983年	鉛筆・紙	73×103	令和2年度美木剛氏寄贈	前期
3	木 下 晋	合掌	1994年	墨・板	190.3×92	令和2年度美木剛氏寄贈	後期
4	東 影 智 裕	侵食I	2013年	エポキシパテ、アクリル絵具、木、他	180×220×70	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
5	東 影 智 裕	覆皮	2016年	エポキシパテ、アクリル絵具、木	88×95×70	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
6	木 村 秀 樹	Pencil 2-1	1974年	シルクスクリーン・紙	76.4×105.8	平成3年度購入	前期
7	木 村 秀 樹	Pencil 2-2	1974年	シルクスクリーン・紙	76.6×105.7	平成3年度購入	後期
8	斎 藤 智	無題A	1976年	シルクスクリーン・紙	59.2×70.1	昭和63年度購入	前期
9	斎 藤 智	無題B	1976年	シルクスクリーン・紙	56×70	昭和63年度購入	前期
10	斎 藤 智	無題C	1976年	シルクスクリーン・紙	56.5×69.9	昭和63年度購入	前期
11	斎 藤 智	薄明1	1973年	シルクスクリーン・紙	41.3×61.7	昭和63年度購入	後期
12	斎 藤 智	無題75-B	1975年	シルクスクリーン・紙	59.1×66.3	昭和63年度購入	後期
13	斎 藤 智	無題76-i	1976年	シルクスクリーン・紙	64.6×65	昭和63年度購入	後期
14	マグリット, ルネ	版画集『マグリットの落とし子たち』より マ・メル・ロワ	1968年出版	リトグラフ・紙	30.4×45.4	昭和46年度購入	前期
15	マグリット, ルネ	版画集『マグリットの落とし子たち』より 《魅せられた領域》にもとづくリトグラフ 大鳥は宝の島の鳥で……	1968年出版	リトグラフ・紙	31.6×48.2	昭和46年度購入	前期
16	マグリット, ルネ	版画集『マグリットの落とし子たち』より 美しい囚人	1968年出版	リトグラフ・紙	30.5×45.5	昭和46年度購入	後期
17	マグリット, ルネ	版画集『マグリットの落とし子たち』より 《魅せられた領域》にもとづくリトグラフ 扉はピロードのような夜に開く……	1968年出版	リトグラフ・紙	27.1×47.7	昭和46年度購入	後期
18	木 下 佳 通 代	UNTITLED	1976年	ゼラチンシルバープリント	各58.2×85 (5点組)	平成21年度駒田哲男・楊子氏寄贈	前期
19	木 下 佳 通 代	UNTITLED	1976年	ゼラチンシルバープリント	85×58.2	平成21年度駒田哲男・楊子氏寄贈	後期
20	木 下 佳 通 代	UNTITLED	1976年	ゼラチンシルバープリント	各85×58 (2点組)	平成21年度駒田哲男・楊子氏寄贈	後期
21	木 下 佳 通 代	作品'77-D	1977年	フェルトペン・写真	72.4×102.8	昭和52年度購入	後期
22	木 下 佳 通 代	'78-23	1978年	カラーフェルトペン・写真	53.5×53.5	平成6年度渡辺健次氏寄贈	前期
23	木 下 佳 通 代	'78-17	1978年	フェルトペン・写真	53.5×68.7	令和元年度森下明彦氏寄贈	後期
24	木 下 佳 通 代	Pa '80-60	1980年	パステル・紙	55.6×75.6	令和元年度森下明彦氏寄贈	前期
25	井 田 照 一	Surface for the Paper Bag No.2	1975-76年	リトグラフ、紙袋・紙	90×63.5	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	後期
26	井 田 照 一	Earl Grey on Gray	1981年	リトグラフ、シルクスクリー ン、ティーバッグの紐・紙	102.5×77	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	前期
27	井 田 照 一	The Paper	1981年	リトグラフ・紙	75×49.5	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	後期
28	井 田 照 一	Wood, Paper, Fire and Rain	1986年	木版・薄紙、紙	74×53.8	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	前期
29	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 1 Wire Net Between Paper and Black Ink No.2	1979年	シルクスクリーン、 金網・紙	46.8×33	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	前期
30	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 2 Paper Between Same Line and Same Line No.3	1979年	リトグラフ、 美濃楮薄紙・紙	49.8×32.9	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	前期
31	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 3 Paper Between Black Ink Stain and Black Ink Stain No.5	1979年	シルクスクリーン、 福井天平紙・紙	46.7×30.9	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	後期
32	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 4 Paper on Paper	1979年	リトグラフ、大洲箔合 三桎紙・紙	47.4×33.2	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	前期
33	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 5 Paper Between Line and Line No.5	1979年	リトグラフ、エッチング、 大洲箔合三桎紙・紙	45.5×30.6	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	後期

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
34	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 6 Paper Between Scratching and Scratching No.6	1979年	リトグラフ、エッチング、 岐阜透写原紙・紙	45.5×30.8	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	前期
35	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 7 Iron Sand on Iron Plate	1979年	シルクスクリーン、 鉄板・紙	46.8×32.9	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	
36	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 8 Falling and Horizontal-Paper as time suspending gravity	1979年	リトグラフ、 美濃楮薄紙・紙	47×33.1	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	後期
37	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 9 Paper Between Dropped Stain and Dispersed Stain-Paper as time suspending gravity	1979年	シルクスクリーン、 福井天平紙・紙	47×32.7	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	前期
38	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 10 Paper Between Touching and Scratching	1979年	リトグラフ、 近江雁皮紙・紙	46.6×31.3	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	後期
39	井 田 照 一	Portfolio“Surface is the Between”-Lotus Sutra 11 Gauze in Ink	1979年	シルクスクリーン・紗、紙	46.5×33	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	後期

II 虚実の混交①ー現実へのまなざし

1	森 村 泰 昌	なにものかへのレクイエム (夕暮れのウラジール 1920.5.5-2007.3.2)	2007年	ゼラチンシルバープリント	120×150	平成23年度作者寄贈	前期
2	森 村 泰 昌	なにものかへのレクイエム (夜のウラジール 1920.5.5-2007.3.2)	2007年	発色現像方式印画	150×187.5	平成23年度作者寄贈	後期
3	高 松 次 郎	影	1966年	金具、ラッカー・板	65×54.6×12		
4	高 松 次 郎	影(#394)	1974-75年	油彩・布	193.8×130.6	山村コレクション	昭和61年度購入
5	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ <インスタレーション(部分再現)>	1992年 (円テーブル2021 年再制作、衡立: 2022年再構成)	赤電話、ランチョンマット(モスリン生 地、レース)、手編みティッシュケース (毛糸)、椅子(モスリン生地張り)、 円テーブル、衡立(モスリン生地張り)	サイズ可変	衡立:個人蔵 衡立以外:令和3年度大和卓司 氏遺贈記念収蔵	
6	西 山 美 な コ	ハ〜イ わたしエリカ♡	1992年	アクリル絵具・パネル	114×119	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
7	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ ポスター(複製)	1992/2023年	インク・紙	各59.2×41.9	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
8	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ ポスター	1992年	インク・紙	59.2×41.9	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
9	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ ポスター[墨消し]	1992/98年	インク・紙	59.2×41.9	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
10	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ 街なかで掲示したベニヤ貼りポス ター	1992年	インク・紙、板	63.5×45.7	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
11	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ 街なかで掲示したベニヤ貼りポス ター	1992年	インク・紙、板	60.9×46	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
12	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ <作品・電話広告媒体>	1992年	案内ポストカード兼チラシ、チラシ、 チラシを入れたポケットティッシュ、 広告を出した雑誌(『月刊漫画ガロ』)		令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
13	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ エリカちゃんメッセージ オリジナル音声	1992-93年	マイクロカセットテープ	各3.8×5.6×1.2 (27個)	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
14	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ 制作資料(アイディアスケッチ)	1992年	鉛筆、インク・紙	21.1×24.2	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
15	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ 制作資料(作品コンセプト)	1992年	鉛筆、インク・紙	21.1×24.2	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
16	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ 制作資料(設営プラン FAX)	1992年	鉛筆、インク・紙	25.7×41.9	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
17	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ 制作資料(設営プラン コピー)	1992年	インク・紙	29.8×42	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
18	西 山 美 な コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ 制作資料(図面)	1992年	鉛筆、インク・紙	25.7×36.4	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
19	西山美奈コ	制作資料(ハ〜イ わたしエリカ♡ 制作資料/ ♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ ポスター原画、指示書 ／案内ポストカード兼チラシ原画、 プラン)	1992年			令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
20	西山美奈コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ 制作資料(エリカちゃんメッセージ 原稿他)	1992年	鉛筆、インク・紙		令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
21	西山美奈コ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ 音声記録	1992/2021年			Ed.1/Ed.1+A.P. 令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
22	—	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ インスタレーション作品記録写真	1992年			西村浩一氏撮影 令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
23	—	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ 活動スナップ写真	1992年			令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
24	高橋耕平	HARADA-san	2013年	映像インスタレーション、 テキスト	サイズ可変 (58分52秒)	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
Ⅲ 現実と改めて「出会う」―「もの派」の作家たち							
1	菅木志雄	中律一連界体	1978年	鉄パイプ、枝	520×430×150	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
2	榎倉康二	無題	1980年	油彩・綿布	198.5×667.7	山村コレクション 昭和61年度山村節子氏寄贈	
3	李禹煥	刻みより	1972年	木	38×28.8×2.2		前期
4	李禹煥	点より	1979年	岩絵具、膠・布	145×111.5		
5	李禹煥	関係項	1983年	石、鉄板、ガラス	40×170×140	山村コレクション 昭和61年度山村節子氏寄贈	
Ⅳ 虚実の混交②一次元を超えて							
1	横山裕一	ふれてみよ①<花園>	2014年	インク、スクリーン・紙	17.7×39	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
2	横山裕一	ふれてみよ②<ミロ変貌>	2014年	鉛筆、インク、ペン修正液、 スクリーン・紙	10.6×47.8	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
3	横山裕一	ふれてみよ④<強風>	2014年	鉛筆、インク、ペン修正液、 スクリーン・紙	21.8×42.2	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
4	横山裕一	ふれてみよ④<強風> (別バージョン)	2014年	鉛筆、インク、ペン修正液、 スクリーン・紙	18.8×41.9	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
5	横山裕一	ふれてみよ⑤<球体>	2014年	インク、スクリーン・紙	20.3×38	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
6	横山裕一	ふれてみよ①<花園>のための ドローイング	2014年	鉛筆・紙	18.8×38.2	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
7	横山裕一	ふれてみよ②<ミロ変貌>のた めのドローイング(1)	2014年	鉛筆、ペン・紙	25.6×36.4	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
8	横山裕一	ふれてみよ②<ミロ変貌>のた めのドローイング(2)	2014年	鉛筆・紙	39.5×56	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
9	横山裕一	ふれてみよ③<望観>のための ドローイング(1)	2014年	鉛筆、ペン・紙	16×51.2	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
10	横山裕一	ふれてみよ③<望観>のための ドローイング(2)	2014年	鉛筆、ペン・紙	14.9×47.1	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
11	横山裕一	ふれてみよ③<望観>のための ドローイング(3)	2014年	鉛筆・紙	25.7×36.4	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
12	横山裕一	ふれてみよ⑤<球体>のための ドローイング	2014年	鉛筆、ペン・紙	14×27.3	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
13	シーガル、ジョージ	ラッシュ・アワー	1983年	石膏・着色	183×244×244	平成13年度購入	
14	白髪一雄	白い作品と扇のオブジェ(赤)	1966年	紙、油彩・布	181×226×65		
15	ダイン、ジム	植物が扇風機になる	1973-74年	アルミニウム	73×31×29.5、 71×45×31、 67×43×33、 67×38×33、 67×38×34	昭和56年度購入	
16	エルンスト、マックス	バステイーユの精霊	1960年	ブロンズ	313×57×34	昭和53年度購入	
17	ジャコメッティ、アルベルト	石碑I	1958年	ブロンズ	167×22.3×20.5	昭和56年度購入	
18	ガボ、ナウム	構成された頭部 No.2	1966年	コールテン銅、着色	178×121.9 ×121.9	平成14年度購入	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
19	井 田 照 一	Between Globe and Globe- Twelve Months	1989-91年	ブロンズ	39.5×30×31.5 直径13	平成23年度イダショウイチスタジオ代表 釋和子氏寄贈	
20	森 口 宏 一	作品	1980年	真鍮	25.7×25×25.7	平成24年度山口勝子氏寄贈	
21	菅 井 汲	小鬼	1962年	ブロンズ	46×22×13	平成7年度購入	
22	ミロ、ジョアン	人物	1974年	ブロンズ	51×47×38	平成3年度購入	
23	アーミテジ、ケネス	バビロンへの道程	1974年	ブロンズ	55.5×16×35	昭和49年度購入	
24	高 橋 清	ひと No.4	1967年	ブロンズ	31.5×18×20	昭和48年度作者寄贈	
25	大 西 伸 明	kyatatsu	2017年	樹脂に塗装	172×68.5×89.5	平成30年度購入	
26	今 村 源	レイゾウコとヤカン	2003年	冷蔵庫、ケトル、アルミ	105×47×52	平成30年度購入	
27	今 村 遼 佑	街灯と辞書 #2	2015年	ミクストメディア	28×17.5×13	平成29年度磯井利光氏寄贈	
28	山 口 勝 弘	ヴィトリヌス「静かな街」	1956年	ガラス、油彩、合成樹脂 絵具、紙、合板	65.0×95.2×10.0	平成22年度購入	
29	山 口 勝 弘	『ANTHOLOGICAL PRINTS 1954-1981』より 夜の進行	1981年	シルクスクリーン・紙	47.1×40.0 (63.0×49.0)	令和元年度向井修一氏寄贈	前期
30	パイク、ナム・ジュン	版画集『無題』	1978年	シルクスクリーン・紙	129.0×138.0	昭和56年度購入	後期
31	堀 内 正 和	線 a	1954年	鉄、セメント	92×65×36.5	昭和51年度購入	
32	林 勇 気	times	2018年	映像インスタレーション (シングルチャンネル4Kビデオ、プ ログラム、プロジェクター、モニター、 リトグラフ印刷された石板、シルク スクリーン印刷されたステンレス鋼 板、レーザープリント印刷された紙、 オーディオ機器)	サイズ可変、 18秒ループ	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	

小磯良平記念室

1	小 磯 良 平	自画像	1925年頃	油彩・板	30×30	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
2	小 磯 良 平	T嬢の像	1926年	油彩・布	116.8×91	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
3	小 磯 良 平	スペインの女	1928年	油彩・布	99.1×80.2	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
4	小 磯 良 平	娘	1935年	油彩・布	59.×41.5	平成30年度公益財団法人 伊藤文化財団寄贈	
5	小 磯 良 平	少女像	1937年	油彩・布	34×21		
6	小 磯 良 平	踊り子	1938年	油彩・布	100.3×73.2	平成29年度武陽会寄贈	
7	小 磯 良 平	腰かける婦人	1938年	油彩・布	61×50.5	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
8	小 磯 良 平	洋裁する女達	1939年	油彩・布	72.5×60.5	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
9	小 磯 良 平	肖像	1940年	油彩・布	100.2×80.5	昭和46年度武田長兵衛氏寄贈	
10	小 磯 良 平	静物	1940年頃	油彩・布	72.6×41	平成6年度購入	
11	小 磯 良 平	斉唱	1941年	油彩・布	100.3×80.8	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
12	小 磯 良 平	外人肖像	1942年	油彩・布	65.7×91	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	
13	小 磯 良 平	森新治氏像	1950年頃	油彩・布	65.2×50	平成3年度森恵一氏寄贈	
14	小 磯 良 平	絵を描く男	1952年	油彩・布	90.8×72.7	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	
15	小 磯 良 平	七里義雄氏像	1956年	油彩・布	45.5×38.2	平成17年度七里喜代子氏寄贈	
16	小 磯 良 平	S博士の肖像	1962年	油彩・布	78.5×66.5	平成27年度鈴江璋子氏寄贈	

金山平三記念室

1	金 山 平 三	習作(氷滑り)	1917年	油彩・布	72.9×91	昭和45年度金山らく氏寄贈	
2	金 山 平 三	スケートリンク	1917年頃	油彩・布	60.2×72.8	金山らく氏寄贈	
3	金 山 平 三	梨咲く頃(大石田)	1917-34年	油彩・布	60.9×80.3	昭和45年度金山らく氏寄贈	
4	金 山 平 三	父の肖像	1919年頃	油彩・布	91×72.6	昭和45年度金山らく氏寄贈	
5	金 山 平 三	下諏訪のスケートリンク	1922年頃	油彩・布	60.9×72.8	平成10年度購入	
6	金 山 平 三	父の像	1924年	油彩・布	90.5×72.5	昭和62年度服部三雄氏寄贈	
7	金 山 平 三	山手(神戸)	1935年頃	油彩・布	33.9×53	金山らく氏寄贈	
8	金 山 平 三	京城の街	1936年	油彩・布	60.5×80.3	金山らく氏寄贈	
9	金 山 平 三	京城郊外	1941年	油彩・布	45.7×60.6	金山らく氏寄贈	
10	金 山 平 三	雪未だ溶けぬ	1945-56年	油彩・布	33.5×45.4	金山らく氏寄贈	
11	金 山 平 三	最上川辺	1945-56年	油彩・布	45.6×64.9	金山らく氏寄贈	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
12	金 山 平 三	大石田の最上川	1948年頃	油彩・布	60.8×91	金山らく氏寄贈	
13	金 山 平 三	静(十和田湖四月)	1950年頃	油彩・布	45.5×65	金山らく氏寄贈	
14	金 山 平 三	川崎造船所	1953年頃	油彩・板	31.8×41	金山らく氏寄贈	
15	金 山 平 三	発荷峠(十和田)	1956-60年頃	油彩・布	41.2×52.9	金山らく氏寄贈	
16	金 山 平 三	四月の大石田	1956-64年	油彩・板	23.2×33	金山らく氏寄贈	
17	金 山 平 三	メリケン波止場(神戸)	1956-60年	油彩・布	33.3×53	金山らく氏寄贈	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	員数	備考	展示期間
近現代の書(常設展示室6 後期)								
1	貫 名 海 屋	行書東坡詩	1859年	紙本墨書	各169.1×370.8	6曲1双	令和4年度稲田和子氏寄贈	
2	中 林 梧 竹	篆書知足以自誠		絹本墨書	24.5×118.1	1面	梅舒適コレクション 令和元年度/3年度稲田和子氏寄贈	
3	大 村 西 崖	穹岫飛泉図	1921年	絹本金地 墨画	各167.4×90.8	2曲1隻 (左隻)	令和3年度静敬太郎氏寄贈	
4	桑 田 笹 舟	命あるまに 東海の	1977年	紙本墨書	36.0×48.2	1幅	昭和53年度作者寄贈	後期
5	桑 田 笹 舟	命あるまに 葛の花	1977年	紙本墨書	36.0×48.2	1幅	昭和53年度作者寄贈	前期
6	桑 田 笹 舟	命あるまに 琴の音に	1977年	紙本墨書	36.0×48.2	1幅	昭和53年度作者寄贈	前期
7	桑 田 笹 舟	命あるまに 夕されば	1977年	紙本墨書	36.0×48.2	1幅	昭和53年度作者寄贈	後期
8	深 山 龍 洞	万葉長歌並びに反歌	1961年	紙本墨書	54.4×178.6	2曲1隻	昭和57年度深山静子氏寄贈	
9	深 山 龍 洞	仏足石歌	1975年	紙本墨書	48.8×166.0	1面	昭和57年度深山静子氏寄贈	
10	深 山 龍 洞	春	1979年	紙本墨書	24.9×18.1, 25.0× 36.5, 12.8×11.7, 14.1×12.6, 22.5× 20.0	1冊	令和4年度森岡隆氏寄贈	
11	難 波 祥 洞	源氏物語 須磨	1980年	紙本墨書	縦23.7	54巻のうち 1巻	昭和55年度作者寄贈	前期
12	難 波 祥 洞	源氏物語 明石	1980年	紙本墨書	縦23.7	54巻のうち 1巻	昭和55年度作者寄贈	後期
13	榎 倉 香 邨	山桜	2002年	紙本墨書	各87.0×90.0	6曲1隻	平成15年度作者寄贈	
14	榎 倉 香 邨	富士A・B	2002年	紙本墨書	各183.0×44.0	2幅	平成15年度作者寄贈	
15	榎 倉 香 邨	マナスル	2002年	紙本墨書	70.0×210.0	1面	平成15年度作者寄贈	
16	上 田 桑 鳩	啼鳥	1968年	紙本墨書	72.0×140.0	1面	昭和58年度飛雲会寄贈	
17	上 田 桑 鳩	茶碗・賛	1968年	紙本墨書	141.2×70.4	1面	昭和58年度飛雲会寄贈	
18	宇 野 雪 村	FUN(奮)		紙本墨書	103.5×66.8	1面	昭和58年度作者寄贈	
19	宇 野 雪 村	ふるさと		紙本墨書	58.6×122.7	1面	昭和58年度作者寄贈	
20	宇 野 雪 村	向寒山		紙本墨書	66.8×31.2, 66.9× 31.2, 67.1×31.2, 67.0×31.2	4曲1隻	昭和58年度作者寄贈	
21	森 田 子 龍	蕭々	1965年	墨・紙	138.2×269.5	4曲1隻	平成5年度作者寄贈	
22	森 田 子 龍	龍	1965年	顔料・漆・紙	79.0×109.1	1面	平成5年度作者寄贈	
23	森 田 子 龍	虎	1965年	顔料・漆・紙	158.0×308.8	4曲1隻	平成5年度美術品取得基金購入	
24	森 田 子 龍	圓	1972年	墨・紙	69.0×89.5	1面	平成5年度美術品取得基金購入	
25	井 上 有 一	鷹	1981年	墨・紙	105.5×127.0	1面	平成3年度田村伊都子氏寄贈	
26	梅舒適・程十髮	白居易琵琶行	1993年	紙本墨書・ 着色	68.6×136.4	1面	梅舒適コレクション 令和元年度/3年度稲田和子氏寄贈	
27	梅 舒 適	義之観鷺図		紙本着色	68.3×33.7	1幅	梅舒適コレクション 令和元年度/3年度稲田和子氏寄贈	前期
28	梅 舒 適	山水図	1982年	紙本着色	133.4×31.2	1幅	梅舒適コレクション 令和元年度/3年度稲田和子氏寄贈	後期
29	梅 舒 適	古塚狐	2002年	紙本墨書・ 鈴印	各116.3×52.1	4曲1隻		
30	梅 舒 適	「古塚狐」白文方印	2002年	石製	5.3×5.3×7.0	1顆		
31	梅 舒 適	「妖且老」朱文方印	2002年	石製	5.0×5.0×4.0	1顆		
32	梅 舒 適	「忽然一笑千万態」白文方印	2002年	石製	8.0×8.0×9.7	1顆	梅舒適コレクション 令和元年度/3年度稲田和子氏寄贈	
33	梅 舒 適	「一朝一夕迷人眼」朱文方印	2002年	木製	5.0×5.0×7.0	1顆	梅舒適コレクション 令和元年度/3年度稲田和子氏寄贈	

(2) 特集2 中国明清の書画篆刻—梅舒適コレクションの精華—

令和5年1月21日(土)～4月9日(日)

第Ⅰ期：1月21日(土)～2月19日(日)

第Ⅱ期：2月28日(火)～4月9日(日)

常設展示室6

主 催：兵庫県立美術館

協 賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

【展覧会内容】

本特集2では、令和元年度・3年度にわたって受贈した「梅舒適コレクション」のなかから、中国明・清時代の書・画・篆刻作品を中心とした93件を精選して紹介した。

梅舒適コレクションの中国明清時代の書・画・篆刻作品の初公開となる本展では、冒頭で梅舒適の書斎設えの再現展示で来場者を迎え、中国の文人世界へといざなうことを試みた。会場では、大幅な展示替えをとともう第Ⅰ期・第Ⅱ期ともに、順路にそって書・画・篆刻作品を交えておよそ時代順に展示し、当時の書画篆刻史を概観できることを意図した。

作品には全点に一点解説を付し、会場では展示作品の一部を掲載して章解説を設けたリーフレットを無料配布し、当館の新たな所蔵品である中国美術との初めての出会いを意識した。コロナ禍以降、徐々に行動の規制が緩和されつつあった時期において、関東や国外からも多くの来場者にご覧いただき、梅舒適コレクションの存在を広く周知することができた。

関連事業 ※参加者数等は令和4年度年報p.70参照

(1) 講演会

KEN-Viスペシャルトーク「梅舒適コレクションの精華を見つめて」

中村伸夫（筑波大学名誉教授、日本書芸院副理事長）

実施日時 3月5日(日) 14:00～15:30

(2) 学芸員による解説会

1月28日(土)、3月18日(土)

いずれも15:00～15:45

印刷物

〔チラシ〕A4 両面カラー ※特集1と共通

〔鑑賞ガイド〕B6 蛇腹折り8頁 両面カラー ※特集1と共通

〔リーフレット〕A4 カラー 16頁

編集・発行：兵庫県立美術館

章解説(9章) 作品図版44点



チラシ



リーフレット



鑑賞ガイド

関連記事

読売新聞	5.1.22（朝刊）	中国繁栄感じる作品展	
典藏 古美術（第365号）	5.2.1	梅舒適之明清書畫篆刻收藏 伍、翻訳：何玉新）	兵庫縣立美術館「梅舒適収蔵精華」特展（剣持翔
産経新聞	5.2.3（夕刊）	明・清時代の優品90点ずらり	
毎日新聞	5.3.8（夕刊）	あまたの思い重なる場所で	
美術新聞	5.12.20（1253号）	書道会のこの一年	

出 品 目 録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	備考	展示期間
1	文 徴 明	行書午門朝見詩	明時代(16世紀)	紙本墨書	157.8×70.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
2	王 寵	草書山静日長語	明・嘉靖8(1528)年	紙本墨書	126.8×31.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
3	莫 是 龍	行書遊泰山詩	明時代(16世紀)	紙本墨書	17.2×118.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
4	祝 世 祿	行書五絶	明時代 (16～17世紀)	紙本墨書	129.9×30.1	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
5	董 其 昌	臨懷素自叙帖	明時代 (16～17世紀)	絹本墨書	25.9×34.4ほか	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
6	陳 繼 儒	行書五言律詩	明時代 (16～17世紀)	金箋墨書	16.0×49.2	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
7	米 万 鍾	草書詞翰双絶	明・天啓元(1621)年	紙本墨書	32.4×464.9	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
8	張 瑞 図	行書玄都壇歌寄元逸人詩	明・天啓5(1625)年	絹本墨書	24.2×205.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
9	張 瑞 図	行書五言律詩	明時代(17世紀)	絹本墨書	229.0×48.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
10	高 陽	秋景山水図	明時代 (16～17世紀)	絹本着色	183.8×70.2			第II期
11	黄 道 周	行書答孫伯観詩	明時代(17世紀)	絹本墨書	148.9×50.8	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
12	黄 道 周	草書答孫伯観詩	明時代(17世紀)	紙本墨書	178.0×47.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
13	王 鐸	行書登華山絶頂詩	明～清時代 (17世紀)	紙本墨書	67.6×23.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
14	倪 元 璐	行書郊外詩	明時代(17世紀)	絹本墨書	128.1×52.4	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
15	査 士 標	山水図冊	清・康熙12(1673)年	紙本墨画・ 墨書	各27.0×34.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
16	査 士 標	行書容台集詩	清時代(17世紀)	絹本墨書	26.1×332.2	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
17	許 友	草書米友堂詩集詩	清時代(17世紀)	紙本墨書	21.0×180.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
18	笄 重 光	行書明德遊仙詞	清時代(17世紀)	絹本墨書	202.2×50.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
19	王 澐	篆書七言聯	清・雍正10(1732)年	紙本墨書	各142.5×25.4	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
20	高 鳳 翰	草書尺牘冊	清・乾隆11(1746)年 ほか	紙本墨書	各23.3×13.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
21	李 鱣	芭蕉秋花図	清・乾隆4(1739)年	紙本墨画淡彩	124.5×43.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
22	金 農	墨梅図	清・乾隆25(1760)年	紙本墨画	100.8×51.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
23	李 方 膺	墨梅図冊	清・乾隆16(1751)年	紙本墨画	各30.5×33.8	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
24	梁 鹹	行書東坡題跋語	清・乾隆41(1776)年	紙本墨書	30.8×343.8	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
25	王 文 治	行書七言聯	清・乾隆57(1792)年	紙本墨書	各130.1×25.6	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
26	羅 聘	墨梅図	清・乾隆48(1783)年	紙本墨画	径52.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
27	桂 馥	隸書贈楊紹司徒詔語	清時代 (18～19世紀)	紙本墨書	117.6×48.8	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	備考	展示期間
28	改 琦	梅花美人図	清・道光2(1822)年	紙本着色	63.0×21.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
29	奚 岡	山水図	清時代 (18～19世紀)	絹本墨画	41.5×168.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
30	孫 星 衍	篆書凝香僊館	清・嘉慶20(1815)年	紙本墨書	39.5×137.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
31	錢 泳	隸書六言聯	清・道光17(1837)年	彩箋墨書	各125.0×29.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
32	錢 杜	四囲山色一層楼図	清・道光9(1829)年	紙本着色	23.6×85.0	令和3年度梅舒適コレクション 活用・研究事業 購入		第II期
33	陳 鴻 寿	四君子図冊	清・嘉慶7(1802)年	紙本墨画淡彩	各23.4×30.6	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
34	陳 鴻 寿	臨譙敏碑	清時代(19世紀)	彩箋墨書	122.8×30.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
35	陳 鴻 寿	隸書五言聯	清時代(19世紀)	紙本墨書	各123.9×30.6	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
36	包 世 臣	楷書八言聯	清時代(19世紀)	彩箋墨書	各174.2×33.9	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
37	趙 之 琛	白梅図	清・道光21(1841)年	紙本着色	133.6×33.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
38	趙 之 琛	臨癸鼎	清時代(19世紀)	紙本墨書	135.7×30.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
39	王 素	梅花仕女図	清・同治3(1864)年	紙本着色	123.4×60.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
40	呉 熙 載	篆書景福殿賦	清・咸豐9(1859)年	紙本墨書	各95.2×19.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
41	呉 熙 載	隸書七言聯	清時代(19世紀)	彩箋墨書	各132.2×30.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
42	何 紹 基	行書七言聯	清時代(19世紀)	紙本墨書	各126.6×29.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
43	何 紹 基	行書七言聯	清時代(19世紀)	紙本墨書	各125.5×31.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
44	張 熊	花卉図	清・同治4(1865)年	紙本着色	30.4×124.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
45	楊 沂 孫	篆書道德經語	清・光緒3(1877)年	紙本墨書	各176.9×45.8	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
46	楊 沂 孫	篆書七言聯	清時代(19世紀)	紙本墨書	各130.9×29.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
47	陳 介 祺	篆書四言聯	清時代(19世紀)	紙本墨書	各58.6×14.8	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
48	楊 峴	臨礼器碑	清・光緒21(1895)年	紙本墨書	各172.1×44.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
49	楊 峴	隸書五言聯	清時代(19世紀)	紙本墨書	各124.4×29.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
50	周 閑、任 薰	博古花卉図	清時代(19世紀)	紙本墨拓・着色	各128.2×47.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
51	胡 公 寿	平安如意図	清時代(19世紀)	紙本墨画	149.0×34.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
52	張 裕 釗	行書七言聯	清時代(19世紀)	紙本墨書	各128.2×28.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
53	胡 澐	篆書管子戒篇語	清時代(19世紀)	紙本墨書	126.3×29.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
54	徐 三 庚	篆書七言聯	清・光緒9(1883)年	彩箋墨書	各124.3×29.2	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
55	徐 三 庚	篆書七言聯	清時代(19世紀)	紙本墨書	各141.6×35.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
56	趙 之 謙	楷書七言聯	清時代(19世紀)	彩箋墨書	各123.9×30.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
57	趙 之 謙	臨劉熊碑	清時代(19世紀)	紙本墨書	83.2×30.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
58	王 冶 梅	奇石図	清・光緒6(1880)年	紙本墨画	138.0×34.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期
59	蒲 華	墨竹図	清・光緒21(1895)年	絹本墨画	40.0×184.1	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第I期
60	蒲 華	四君子図	清・光緒27(1901)年	紙本墨画・墨書	各111.7×28.1	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第II期

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	備考	展示期間
61	蒲 華	富貴図	清時代(19～20世紀)	紙本墨画着色	57.5×38.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
62	錢 慧 安	便面障泥図	清・光緒23(1897)年	紙本着色	126.8×29.2	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅱ期
63	錢 慧 安	白衣観音図	清・光緒27(1901)年	紙本墨画淡彩	139.8×40.7	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅰ期
64	顧 澐	古陶拓片冊	清・光緒19(1893)年	紙本墨拓・墨書	各26.6×15.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅱ期
65	楊 守 敬	行書水経注語	清～中華民国時代 (19～20世紀)	紙本墨書	各152.0×40.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅱ期
66	胡 錫 珪	坡翁笠展図	清時代(19世紀)	紙本墨画淡彩	121.6×32.8	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅱ期
67	呉 滔	山水図	清時代(19世紀)	紙本墨画淡彩	171.2×47.2	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅱ期
68	呉 昌 碩	紅梅図	中華民国6(1917)年	紙本着色	151.3×40.8	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅱ期
69	呉 昌 碩	臨石鼓文	中華民国7(1918)年	紙本墨書	各144.1×39.2	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅰ期
70	呉 穀 祥	早春景図	清・光緒18(1892)年	紙本着色	34.7×43.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅰ期
71	陸 恢	孤館消寒図	清・光緒15(1889)年	絹本着色	117.3×26.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅰ期
72	陸 恢	簡廬図	清～中華民国時代 (19～20世紀)	紙本墨画淡彩	27.0×180.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅱ期
73	倪 田	人物故事図	清・宣統元(1909)年	紙本着色	各147.2×39.4	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅰ期
74	黄 山 寿	花果虫魚・松猿図	清～中華民国時代 (19～20世紀)	紙本着色	各137.1×38.2	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅱ期
75	康 有 為	行書七言聯	清～中華民国時代 (19～20世紀)	彩箋墨書	各137.0×33.2	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅰ期
76	羅 振 玉	篆書七言聯	清～中華民国時代 (20世紀)	紙本墨書	各127.0×27.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅱ期
77	王 一 亭	坡翁笠展図	中華民国11(1922)年	紙本墨画淡彩	139.2×35.9	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		第Ⅱ期
78	文 彭	「醉写青山」白文方印	明時代(16世紀)	水晶製	5.8×5.7×7.8	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
79	趙 之 琛	「艸堂近卜約齋鄰」白文方印	清・道光26(1846)年	石製	2.2×2.2×3.8	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
80	呉 熙 載	「仲陶藉読」白文方印	清・清時代(19世紀)	石製	1.6×1.5×3.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
81	呉 昌 碩	「蒲作英」朱文方印	清・光緒12(1886)年	石製	3.5×3.4×5.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
82	呉 昌 碩	「蒲華」朱文方印	清・光緒30(1904)年	石製	2.6×2.6×4.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
83	呉 昌 碩	「美意延年」白文方印	中華民国9(1920)年	石製	2.6×2.7×8.2	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
84	呉 昌 碩	「蒲華」白文方印	清～中華民国時代 (19～20世紀)	水晶製	2.4×2.5×4.4	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
85	呉 昌 碩	「作英」朱文方印	清～中華民国時代 (19～20世紀)	石製	3.4×3.4×6.4	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
86	葛昌楹 輯	呉趙印存	中華民国20(1931)年	紙本鈐印	25.1×15.1	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
87		蒲作英用印集存	清～中華民国時代 (19～20世紀)	紙本鈐印	25.8×15.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
88		青磁印花唐子文長方硯	明時代(16～17世紀)	磁製	12.9×7.6×5.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
89		五彩唐子文長方硯	明時代(17世紀)	磁製	11.7×6.9×4.5	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
90		青花山水文長方硯	明時代(17世紀)	磁製	17.9×10.7×5.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
91		胭脂紅龍文瓶	清・雍正年間 (1723～1735)	磁製	高31.0 底径11.5	潁川コレクション	重要 美術品	通期
92		瑠璃釉陰刻波濤文長方硯	清時代(17～18世紀)	陶製	22.7×11.9×5.3	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
93-1		蔬菜硯	清時代(17～19世紀)	石製	14.5×7.5×1.6	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期
93-2	方 洺	蔬菜硯 包布	清～中華民国時代 (19～20世紀)	絹本墨画	27.0×27.0	梅舒適コレクション 令和元年度/令和3年度稲田和子氏寄贈		通期

2. コレクション展Ⅱ

(1) 特集 Welcome! 新収蔵品歓迎会

令和5年9月9日(土)～12月24日(日)

主催：兵庫県立美術館

協賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

令和4年度、当館では77点の作品・資料を収蔵した。令和3年度に開催した「関西の80年代」展をはじめ、「美術の中のかたち」展、「チャンネル」展など、過去に当館で開催した企画展の出品作から、長年にわたり支援をいただいている公益財団法人伊藤文化財団による寄贈作品、さらに当館の元館長である木村重信氏の旧蔵品まで、多彩な顔ぶれが揃った。本展の趣旨は、これら様々な出自を持つ作品を、各地から大学にやってきた新入生にたとえて、その歓迎会を開催する、というものである。各章のタイトルは大学のサークルを想起させるものとし、「勧誘—どこかで会ったことある?」「コスチューム研究会」「身体研究会」「風景愛好会」「休部—ただいま不在中」「美術の中のかたち同窓会」「体験入部」「須田剋太交流会」の8つのパートで構成した。うち、「コスチューム研究会」は、同時期に開催された特別展「Perfume: COSTUME MUSEUM」と連動する形で、美術作品における衣服の扱いに着目したものである。また、小磯良平・金山平三両記念室も「小磯良平主宰コスチューム同好会」「金山平三主宰ポージング&コスチューム同好会」と題し、関連展示を行った。



チラシ

関連事業 ※参加者数等はp.103参照

(1) 学芸員による解説会

10月28日(土)、12月2日(土)

いずれも15:00～15:45

(2) こどものイベント

「美術館探偵 “新入り”を調査せよ!!」

9月23日(土・祝) 10:30～12:10

(3) ゆっくり解説会 ※Perfume展、チャンネル14 と共通

11月12日(日) 13:00～14:30

(4) Ken-Vi スペシャルトーク with 澤田知子

12月2日(土) 13:30～14:30

澤田知子(出品作家)



鑑賞ガイド

印刷物

[チラシ] A4 両面カラー ※小企画と共通

[鑑賞ガイド] B6 観音折り8頁 両面4色カラー ※小企画と共通

出 品 目 録						
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
勧誘 一どこかで会ったことある？						
1	元 永 定 正	作品 63-17	1965	アクリル・布	240.6×126	昭和60年度購入
2	丸 本 耕	作品	1966	合成樹脂塗料・板	121.2×91	令和4年度丸本純氏寄贈
3	丸 本 耕	作品	1966	合成樹脂塗料・板	152×91	令和4年度丸本純氏寄贈
4	横 尾 忠 則	滝の中の男	1984	油彩、鏡・布	259×194	平成13年度購入
5	TRIO (福田新之助、浜本隆司、中澤テルユキ)	蟹の学校 (カニクラウン)	1987	アクリル・布	180×180	令和4年度作者寄贈
コスチューム研究会						
1	白 瀧 幾 之 助	某師の像	1918	油彩・布	116.8×91	昭和53年度購入
2	今 村 紫 紅	蘇武	制作年不詳	紙本着彩	98.4×40.3	昭和59年度喜田幾久夫氏寄贈
3	新 井 完 櫛		1933	油彩・布	96.9×130.2	昭和45年度教育委員会管理換
4	亀 高 文 子	支那の少女	1925	油彩・布	63.5×52	平成29年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈
5	小 出 橘 重	芸術家の家族	1919	油彩・布	64×79.5	令和4年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈
6	中 村 義 夫	めがねの婦人	1923	パステル・紙	64.5×53.5	昭和55年度中村一雄氏寄贈
7	小 磯 良 平	S博士の肖像	1962	油彩・布	78.5×66.5	平成27年度鈴江瑋子氏寄贈
8	田 村 孝 之 介	黒い扇子	1949	油彩・布	90.9×72.7	平成19年度伊藤文化財団寄贈
9	東 山 魁 夷	春光	1943	絹本着色	122.5×35.4	令和4年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈
10	澤 田 知 子	cover / C	2002	発色現像方式印画	90×230	令和4年度作者寄贈
11	澤 田 知 子	Costume / AMASAN	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
12	澤 田 知 子	Costume / BASUGAIDO	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
13	澤 田 知 子	Costume / FUKEI	2003	発色現像方式印画	100×80	令和4年度作者寄贈
14	澤 田 知 子	Costume / HAISHA	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
15	澤 田 知 子	Costume / HOIKUSHI	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
16	澤 田 知 子	Costume / KANGOFU	2003	発色現像方式印画	100×80	令和4年度作者寄贈
17	澤 田 知 子	Costume / KASHISHOKUNIN	2003	発色現像方式印画	100×80	令和4年度作者寄贈
18	澤 田 知 子	Costume / KEIBIIN	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
19	澤 田 知 子	Costume / NOMIYA	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
20	澤 田 知 子	Costume / OKAMI	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
21	澤 田 知 子	Costume / OHANAYASAN	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
22	澤 田 知 子	Costume / OMIZU	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
23	澤 田 知 子	Costume / SEISOUIN	2003	発色現像方式印画	100×80	令和4年度作者寄贈
24	澤 田 知 子	Costume / SHINBUN-HAITATSU	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
25	澤 田 知 子	Costume / SHISUTA	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
26	澤 田 知 子	Costume / SHOP-TENIN	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
27	澤 田 知 子	Costume / TAKUSHI-DORAIVA	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
28	澤 田 知 子	Costume / UEITORESUSU	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
29	澤 田 知 子	Costume / UKETSUKEJO	2003	発色現像方式印画	80×100	令和4年度作者寄贈
30	澤 田 知 子	Costume / YAOYA	2003	発色現像方式印画	100×80	令和4年度作者寄贈
31	澤 田 知 子	Costume / BIJUTSU-KANCHOU / 1	2004	発色現像方式印画	100×125	令和4年度作者寄贈
身体研究会						
1	フォートリエ, ジャン	トルソ	1928	ブロンズ	65×30×22	昭和53年度購入
2	フォートリエ, ジャン	はだけた胸	1947	エッチング・紙	26.5×20.8	昭和50年度購入
3	フォートリエ, ジャン	トルソ	1947	エッチング・紙	26.5×20.8	昭和50年度購入
4	フォートリエ, ジャン	ベイビー・マイン	1947	カラーエッチング・紙	27.7×33.5	昭和50年度購入
5	フォートリエ, ジャン	少女	1947	カラーエッチング・紙	14.7×17.8	昭和50年度購入

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
6	フォートリエ, ジャン	紫の小さなトルソ	1947	エッチング・紙	13×12.5	昭和50年度購入
7	フォートリエ, ジャン	女の小さなトルソ	1947	カラーエッチング・紙	30.8×24.5	昭和50年度購入
8	フォートリエ, ジャン	女の誕生	1948	エッチング・紙	54.8×79	昭和50年度購入
9	フォートリエ, ジャン	青の上の裸婦	1955	カラーエッチング・紙	53.8×47.6	昭和50年度購入
10	アーミテ이지, ケネス	立っている人物	1971	フォトエッチング・紙	30.5×14.7	昭和50年度カサハラ画廊寄贈
11	アーミテ이지, ケネス	子供たち	1971	フォトエッチング・紙	26×35.9	昭和50年度カサハラ画廊寄贈
12	アーミテ이지, ケネス	飛び跳ねている人物	1974	シルクスクリーン、 フォトエッチング・紙	54×67	昭和50年度カサハラ画廊寄贈
13	アーミテ이지, ケネス	走っている少女とスクリーン	1974	エッチング・紙	20×25	昭和50年度カサハラ画廊寄贈
14	アーミテ이지, ケネス	走っている少女と手すり	1974	エッチング・紙	14.9×20	昭和50年度カサハラ画廊寄贈
15	アーミテ이지, ケネス	月と人物	1974	エッチング・紙	15×20	昭和50年度カサハラ画廊寄贈
16	アーミテ이지, ケネス	縞模様のスカートの少女	1974	アルミニウム・彩色	42×13×15	令和4年度公益財団法人 伊藤文化財団寄贈
17	三 尾 公 三	追想	1979	アクリル・パネル	53×45.6	令和4年度木村文氏寄贈
18	三 尾 公 三	床の女(『fiction space PARTI』より)	1983	シルクスクリーン、リトグラフ・紙	33.5×33.5	令和4年度木村文氏寄贈
19	三 尾 公 三	紙の女(『fiction space PARTI』より)	1983	シルクスクリーン、リトグラフ・紙	33.5×33.5	令和4年度木村文氏寄贈
20	三 尾 公 三	室の女(『fiction space PARTI』より)	1983	シルクスクリーン、リトグラフ・紙	33.5×33.5	令和4年度木村文氏寄贈
21	三 尾 公 三	布の女(『fiction space PARTIII』より)	1984	シルクスクリーン、リトグラフ・紙	50×38	令和4年度木村文氏寄贈
22	三 尾 公 三	卓の女(『fiction space PARTIII』より)	1984	シルクスクリーン、リトグラフ・紙	50×38	令和4年度木村文氏寄贈
23	三 尾 公 三	牀の女(『fiction space PARTIII』より)	1984	シルクスクリーン、リトグラフ・紙	50×38	令和4年度木村文氏寄贈
24	舟 越 桂	消えない水滴	1986	彩色、大理石、楠木	80×52.5×26	平成23年度購入
25	舟 越 桂	青い森で	2013	メゾチント、アクアチント・紙	49.7×35.9	平成30年度購入
26	舟 越 桂	眠らないスフィンクス	2013	メゾチント・紙	44.7×35.6	平成30年度購入
27	舟 越 桂	荒地の夜	2013	メゾチント・紙	44.5×35.6	平成30年度購入
28	舟 越 桂	大切な言葉	2013	メゾチント・紙	49.6×35.8	平成30年度購入
29	舟 越 桂	オーロラを見るスフィンクス	2013	メゾチント・紙	49.7×35.8	平成30年度購入

風景愛好会

1	岡 田 三 郎 助	桃の咲きたる風景	1934	油彩・布	53×38	令和4年度公益財団法人 伊藤文化財団寄贈
2	菱 田 春 草	夜明けの海	制作年不詳	絹本着色	85×50	令和4年度公益財団法人 伊藤文化財団寄贈
3	川 北 霞 峰	月下帆船図(円窓)	制作年不詳	絹本墨画	径35.7	昭和59年度喜田幾久夫氏寄贈
4	ブルリューク, デヴィド	大島から見た富士山	1920	油彩・布	50.4×60.8	令和4年度公益財団法人 伊藤文化財団寄贈
5	ブルリューク, デヴィド	西須磨海岸	1921	油彩・布	33.5×45.1	令和4年度公益財団法人 伊藤文化財団寄贈
6	ブルリューク, デヴィド	風景	1921	油彩・布	33.8×46.5	昭和58年度森本智二郎氏寄贈
7	金 山 平 三	無題(港)	1913-15	油彩・布	53.2×65.3	昭和45年度金山らく氏寄贈
8	藤 田 鶴 夫	(作品)	制作年不詳	油彩・布	130.8×162.6	令和4年度藤田尚弘氏寄贈
9	河合(田中)美和	5月の陽気	1985	油彩・布	194×260	令和4年度作者寄贈
10	林 勇 気	landscape	2009	映像インスタレーション(3チャ ンネルFHDビデオ、プロ ジェクター、オーディオ機器) 音楽:ナカガイトイサオ(from SJQ)	サイズ可変、3分30秒 ループ/Dimensions variable, 3 minutes 30 seconds (loop)	令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵

休部 一ただいま不在中

1	恩 地 孝 四 郎	海(三部作の内中央)	1937	木版・紙	87×50	令和4年度公益財団法人 伊藤文化財団寄贈
2	阿 部 合 成	見送る人々	1938	油彩・板	137.4×165.6	昭和47年度購入
3	奥 田 善 巳	ネガへの挑発	1967	油彩・布	92×162.3	平成26年度石橋直樹氏寄贈
4	北 山 善 夫	歴史は死者がつくった	2000-09	インク・紙	211×276	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵
5	吉 原 英 里	M氏の部屋	1986	アクリル絵具・ベニヤパネル、 額装版画、傘、帽子、スカーフ	サイズ可変	令和4年度作者寄贈
6	野 依 幸 治	1×1=2	2018	油彩、砂・布	130.4×65.2	令和4年度作者寄贈

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
美術の中のかたち同窓会						
1	ロダン, オーギュスト	痙攣する大きな手	1889 (1973鑄造)	ブロンズ	46.5×27×20.5	昭和48年度購入
2	ロダン, オーギュスト	永遠の青春	1884	ブロンズ	64×53×53	昭和47年度購入
3	ブールデル, エミール=アントワース	アダムの手	1889	ブロンズ	34×15.5×14	昭和48年度購入
4	ブールデル, エミール=アントワース	風の中のペーター・ヴェン	1904-08	ブロンズ	120×55×61	昭和45年度教育委員会管理換
5	マイヨール, アリステイド	手	1938	ブロンズ	15.5×31.5×11	昭和48年度購入
6	デュシャン=ヴィヨン, レイモン	ボードレール	1911	ブロンズ	40×25×29	昭和57年度購入
7	ガボ, ナウム	構成された頭部 No.2	1966	コールドテン鋼、着色	178×121.9×121.9	平成14年度購入
8	ザッキン, オシップ	破壊された街	1947	ブロンズ	126×57×50	昭和55年度購入
9	ミロ, ジョアン	人物	1974	ブロンズ	51×47×38	平成3年度購入
10	ムーア, ヘンリー	母子像	1978	ブロンズ	58×35.2×22	昭和57年度購入
11	高田博厚	ポーレット像	1968	ブロンズ	56×32×22	昭和57年度伊藤文化財団寄贈
12	ジャコメッティ, アルベルト	石碑I	1958	ブロンズ	167×22.3×20.5	昭和56年度購入
13	シーガル, ジョージ	ラッシュ・アワー	1983	石膏・着色	183×244×244	平成13年度購入
14	青木千絵	BODY 17-1	2017	漆、麻布、スタイロフォーム	280×60×55	令和4年度藤田裕一氏寄贈

体験入部

1	山口勝弘	ヴァイトリーヌ 静かな街	1956	ガラス、油彩、合成樹脂 絵具・合板	65×95.2×10	平成22年度購入
2	山崎 亨	Revolver	1985	ポリエステル樹脂、 油彩、スプルス材	150×25×43.5	令和4年度寺田眞理子氏寄贈
3	国谷隆志	Untitled (SteleI)	2015	ネオン、ガラス、スチール、 変圧器、コード	140×135×135	令和4年度大和卓司氏遺贈記念収蔵

須田剋太交流会

1	前田藤四郎	サンドイッチマン	1960	木版・紙	71.2×55.4	昭和45年度購入
2	前田藤四郎	カッパドキヤ	1974	リノカット・紙	54.8×65	令和4年度木村文氏寄贈
3	吉原治良	牧歌	1952	油彩・布	130×194	昭和60年度伊藤文化財団寄贈
4	吉原治良	作品	1961	油彩・布	162.3×130.9	昭和61年度購入(山村コレクション)
5	吉原治良	作品(赤地に青い円弧)	1970	アクリル・布	72.9×91	昭和60年度購入
6	須田剋太	バイタリティ	1958	油彩・布	194.5×131	平成11年度須田正子氏寄贈
7	須田剋太	作品	1964	油彩・布	194.2×130.5	平成11年度須田正子氏寄贈
8	須田剋太	作品 1965 縄文記号	1965	油彩、ジュラルミン粉、 紙・麻布	227×181	昭和61年度購入(山村コレクション)
9	須田剋太	作品 1965 曼陀羅	1965	油彩、ジュラルミン粉、 紙・麻布	228×180	昭和61年度購入(山村コレクション)
10	須田剋太	作品	1971	油彩・布	194×130.5	平成11年度須田正子氏寄贈
11	須田剋太	作品 1974 青A	1974	油彩・布	194×130.3	平成11年度須田正子氏寄贈
12	須田剋太	作品 1976 青	1976	油彩・布	162.3×130.2	平成3年度須田静氏寄贈
13	須田剋太	行心	1981	墨・紙	40.7×31.7	令和4年度木村文氏寄贈
14	須田剋太	むくげ(『花と華』より)	1983	シルクスクリーン・紙	45×35	令和4年度木村文氏寄贈
15	須田剋太	ひまわり(『花と華』より)	1983	シルクスクリーン・紙	45×34.8	令和4年度木村文氏寄贈
16	須田剋太	つばき(『花と華』より)	1983	シルクスクリーン・紙	45.4×35.1	令和4年度木村文氏寄贈
17	須田剋太	抽象	制作年不詳	グワッシュ・紙	74×58	令和4年度木村文氏寄贈
18	須田剋太	抽象	制作年不詳	グワッシュ・紙	70.4×60.8	令和4年度木村文氏寄贈
19	須田剋太	生命根源	制作年不詳	墨・紙	34.5×33.9	令和4年度木村文氏寄贈
20	長谷川三郎	無題	1949	油彩・布	57.5×29.5	昭和62年度伊藤文化財団寄贈
21	長谷川三郎	NON-FIGURE	1953	混合技法	136.3×68.7	昭和62年度伊藤文化財団寄贈
22	津高和一	埋葬	1952	油彩・布	65.2×91	昭和61年度購入(山村コレクション)
23	津高和一	雷神	1958	油彩・布	97×130	昭和61年度購入(山村コレクション)
24	津高和一	無名への挑戦	1960	油彩・布	112.5×194	昭和61年度購入(山村コレクション)
25	津高和一	像	1971	油彩・布	162×130	昭和61年度購入(山村コレクション)

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
26	津 高 和 一	宙	1984	油彩・布	130.4×162	平成8年度 津高和一相続財産管理人寄贈
27	森 田 子 龍	坐組上	1969	墨・紙	138.5×266.5	平成5年度作者寄贈
28	植 木 茂	トルソ	1965	木	133×78×46	昭和61年度購入(山村コレクション)

小磯良平主宰コスチューム同好会

1	小 磯 良 平	自画像	1928	油彩・布	45×37.6	昭和55年度武田繁子氏寄贈
2	小 磯 良 平	T嬢の像	1926	油彩・布	116.8×91	昭和55年度武田繁子氏寄贈
3	小 磯 良 平	スペインの女	1928	油彩・布	99.1×80.2	昭和55年度武田繁子氏寄贈
4	小 磯 良 平	横臥裸婦	1935	油彩・布	72.5×116.5	昭和55年度武田繁子氏寄贈
5	小 磯 良 平	娘	1935	油彩・布	59.0×41.5	平成30年度公益財団法人 伊藤文化財団寄贈
6	小 磯 良 平	踊り子	1938	油彩・布	100.3×73.2	平成29年度武陽会寄贈
7	小 磯 良 平	洋裁する女達	1939	油彩・布	72.5×60.5	昭和55年度武田繁子氏寄贈
8	小 磯 良 平	踊り子群像	1939	油彩・布	50.5×72.5	
9	小 磯 良 平	肖像	1940	油彩・布	100.2×80.5	昭和46年度武田長兵衛氏寄贈
10	小 磯 良 平	和装婦人像	1940	油彩・布	72.7×40.9	昭和55年度武田繁子氏寄贈
11	小 磯 良 平	斉唱	1941	油彩・布	100.3×80.8	昭和55年度武田繁子氏寄贈
12	小 磯 良 平	外人肖像	1942	油彩・布	65.7×91	平成元年度 沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈
13	小 磯 良 平	絵を描く男	1952	油彩・布	90.8×72.7	平成元年度 沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈
14	小 磯 良 平	横臥裸婦	1956	油彩・布	60.8×91.5	
15	小 磯 良 平	室内(書齋にて)	1962	油彩・布	91×91	平成29年度武陽会寄贈
17	小 磯 良 平	金井元彦氏像	1980	油彩・布	53.2×41	平成3年度金井繁子氏寄贈
16	小 磯 良 平	婦人(二人)	制作年不詳	油彩・布	52.2×44.4	平成元年度 沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈

金山平三主宰ボーシング&コスチューム同好会

1	金 山 平 三	無題(水汲み女)	1912	油彩・布	73.1×92.2	昭和45年度金山らく氏寄贈
2	金 山 平 三	無題(靴下をはく女)	1913	油彩・布	80.2×100	昭和45年度金山らく氏寄贈
3	金 山 平 三	無題(屋根のある風景)	1914-15	油彩・カルトン	45.9×38.3	昭和45年度金山らく氏寄贈
4	金 山 平 三	無題(庭先)	1915	油彩・布	50×60.8	昭和45年度金山らく氏寄贈
5	金 山 平 三	京城	1917	油彩・布	60.5×72.8	昭和45年度金山らく氏寄贈
6	金 山 平 三	雪晴れ	1917-34	油彩・布	41×53	昭和52年度三輪きみ氏寄贈
7	金 山 平 三	無題(働く人)	1924	油彩・布	53.4×73	昭和45年度金山らく氏寄贈
8	金 山 平 三	祭りの女	1924	油彩・布	90.8×116.5	昭和57年度三輪きみ氏寄贈
9	金 山 平 三	画稿(日清役平壤戦)	1924-33	油彩・布	80.5×65.3	昭和45年度金山らく氏寄贈
10	金 山 平 三	女の肖像	1932	油彩・布	60.8×46	金山らく氏寄贈 (昭和45年度教育委員会管理換)
11	金 山 平 三	無題(白衣の肖像)	1936	油彩・布	80.4×65.1	昭和45年度金山らく氏寄贈
12	金 山 平 三	首里	1941	油彩・布	45.7×65.1	昭和45年度金山らく氏寄贈
13	金 山 平 三	無題(琉球婦人)	1941	油彩・布	25.8×20.5	昭和45年度金山らく氏寄贈
14	金 山 平 三	画稿(男)	1941	油彩・布	32×23.5	昭和45年度金山らく氏寄贈
15	金 山 平 三	布つくろい	1945-56	油彩・布	33.3×53	金山らく氏寄贈 (昭和45年度教育委員会管理換)
16	金 山 平 三	井戸	1945-56	油彩・布	41×53	金山らく氏寄贈 (昭和45年度教育委員会管理換)
17	金 山 平 三	大石田の最上川	1948	油彩・布	60.8×91	金山らく氏寄贈 (昭和45年度教育委員会管理換)
18	金 山 平 三	石割り	1956-60	油彩・板	23.8×32.9	金山らく氏寄贈 (昭和45年度教育委員会管理換)
19	金 山 平 三	無題(丘遠望)	1961	油彩・布	38.1×45.3	昭和45年度金山らく氏寄贈
20	金 山 平 三	写生	制作年不詳	油彩・板	11.4×15.7	昭和57年度三輪きみ氏寄贈
21	金 山 平 三	男習作	制作年不詳	油彩・布	72.8×91	昭和57年度三輪きみ氏寄贈
22	金 山 平 三	踊りの衣装	制作年不詳	油彩・紙	23.1×33.1	昭和58年度三輪潤次郎氏寄贈

(2) 小企画 美術の中のかたち—手で見る造形 遠藤薫 眼と球

令和5年9月9日(土)～12月24日(日)

主 催：兵庫県立美術館
後 援：兵庫県社会福祉協議会、神戸市社会福祉協議会
協 賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、兵庫県立美術館「芸術の館友の会」
助 成：公益財団法人神戸文化支援基金
協 力：日本製麻株式会社、小泉製麻株式会社、AiRK（Artist in Residence Kobe）

兵庫県立美術館では、前身である兵庫県立近代美術館の時代である1989年より「美術の中のかたち—手で見る造形」と題する展覧会を継続的に開催してきた。本企画は、作品に触れて鑑賞することで、視覚に障がいのある方にも美術鑑賞を開くとともに、視覚に重点を置いてきた鑑賞のあり方を捉えなおすことを目指したものである。

令和5年度の本展では、布を中心に、土地のリサーチなどを交えて制作を行う遠藤薫氏の個展形式で開催した。展示準備期間中に作家が妊娠・出産を経験したことや、視覚の成り立ちや生命の誕生についてのリサーチから、絵画の初めの段階であるキャンバスという布が制作された。展示は、作家自作のキャンバス、制作に使われた材料、視覚に障がいのある方の妊娠・出産についてのインタビューなどの複数の要素によるインスタレーション形式となり、硬い彫刻の触感とは異なる触察を提供する、独自性の高い企画となった。



チラシ

関連事業 ※参加者数等はp.103参照

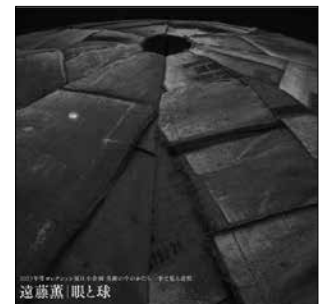
(1) 学芸員によるガイドツアー

9月24日(日)、11月19日(日) いずれも15:00～15:45

印刷物

〔チラシ〕A4 両面カラー ※特集と共通

〔リーフレット〕A3変形 二つ折り 両面カラー 作品図版7点、作品解説



リーフレット

関連記事

朝日新聞 (夕刊) 5.10.17 触って嗅いで 布で「見る」を探求 遠藤薫展 (神宮桃子)

出 品 目 録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1	遠 藤 薫	眼と球	2023	インスタレーション、麻布の落下傘(キャンバス)、麻の着物、名画の刺繍の裏、船模型等	可変	作家蔵

3. コレクション展Ⅲ

(1) 特集 美術の中の物語

令和6年1月13日(土)～4月7日(日)

主 催：兵庫県立美術館

協 賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

兵庫県立美術館の所蔵するコレクションの中からテーマに沿って作品を展示する「特集」では、「美術」と「物語」をテーマとした展示を行った。「物語」と関わりのある作品は、美術の歴史の中で数多く制作されているが、神話や有名な物語、歴史上の事件の一場面を題材とした絵画作品だけでなく、小説の挿絵や個人の物語を想起させる作品も含めた上で、物語と関係の深い美術作品を展示室ごとにテーマを設定して展示した。

展示室4では、「関西写壇物語」と題し、同時期開催の安井仲治展と関連して、兵庫県立美術館所蔵および寄託の写真作品を紹介するという試みを行った。また、小磯良平記念室では画家の人生の転機を示すような作品を、金山平三記念室では実景を描いた風景画の持つ、描かれた時代を物語るドキュメント的な性質に着目した作品を展示し、特集のテーマと関連付けを行った。



鑑賞ガイド

関連事業 ※参加者数等はp.103参照

(1) 学芸員による解説会

1月27日(土)、3月2日(土) いずれも15:00～15:45

(2) ゆっくり解説会 in Winter ※安井仲治展、小企画と共通

1月14日(日) 13:00～14:30

(3) こどものイベント「美術館探偵“物語”を調査せよ！」

2月18日(土) 10:30～12:10

(4) ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の毎週土曜日13:00～13:30

印刷物

〔鑑賞ガイド〕B6 観音折り8頁 両面カラー ※小企画と共通

出 品 目 録							
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
展示室1 私たちの物語							
1	菊 池 容 斎	天孫降臨図		絹本着彩	99×31		前期
2	菊 池 容 斎	児島高德朝臣題桜樹		紙本着彩	127×50		後期
3	神 中 糸 子	桃太郎		油彩・布	65.9×52	昭和53年度神中茂次氏寄贈	
4	北 村 四 海	橘媛	1915	ブロンズ	170×260×30	平成21年度野村殖産株式会社寄贈	
5	天 岡 均 一	国土生成神青銅像	1915頃	ブロンズ	45×32.5×34	昭和46年度石崎正子氏寄贈	
6	天 岡 均 一	住吉明神銀像	1916頃	銀、ブロンズ	39.5×25×25	昭和46年度石崎正子氏寄贈	
7	和 田 三 造	朝鮮総督府壁画画稿(三幅対)	1926頃	油彩・紙	右:110.1×118.2 中:140.7×135.1 左:110.2×118	昭和59年度 財団法人伊藤文化財団寄贈	
8	斎 藤 与 里 春		1918	油彩・布	130.9×162.4	昭和45年度購入	
9	新 井 完	鹿の本生譚	1927	油彩・布	91×72.5	昭和45年度教育委員会管理換	
10	不 動 立 山	朝顔日記深雪之図	1911	絹本着彩	198.7×70.9	平成6年度購入	前期
11	青 山 熊 治	高原	1926	油彩・布	201.8×363	昭和45年度購入	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
12	中山正実	ユーロッパ	1949	油彩・布	90.8×116	昭和59年度中山時子氏寄贈	後期
13	中山正実	夕空の聖母	1955	油彩・ステンレス	98.6×58.6	昭和59年度中山時子氏寄贈	
14	中山正実	黙示録の騎士	1957	油彩・布	145.7×97.2	昭和55年度購入	
15	中山正実	黙示録の天国		油彩・布	53.2×45.7	昭和59年度中山時子氏寄贈	
16	岡本神草	アダムとイブ		紙本着彩	47.8×92.5	平成20年度財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
17	田中忠雄	ゲッセマネ三題 イエスを売る	1958	油彩・布	130.7×162.1	昭和60年度財団法人伊藤文化財団寄贈	
18	田中忠雄	ゲッセマネ三題 イエスの祈り	1958	油彩・布	130×103.5	昭和60年度作者寄贈	
19	田中忠雄	ゲッセマネ三題 イエスを捕る	1958	油彩・布	130×103.5	昭和60年度作者寄贈	
20	作者不詳	神風		絹本着彩	129×42.1		後期

展示室2 画と文の物語

1	タリ,サルヴァドール	マルキドサドの3つの戯曲に基づくグワッシュ原画による25点のトリグラフ「双生児あるいは困難な選択」より	1969	リトグラフ・紙			
-1		デュモンの到着			53.2×43	昭和45年度購入	
-2		デュモンとマートン			53.2×43.3	昭和45年度購入	
-3		シリーズ、ジェルメイユの手紙を受け取る			53×43	昭和45年度購入	
-4		アデレードの約束			53.4×43	昭和45年度購入	
-5		ダミスとデュルヴァル			53×42.9	昭和45年度購入	
-6		ダミスのジレンマ			53.2×43	昭和45年度購入	
-7		双生児、ダミスの裏をかく			53.4×43.1	昭和45年度購入	
-8		「終わりなければすべてよし」			53.1×42.8	昭和45年度購入	
2	横尾忠則	『うろつき夜太』より	1973				
-1		第1回 海と男と女と		アクリル・写真	35.5×50	平成13年度購入	
-2		第1回 海と男と女と		アクリル・布	50×60.5	平成25年作者寄贈	
-3		第2回 敵と味方と		アクリル・写真	35.5×52.8	平成13年度購入	
-4		第2回 敵と味方と		アクリル・布	50×60.6	平成25年作者寄贈	
-5		第3回 関所とはなれ業と		アクリル・写真	42×43.5	平成13年度購入	
-6		第4回 月と小判と		アクリル・布	35×49	平成13年度購入	
-7		第5回 賭場とオランダ人と		アクリル・紙	53.5×36.5	平成25年作者寄贈	
-8		第8回 女心と謎と		アクリル・布	41×28	平成13年度購入	
-9		第11回 怒りと急所と		アクリル・布	41×53	平成25年作者寄贈	
-10		第15回 取引と幽霊と		アクリル・布	53×40	平成13年度購入	
-11		第13回 桜花と挑戦と		アクリル・布	53×45.5	平成25年作者寄贈	
-12		第16回 居候と厠と		アクリル・布	50×60.5	平成13年度購入	
-13		第24回 火焰と行為と		アクリル・布	33.3×24.4	平成25年作者寄贈	
-14		第25回 夕立と女囚と		アクリル・写真	30×44	平成13年度購入	
-15		第26回 楊子と釣針と		アクリル・写真	42.1×29.5	平成25年作者寄贈	
-16		第29回 生と死と酒と		アクリル・写真	27.8×18.8	平成13年度購入	
-17		第30回 高原と馬場と		アクリル・写真	42×53.3	平成25年作者寄贈	
-18		第33回 書簡と兄弟と		アクリル・布	40.5×32	平成25年作者寄贈	
-19		第36回 作者メモと南仏と		アクリル・厚紙	36.2×51.4	平成25年作者寄贈	
-20		第38回 酔いと裸身と		アクリル・写真	22.4×27	平成25年作者寄贈	
-21		第46回 尼寺とストーリーと		アクリル・写真	17×26	平成13年度購入	
-22		第46回 尼寺とストーリーと		アクリル・写真	16.5×26	平成13年度購入	
-23		第48回 独語と救助と		アクリル・布	33.4×45.3	平成25年作者寄贈	
-24		最終回 砲火と「花の都パリと」		アクリル・写真	27.1×18.4	平成13年度購入	
3	横尾忠則	うろつき夜太 I	1993	シルクスクリーン・紙	45.4×69.8	平成13年度購入	
4	横尾忠則	うろつき夜太 II	1993	シルクスクリーン・紙	32.5×50	平成13年度購入	
5	横尾忠則	うろつき夜太 III	1993	シルクスクリーン・紙	26.3×40.2	平成13年度購入	
6	横尾忠則	うろつき夜太 IV	1993	シルクスクリーン・紙	26.3×40.2	平成13年度購入	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
展示室3 私とあなたの物語							
1	阿 部 合 成	見送る人々	1938	油彩・板	137.4×165.6	昭和47年度購入	
2	森 泰	ああ 我が亭主 森啓大収穫ニテ喜ブノ図	1991	リトグラフ・紙	51.5×38.3	平成24年度山口勝子氏寄贈	前期
3	森 泰	ああ 我が亭主	1991	リトグラフ・紙	51.5×38.3	平成24年度山口勝子氏寄贈	前期
4	森 泰	ああ 我が亭主 森啓ネドコニテ音ヲ放ツ	1991	リトグラフ・紙	38×51.5	平成24年度山口勝子氏寄贈	後期
5	森 泰	ああ 我が亭主	1991	リトグラフ・紙	51.3×38	平成24年度山口勝子氏寄贈	後期
6	丸 本 耕	閉じた天邪鬼	1958	油彩・布	130.5×97	令和4年度丸本純氏寄贈	
7	中 西 勝	日本アクロバット	1956	油彩・布	130×193.4	昭和45年度購入	
8	小 林 二 郎	叫び	1957頃	油彩・布	98×161	平成6年度作者寄贈	
9	片 山 昭 弘	日本列島シリーズ 重油富士	1956	油彩・布	73×91	平成15年度作者寄贈	
10	吉 村 益 信	豚・pig lib;	1971	豚の剥製、プラスチック、ワックス、木	86×136×72	山村コレクション 昭和61年度購入	
11	東 山 嘉 事	モー・モー・モー	1956	油彩・布	103.5×61.5	平成21年度東山とし子氏寄贈	
12	郭 徳 俊	腹話術II	1967	ミクストメディア(石膏、 胡粉、樹脂、絵具、板)	151×112.5	平成22年度購入	
13	中 辻 悦 子	内外	1983	アクリル・布	182.5×228	山村コレクション 昭和61年度山村節子氏寄贈	
14	中 辻 悦 子	合図－eyes－	1990	アクリル・紙	19.6×15.5	平成24年度山口勝子氏寄贈	
15	中 辻 悦 子	合図－eyes－人の形	1998	アクリル・布	41×32	平成24年度山口勝子氏寄贈	
16	中 辻 悦 子	無題	2004	アクリル・布	41×31.6	平成24年度山口勝子氏寄贈	
17	中 辻 悦 子	無題	2006	アクリル・布	41×32	平成24年度山口勝子氏寄贈	
18	中 馬 泰 文	エアポートにて	1977	ローラー、カラーインク、エッチングインク、アクリル、水彩、シルクスクリーン・布	182.4×116.9	平成29年度中馬泰文氏寄贈	
19	中 馬 泰 文	スタジアムにて	1977	ローラー、カラーインク、エッチングインク、アクリル、水彩、シルクスクリーン・布	182.4×116.9	平成29年度中馬泰文氏寄贈	
20	小 幡 正 雄	結婚式		色鉛筆・段ボール紙	53×67	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	前期
21	小 幡 正 雄	花瓶		色鉛筆・段ボール紙	48.7×57	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	前期
22	小 幡 正 雄	結婚式		色鉛筆・段ボール紙	33×44	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	前期
23	小 幡 正 雄	船		色鉛筆・段ボール紙	31.5×60.5	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	前期
24	小 幡 正 雄	軍艦		色鉛筆・段ボール紙	60.5×87.3	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	前期
25	小 幡 正 雄	結婚式		色鉛筆・段ボール紙	27.6×46.4	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	前期
20	小 幡 正 雄	花		色鉛筆・段ボール紙	53×67	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	後期
21	小 幡 正 雄	祭屋台		色鉛筆・段ボール紙	48×56.5	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	後期
22	小 幡 正 雄	男女		色鉛筆・段ボール紙	41×69	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	後期
23	小 幡 正 雄	結婚式		色鉛筆・段ボール紙	34.5×56.3	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	後期
24	小 幡 正 雄	動物		色鉛筆・段ボール紙	30.5×60.7	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	後期
25	小 幡 正 雄	結婚式		色鉛筆・段ボール紙	34×43.5	平成27年度小幡正雄相続管理人寄贈	後期
26	森 村 泰 昌	なにものかへのレクイエム (独裁者はどこにいる2)	2007	発色現像方式印画	150×120	平成23年度作者寄贈	
27	森 村 泰 昌	なにものかへのレクイエム (独裁者はどこにいる3)	2007	発色現像方式印画	150×120		
28	大 岩 オ ス カ ー ル	ぶらじる丸	2015	油彩・布	137.7×273.1		
29	や な ぎ み わ	案内嬢の部屋B1	1997	発色現像方式印画	180×400	平成28年度購入	
展示室4 関西写壇物語							
1	中 山 岩 太	福助足袋	1930	ゼラチンシルバープリント	16.5×12	寄託(中山岩太の会蔵)	
2	中 山 岩 太	セルフ・ポートレイト	1930	ゼラチンシルバープリント	15.2×20.1	寄託(中山岩太の会蔵)	
3	中 山 岩 太	…	1932	ゼラチンシルバープリント	30.5×25.4	寄託(中山岩太の会蔵)	
4	中 山 岩 太	第1回神戸みなとの祭	1933	ゼラチンシルバープリント	28.1×23	寄託(中山岩太の会蔵)	
5	中 山 岩 太	第1回神戸みなとの祭	1933	ゼラチンシルバープリント	28.1×21.8	寄託(中山岩太の会蔵)	
6	中 山 岩 太	テイトレータ	1936	ゼラチンシルバープリント	39×49.5	寄託(中山岩太の会蔵)	
7	中 山 岩 太	ポートレイト(渡辺はま子)	1936	ゼラチンシルバープリント	55.5×44.9	寄託(中山岩太の会蔵)	
8	中 山 岩 太	上海から来た女	1936	ゼラチンシルバープリント	16.6×12.1	寄託(中山岩太の会蔵)	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
9	中山岩太	無題	1936	ゼラチンシルバープリント	27.5×30	寄託(中山岩太の会蔵)	
10	中山岩太	デコレーション	1937	ゼラチンシルバープリント	55.5×45.5	寄託(中山岩太の会蔵)	
11	中山岩太	神戸風景(港)	1937	ゼラチンシルバープリント	42.6×53.4	寄託(中山岩太の会蔵)	
12	中山岩太	神戸風景(トアロード)	1939	ゼラチンシルバープリント	53.3×42.7	寄託(中山岩太の会蔵)	
13	中山岩太	神戸風景(トンブソン商会)	1939	ゼラチンシルバープリント	42.7×53.3	寄託(中山岩太の会蔵)	
14	中山岩太	冬眠	1940	ゼラチンシルバープリント	27×22	寄託(中山岩太の会蔵)	
15	中山岩太	イーヴ	1940	ゼラチンシルバープリント	55.1×46.5	寄託(中山岩太の会蔵)	
16	中山岩太	アダム	1940	ゼラチンシルバープリント	55.5×45.1	寄託(中山岩太の会蔵)	
17	中山岩太	蝶(一)	1941	ゼラチンシルバープリント	49.7×38.8	寄託(中山岩太の会蔵)	
18	中山岩太	創生	1942	ゼラチンシルバープリント	26.6×22.3	寄託(中山岩太の会蔵)	
19	中山岩太	神戸風景(焼け跡)	1945	ゼラチンシルバープリント	19×14	寄託(中山岩太の会蔵)	
20	中山岩太	神戸風景(空襲1945年6月)	1945	ゼラチンシルバープリント	14.5×20.7	寄託(中山岩太の会蔵)	
21	中山岩太	憩い	1947	ゼラチンシルバープリント	56×45.5	寄託(中山岩太の会蔵)	
22	中山岩太	デモンの祭典	1948	ゼラチンシルバープリント	27.3×21.7	寄託(中山岩太の会蔵)	
23	ハナヤ勘兵衛	船A	1930	ゼラチンシルバープリント	24.8×19.1	寄託(株式会社 ハナヤ勘兵衛蔵)	
24	ハナヤ勘兵衛	光A	1930	ゼラチンシルバープリント	23.5×17.1	寄託(株式会社 ハナヤ勘兵衛蔵)	
25	ハナヤ勘兵衛	光B	1930	ゼラチンシルバープリント	25.2×19.8	寄託(株式会社 ハナヤ勘兵衛蔵)	
26	ハナヤ勘兵衛	光C	1930	ゼラチンシルバープリント	25.2×19.6	寄託(株式会社 ハナヤ勘兵衛蔵)	
27	ハナヤ勘兵衛	フォトモンタージュ(今日も楽しい)	1933	ゼラチンシルバープリント	21.9×22.6	寄託(株式会社 ハナヤ勘兵衛蔵)	
28	ハナヤ勘兵衛	フォトモンタージュ(提灯)	1933	ゼラチンシルバープリント	24.3×20.6	寄託(株式会社 ハナヤ勘兵衛蔵)	
29	ハナヤ勘兵衛	フォトモンタージュ(女とグラス)A	1933	ゼラチンシルバープリント	18.3×16.6	寄託(株式会社 ハナヤ勘兵衛蔵)	
30	ハナヤ勘兵衛	ナンデエ!!	1937	ゼラチンシルバープリント	20.8×16	寄託(株式会社 ハナヤ勘兵衛蔵)	
31	安井伸治	風車	1933	ゼラチンシルバープリント	12.2×12.6	寄託(個人蔵)	
32	安井伸治	晩秋(I)	1934-35	ゼラチンシルバープリント	38×17.4	寄託(個人蔵)	
33	安井伸治	枯れた松	1935	ゼラチンシルバープリント	20×14.7	寄託(個人蔵)	
34	安井伸治	白樺	1935-36	ゼラチンシルバープリント	28.5×20.5	寄託(個人蔵)	
35	安井伸治	暮れ	1936	ゼラチンシルバープリント	14.1×18.2	寄託(個人蔵)	
36	安井伸治	枯木	1937	ゼラチンシルバープリント	16.4×13.6	寄託(個人蔵)	
37	安井伸治	湖畔	1937	ゼラチンシルバープリント	14.3×19.1	寄託(個人蔵)	
38	安井伸治	初夏	1937	ゼラチンシルバープリント	19.9×14.8	寄託(個人蔵)	
39	安井伸治	路地	1930年代	ゼラチンシルバープリント	20.4×13.9	寄託(個人蔵)	
40	安井伸治	スケッチ		ゼラチンシルバープリント	14.9×20	寄託(個人蔵)	
41	椎原治	プレスト	1935-39	ゼラチンシルバープリント	34.2×39.8	平成23年度購入	
42	椎原治	四つの静物 習作D	1937	ゼラチンシルバープリント	42.8×55.7	平成23年度購入	
43	椎原治	或るコンストラクション	1937	ゼラチンシルバープリント	48.4×30.4	平成23年度購入	
44	椎原治	PHOTO PEINTURE	1938	ゼラチンシルバープリント	30.1×24.6	平成23年度購入	
45	椎原治	流氓ユダヤ ヘブライの書	1941	ゼラチンシルバープリント	35.7×43.8	平成23年度椎原保氏寄贈	
46	椎原治	流氓ユダヤ 追われるものD (荷物着く)	1941	ゼラチンシルバープリント	35.3×43.5	平成23年度椎原保氏寄贈	
47	椎原治	流氓ユダヤ 仲間	1941	ゼラチンシルバープリント	30.4×43.5	平成23年度椎原保氏寄贈	
48	田淵銀芳	流氓ユダヤ 父子	1941	ゼラチンシルバープリント	25.5×37.5	平成27年田淵清文氏寄贈	
49	田淵銀芳	流氓ユダヤ 題不詳	1941	ゼラチンシルバープリント	25.4×37.4	平成27年田淵清文氏寄贈	
50	田淵銀芳	流氓ユダヤ 題不詳	1941	ゼラチンシルバープリント	37.4×25.3	平成27年田淵清文氏寄贈	
51	田淵銀芳	流氓ユダヤ 男	1941	ゼラチンシルバープリント	37.3×25.4	平成27年田淵清文氏寄贈	

展示室5 近現代の彫刻—彫刻の中の物語

1	ロダン,オーギュスト	永遠の青春	1884	ブロンズ	64×53×53	昭和47年度購入
2	ロダン,オーギュスト	オルフェウス	1892(1971鑄造)	ブロンズ	142.5×76×125	昭和47年度購入
3	ロッソ, メダルド	新聞を読む男	1894	ワックス、石膏	28.7×32×33	平成3年度購入
4	ブルデル,エミール=アントワヌ	風の中のベーターヴェン	1904-08	ブロンズ	120×55×61	昭和45年度教育委員会管理換
5	ブルデル,エミール=アントワヌ	勝利(頭部)	1914(1977鑄造)	ブロンズ	80×58×58	令和3年度松本重雄氏遺贈
6	デスピオ, シャルル	ランド地方の少女	1910	大理石	29×16.5×21	昭和49年度購入

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
7	ザッキン,オシップ	破壊された街	1947	ブロンズ	126×57×50	昭和55年度購入	
8	ガボ, ナウム	構成された頭部 No.2	1966	コールドテン銅、着色	178×121.9×121.9	平成14年度購入	
9	クロチェッティ, ヴェナンツォ	マグダラのマリア	1955	ブロンズ	107.5×26×70	昭和48年度購入	
10	アーミテ이지,ケネス	バビロンへの道程	1974	ブロンズ	55.5×16×35	昭和49年度購入	
11	シーガル,ジョージ	ラッシュ・アワー	1983	石膏、着色	183×244×244	平成13年度購入	
12	淀井敏夫	ナイルたそがれ	1976	ブロンズ	135×68×10	平成2年度購入	
13	舟越保武	ダミアン神父	1975	ブロンズ	199.5×64.5×57.5	昭和51年度購入	
14	福岡道雄	石を落とす	1976	FRP、木	50.5×30×30	平成24年度山口勝子氏寄贈	
15	福岡道雄	石になれるか	1984	ブロンズ	14.8×22×15.8	平成24年度山口勝子氏寄贈	
16	福岡道雄	石を着る	1987	ブロンズ、銅線	35.9×18×84	平成24年度山口勝子氏寄贈	
17	福岡道雄	石を持つ	1990	ブロンズ	40.8×64.5×23	平成24年度山口勝子氏寄贈	
18	宮崎豊治	シンベンモデル・ユウシカイステーション	1979	鉄	80×120×60	平成7年度購入	
19	青木千絵	BODY 17-1	2017	漆、麻布、スタイロフォーム	280×60×55	令和4年度藤田裕一氏寄贈	

小磯良平記念室 絵が語る人生

1	小磯良平	自画像	1923	油彩・布	45×37.6	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
2	小磯良平	裸婦	1924頃	油彩・布	65.3×49.8	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
3	小磯良平	T嬢の像	1926	油彩・布	116.8×91	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
4	小磯良平	スペインの女	1928	油彩・布	99.1×80.2	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
5	小磯良平	風景其ノ三	1928頃	油彩・布	60.2×73	平成3年度購入	
6	小磯良平	少女と猫	1931	油彩・布	60.5×72.4	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
7	小磯良平	横臥裸婦	1935	油彩・布	72.5×116.5	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
8	小磯良平	静物		油彩・布	72.9×91	昭和49年度出納事務局管理換	
9	小磯良平	踊り子	1938	油彩・布	100.3×73.2	平成29年度武陽会寄贈	
10	小磯良平	斉唱	1941	油彩・布	100.3×80.8	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
11	小磯良平	会談の前	1942	油彩・布	65.5×91	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	
12	小磯良平	働く人と家族	1955	油彩・布	89.5×130	昭和63年度財団法人伊藤文化財団寄贈	
13	小磯良平	ヨットハーバー	1960頃	油彩・布	60.7×72.7	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	
14	小磯良平	窓の静物	1963頃	油彩・布	100.5×100.5	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	
15	小磯良平	外国婦人	1970	油彩・布	60.8×50.3	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	
16	小磯良平	婦人(帽子)	1979	油彩・布	65.2×53.1	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	

金山平三記念室 風景画は語る

1	金山平三	無題(水汲み女)	1912頃	油彩・布	73.1×92.2	昭和45年度金山らく氏寄贈	
2	金山平三	雨のプラス・ビガール	1915	油彩・布	61.4×73.2	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
3	金山平三	林檎の下(ブルターニュ)	1915	油彩・布	88×72.6	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
4	金山平三	湖畔(諏訪湖)	1917-34	油彩・布	61×80.4	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
5	金山平三	梨咲く頃(大石田)	1917-34	油彩・布	60.9×80.3	昭和45年度金山らく氏寄贈	
6	金山平三	蘇州の運河	1924頃	油彩・布	38.2×45.6	昭和52年度三輪きみ氏寄贈	
7	金山平三	塩尻峠	1933頃	油彩・布	60.8×80.4	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
8	金山平三	裏浅間	1935-45	油彩・布	45.7×65.2	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
9	金山平三	京城郊外	1941	油彩・布	45.7×60.6	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
10	金山平三	町の番小屋	1945-56	油彩・布	27.5×41	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
11	金山平三	雪未だ溶けぬ	1945-56	油彩・布	33.5×45.4	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
12	金山平三	布つくり	1945-56	油彩・布	33.3×53	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
13	金山平三	海岸通	1945-56頃	油彩・布	33.3×45.5	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
14	金山平三	大石田の最上川	1948	油彩・布	60.8×91	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
15	金山平三	メリケン波止場(神戸)	1956-60	油彩・布	33.3×53	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
16	金山平三	牛繋がる	1956-60頃	油彩・布	41.3×53	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
17	金山平三	四月の大石田	1956-64	油彩・板	23.2×33	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	
18	金山平三	二百十日の弁天浜	1956-64	油彩・布	33.7×45.7	金山らく氏寄贈(昭和45年度教育委員会管理換)	

(2) 小企画 生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西泠名家—

令和6年1月13日(土)～4月7日(日)

前期：1月13日(土)～2月25日(日)

後期：2月27日(火)～4月7日(日)

常設展示室6

主 催：兵庫県立美術館

協 賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

特別協力：国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館、京都国立博物館

2024年は近代中国の書画篆刻に大きな足跡を残した呉昌碩（1844～1927）の生誕180年の節目にあたり、これを記念して当館では所蔵の梅舒適コレクションを中心に、その業績と交友関係を回顧する小企画を開催した。呉昌碩の書・画・篆刻作品はもとより、その師友や子息、交流のあった海上派の芸術家たち、呉昌碩が初代社長を務めた西泠印社の創始者である、呉隱・葉銘・丁仁・王禔とこれに続く諸名家の作品125件を展示した。会場では展示作品の一部を掲載したリーフレットを無料配布し、梅舒適コレクションを広く知ってもらう機会とした。

なお本展は、呉昌碩生誕180年記念事業の一環として開催され、東京国立博物館、台東区立書道博物館、台東区立朝倉彫塑館と時期をあわせて展示を行い、国内外の注目を集めた。ポスター、チラシ、図録については4館共通のものが作成された。また国立博物館収蔵品貸与促進事業の支援を受け、東京国立博物館、京都国立博物館から呉昌碩の代表作8件を借用した。



B1ポスター（4館共通）

関連事業 ※参加者数等はp.103参照

(1) 講演会「呉昌碩の世界」

富田淳（九州国立博物館長）、
鍋島稲子（台東区立書道博物館主任研究員）

2月18日（日）14：00～15：30

(2) 学芸員による解説会

1月20日（土）、3月9日（土）いずれも15：00～15：45

(3) ゆっくり解説会 in winter ※安井仲治展、特集と共通

1月14日（日）13：00～14：30

印刷物

〔ポスター〕 B1、B2 片面カラー ※4館共通

〔チラシ〕 A3 観音折り 両面カラー ※4館共通

〔鑑賞ガイド〕 B6 観音折り8頁 両面カラー ※特集と共通

〔リーフレット〕 A4 16頁 両面カラー

編集・発行：兵庫県立美術館

章解説 6章 作品図版58点

〔図録〕 A4 144頁 ※4館共通

編集：台東区立書道博物館

編集協力：東京国立博物館、九州国立博物館、兵庫県立美術館、台東区立朝倉彫塑館

発行：公益財団法人 台東区芸術文化財団

4章12コラム、作品図版151点



B1ポスター（館内）

関連記事

美術の窓	6.2.20	「書の扉」第44回「兵庫県立美術館の梅舒適コレクション」（高橋利郎）
典藏 古美術	6.2.24	特集 呉昌碩 呉昌碩の世界・生誕180年（藍玉琦）
毎日新聞	6.2.29（夕刊）	書の世界 生誕180年記念 呉昌碩展 激動の足跡 東西4館で（桐山正寿）
産経新聞	6.3.1（夕刊）	清朝最後の文人呉昌碩の世界 生誕180年 兵庫県立美術館で記念展（正木利和）
読売新聞	6.3.6（朝刊）	「清朝最後の文人」呉昌碩の足跡 東京、神戸で生誕180年記念展（高野清見）



チラシ（4館共通）



図録（4館共通）



リーフレット



鑑賞ガイド

出 品 目 録									
番号	作者名	名称	制作年	員数	材質技法	寸法(cm)	備考	展示期間	
書画									
1	高 榮・呉 昌 碩	茶熟香温図横披	清・同治10年 (1871)頃	1面	紙本墨拓・着色	34.3×95.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	後期
2	呉 雲	行書七言聯	清・19世紀	2幅	紙本墨書	各127.0×31.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得	前期
3	楊 沂 孫	篆書池上篇四屏	清・光緒5年 (1879)	4幅	紙本墨書	各125.8×32.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	前期
4	楊 峴・呉 昌 碩	磚硯拓識語四屏	清・光緒11年 (1885)	4幅	紙本墨拓・墨書	各105.2×29.7	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	後期
5	潘 祖 蔭	博古拓識語軸	清・光緒2年 (1876)	1幅	紙本墨拓・墨書	122.5×53.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得	前期
6	蒲 華	山水図軸	清・19～20世紀	1幅	紙本墨画	185.0×48.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	後期
7	顧 澐・楊 峴・ 呉 昌 碩 ほ か	古陶拓片冊	清・光緒19年 (1893)	1帖	紙本墨拓・墨書	各26.6×15.5	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	前期
8	呉 大 澂	篆書八言聯	清・19～20世紀	2幅	彩箋墨書	各166.2×29.3	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得	後期
9	金 心 蘭	嫩寒春曉図軸	清～中華民国・ 19～20世紀	1幅	紙本墨画	97.8×21.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得	前期
10	呉 昌 碩	篆書莊子知北遊篇横披	清・光緒13年 (1887)	1面	紙本墨書	39.6×123.7	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	後期
11	呉 昌 碩	桂花図軸	清・光緒14年 (1888)	1幅	紙本墨画淡彩	102.2×31.9	東京国立博物館		前期
12	呉 昌 碩	籠菊図軸	清・光緒15年 (1889)	1幅	紙本墨画淡彩	114.0×33.0	東京国立博物館		後期
13	呉 昌 碩	缶廬詩詩稿冊	清・光緒16年 (1890)	1冊	紙本墨書	29.2×15.8	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	
14	呉 昌 碩	幽蘭図横披	清・光緒18年 (1892)	1面	紙本墨画	23.0×139.0	東京国立博物館		前期
15	呉 昌 碩	臨古器物銘識語团扇	清・光緒26年 (1900)	1枚	絹本墨書	23.6×24.5	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	前期
16	呉 昌 碩	墨竹図軸	清・19世紀	1幅	紙本墨画	179.0×85.0	東京国立博物館		前期
17	呉 昌 碩	草書五言律詩二首横披	清・19世紀	1面	紙本墨書	27.5×147.5	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	前期
18	呉 昌 碩・倪 田	枇杷図扇子	清・19～20世紀	1本	紙本着色	14.8×36.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	後期
19	呉 昌 碩	葡萄図軸	清・光緒28年 (1902)	1幅	紙本墨画淡彩	179.7×46.8	東京国立博物館		後期
20	呉 昌 碩	篆書八言聯	清・光緒28年 (1902)	2幅	紙本墨書	各180.7×35.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	前期
21	呉 昌 碩	臨石鼓文四屏	中華民国元年 (1912)	4幅	紙本墨書	各134.6×46.5	京都国立博物館		前期
22	呉 昌 碩	松石図軸	中華民国2年 (1913)	1幅	統本墨画	152.3×41.6	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	後期
23	呉 昌 碩	破体七言聯	中華民国3年 (1914)	2幅	紙本墨書	各134.4×31.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	後期
24	呉 昌 碩	菊石図軸	中華民国3年 (1914)	1幅	紙本着色	131.7×53.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	後期
25	呉 昌 碩	荷花図軸	中華民国4年 (1915)	1幅	絹本墨画	140.0×42.0	東京国立博物館		後期
26	呉 昌 碩	行書詩翰軸	中華民国4年 (1915)	1幅	紙本墨書	137.0×54.1	京都国立博物館		前期
27	呉 昌 碩	美意延年図軸	中華民国7年 (1918)	1幅	紙本墨画淡彩	136.0×33.6	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	前期
28	呉 昌 碩	行書寿蘇詞軸	中華民国8年 (1919)	1幅	紙本墨書	138.0×33.6	京都国立博物館		後期
29	呉 昌 碩	篆書寿字軸	中華民国8年 (1919)	1幅	統本墨書	107.5×37.4	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	前期
30	呉 昌 碩	篆書還樸精廬横披	中華民国8年 (1919)	1面	紙本墨書	32.3×128.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	
31	呉 昌 碩	山水図軸	中華民国8年 (1919)	1幅	絹本墨画	158.8×46.1	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	後期
32	呉 昌 碩	紫藤菜根図軸	中華民国8年 (1919)	1幅	紙本着色	150.0×41.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得	前期

番号	作者名	名称	制作年	員数	材質技法	寸法(cm)	備考	展示期間
33	呉 昌 碩	篆書四言聯	中華民國10年 (1921)	2幅	紙本墨書	各77.8×31.7	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 梅舒適コレクション	
34	呉 昌 碩	墨竹図軸	中華民國10年 (1921)	1幅	紙本墨画	129.5×41.4	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
35	呉 昌 碩	行書七言聯	中華民國12年 (1923)	2幅	紙本墨書	各143.5×38.9	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
36	呉 昌 碩	篆書八言聯	中華民國12年 (1923)	2幅	彩箋墨書	169.0×34.4	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
37	呉 昌 碩	臨石鼓文軸	中華民國14年 (1925)	2幅	紙本墨書	各140.4×69.4	東京国立博物館	後期
38	呉 昌 碩	墨梅自寿図軸	中華民國14年 (1925)	1幅	紙本墨画	136.0×68.0	東京国立博物館	前期
39	呉 昌 碩	墨梅図軸	中華民國14年 (1925)	1幅	紙本墨画	135.0×34.9	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
40	呉 昌 碩	臨石鼓文軸	中華民國15年 (1926)	1幅	紙本墨書	21.4×52.7	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 梅舒適コレクション	
41	呉 昌 碩	蘆花図軸	中華民國15年 (1926)	1幅	紙本墨画	137.5×34.7	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
42	高 邕	臨石鼓文軸	清・光緒21年 (1895)	1幅	紙本墨書	142.7×38.5	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
43	陸 恢	簡廬図卷	清・19世紀	1巻	紙本墨画淡彩	27.0×180.0	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
44	倪 田	故事人物図四屏	清・宣統元年 (1909)	4幅	紙本着色	各147.2×39.4	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
45	倪田・黄山寿・ 金爾珍・呉昌碩	花卉図軸	中華民國3年 (1914)	1幅	紙本着色	134.5×56.0	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
46	黄山寿・王一亭・ 呉 昌 碩	花鳥図軸	中華民國5年 (1916)	1幅	紙本着色	151.2×82.0	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
47	黄 賓 虹	山水図軸	清～中華民國・ 19～20世紀	1幅	紙本墨画	136.3×34.1	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
48	顧 麟 士	松壑鳴泉図扇子	中華民國10年 (1921)	1本	紙本墨画淡彩	18.7×45.6	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
49	王一亭・呉昌碩	無量寿仏図軸	中華民國11年 (1922)	1幅	絹本着色	153.6×39.8	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
50	王一亭・呉昌碩	寒山図軸	中華民國16年 (1927)	1幅	絹本墨画淡彩、 紙本墨書	画 31.5×42.0 賛 27.4×42.0	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
51	王 一 亭	載菊帰來図軸	中華民國8年 (1919)	1幅	紙本淡彩	148.2×79.2	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
52	王 一 亭	花卉図四屏	中華民國18年 (1929)	4幅	紙本着色	各151.1×39.8	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
53	葉 銘	篆書八言聯	中華民國33年 (1944)	2幅	紙本墨書	各172.2×35.3	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
54	葉 銘	篆書十二言聯	中華民國34年 (1946)	2幅	紙本墨書	各130.0×21.3	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
55	童 大 年	花卉図軸	中華民國34年 (1945)	1幅	紙本着色	70.2×34.7	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
56	趙 雲 壑	文房清供图軸	中華民國13年 (1924)	1幅	紙本墨拓・着色	92.6×45.9	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
57	趙 雲 壑	臨石鼓文扇子	中華民國22年 (1933)	1本	彩箋墨書	18.5×45.6	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
58	趙 雲 壑	篆書十言聯	中華民國31年 (1942)	2幅	紙本墨書	各129.3×21.0	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
59	趙雲壑・孫松 ほ か	松図扇面	清～中華人民 共和国・20世紀	1枚	紙本墨画	18.7×54.9	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
60	呉 涵	水仙図軸	中華民國11年 (1922)	1幅	紙本墨画淡彩	150.2×39.4	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
61	呉 涵	無量寿仏図軸	中華民國13年 (1924)	1幅	紙本着色	115.8×33.0	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
62	陳 師 曾	臨曾伯靈筆銘軸	清～中華民國・ 19～20世紀	1幅	紙本墨書	128.9×29.3	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 後期 梅舒適コレクション	
63	陳 師 曾	紅梅図軸	清～中華民國・ 19～20世紀	1幅	紙本着色	138.8×33.5	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	
64	呉 徵	福庵選印図軸	中華民國13年 (1924)	1幅	紙本墨画淡彩	28.6×34.4	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
65	高 野 侯	博古花卉図軸	中華民國18年 (1929)	2幅	紙本墨拓・着色	各102.2×33.0	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 前期 梅舒適コレクション	

番号	作者名	名称	制作年	員数	材質技法	寸法(cm)	備考	展示期間
66	丁	仁 全韻画梅詩冊	中華民國19年 (1930)	1冊	紙本墨画	16.9×23.1	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 前期
67	丁	仁 紅梅図軸	中華民國30年 (1941)	1幅	紙本着色	129.1×32.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得 後期
68	丁	仁 尺牘軸	清～中華民國・ 19～20世紀	1幅	紙本墨書	37.0×50.9	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 前期
69	王	昶 篆書集石鼓所有文成十章制鼓重刻詩	清・光緒27年 (1901)	1枚	紙本墨書	17.6×52.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得
70	王	昶 篆書十言聯	中華民國32年 (1943)	2幅	紙本墨書	各142.7×24.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 後期
71	王	昶 臨散氏盤軸	清～中華民國・ 19～20世紀	1幅	紙本墨書	126.3×31.4	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 前期
72	馬	衡 篆書七言聯	中華民國・20世紀	2幅	紙本墨書	各169.8×36.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 前期
73	張	宗 祥 行書七言聯	1964年	2幅	紙本墨書	各131.0×33.5	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 後期
74	呉	東 邁 牡丹図扇子	清～中華人民 共和国・20世紀	1本	紙本着色	13.4×41.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得
75	呉	東 邁 臨石鼓文額	中華民國22年 (1933)	1面	紙本墨書	78.8×143.1	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得
76	呉	東 邁 桂花酒壺図軸	中華民國・20世紀	1幅	紙本着色	100.9×33.4	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 後期
77	馬	公 愚 臨石鼓文軸	中華民國・20世紀	1幅	紙本墨書	141.5×58.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 後期
78	馬	公 愚 黄眉紅綵図軸	中華民國・20世紀	1幅	紙本着色	67.2×33.5	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 前期
79	王	个 穆 花卉図軸	1962年	1幅	紙本着色	138.6×34.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 前期
80	王	个 穆 篆書金石樂書画縁軸	1980年	1幅	紙本墨書	118.2×65.4	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 後期
81	諸	楽 三 美意延年図軸	中華民國22年 (1933)	1幅	紙本着色	137.4×33.7	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 後期
82	来	楚 生 隸書・臨石鼓文軸	中華民國・20世紀	1幅	紙本墨書	24.2×31.4 24.1×31.4	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得 前期
83	梅	舒 適 別蕪園額	昭和59年 (1984)	1面	紙本墨書・鈐印	32.3×123.8	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得
刻印								
84	徐三庚・呉昌碩・ 呉 隠 ほ か	蒲華所用印	清・19～20世紀	一式	石製、象牙製、 水晶製		稲田和子氏寄贈	梅舒適コレクション
85	呉 昌 碩	「喜陶之印」白文方印	清・光緒元年 (1875)	1顆	石製	2.0×2.0×5.6	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得
86	呉 昌 碩	「読古人書」白文方印	清・19世紀	1顆	石製	2.5×2.5×4.2	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得
87	呉 昌 碩	「徐氏親自得斎珍藏印」白文 長方印	清・光緒14年 (1888)	1顆	石製	1.6×1.3×5.1	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得
88	呉 昌 碩	「親自得斎徐氏子静珍藏印」白文方印	清・光緒23年 (1897)	1顆	石製	2.2×2.2×5.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得
89	呉 昌 碩	「蒲華」朱文方印	清・光緒30年 (1904)	1顆	石製	2.6×2.6×4.3	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得
90	呉 昌 碩	「侶鶴」白文方印	中華民國9年 (1920)	1顆	石製	2.4×1.9×5.0	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和4年度美術品取得
91	葉	銘 「慈溪嚴氏小長蘆館珍藏」 朱文長方印	清・光緒28年 (1902)	1顆	石製	2.0×2.9×5.3	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得
92	葉	銘 「寿芝」白文方印	中華民國8年 (1919)	1顆	石製	3.1×3.1×9.4	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得
93	葉	銘 「臧山」朱文方印	中華民國17年 (1928)	1顆	石製	2.7×2.7×4.4	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得
94	葉	銘 「大吉祥」朱文橢円印	中華民國37年 (1948)	1顆	石製	3.6×1.4×3.7	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得
95	呉	隠 「孔孟好學」朱文円印	清・光緒28年 (1902)	1顆	石製	2.3×2.3×2.7	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得
96	呉	隠 「読書修福」朱文方印	清・光緒32年 (1906)	1顆	石製	2.7×2.6×7.5	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得
97	呉	隠 「安分養神」白文方印	清・光緒32年 (1906)	1顆	石製	2.7×2.7×7.6	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	令和5年度美術品取得

番号	作者名	名称	制作年	員数	材質技法	寸法(cm)	備考	展示期間
98	呉	隠 「金石癖」白文方印	清・光緒33年 (1907)	1顆	石製	2.8×2.4×2.3	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
99	呉	隠 「尚一点稍磨未尽愛華成癖」 朱文長方印	清～中華民国・ 19～20世紀	1顆	石製	1.7×2.8×8.8	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
100	呉	涵 「鶴寿」朱文方印	中華民国2年 (1913)	1顆	石製	3.0×3.0×7.0	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
101	呉	涵 「老梅」朱文方印	中華民国9年 (1920)	1顆	石製	2.1×2.1×6.7	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
102	丁	仁 「美意延年」朱文方印	清・宣統2年 (1910)	1顆	石製	2.9×2.9×1.5	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
103	丁	仁 「長寿」朱文方印	清・宣統2年 (1910)	1顆	石製	2.9×2.9×1.5	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
104	王	禔 「毅莊」朱文方印	中華民国19年 (1930)	1顆	石製	1.6×1.7×5.6	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
105	王	禔 「平子四愁伯鸞五噫孟陽七 哀子慎九憤賈長沙痛哭者一 流涕者二太息者六」白文方印	中華民国21年 (1932)	1顆	石製	3.2×3.1×6.3	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
106	王	禔 「新州葉氏」白文方印	中華民国21年 (1932)	1顆	石製	2.8×2.8×9.3	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
107	王	禔 「登瀛」朱文方印	中華民国32年 (1941)	1顆	石製	1.1×1.1×3.0	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
108	沙 曼	翁 「老梅」朱文方印	1972年	1顆	石製	1.5×1.5×5.1	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	前期
109	沙 曼	翁 「梅舒適」白文方印	1985年	1顆	石製	2.5×2.5×6.0	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	後期
110	梅 舒	適 「虚亭会百泉」朱文方印	昭和59年 (1984)	1顆	石製	3.5×3.5×6.3	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
111	梅 舒	適 「破屋漏一雨」白文方印	昭和・20世紀	1顆	石製	2.9×3.0×4.7	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
112	梅 舒	適 「用是名蕪園」朱文方印	昭和59年 (1984)	1顆	石製	3.1×3.1×5.3	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
113	梅 舒	適 「容膝欣得所」白文方印	昭和59年 (1984)	1顆	石製	3.5×3.5×6.1	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
参考1	沙 孟 海	「御賜志行忠方」朱文長方印	中華民国14年 (1925)	1顆	石製	5.0×2.0×6.8	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	
拓本・印譜・典籍								
114	嚴 信 厚 編	小長蘆館集帖	清・19～20世紀	11冊	紙本墨拓	各29.0×13.5	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
115	原 跡：任 伯 年	呉昌碩像拓軸	清・光緒12年 (1886)	1幅	紙本墨拓	111.0×42.0	稲田和子氏寄贈 令和4年度美術品取得 梅舒適コレクション	
116	呉 昌 碩 作	削觚廬印存	清・19世紀	1冊	紙本鈐印	19.6×12.7	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	
117	呉 昌 碩 作	缶廬印存 四集	中華民国4年 (1915)	4冊	紙本鈐印	各29.0×13.0	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
118	原 跡：呉 昌 碩	西泠印社新建觀樂樓之碑拓 冊	中華民国9年 (1920)	1冊	紙本墨拓	各24.9×12.8	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
119	葉 銘 編	印人伝	清・宣統2年 (1910)	8冊	紙本印刷	各22.0×13.0	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
120	呉 隠 作	古今楹聯彙刻	清・光緒26年 (1900)跋	12冊	紙本墨拓	各29.8×13.6	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
121	呉 隠 作	遜齋集古印存 初集	清・光緒34年 (1908)	4冊	紙本鈐印	各28.7×13.3	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
122	丁 仁・高 時 敷・ 葛昌楹・俞人萃編	丁丑劫餘印存	中華民国28年 (1939)	12冊	紙本鈐印	各29.8×17.0	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
123	原 跡：王 禔	西泠印社記拓軸	中華民国3年 (1914)	1幅	紙本墨拓	200.2×43.7	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
124	王 禔 作	麋研齋印存	中華民国25年 (1936)	24冊	紙本鈐印	各26.0×15.1	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
125	呉 長 鄴 輯	呉昌碩自用印印譜	1980年	1枚	紙本鈐印	23.0×67.0	稲田和子氏寄贈 令和5年度美術品取得 梅舒適コレクション	
参考2	呉 隠 編	趙搗叔印譜	中華民国5年 (1916)	8冊	紙本鈐印	各29.6×17.4	稲田和子氏寄贈 梅舒適コレクション	後期

b. 特別展

1. 出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち 令和5年6月3日（土）～7月23日（日）

主 催：兵庫県立美術館、神戸新聞社

協 賛：公益財団法人伊藤文化財団、一般財団法人みなと銀行文化振興財団

特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

助 成：芸術文化振興基金

兵庫県ゆかりの洋画家、金山平三については、前身となる県立近代美術館から記念室を設け作品を常時展示するとともに、県立近代美術館では過去に3回、当館への移転後も1回、それぞれ回顧展を開催し、画家の顕彰に努めている。

従来の回顧展では金山のみを扱っていたが、金山の生誕140年を記念して開催された通算5回目となる本展では、今まで取り上げることがなかった彼の交友関係や足跡、壁画制作への取り組みなど様々な視点から金山平三の画業を検証し、孤高の画家ではなく、激動の20世紀前半、時代と四つに組み、真摯に絵画と向き合い近代日本美術に大きな功績を残した画家、金山平三の新たな像の構築をめざした。金山の代表作のみならず、金山と近い関係にあった満谷国四郎、柚木久太、児島虎次郎、新井完らの作品を展示し、また金山のデッサンとあわせて須田国太郎の能デッサンを扱うことで、画家が「動き」に向き合う方法の違いに着目するなど新機軸を打ち出し、近代洋画に対する新たな視点を提示したことも合わせ、来館者からは好評を得た。



B2ポスター

関連事業 ※参加者数等はp.103参照

- (1) 講演会「金山平三が見つめた風景の地平線」
志賀秀孝（前・府中市美術館副館長補佐兼学芸係長）
6月11日（日）14：00～15：30
- (2) HART TALK 館長といっしょ！ Vol.00 「いまを生きる画家が語る金山平三」
津上みゆき（画家）、林洋子（当館館長）
7月17日（月・祝）14：00～15：30
- (3) 学芸員による解説会
6月17日（土）、6月24日（土）、7月22日（土）
いずれも15：00～15：45
- (4) ミュージアム・ボランティアによるスライド解説会
会期中の毎週日曜日11：00～11：15 レクチャールーム
- (5) こどものイベント「美術館からの招待状 金山平三ってだれやねん？！」
7月16日（日） 13：30～15：30
- (6) ゆっくり解説会 ※コレクション展Ⅰと共通
7月11日（火）11：00～12：00



B3ポスター



チラシ

印刷物

〔ポスター〕 B2、B3、片面カラー

〔チラシ〕 A4、両面カラー

〔図録〕 A4変型 168頁

執筆、編集：兵庫県立美術館 相良周作、西田桐子、飯尾由貴子、森田理美

発行：兵庫県立美術館

作品図版141点

西田桐子「金山平三展によせて」「Ⅰ 東京美術学校」「Ⅰ 滞欧時代」「Ⅰ 帰国してから」「Ⅱ 壁画の方へ」「Ⅲ 画家と身体－動きを追いかけて」「ある画家の一生－金山平三略年譜」「同時代の画家略歴」

飯尾由貴子「Ⅱ 明治神宮聖徳記念絵画館の壁画」「Ⅱ 『壁画謹製記録』にみる制作過程」「Ⅱ 壁画画稿」「Ⅱ 壁画制作に向けて」「Ⅳ 生命への眼差し」

相良周作「Ⅰ 金山平三と新井完」「Ⅴ 列車を乗り継いで－風景画家の旅」

別冊：英文版 A4変型 32頁

〔鑑賞ガイド&ワークシート〕 A4二つ折り 両面カラー 4頁



図録表紙



図録英文版別冊表紙

関連記事

- | | | |
|--------------|-------------|---|
| 神戸新聞 | 5.14 (朝刊) | ある画家の肖像 金山平三／6月3日～7月23日／兵庫県立美術館 |
| 神戸新聞 | 5.3.29 (朝刊) | 新たな人物像を求めて／6月3日から 兵庫県立美術館／出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち／多彩な画業紹介する150点 |
| 神戸新聞 | 5.5.24 (朝刊) | ◆兵庫県立美術館の特別展「出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち」に5組10人 |
| 神戸新聞 | 5.5.27 (朝刊) | 6月3日から兵庫県立美術館／近代洋画の巨匠 金山平三展／6月11日、志賀秀孝氏の講演会 |
| 神戸新聞 | 5.5.29 (朝刊) | 人々魅了 情熱の筆さばき／出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち (西田桐子) |
| 神戸新聞 | 5.6.3 (朝刊) | 日本近代洋画の巨匠 多彩な魅力／「金山平三」展、兵庫県立美術館できょう開幕 (小林伸哉) |
| 神戸新聞 | 5.6.10 (朝刊) | 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち 上 (「習作 (男女坐像)」作品解説) (相良周作) |
| 神戸新聞 | 5.6.11 (朝刊) | 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち 中 (「菊」作品解説) (飯尾由貴子) |
| 神戸新聞 | 5.6.13 (朝刊) | 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち 下 (「筒石へ」作品解説) (相良周作) |
| NHK Eテレ (放送) | 5.6.25 | 日曜美術館 アートシーン |
| 神戸新聞 | 5.6.29 (夕刊) | 金山平三「移ろい」捉えた絵筆／神戸で生誕140年特別展／卓越した観察力と技 (今岡竜弥) |
| AMeeT (web) | 5.8.11 | 「出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち」と兵庫県立美術館 (松尾恵) |



鑑賞ガイド&ワークシート

出 品 目 録						
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
Ⅰ センパイ、トモダチ						
1	金 山 平 三	春日の森	1908頃	油彩・キャンバス	60.6×45.6	兵庫県立美術館
2	金 山 平 三	秋の庭	1909	油彩・キャンバス	136.3×83.8	兵庫県立美術館
3	金 山 平 三	自画像	1909	油彩・キャンバス	60.5×46	東京藝術大学
4	金 山 平 三	漁夫	1909	油彩・キャンバス	116×89	東京藝術大学
5	金 山 平 三	無題(木陰の道)	1910頃	油彩・キャンバス	43.5×45.6	兵庫県立美術館
6	金 山 平 三	少女像	1908頃	油彩・板	30.2×18	兵庫県立美術館
7	金 山 平 三	無題(ベランダの人)	1912頃	油彩・キャンバス	100.3×79.9	兵庫県立美術館
8	金 山 平 三	無題(老婆)	1912頃	油彩・キャンバス	92.2×73.3	兵庫県立美術館
9	金 山 平 三	無題(編物をする老婆)	1912頃	水彩・紙	33.6×27.7	兵庫県立美術館
10	金 山 平 三	習作(並木)	1912-15頃	油彩・キャンバス	60.2×72.8	兵庫県立美術館
11	金 山 平 三	無題(水汲み女)	1912頃	油彩・キャンバス	73.1×92.2	兵庫県立美術館
12	金 山 平 三	無題(ヴェトゥイユ)	1914頃	油彩・キャンバス	64.1×80.5	兵庫県立美術館
13	金 山 平 三	エボレーンの女	1914	油彩・キャンバス	92×73.2	兵庫県立美術館
14	金 山 平 三	無題(坂道の家)	1914頃	水彩・紙	27.6×17.2	兵庫県立美術館
15	金 山 平 三	無題(橋)	1914-15頃	水彩・紙	18.6×24.1	兵庫県立美術館
16	金 山 平 三	無題(コンカルノーの入江)	1914	水彩・紙	26.9×34.9	兵庫県立美術館
17	金 山 平 三	習作(男裸像)	1913頃	油彩・キャンバス	81.3×53.4	兵庫県立美術館
18	金 山 平 三	無題(半裸の男)	1913頃	油彩・キャンバス	92.2×73.2	兵庫県立美術館
19	金 山 平 三	習作(男女坐像)	1913-15頃	油彩・キャンバス	88.6×116.8	兵庫県立美術館
20	金 山 平 三	男習作	1913-15頃	油彩・キャンバス	72.8×91	兵庫県立美術館
21	金 山 平 三	夏の内海	1916	油彩・キャンバス	88×115	東京国立近代美術館
22	金 山 平 三	さびれたる寛城子	1918	油彩・キャンバス	72×91	兵庫県立美術館
23	金 山 平 三	江南水郷	1924	油彩・キャンバス	72.8×90.9	兵庫県立美術館
24	金 山 平 三	習作(岸边)	1924	油彩・キャンバス	25.5×32.5	兵庫県立美術館
25	金 山 平 三	習作(白い壁)	1924	油彩・キャンバス	27.7×35.4	兵庫県立美術館
26	金 山 平 三	無題(中国風景)	1924	油彩・キャンバス	21.5×28.2	兵庫県立美術館
D1	満 谷 国四郎	戦の話	1906	油彩・キャンバス	111×144	倉敷市立美術館
D2	満 谷 国四郎	石橋	1926	油彩・キャンバス	60.5×72.5	倉敷市立美術館
D3	満 谷 国四郎	臨江甘露寺(鎮江)	1924	油彩・キャンバス	73.1×91.2	岡山県立美術館
D4	柚 木 久 太	塋門	1908	油彩・キャンバス	60.7×40.4	個人蔵
D5	柚 木 久 太	モレーの秋	1913	油彩・キャンバス	45.5×52	倉敷市立美術館
D6	柚 木 久 太	春潮(玉島港)	1917	油彩・キャンバス	90×198.5	岡山県立玉島高等学校
D7	柚 木 久 太	甘露寺	1926	油彩・キャンバス	37.1×44.4	個人蔵
D8	児 島 虎次郎	金山平三像	1916	油彩・キャンバス	60.2×50	兵庫県立美術館
D9	新 井 完	豚と豚の仔	1916	油彩・キャンバス	91×116.7	姫路市立美術館
D10	新 井 完	御手洗風景	1923	油彩・紙	71.7×89.7	兵庫県立美術館
D11	新 井 完	水鳥と花	1923	油彩・紙	116×154	兵庫県立美術館
D12	新 井 完	鹿の本生譚	1927	油彩・キャンバス	91×72.5	兵庫県立美術館
D13	新 井 完	越中魚津秋景	1926	油彩・キャンバス	73×91	姫路市立美術館
D14	新 井 完	あさがお	1928	油彩・キャンバス	91×117	兵庫県立美術館
D15	新 井 完	天平塑像	1929	油彩・キャンバス	117×91	姫路市立美術館
D16	新 井 完	浄瑠璃人形	1931	油彩・キャンバス	116.5×90	姫路市立美術館
D17	新 井 完	大野寺弥勒石仏	1932	油彩・紙	211×106	兵庫県立美術館
Ⅱ 壁画への道						
27	金 山 平 三	秋	1926	テンペラ・キャンバス	91×72.8	兵庫県立美術館
28	金 山 平 三	画稿(裸婦)	1915-34頃	油彩・キャンバス	50.1×61	兵庫県立美術館
29	金 山 平 三	無題(群像)(未完成)	1915-34頃	油彩・キャンバス	115.2×243	兵庫県立美術館
30	金 山 平 三	女	1915-34頃	油彩・板	31.5×40.6	兵庫県立美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
31	金 山 平 三	子供習作	1915-34頃	油彩・キャンバス	各26.0×26.3	兵庫県立美術館
32	金 山 平 三	祭り	1915-34頃	油彩・キャンバス	59.5×180.8	個人蔵
33	金 山 平 三	蘇州の運河	1924	油彩・キャンバス	38.2×45.6	兵庫県立美術館
34	金 山 平 三	無題(働く人)	1924	油彩・キャンバス	53.4×73	兵庫県立美術館
35	金 山 平 三	水原八達門	1925	油彩・板	23.7×33	兵庫県立美術館
36	金 山 平 三	庭	1925	油彩・キャンバス	60.5×80	姫路市立美術館
37	金 山 平 三	東北地方の春	1929	油彩・キャンバス	60.7×80.5	笠間日動美術館
38	金 山 平 三	朝鮮風景		油彩・キャンバス	130×82	笠間日動美術館
39	金 山 平 三	蘇州の石炭運び	1924-32	油彩・キャンバス	162×130.2	ひろしま美術館
40	金 山 平 三	画稿(日清役平壤戦)	1924-33	油彩・紙	30.7×27	兵庫県立美術館
41	金 山 平 三	画稿(日清役平壤戦)	1924-33	油彩・キャンバス	37.5×31	兵庫県立美術館
42	金 山 平 三	画稿(日清役平壤戦)	1924-33	油彩・キャンバス	80.5×65.3	兵庫県立美術館
43	金 山 平 三	聖徳記念絵画館壁画下図 《日清役平壤戦》	1924-33	油彩・キャンバス	73.5×65	明治神宮
44	金 山 平 三	画稿(日清役平壤戦)	1924-33	油彩・キャンバス	80.7×100.2	兵庫県立美術館
45	金 山 平 三	画稿(日清役平壤戦)	1924-33	油彩・キャンバス	136.7×89.7	兵庫県立美術館
46	金 山 平 三	無題(兵隊1)	1924-33	油彩・紙	35.3×23.5	兵庫県立美術館
47	金 山 平 三	無題(兵隊2)	1924-33	油彩・紙	31×23.5	兵庫県立美術館
48	金 山 平 三	雪と人	1931-33	油彩・キャンバス	48.6×121.3	兵庫県立美術館
D18	満 谷 国四郎	木々の秋	1923	油彩・キャンバス	94.2×146	岡山県立美術館

Ⅲ 画家と身体ー動きを追いかけて

49	金 山 平 三	無題(大序・段切れ)	1928-60頃	油彩・紙	22.7×31.8	兵庫県立美術館
50	金 山 平 三	無題(三段目師直と若狭之助)	1928-60頃	油彩・紙	23.5×32.1	兵庫県立美術館
51	金 山 平 三	無題(四段目上使)	1928-60頃	油彩・紙	17×31.2	兵庫県立美術館
52	金 山 平 三	判官切腹	1928-60頃	油彩・紙	18.3×31.2	兵庫県立美術館
53	金 山 平 三	でーも	1928-60頃	油彩・紙	14.2×31.5	兵庫県立美術館
54	金 山 平 三	引こみ	1928-60頃	油彩・紙	21.6×31.5	兵庫県立美術館
55	金 山 平 三	無題(落人お軽と勘平道行(人形))	1928-60頃	油彩・紙	20.4×30.8	兵庫県立美術館
56	金 山 平 三	無題(五段目山崎街道)	1928-60頃	油彩・紙	14.5×24.2	兵庫県立美術館
57	金 山 平 三	与一兵衛と定九郎	1928-60頃	油彩・紙	17×31.9	兵庫県立美術館
58	金 山 平 三	もう行くぞえ	1928-60頃	油彩・紙	14.7×31.5	兵庫県立美術館
59	金 山 平 三	七段目の花道	1928-60頃	油彩・紙	23.3×32.5	兵庫県立美術館
60	金 山 平 三	獅子心中の虫	1928-60頃	油彩・紙	17×27.7	兵庫県立美術館
61	金 山 平 三	御無用	1928-60頃	油彩・紙	23.5×32.4	兵庫県立美術館
62	金 山 平 三	無題(討入り)	1928-60頃	油彩・紙	15.5×20.7	兵庫県立美術館
63	金 山 平 三	無題(大詰討入り・炭部屋)	1928-60頃	油彩・紙	20.5×31.7	兵庫県立美術館
64	金 山 平 三	無題(大詰討入り・炭部屋)	1928-60頃	油彩・紙	24.3×30.2	兵庫県立美術館
65	金 山 平 三	無題(寺院の見える風景)	1912-15	油彩・キャンバス	50×60.5	兵庫県立美術館
D19	須 田 国太郎	景清(松門之会釈) 種田嘉三郎七回忌追善能 演者:金剛右京 場所:金剛能楽堂	1930 上演日:10月12日	鉛筆・紙	各28.2×24	大阪大学
D20	須 田 国太郎	景清 演者:桜間金太郎	1933 上演日:10月8日	鉛筆・紙	18×15	大阪大学
D21	須 田 国太郎	景清 金剛定期能 演者:金剛巖 場所:金剛能楽堂	1935 上演日:12月7日	鉛筆・紙	25×19	大阪大学
D22	須 田 国太郎	景清 秀麗会 演者:本田秀男 水道橋能楽堂	1955 上演日:5月26日	鉛筆・紙	18×26	大阪大学
D23	須 田 国太郎	景清		鉛筆・紙	各27×36	大阪大学
D24	須 田 国太郎	アーヴィラ	1920	油彩・キャンバス	51.8×64	京都国立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
Ⅳ 生命への眼差し						
66	金 山 平 三	とまと	1915-34頃	油彩・キャンバス	60.7×80.4	兵庫県立美術館
67	金 山 平 三	菊	1921頃	油彩・キャンバス	53.3×65.3	兵庫県立美術館
68	金 山 平 三	栗	1917-34	油彩・板	37.3×45.4	兵庫県立美術館
69	金 山 平 三	静物	1917-34	油彩・キャンバス	50.3×72.7	笠間日動美術館
70	金 山 平 三	菊	1928	油彩・キャンバス	59×71.5	東京国立近代美術館
71	金 山 平 三	初秋(草花園)	1917-34	油彩・キャンバス	65.2×80.9	兵庫県立美術館
72	金 山 平 三	菊	1935-45	油彩・板	37.4×45.4	川崎重工工業株式会社
73	金 山 平 三	バラ		油彩・板	31.5×40.5	兵庫県立美術館
74	金 山 平 三	ダリヤ	1935-45	油彩・キャンバス	53×65.2	兵庫県立美術館
75	金 山 平 三	ダリヤ	1935-45	油彩・キャンバス	60.5×73	兵庫県立美術館
76	金 山 平 三	こち	1945-56	油彩・板	31.4×40.8	東京国立近代美術館
77	金 山 平 三	葡萄		油彩・板	11.4×15.4	兵庫県立美術館
78	金 山 平 三	魚		油彩・板	11.2×15.8	兵庫県立美術館
Ⅴ 列車を乗り継いで―風景画家の旅						
79	金 山 平 三	冬の諏訪湖	1921	油彩・キャンバス	72.7×91.8	兵庫県立美術館(寄託)
80	金 山 平 三	無題(雪の景)	1917-34	油彩・板	51×60.6	兵庫県立美術館
81	金 山 平 三	妙高山	1917-34	油彩・キャンバス	60.6×90.5	川崎重工工業株式会社
82	金 山 平 三	妙高温泉	1917-34	油彩・キャンバス	45.7×61	兵庫県立美術館
83	金 山 平 三	下諏訪	1917-34	油彩・キャンバス	33.4×53.2	兵庫県立美術館
84	金 山 平 三	碓氷峠	1917-34	油彩・板	24×33	兵庫県立美術館
85	金 山 平 三	塩尻峠	1933頃	油彩・キャンバス	60.8×80.4	兵庫県立美術館
86	金 山 平 三	梨咲く	1927頃	油彩・キャンバス	60.5×72.6	京都国立近代美術館
87	金 山 平 三	河畔	1927-34	油彩・キャンバス	59.5×49	兵庫県立美術館
88	金 山 平 三	下曽我の梅林	1917-34	油彩・キャンバス	61×91.5	京都国立近代美術館
89	金 山 平 三	雪	1935-45	油彩・キャンバス	60.8×80.4	兵庫県立美術館
90	金 山 平 三	長閑	1935-45	油彩・キャンバス	33.4×53.3	兵庫県立美術館
91	金 山 平 三	荒れやまぬ	1935-45	油彩・板	30.7×40.5	兵庫県立美術館
92	金 山 平 三	筒石へ	1937-44	油彩・キャンバス	60.7×91.3	兵庫県立美術館
93	金 山 平 三	田沢湖	1935-45	油彩・板	23.6×33	兵庫県立美術館
94	金 山 平 三	新芽	1935-45	油彩・キャンバス	60.8×80.5	兵庫県立美術館
95	金 山 平 三	風雨の翌日	1933	油彩・キャンバス	61×90.5	東京藝術大学
96	金 山 平 三	無題(海岸)	1935頃	油彩・キャンバス	72.8×100	兵庫県立美術館
97	金 山 平 三	無題(白衣の肖像)	1936	油彩・キャンバス	80.4×65.1	兵庫県立美術館
98	金 山 平 三	桜島	1936	油彩・板	23.7×33	兵庫県立美術館
99	金 山 平 三	洞爺湖	1939	油彩・キャンバス	60.8×91.5	兵庫県立美術館
100	金 山 平 三	首里	1941	油彩・キャンバス	45.7×65.1	兵庫県立美術館
101	金 山 平 三	平穏村	1935-45	油彩・キャンバス	60.8×91.2	兵庫県立美術館
102	金 山 平 三	雪と老婆	1945-56	油彩・キャンバス	53.3×73	兵庫県立美術館
103	金 山 平 三	晩婦	1945-56	油彩・キャンバス	45.2×60.4	川崎重工工業株式会社
104	金 山 平 三	猫のいる風景		油彩・キャンバス	32.2×44.2	東京国立近代美術館
105	金 山 平 三	日本海	1945-56	油彩・キャンバス	53.3×72.9	兵庫県立美術館
106	金 山 平 三	五色沼(裏磐梯)	1945-56	油彩・板	23.6×33	川崎重工工業株式会社
107	金 山 平 三	雨後	1945-56	油彩・キャンバス	33.5×45.7	兵庫県立美術館
108	金 山 平 三	まゆみ	1945-56	油彩・キャンバス	41×53	兵庫県立美術館
109	金 山 平 三	紫明仙	1945-56	油彩・キャンバス	60.5×80.5	兵庫県立美術館
110	金 山 平 三	春を待つ(冬の山)	1945-56	油彩・キャンバス	45.7×33.2	川崎重工工業株式会社
111	金 山 平 三	雪中の新芽	1945-56	油彩・キャンバス	41.2×53.3	川崎重工工業株式会社
112	金 山 平 三	こびき	1945-56	油彩・キャンバス	38×45.5	川崎重工工業株式会社

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
113	金 山 平 三	桂	1945-56	油彩・キャンバス	73×91.2	兵庫県立美術館
114	金 山 平 三	宇治川通り	1953頃	油彩・キャンバス	33.5×45.2	兵庫県立美術館
115	金 山 平 三	炮烙割り(壬生)	1956-60	油彩・板	23.7×33	兵庫県立美術館
116	金 山 平 三	長崎南山手	1957-60	油彩・板	46.7×55.8	兵庫県立美術館
117	金 山 平 三	溪流	1959	油彩・キャンバス	80.7×116.6	兵庫県立美術館

資料

- ・金山平三から父・春吉宛て絵葉書 1906.4.30
- ・金山平三「画学生日記」1908-09年
- ・金山平三「渡欧航海日記」1912年
- ・滞欧時代スクラップブック
- ・金山平三から榎本定輔宛て絵葉書 1912.9.7
- ・滞欧時代の金山平三宛て絵葉書(三島滋造1912.3.28/九里四郎1912.2.27/児島虎次郎1912.4.27/児島虎次郎1912.5.5/水谷鍬也1912.6.15/小林萬吾1912.7.2/徳永仁臣、桑重儀一1912.7.30/長谷川昇1912.8.4/梅原龍三郎1912.11.25/山本鼎1913.1.6/和田三造1913.6.23)
- ・ヨーロッパ各地で購入した絵葉書を整理したアルバム(「大」2点)
- ・滞欧時代の写真を貼り付けたアルバム
- ・滞欧中の新井完から金山平三宛て絵葉書 1920.10.28
- ・滞欧中の新井完と辻永連名の金山平三宛て絵葉書 1920.12.5
- ・1924年の中国旅行の写真を貼り付けたアルバム
- ・1939年の北海道旅行の写真をはりつけたアルバム
- ・写真アルバム『踊り初め頃』『十和田』
- ・スケッチ帳(No.19, No.20, No.22, No.23) ※スライドショーをモニター上映
- ・朝鮮旅行の写真を貼り付けたアルバム
- ・金山平三旧蔵「壁画画題資料」
- ・金山平三旧蔵「明治神宮外苑奉献概要報告」
- ・らく夫人の「出納帳」3冊
- ・その他(宮島しゃもじ、帝室技芸員拝命書面)

2. Perfume COSTUME MUSEUM

令和5年9月9日（土）～11月26日（日）

主 催：兵庫県立美術館、神戸新聞社
後 援：デイリースポーツ、サンテレビジョン、ラジオ関西
協 力：アミューズ、ユニバーサルミュージック、装苑（文化出版局）
協 賛：公益財団法人伊藤文化財団、大洋工芸
特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

世界を舞台に第一線で活躍する三人組ユニットPerfumeが着用した楽曲・ライブ衣装を約170着展示した初めての大規模衣装展となった。2005年のメジャーデビュー以降の衣装を解説した書籍『Perfume COSTUME BOOK』（文化出版局、2020年）から出発した本展では、1章から3章の時系列に沿って衣装をハイヒールや帽子、ミュージックビデオと合わせて展示し、4章ではライブ衣装を紹介した。デザイナーやドレスメイカーの保管しているデザインスケッチなどの資料や制作仕様書、型紙が初公開となったほか、ミュージックビデオに登場する光る衣装の再現とパフォーマンス衣装へのプロジェクションマッピングの投影をライゾマティクスが担当した。

Perfume所属事務所のアミューズ、ユニバーサルミュージック、装苑をはじめ、実際に衣装制作に関わるスタイリスト、ドレスメイカー、ワードローブに協力いただき、メインビジュアルは吉田ユニ、カタログをはじめとする印刷物のデザインは芝野健太が担当した。



B2ポスター

関連事業 ※参加者数等はp.103参照

- (1) 記念トークショー 1
Toshio Takeda（スタイリスト）、三田真一（スタイリスト）
11月4日（土）14：00～15：30
- (2) 記念トークショー 2
櫻井利彦（ドレスメイカー）、松丸千枝（文化出版局『Perfume COSTUME BOOK』編集／『装苑』『装苑ONLINE』編集）
11月18日（土）14：00～15：30
- (3) 学芸員によるレクチャー
9月16日（土）、10月21日（土）いずれも15：00～15：45
- (4) こどものイベント
「あなたもデザイナー?!つくってみよう！マイ☆コスチューム」
10月14日（土）13：30～16：00
- (5) ミュージアム・ボランティアによる解説会
会期中の毎週日曜日 11：00～11：15
- (6) ゆっくり解説会 ※コレクション展Ⅱ、チャンネル14と共通
11月12日（日）13：00～14：30



B3ポスター



チラシ

印刷物

[ポスター] B1、B2、B3 片面カラー

[チラシ] A4 両面カラー

[作品リスト] B4二つ折り 両面単色

[鑑賞ガイド] A5 8頁

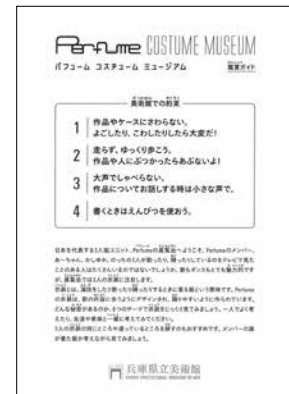
[カタログ] B5 68頁

編集：久慈達也、川村庸子

発行：神戸新聞社

久慈達也「巫女の羽衣—Perfume衣装が示すもの」

ごあいさつ、章解説、発想と制作、メンバーセレクト「わたしたちのお気に入り!」、Perfume SELECTED DISCOGRAPHY 2005-2022、作品リスト、参考文献



鑑賞ガイド

関連記事

神戸新聞	5.3.3	(朝刊)	Perfume初の大規模衣装展
神戸新聞	5.6.7	(朝刊)	Perfumeの世界、間近で (小林伸哉)
毎日新聞	5.6.14	(朝刊)	Perfume衣装と共に進化 (入江直樹)
神戸新聞	5.6.29	(朝刊)	史上最大規模の衣装展
神戸新聞	5.8.28	(朝刊)	衣装に見る3人の魅力
ZOZONEXT(web) 5.9.1 音楽とファッションが融合した、特別展「Perfume COSTUME MUSEUM」			
神戸新聞	5.9.2	(朝刊)	視 妥協なき職人技 細部に (長嶺麻子)
神戸新聞	5.9.4	(朝刊)	3人の世界観20年の歩み (橋本こずえ)
神戸新聞	5.9.6	(夕刊)	Perfumeが山電ジャック (長嶺麻子)
アイエム (web)	5.9.7		Perfumeの衣装、170点がざらり—兵庫県立美術館で「Perfume COSTUME MUSEUM」
装苑ONLINE (web)	5.9.7		Perfumeの衣装展『Perfume COSTUME MUSEUM』会場の様子をレポート!
神戸新聞	5.9.8	(朝刊)	ライブ衣装 間近に (小林伸哉、津田和納)
Tokyo Art Beat (web)	5.9.8		Perfume、初の大規模衣装展「Perfume COSTUME MUSEUM」レポート! 兵庫県立美術館で、9月9日からスタート (小倉ちあき)
Lmaga.jp (web)	5.9.8		Perfume、初の衣装展で神戸に「まさかこんな展示が…」 (宮口佑香)
神戸新聞	5.9.9	(朝刊)	お気に入りの衣装に3人笑顔 (小林伸哉)
神戸新聞	5.9.9	(朝刊)	Perfume 衣装でたどる飛躍の軌跡
神戸新聞	5.9.10	(朝刊)	珠玉の180着 ファン魅了 (小林伸哉)
神戸新聞	5.9.10	(朝刊)	オシカツ6 Perfume 数々の衣装、こだわりに驚き (勝浦美香)
産経新聞	5.9.15	(夕刊)	Perfumeの歩み 170着衣装でたどる (正木利和)
装苑ONLINE (web)	5.9.18		「夢物語!」な衣装展『Perfume COSTUME MUSEUM』で再確認した思い、近年の衣装のこと。
神戸新聞	5.9.22	(朝刊)	すたいる こだわり衣装180着 愛満載 (小林伸哉)
読売新聞	5.9.30	(夕刊)	香り立つ 時代と衣装 (今岡竜弥)
日本経済新聞	5.10.17	(夕刊)	「総合芸術」彩る分身 (岩本文枝)
神戸新聞	5.10.25	(朝刊)	Perfume衣装展3万人 (勝浦美香)
朝日新聞	5.10.26	(夕刊)	Perfumeと共に 歩んだ分身 (神宮桃子)
神戸新聞	5.10.26	(朝刊)	開催記念し21曲 プレイリストに (長嶺麻子)
神戸新聞	5.11.9	(朝刊)	時代の文化動向確認に公共性 (久慈達也)
神戸新聞	5.11.18	(朝刊)	独創的発想の源を披露 (小林伸哉)
神戸新聞	5.11.19	(朝刊)	試行錯誤重ね「毎回が実験」 (小林伸哉)



カタログ

出 品 目 録

No.	衣装名(使用楽曲／ライブ名)	制作年	制作者名(スタイリング、デザイン、制作)	所蔵
第1章 近未来型の挑戦者				
1	リニアモーターガール	2005	デザイン:高橋恵美	アミューズ
2	コンピューターシティ	2006	スタイリング・制作:内澤研	アミューズ
3	Dream Fighter	2008	スタイリング:内澤研	アミューズ
4	シークレットシークレット	2008	デザイン・制作:内澤研	アミューズ
5	第59回NHK紅白歌合戦	2008	デザイン・制作:内澤研	アミューズ
6	ワンルーム・ディスコ	2009	スタイリング・制作:内澤研	アミューズ
7	NIGHT FLIGHT	2009	デザイン・制作:内澤研	アミューズ
8	不自然なガール	2010	デザイン・制作:内澤研、鈴木淳哉	アミューズ
9	ねえ	2010	スタイリング・制作:内澤研	アミューズ
10	レーザービーム	2011	デザイン:三田真一 制作:内藤智恵	アミューズ
11	GLITTER	2011	デザイン:三田真一 制作:内藤智恵	アミューズ
12	JPN	2011	デザイン:三田真一	アミューズ
第2章 止まらない進化				
13	Spring of Life	2012	デザイン:三田真一 制作:旭美佳	アミューズ
14	Spending all my time	2012	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
15	FAKE IT	2012	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
16	未来のミュージアム	2013	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
17	Magic of Love	2013	デザイン:三田真一 制作:内藤智恵	アミューズ
18	Magic of Love	2013	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
19	LEVEL 3	2013	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
20	カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル	2013	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
21	Sweet Refrain	2013	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
22	Cling Cling	2014	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
23	Cling Cling	2014	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
24	Pick Me Up	2015	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
25	Next Stage with YOU	2015	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
26	SXSW/「COSMIC EXPLORER」北米ツアー	2015/16	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
第3章 「未来」を超えて				
27	FLASH	2016	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
28	COSMIC EXPLORER	2016	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
29	TOKYO GIRL	2017	デザイン:Toshio Takeda 制作:内藤智恵	アミューズ
30	NTT docomo 「FUTURE-EXPERIMENT VOL. 01 距離をなくせ。」	2017	デザイン:Toshio Takeda 制作:内藤智恵	アミューズ
31	Future Pop	2018	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
32	「Perfume × TECHNOLOGY」 presents “Reframe”	2018	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
33	Perfume 「Reframe 2019」	2019	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ

No.	衣装名(使用楽曲／ライブ名)	制作年	制作者名(スタイリング、デザイン、制作)	所蔵
34	再生	2019	デザイン:Toshio Takeda 制作:内藤智恵	アミューズ
35	Time Warp	2020	デザイン:三田真一 制作:内藤智恵	アミューズ
36	ポリゴンウェイヴ	2021	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
37	Spinning World	2022	デザイン:三田真一 制作:内藤智恵 ぜんまい制作:自由廊	アミューズ

第4章 ステージに立つの

38	結成10周年、メジャーデビュー5周年記念! Perfume LIVE @東京ドーム 「1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11」	2010	デザイン:Toshio Takeda 制作:仲宗根珠子	アミューズ
39	結成10周年、メジャーデビュー5周年記念! Perfume LIVE @東京ドーム 「1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11」	2010	デザイン:Toshio Takeda 制作:仲宗根珠子	アミューズ
40	Perfume 3rd Tour「JPN」	2012	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
41	Perfume 3rd Tour「JPN」	2012	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
42	Perfume 3rd Tour「JPN」	2012	デザイン:三田真一 制作:内藤智恵	アミューズ
43	Perfume WORLD TOUR 1st	2012	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
44	Perfume WORLD TOUR 2nd	2013	デザイン:三田真一 制作:内藤智恵	アミューズ
45	第9回 KKBOX MUSIC AWARDS	2014	デザイン・制作:Mame Kurogouchi	アミューズ
46	Perfume 5th Tour 2014「ぐるんぐるん」	2014	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
47	Perfume Anniversary 10days 2015 PPPPPPPPP「LIVE 3.5:6:9」	2015	デザイン:Toshio Takeda 制作:内藤智恵	アミューズ
48	Perfume 6th Tour 2016 「COSMIC EXPLORER」	2016	デザイン:Toshio Takeda 制作:内藤智恵	アミューズ
49	「COSMIC EXPLORER」北米ツアー Dome Edition	2016	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
50	Perfume 8th Tour 2020 “P Cubed in Dome” 2020	2020	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ

メンバーセレクト「私たちのお気に入り!」

51	Perfume 4th Tour in DOME「LEVEL3」	2013	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
52	Perfume WORLD TOUR 3rd	2014	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
53	Amuse Fes in MAKUHARI 2018 —雨男晴女—	2018	デザイン:Toshio Takeda 制作:村田菜穂 (nju)	アミューズ
54-a	Perfume 4th Tour in DOME「LEVEL3」	2013	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
54-b	Perfume FES!! 2017	2017	デザイン:Toshio Takeda 制作:村田菜穂 (nju)	アミューズ
54-c	Perfume Live 2021 [polygon wave]	2021	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
55-a	MTV VIDEO MUSIC AWARDS JAPAN 2012	2012	デザイン:三田真一 制作:内藤智恵	アミューズ
55-b	第70回NHK紅白歌合戦	2019	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
55-c	CDTV ライブライブ!年越しスペシャル! 2022→2023	2022	デザイン:三田真一 制作:Dés Pierre	アミューズ
56-a	BBQ in つま恋 ～僕らのビートを喰らえコラ!～	2013	デザイン:Toshio Takeda 制作:村田菜穂 (nju)	アミューズ
56-b	Perfume Anniversary 10days 2015 PPPPPPPPP「LIVE 3.5:6:9」	2015	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
56-c	P.T.A. 発足10周年!! と5周年!! “Perfumeとあなた”ホールツアー	2018	デザイン:Toshio Takeda 制作:内藤智恵	アミューズ

No.	衣装名(使用楽曲／ライブ名)	制作年	制作者名(スタイリング、デザイン、制作)	所蔵
発想と制作				
57	Perfume 4th Tour in DOME「LEVEL3」	2013	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
58	「COSMIC EXPLORER」Dome Edition	2016	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
59	第69回NHK紅白歌合戦	2018	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	アミューズ
M-1	GAME(かしゆか)	2008	デザイン・制作:内澤研	アミューズ
M-2	髪留めコレクション(あ〜ちゃん)			アミューズ
M-3	Perfume 4th Tour in DOME「LEVEL3」 (No. 57) 型紙(共通・部分)	2013	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	SAQULAI, Inc
M-4	Perfume 6th Tour 2016「COSMIC 2016 EXPLORER」(No. 48) 型紙(のっち・部分)		デザイン:Toshio Takeda 制作:内藤智恵	内藤智恵
M-5	「COSMIC EXPLORER」Dome Edition (No. 58) 型紙(かしゆか・部分)	2016	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	SAQULAI, Inc
M-6	「COSMIC EXPLORER」Dome Edition (No. 58) 制作仕様書	2016	デザイン:Toshio Takeda 制作:SAQULAI, Inc	SAQULAI, Inc
M-7	「Future Pop」(No.31)デザイン検討資料	2018	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	SAQULAI, Inc
M-8	第69回NHK紅白歌合戦(No. 59、ほか) 制作仕様書	2018	デザイン:三田真一 制作:SAQULAI, Inc	SAQULAI, Inc
M-9	Spinning World (No. 37) 型紙(共通・部分)	2022	デザイン:三田真一 制作:内藤智恵	内藤智恵
M-10	デザイン資料			Toshio Takeda
M-11	デザイン資料			三田真一

3. 生誕120年 安井仲治一僕の大切な写真

令和5年12月16日（土）～令和6年2月12日（月・振休）

主 催：兵庫県立美術館、神戸新聞社、共同通信社
協 力：銀遊堂、PGI、株式会社アフロ
協 賛：公益財団法人伊藤文化財団
助 成：公益財団法人ポーラ美術振興財団
特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

戦前に関西を拠点に活動した写真家、安井仲治（1903-1942）の生誕120年を記念する個展を開催した。当館は前身である兵庫県立近代美術館の時代から安井をはじめとする戦前の写真家たちの調査研究を続けてきたが、特別展での安井仲治の紹介は新館への移転後は今回が初となる。出品作品の過半数は当館に寄託されているヴィンテージプリントで、これを安井の代表作のモダンプリントが補完する構成である。20年前の2004-2005年にも渋谷区立松濤美術館と名古屋市美術館で安井の本格的な個展が開催され、この時に作家自身のネガから失われた代表作のモダンプリントも制作された。今回の個展でも新たにデジタル技術を導入したモダンプリントの制作を行い出品リストに加えることとした。この度の安井の個展は愛知県美術館で立ち上がり、当館、そして東京ステーションギャラリーへと巡回し、安井仲治という作家の重要性をあらためて世に問う好機となった。

関連事業 ※参加者数等はp.103参照

(1) 記念トーク

「美術家から見た安井仲治」

島袋道浩（美術家）

1月28日（日）15：00～16：30

(2) 学芸員によるレクチャー

1月6日（土）、2月10日（土） いずれも15：00～15：45

(3) ミュージアム・ボランティアによる解説

毎週日曜日 11：00～11：15

(4) こどものイベント特別編

「野口里佳さんによるワークショップ」

野口里佳（写真家）

1月21日（日）10：15～16：30

(5) ワークショップ

「野口里佳さんによるワークショップ」

野口里佳（写真家）

1月20日（土）10：15～17：00

印刷物

〔ポスター〕 B1、B2、B3 片面カラー

〔チラシ〕 A4 両面カラー

〔作品リスト〕 A3二つ折り 両面単色

〔図録〕 B5 344頁 ※河出書房新社より一般書籍『安井仲治作品集』として刊行



B2ポスター



B3ポスター



チラシ

編集：兵庫県立美術館、愛知県美術館、東京ステーションギャラリー、共同通信
社 文化事業室

発行：河出書房新社

作品図版200点

安井仲雄「父のこと」

小林公「安井仲治 僕の大切な写真」

中村史子「1920年代の安井仲治 その豊かな絡まりと汲み尽くせなさ」

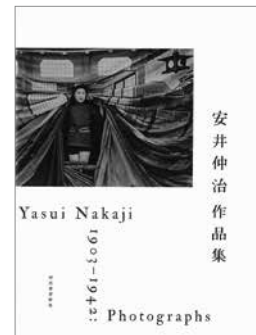
尾崎登志子「安井仲治とモンタージュ 1930年代の合成写真から「半静物」
まで」

若山満大「世界そのものの愛好者 安井仲治と「不易流行」をめぐる一考察」

比田井一良「安井仲治の磁力」

中島徳博「安井仲治と1930年代」

文献再録、自作解説、資料、『安井仲治写真作品集』（『遺作集』）再録、年譜、出品歴、参考文献、掲載
作品一覧



図録表紙

関連記事

- Tokyo Art Beat (web) 5.10.17 日本の写真史をなぞる存在。写真家・安井仲治の魅力とは？「生誕120年 安井仲治」展を企画した3館のキュレーターが語り合う
- 神戸佳族 (vol. 105) 5.10.20 兵庫県立美術館だより vol. 28 生誕120年 安井仲治—僕の大切な写真 (小林公)
- 神戸商工だより (vol. 806) 5.11.26 神戸の名作 《流氓ユダヤ 窓》安井仲治 (小林公)
- 神戸新聞 5.11.27 (朝刊) 「生誕120年 安井仲治—僕の大切な写真」展
- 神戸新聞 5.12.10 (朝刊) 安井仲治 僕の大切な写真 展 (小林公)
- 美術手帖 (web) 5.12.15 日本写真史において唯一無二の存在。キュレーターとめぐる、安井仲治の20年ぶりの展覧会
- 読売新聞 5.12.28 (夕刊) 写真家・安井仲治 回顧展 (今岡竜弥)
- AMeeT (web) 5.12.29 世界を見つめた個性—「生誕120年 安井仲治—僕の大切な写真」
- NHK Eテレ (放送) 5.12.24 日曜美術館 アートシーン
- 神戸新聞 5.12.30 (朝刊) 「正平調」
- 美術手帖 (no. 1100) 6.1.1 「偉大なる凡才」の肖像 (清水穰)
- 産経新聞 6.1.12 (夕刊) 「僕の大切な写真」兵庫県立美術館 (正木利和)
- 毎日新聞 6.1.14 (朝刊) 安井仲治が見た社会 (岸桂子)
- 神戸新聞 6.1.20 (朝刊) 生誕120年 安井仲治—僕の大切な写真 上 (小林公)
- 神戸新聞 6.1.21 (朝刊) 生誕120年 安井仲治—僕の大切な写真 中 (小林公)
- 毎日新聞 6.1.22 (夕刊) 生誕120年 安井仲治 兵庫県美で回顧展 (山田夢留)
- 神戸新聞 6.1.24 (朝刊) 生誕120年 安井仲治—僕の大切な写真 下 (小林公)
- 朝日新聞 6.3.12 (夕刊) 評 生誕120年 安井仲治—僕の大切な写真 (大西若人)

出 品 目 録						
No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵(記載がないオリジナルプリントと1950年代のモダンプリントは個人蔵(兵庫県立美術館寄託))
1章 1920s—仲治誕生						
1		分離派の建築と其周囲	1922年		27.5×20.5	
2		(都会風景(2))	1922年頃		24.4×29.6	
3		(都会風景(1))	1922年頃		20.2×27.2	
4		駅頭の昼	1922年		21.1×26.1	
5		西大阪所見	1923年	プロムオイル	21.3×27.4	
6		盛夏偶見	1923年		21.5×22.7	
7		クレインノヒビキ	1923年	プロムオイル	26.3×38.1	
8		日没の前	1923年		13.3×19.1	
9		秋風落漠	1922年頃		11.1×15.0	
10		眺める人々	1925年 / 2023年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:プロムオイル)*	26.0×32.6	
11		猿廻しの図	1925年 / 2023年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:プロムオイル)*	26.0×36.5	
12		甲板偶見	1924年	プロムオイル	19.8×13.7	
13		或る学生の像	1926年	プロムオイル	36.9×25.4	
14		或る船員の像	1927年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:プロムオイル)	21.3×16.0	渋谷区立松濤美術館
15		(童女スケッチ)	1927-28年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:プロムオイルか)	21.3×16.3	渋谷区立松濤美術館
16		(童女スケッチ)	1928年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:プロムオイルか)	15.3×16.4	渋谷区立松濤美術館
17		村之児	1927年		33.9×26.8	
18		小供	1929年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:プロムオイルか)	31.3×17.9	渋谷区立松濤美術館
19		(横たわる女)	1930年頃		28.2×53.0	安井富子氏蔵
20		(農夫)	1927年	オイルトランスファーか	20.7×16.3	
21		(肖像)	1929年	オイルトランスファーか	26.7×17.5	
22		(農夫喫煙)	1927-28年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:プロムオイル)	21.3×22.3	渋谷区立松濤美術館
23		村径之図	1926年 / 2023年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:プロムオイル)	25.9×27.2	
24		夕べ	1926年	プロムオイル	24.7×34.6	
25		路傍閑語	1928年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:ゴム印画)	21.2×31.3	渋谷区立松濤美術館
26		雨もよひの日	1927-28年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:プロムオイル)	31.3×21.5	渋谷区立松濤美術館
27		秋	1926年頃	プロムオイル	24.3×28.4	
28		野末の秋	1927年	プロムオイル	26.8×35.5	
29		花と花びんの静物	1926年		18.7×18.5	
30		静物	1927年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布 (オリジナルの技法:プロムオイル)	24.0×28.8	渋谷区立松濤美術館
31		頸飾りをしたる踊り子	1926年	プロムオイル	36.6×28.7	
ref. 1		夏の雲	1921年頃		9.0×7.3	
ref. 2		峠の終り	1922年		11.0×15.1	
ref. 3		春日小品	1923年頃		10.0×12.3	
ref. 4		白鳥像	1924年	プロムオイル	25.4×18.8	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵(記載がないオリジナルプリントと1950年代のモダンプリントは個人蔵(兵庫県立美術館寄託))
ref. 5		銀鈴社写真展ポスター	1928年		34.7×26.5	
参考資料		ネガコンタクトプリント 《猿廻しの図》及び関連ネガ	1925年 / 2023年			
参考資料		ネガコンタクトプリント 《或る船員の像》、《(童女スケッチ)》	1927-28 / 2023年			
参考資料		安井仲治愛用のカメラ ライカ III B				個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料		安井仲治愛用のカメラ ローライフレックス				個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料		浪華写真倶楽部受賞バッジ				個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料 A・A会(明星商業学校同窓生同人会)		回覧同人誌『AMITIE』	1921年秋			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託／安井仲治旧蔵)
参考資料 A・A会(明星商業学校同窓生同人会)		回覧同人誌『AMITIE』	1922年6月			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託／安井仲治旧蔵)
参考資料 A・A会(明星商業学校同窓生同人会)		同人誌『星座』新年号	1925年1月			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託／安井仲治旧蔵)
参考資料		『写真芸術』第3巻第6号 (1923年6月号) 写真芸術社、東京	1923年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料		安井仲治の写真アルバム	1921年			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託／安井仲治旧蔵)
参考資料		安井仲治の写真アルバム	1922年			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託／安井仲治旧蔵)
参考資料		浪華写真倶楽部機関誌 『写真界』第19巻(1924年3月号) 桑田商会、大阪	1924年			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託／安井仲治旧蔵)
参考資料		浪華写真倶楽部機関誌 『写真界』第22巻7号(1927年8月号) 桑田商会、大阪	1927年			個人蔵
参考資料		『浪華写真倶楽部会報』(1930年9月号) 浪華写真倶楽部、大阪	1930年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料		『浪華写真倶楽部会報』(1931年10月号) 浪華写真倶楽部、大阪	1931年			個人蔵(安井仲治旧蔵)

2章 1930s-1—都市への眼差し

32	(牛 Ver.)	1929年頃		25.4×40.9	
33	草	1929年頃		29.8×19.5	
34	(花)	1929-32年		42.5×29.6	
35	自動車と人物	1929年		33.2×26.4	
36	(静物)	1929年	ブロムオイル	39.6×28.0	
37	平野町	1929年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布(オリジナルの技法:ブロムオイル)	38.2×30.2	渋谷区立松濤美術館
38	馬場町	1929年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布(オリジナルの技法:ブロムオイル)	26.5×38.2	渋谷区立松濤美術館
39	都会風景	1930年 / 2023年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布(オリジナルの技法:ブロムオイル)*	26.5×38.2	
40	(風景)	1932年	ブロムオイル	38.4×50.6	
41	工事場	1930-31年 / 2004年		36.9×30.5	渋谷区立松濤美術館
42	海港風景	1930年 / 2023年		30.0×51.2	
43	工作場ニテ	1931年		49.4×30.9	
44	建築物逆光線	1931-32年		42.9×26.7	
45	(警官)	1930年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布(オリジナルの技法:ブロムオイルか)	21.3×15.7	渋谷区立松濤美術館
46	メーデーの写真	1931年 / 2004年		22.1×37.9	渋谷区立松濤美術館
47	旗	1931年 / 2023年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布(オリジナルの技法:ブロムオイル)*	26.5×36.9	
48	歌	1931年 / 2023年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布(オリジナルの技法:ブロムオイル)*	37.8×29.6	

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵(記載がないオリジナルプリントと1950年代のモダンプリントは個人蔵(兵庫県立美術館寄託))
49		検束	1931年 / 2004年	ゼラチン・シルバー・プリントにオイルメディウム、油絵具を塗布(オリジナルの技法:プロムオイルか)	29.5×38.0	渋谷区立松濤美術館
50		(凝視)	1931年 / 2023年		37.9×28.5	
51		(波と群衆)	1931年頃		17.6×30.0	
52		水	1931-32年		41.6×54.6	
53		相剋	1931-32年 / 2004年		26.6×37.9	名古屋市美術館
54		街頭断片	1932年 / 2004年		33.3×30.5	名古屋市美術館
55		(フォトモンタージュ)	1931年	ゼラチン・シルバー・プリント(フォトモンタージュ)	36.7×26.2	
56		斧と鎌	1931年		32.5×24.1	
57		(機関銃)	1932年頃	プロムオイル	24.0×38.6	
58		(光の線条)	1933年		21.0×28.1	
59		(影)	1933-37年		30.4×23.1	
60		即興	1935年 / 2023年		29.8×27.4	
61		自像	1933年		30.5×23.1	
62		(熱帯魚・モンタージュ)	1933-37年		25.5×21.6	
63		女とグラス	1938年頃		39.5×32.7	
64		(蛸)	1933年頃		14.7×19.5	
65		(魚)	1932年頃		37.7×26.8	
66		氷牙	1934年		31.4×25.5	
67		(金網)	1930年代		33.8×27.5	
68		肌	1936年		21.2×14.0	
69		(道具(1))	1932-39年		26.4×21.7	
参考資料		ネガコンタクトプリント 〈メーカー〉シリーズ	1931年 / 2023年			
参考資料		ネガコンタクトプリント 《(凝視)》	1931年 / 2023年			
参考資料		『光画』第1巻第5号(1932年10月号) 聚楽社、東京	1932年			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託／安井仲治旧蔵)
参考資料	小 石 清	『初夏神経』 浪華写真倶楽部、大阪	1933年			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託／安井仲治旧蔵)
参考資料	ヴェルナー・グレーフ	「映画と写真」展関連書籍 『新しい写真家がやってくる』 ヘルマン・レッケンドルフ、ベルリン	1929年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料	柳瀬正夢(編・著)	『無産階級の画家 ゲオルゲ・グロス』 鉄塔書院	1929年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料		『フォトグラフィ』 アール・エ・メチエ・グラフィック、パリ	1931年			個人蔵(安井仲治旧蔵)

3章 1930s-2—静物のある風景

70		花	1932-34年		33.0×44.7	
71		秋風	1933年 / 2004年		37.9×27.8	名古屋市美術館
72		(蛾)	1934年頃 / 1950年代		30.8×38.3	
73		蛾(一)	1934年 / 2023年		25.2×30.7	
74		蛾(二)	1934年		24.9×32.8	
75		椅子	1935年		19.8×14.6	安井富子氏蔵
76		(陽光(1))	1932-39年		19.5×14.8	
77		窓外	1935年		19.5×14.7	
78		ばせを	1931-34年 / 2004年		37.8×30.5	渋谷区立松濤美術館
79		(夏の妻)	1930年代中頃		20.7×14.6	
80		子供 Ver.	1933年		29.1×26.0	
81		子供	1935年		43.7×30.7	
82		海辺	1934年 / 2004年		31.3×22.9	渋谷区立松濤美術館
83		子供	1934年 / 2004年		38.0×24.5	名古屋市美術館
84		少年裸身	1935年		39.8×27.7	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵(記載がないオリジナルプリントと1950年代のモダンプリントは個人蔵(兵庫県立美術館寄託))
85		(海女)	1936年頃		44.2×54.2	
86		女	1936年		21.1×14.6	
87		波	1935年		14.8×19.5	
88		(少女と犬)	1930年代後半		25.9×24.6	
89		(看板)	1932-37年		28.6×41.8	
90		スケッチ	1933年頃		14.7×19.9	
91		(看板)	1937-40年		29.1×38.5	
92		(街頭)	1932-37年		25.8×44.5	
93		窓外(2)	1938年		19.0×13.9	
94		(街頭)	1932-37年		42.7×25.8	
95		浅春	1937年		31.0×37.8	
96		犬	1935年 / 2023年		45.8×29.0	
97		微風	1937年 / 2004年		30.4×31.9	渋谷区立松濤美術館
98		微笑	1937年		43.2×29.9	
99		(壺と花)	1930年代		27.0×33.8	
100		甕工	1936年		52.4×38.8	
101		秩序	1935年 / 2023年		43.7×32.5	
102		製材所にて	1937年 / 2004年		22.4×31.4	名古屋市美術館
103		公園	1936年		53.3×40.3	
104		海浜	1936年 / 2004年		45.5×32.5	渋谷区立松濤美術館
105		帽子	1936年 / 2023年		38.0×40.0	
106		晩秋風景	1936年		38.8×45.4	
107		(構成)	1930年代		27.7×24.2	
108		アクター	1937年 / 2004年		30.5×36.3	渋谷区立松濤美術館
109		男	1937年 / 2004年		37.9×25.5	渋谷区立松濤美術館
110		「どん底」	1937年 / 2004年		37.9×23.9	渋谷区立松濤美術館
111		(「どん底」楽屋)	1937年		29.5×24.5	
112		(山羊と半島婦人)	1937-40年		30.3×42.5	
113		(《ネギの花》関連作品(2))	1937年		33.8×25.1	
114		(朝鮮集落)	1937-40年		33.0×42.0	
115		ネギの花	1937年		32.1×36.2	
116		(《ネギの花》関連作品(1))	1937年		29.2×35.9	
参考資料		ネガコンタクトプリント 《秋風》	1933年 / 2023年			
参考資料		ネガコンタクトプリント 「虫」	1930年代半ば / 2023年			
参考資料		(安井のネガ分類)より				
参考資料		ネガコンタクトプリント	1937-40年 / 2023年			
参考資料		〈朝鮮集落〉シリーズ				
参考資料	安井仲治(共著)	『写真実技大講座 第5巻 風景撮影の実際』	1938年			兵庫県立美術館美術情報センター
参考資料		『ホーム・ライフ』第1巻第2号(1935年9月号)	1935年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料		大阪毎日新聞社				
参考資料		『アサヒカメラ』第22巻第3号(1936年9月号)	1936年			個人蔵
参考資料		朝日新聞社				

4章 1930s-3—夢幻と不条理の沃野

117		夜	1936-37年		30.2×24.4	
118		球のある構図	1938-39年 / 2004年		37.8×30.4	渋谷区立松濤美術館
119		(背広)	1938年頃		45.0×32.7	
120		(構成 振り子)	1938年頃		41.8×29.3	
121		風景装置	1938年 / 1950年代		32.5×34.3	
122		水に生まれた華	1938-39年		18.3×24.8	
123		(シルエットの構成)	1938年頃		31.5×42.0	

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵(記載がないオリジナルプリントと1950年代のモダンプリントは個人蔵(兵庫県立美術館寄託))
124		(シルエットの構成)	1938-39年		18.5×25.0	
125		モニュメント	1938年 / 2004年		32.2×30.4	渋谷区立松濤美術館
126		(構成 牛骨)	1938年頃		25.6×29.8	
127		(虫)	1938年頃		37.3×27.2	
128		蝶	1938年 / 2004年		34.9×45.5	渋谷区立松濤美術館
129		(蝶)	1938年頃		20.5×29.3	
130		蝶(二)	1938年		39.1×26.8	
131		女	1938年		24.9×21.8	
132		(恐怖)	1938年頃		35.2×24.1	
133		作品	1939年 / 2023年		33.8×43.1	
134		夕	1938年 / 2004年		35.5×37.8	名古屋市美術館
135		(大空の下での相撲)	1930年代後半		22.0×26.8	
136		(男)	1940年頃		41.4×24.8	
137		(構成)	1940年頃		36.3×26.2	
138		無事	1937年		43.0×30.2	
139		海辺	1938年		36.8×18.6	
140		生	1938年		38.2×27.1	
141		砂上	1938年 / 2004年		35.1×45.6	名古屋市美術館
142		クラゲと葉	1938年		18.7×21.3	
143		(クレーンとクラゲ)	1938年		28.3×19.5	
144		(干物)	1939年		30.5×25.5	
145		(草と石)	1930年代		41.3×29.5	
146		浅春	1939年		27.7×19.8	
147		地上	1939-40年 / 2004年		45.6×34.3	渋谷区立松濤美術館
148		魚	1938年 / 2004年		30.4×32.4	渋谷区立松濤美術館
149		魚	1938年 / 2023年		34.0×45.7	
150		(ひまわり)	1940年頃		35.8×43.8	
151		種子と乾く泥	1940-41年 / 2004年		35.3×40.6	名古屋市美術館
152		童子	1939年		45.6×35.7	
153		湖畔	1940年		43.4×33.8	
154		(草とびん)	1940年頃		31.5×42.3	
155		静物	1940年 / 2023年		29.3×35.8	
156		(作品 3)	1940年 / 2004年		30.5×45.6	名古屋市美術館
157		強い葉と枯れる草	1940年 / 2004年		33.5×45.5	渋谷区立松濤美術館
158		(磁力の表情)	1939年		35.5×42.3	
159		磁力の表情	1939年 / 2023年		27.2×42.3	
160		磁力の表情	1939年 / 2023年		42.3×30.3	
161		磁力の表情	1939年 / 2023年		42.3×29.4	
162		磁力の表情	1939年 / 2023年		29.8×42.3	
参考資料		ネガコンタクトプリント 「魚介」	1930年代半ば / 2023年			
		(安井のネガ分類)より				
参考資料		ネガコンタクトプリント 《魚》	1938年 / 2023年			
参考資料		『カイエ・ダール』 1937年	1937年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
		第4-5号 カイエ・ダール、パリ				
参考資料		『カイエ・ダール』 1939年	1939年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
		第5-10号 カイエ・ダール、パリ				
参考資料		『ミノトール』第11号	1938年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
		アルペール・スキラ、パリ				
参考資料		『ヴェルヴ』第2巻第4号	1939年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
		テリアード、パリ				
参考資料	マックス・エルンスト	『慈善週間 または七大元素』	1934年			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託 ／安井仲治旧蔵)
		ジャンヌ・ブシェー、パリ				
参考資料		『フォトタイムス』第15巻 第9号	1938年			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託 ／安井仲治旧蔵)
		(1938年9月号) フォトタイムス社				

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵(記載がないオリジナルプリントと1950年代の モダンプリントは個人蔵(兵庫県立美術館寄託))
5章	1930s-1942—不易と流行					
163		孤影	1940年		23.7×24.9	渋谷区立松濤美術館
164		犬	1939年		42.6×27.8	
165		風景	1940年 / 2004年		35.5×44.4	
166		(浜辺に横たわる青年)	1930年代後半以降		18.5×28.8	
167		(顔)	1940年頃		33.5×46.3	
168		(顔)	1940年頃		38.2×32.2	
169		惜別	1939-40年		29.6×23.3	
170		(《肩》関連作品(1))	1941年頃		41.0×33.0	
171		(《肩》関連作品(2))	1941年頃		40.4×33.8	
172		緑陰	1940年		33.8×43.0	渋谷区立松濤美術館
173		白衣勇士	1940年 / 2004年		35.3×44.0	
174		白衣勇士(着座)	1940年 / 2004年		31.6×45.6	
175		(馬と少女)	1940年		31.8×41.1	
176		(道化)	1940年		43.1×31.4	
177		(サーカスの女)	1940年		41.1×29.8	
178		サーカスの女	1940年		42.2×33.5	
179		(サーカスの女)	1940年		32.2×42.6	
180		流氓ユダヤ 母	1941年		32.1×31.8	
181		(流氓ユダヤ 子供)	1941年		32.3×32.8	名古屋市美術館
182		(流氓ユダヤ 横顔)	1941年		32.2×25.2	
183		(流氓ユダヤ 門)	1941年		42.8×34.6	
184		(流氓ユダヤ 顔)	1941年		36.7×29.6	
185		(流氓ユダヤ 対話)	1941年		30.1×34.9	
186		(流氓ユダヤ 中庭)	1941年		34.6×42.8	
187		(流氓ユダヤ 荷物)	1941年		31.5×41.1	
188		(流氓ユダヤ 顔)	1941年		38.4×30.0	
189		(《流氓ユダヤ 告示》関連作品)	1941年		41.5×30.1	
190		流氓ユダヤ 窓	1941年		42.3×32.6	
191		緋	1940年		43.9×31.4	
192		夜	1940年 / 2023年		33.2×44.8	
193		優美な魚	1940年		35.7×43.6	
194		(繭)	1940年頃		32.0×39.6	
195		熊谷守一氏像	1939-42年		32.7×41.8	
196		月	1941年 / 2023年		30.7×44.2	
197		雪	1941年		31.0×43.9	
198		上賀茂にて(一) 林	1941年		33.7×41.9	
199		上賀茂にて(三) 池	1941年 / 2023年		33.9×41.9	
200		上賀茂にて(二) 堀	1941年		34.0×43.7	
参考資料		ネガコンタクトプリント 〈サーカス〉シリーズ	1940年 / 2023年			
参考資料		ネガコンタクトプリント 〈サーカス〉シリーズ	1940年 / 2023年			
参考資料		ネガコンタクトプリント 〈上賀茂にて〉シリーズ	1941年 / 2023年			
参考資料		『写真画集 光』 丹平写真倶楽部	1940年			
参考資料		『新体制国民講座 第十集 芸 術篇』朝日新聞社	1942年			
参考資料		「写真の発達とその芸術的諸 相」自筆原稿	1941年			
参考資料		「写真の発達とその芸術的諸 相」講演用スライド	1941年			
						個人蔵(安井仲治旧蔵)

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵(記載がないオリジナルプリントと1950年代のモダンプリントは個人蔵(兵庫県立美術館寄託))
参考資料		歌川芳員《外国写真鏡之図》、1860年 月岡芳年《新柳二十四時 正午 1880年 十二時》、歌川芳員《仏蘭西》 1861年				個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料	箕 作 阮 甫	『改正増補蛮語箋』	1848年			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託 ／安井仲治旧蔵)
参考資料	ルネ・ダグロン (柳川春三訳)	『写真鏡図説』	1867年			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託 ／安井仲治旧蔵)
参考資料	ルネ・ダグロン (柳川春三訳)	『写真鏡図説』	1867年			個人蔵(兵庫県立美術館に寄託 ／安井仲治旧蔵)
参考資料		『フォトグラフィ』 アール・エ・メ チエ・グラフィック	1931年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料		『U.S. カメラ』vol. 1 U.S. カメ ラ出版社、ニューヨーク	1941年			個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料		『ライフ』(1941年2月24日号) 1941年 タイム社				個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料		『アサヒカメラ』第32巻第1号 1941年 (1941年7月号) 朝日新聞社				兵庫県立美術館美術情報センター
参考資料		『アルス写真年鑑』 アルス 1941年				兵庫県立美術館美術情報センター
参考資料		『写真文化』第23巻第4号 1941年 (1941年10月号) アルス				個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料		丹平写真倶楽部会員章				個人蔵(安井仲治旧蔵)
参考資料	上田備山(編)	『安井仲治写真作品集』	1942年			個人蔵

*図録ではnos. 10, 11, 39, 47, 48の技法をブロムオイルと記載しているが、誤りである。

4. スーラージュと森田子龍

令和6年3月16日（土）～5月19日（日）

主 催：兵庫県立美術館、神戸新聞社
企画協力：スーラージュ美術館
協 賛：公益財団法人伊藤文化財団
特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部
助 成：笹川日仏財団、一般財団法人安藤忠雄文化財団

フランスのアヴェロン県と兵庫県との20年をこえる交流を記念し、画家のピエール・スーラージュ（1919-2022／アヴェロン県出身）と、書家の森田子龍（1912-1998／兵庫県出身）の展覧会を開催した（コロナ禍により、2020年度から二度にわたって延期）。

戦後まもない時期、海外の抽象画と日本の前衛書は、国境やジャンルをこえて同時代性を示していた。森田子龍が編集を行っていた書の専門誌『墨美』（1951年6月創刊）では、1950年代、欧米の抽象絵画を次々と紹介した。ピエール・スーラージュとの関係も、『墨美』をきっかけとして始まった。黒を用いたモノクロームの作品を描く画家たちを、森田は「白黒の仲間」と呼び、そのような仲間ができることは喜びであり、励みとなったと述べている。

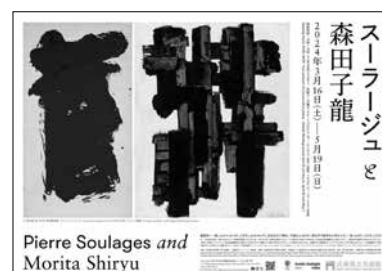
スーラージュ美術館の全面的な協力により、同館の所蔵品17点の出品が実現した。国内に所蔵されるスーラージュと森田子龍の1940年代後半から80年代の作品も集め、二人の作品約50点と森田子龍旧蔵資料を軸に、芸術家の出会いについて考えた。



B2ポスター

関連事業 ※参加者数等はp.103参照

- (1) 記念講演会
ブノワ・ドゥクロン（スーラージュ美術館 館長）
3月16日（土）14：00～15：30
- (2) 座談会
稲田宗哉氏（書家）聞き手：鈴木慈子（当館学芸員）
5月3日（金・祝）14：00～15：00
- (3) ゆっくり解説会
4月28日（日）13：30～14：25
- (4) 学芸員による解説会
4月6日（土）、5月4日（土・祝）いずれも15：00～15：45
- (5) こどものイベント「スーラージュと森田子龍 ～ふたりはどんな仲間？～」
3月23日（土）10：30～12：10
- (6) ミュージアム・ボランティアによる解説会
会期中毎週日曜日 11：00～11：15



B3ポスター

印刷物

〔ポスター〕 B1、B2、B3 片面カラー

〔チラシ〕 A4 両面カラー

〔図録〕 B5変型 144頁

編集：鈴木慈子、林優

発行：兵庫県立美術館



A4チラシ

作品図版50点

ブノワ・ドゥクロン「スーラージュの紙ペインティング」

鈴木慈子「東西にかける虹——森田子龍とピエール・スーラージュ」

向井晃子「森田子龍の前衛書における漆金作品の今日的意義——京都での
伝統の継承と革新」

略年譜、文献再録、主要参考文献、作品リスト

関連記事

神戸佳族 (Vol.107)	6.2.20	兵庫県立美術館だより Vol.29 モノクロームの作品を描く芸術家たち (鈴木慈子)
神戸新聞	6.3.11 (朝刊)	抽象×前衛 異才の出会い スーラージュと森田子龍
美術手帖 (web)	6.3.15	キュレーターが語る「スーラージュと森田子龍」
美術手帖 (web)	6.3.16	「スーラージュと森田子龍」(兵庫県立美術館) 開幕レポート。世界初の二人展 (橋爪勇介)
神戸新聞	6.3.16 (朝刊)	東西の垣根を越えた美 (津田和納)
Tokyo Art Beat (web)	6.4.8	「スーラージュと森田子龍」(兵庫県立美術館) レポート。フランスの国民的画家と前衛書の旗手、重なり合う黒の表現 (中島良平)
シグネチャー	6年4月号	黒い絵画のための美術館 画家スーラージュの足跡を南西フランスに訪ねる
神戸新聞	6.4.17 (朝刊)	スーラージュと森田子龍 (上) (鈴木慈子)
産経新聞	6.4.19 (夕刊)	抽象画と前衛書の同床異夢 (正木利和)
神戸新聞	6.4.20 (朝刊)	スーラージュと森田子龍 (中) (鈴木慈子)
神戸新聞	6.4.21 (朝刊)	スーラージュと森田子龍 (下) (鈴木慈子)
毎日新聞	6.4.24 (夕刊)	「白黒の仲間」の対話 兵庫県美で 書と抽象画の接近 (山田夢留)
AMeeT (web)	6.4.29	「スーラージュと森田子龍」インタビュー 共鳴する抽象絵画と前衛書 (平野成悟)
京都新聞	6.5.4 (夕刊)	線や黒の美を追究 2人の交流の軌跡 (三村智哉)
美術の窓	6年6月号	森田子龍とスーラージュ展にみる東西にかける“虹” (稲田宗哉)
アートコレクターズ	6年7月号	違うからこそそのリスペクト (樋口ヒロユキ)



A4チラシ



図録

出 品 目 録

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・材質	所蔵先
S01	ビエール・スーラージュ	紙にクルミ染料 48.2×63.4 cm、1946年	1946	48.4×63.2	クルミ染料・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S02	ビエール・スーラージュ	紙に墨 66×49.7 cm、1949年頃	c.1949	66×49.7	墨・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S03	ビエール・スーラージュ	紙にクルミ染料 63×50 cm、1949年	1949	63×50.5	クルミ染料・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S04	ビエール・スーラージュ	絵画 200×150 cm、1950年4月14日	1950	210×150	油彩・布	スーラージュ美術館
S05	ビエール・スーラージュ	紙にクルミ染料と鉛筆 65.1×50.1cm、1950年	1950	65.1×50.2	クルミ染料、鉛筆・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S06	ビエール・スーラージュ	紙に墨 65.2×50 cm、1950年	1950	65.2×50	墨・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S07	ビエール・スーラージュ	紙にクルミ染料 65.1×55 cm、1950-1951年	1950-51	65.3×50.4	クルミ染料・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S08	ビエール・スーラージュ	紙にグワッシュ 99.9×72.7 cm、1951年	1951	99.9×72.7	グワッシュ・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S09	ビエール・スーラージュ	紙にクルミ染料と木炭 63.7×50.2cm、1951年	1951	63.8×50.2	クルミ染料、木炭・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S10	ビエール・スーラージュ	紙にクルミ染料と墨 65.6×50.3cm、1951年	1951	65.6×50.3	クルミ染料、墨・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S11	ビエール・スーラージュ	紙に墨とグワッシュ 50.9×65.6cm、1951年	1951	50.9×65.6	墨、グワッシュ・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S12	ビエール・スーラージュ	絵画 100×72.7 cm、1953年7月19日	1953	100×72.7	油彩・布	富山県美術館
S13	ビエール・スーラージュ	絵画 162×130 cm、1959年5月4日	1959	162×130	油彩・布	大原美術館
S14	ビエール・スーラージュ	紙に墨 65.9×50.3cm、1961年	1961	65.7×51	墨・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S15	ビエール・スーラージュ	紙に墨 66.1×50.3cm、1961年	1961	66.2×50.3	墨・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S16	ビエール・スーラージュ	紙に墨 66.1×50.9cm、1961年	1961	66.2×50.9	墨・紙、カンヴァス	スーラージュ美術館
S17	ビエール・スーラージュ	絵画 143×202 cm、1964年11月19日	1964	143×202	油彩・布	スーラージュ美術館
S18	ビエール・スーラージュ	絵画 202×159 cm、1966年7月5日	1966	202.2×159.5	油彩・布	スーラージュ美術館
S19	ビエール・スーラージュ	絵画 130×162 cm、1966年7月22日	1966	130×162	油彩・布	富山県美術館
S20	ビエール・スーラージュ	絵画 202×143 cm、1967年10月4日	1967	203×143	油彩・布	スーラージュ美術館
S21	ビエール・スーラージュ	絵画 92×73 cm、1976年3月4日	1976	92×73	油彩・布	東京国立近代美術館
S22	ビエール・スーラージュ	絵画 324×400 cm、1987年	1987	324×400	油彩・布	彫刻の森美術館(公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団)
M01	森 田 子 龍	養心	1949	135×135	墨・紙	京都市美術館
M02	森 田 子 龍	坐俎上	1953	66.3×134.7	墨・紙	兵庫県立美術館
M03	森 田 子 龍	蒼	1954	121×69	墨・紙	国立国際美術館
M04	森 田 子 龍	底	1955	132×98	墨・紙	京都国立近代美術館
M05	森 田 子 龍	凍	1957	89.5×180	墨・紙	京都国立近代美術館
M06	森 田 子 龍	寒山	1958	96×177	墨・紙	京都国立近代美術館
M07	森 田 子 龍	坐俎上	1958	90×180	墨・紙	京都国立近代美術館
M08	森 田 子 龍	脱	1959	96×185.5	墨・紙	京都国立近代美術館
M09	森 田 子 龍	死	1961	93×182	墨・紙	京都国立近代美術館
M10	森 田 子 龍	龍	1965	79×109.1	漆金	兵庫県立美術館
M11	森 田 子 龍	龍	1965	166×312	漆金	清荒神清澄寺
M12	森 田 子 龍	瀟々	1965	138.2×269.5	墨・紙	兵庫県立美術館
M13	森 田 子 龍	冲	1965	157×303	漆金	清荒神清澄寺
M14	森 田 子 龍	虎	c.1965	158×308.8	漆金	兵庫県立美術館
M15	森 田 子 龍	朝	1970	69×90	墨・紙	清荒神清澄寺
M16	森 田 子 龍	寿	1970	90×69	墨・紙	清荒神清澄寺
M17	森 田 子 龍	香	1971	97×130	墨・紙	清荒神清澄寺
M18	森 田 子 龍	舞	1972	110×55	墨・紙	清荒神清澄寺
M19	森 田 子 龍	融	1972	47×69	墨・紙	清荒神清澄寺
M20	森 田 子 龍	圓	1972	69×89.5	墨・紙	兵庫県立美術館
M21	森 田 子 龍	縁	1973	46.7×68.5	墨・紙	清荒神清澄寺
M22	森 田 子 龍	道	1975	47×69	墨・紙	京都市美術館
M23	森 田 子 龍	忍	1975	90×130	墨・紙	清荒神清澄寺
M24	森 田 子 龍	風	1975	90×70	墨・紙	稲田宗哉
M25	森 田 子 龍	橋	1979	44.4×62.4	墨・紙	清荒神清澄寺
M26	森 田 子 龍	遊	1980	47×69	墨・紙	清荒神清澄寺

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・材質	所蔵先
M27	森田子龍	忍	1985	158×160	漆金	清荒神清澄寺
d01		『アトリエ』290号	1951			兵庫県立美術館
d02		『書之美』35号	1951			墨人会
d03		『墨美』第26号	1953			兵庫県立美術館
d04		『墨美』第76号	1958			兵庫県立美術館
d05		『墨美』第82号	1959			兵庫県立美術館
d06		『墨美』第121号	1962			兵庫県立美術館
d07		森田子龍の日記	1963			墨人会
d08		『墨美』第137号	1964			兵庫県立美術館
d09		『墨美』第297号	1980			兵庫県立美術館
d10		ロジェ・カイヨワ、森田子龍『印』	1979			個人蔵
d11		『印』発表会芳名帳	1980			個人蔵
特別 出品	ピエール・アレシンスキー	日本の書	1957	映画	15分55秒	

c. その他の主催展覧会

1. 2023県展

令和4年8月5日（土）～8月19日（土）

兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー 本館2階大展示室

主 催：兵庫県、兵庫県立美術館、神戸新聞社、公益財団法人 兵庫県芸術文化協会
部 門：絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザイン

本展は兵庫県下における芸術の振興に寄与することを目的とする公募展で、出品者は県内在住・在勤・在学の（在住・在勤・在学歴のある者を含む）美術愛好家や本格的な作家活動を目指す人々である。昭和37（1962）年に始まった「兵庫県美術公募展」（主催：兵庫県教育委員会、神戸新聞社）から数えて60回目となる今年は、デザイン部門で「ひょうご」、「60」をテーマにした作品も募集した。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、初の県展となったが、出品料の前納、部門別による作品搬入、業者搬入日の設定などの感染防止対策は継続した。さらに書類の事前受付については、要望の多かったWeb上での受付を初めて併用した。一方でコロナ下には中断していた博物館実習生による現場業務の実習や、ミュージアム・ボランティアによる会期中の監視・案内活動は、今年度より再開した。

応募数は平成28年度以来、久々に約600点の水準となった。特に周知に力を入れた高校生の応募が目立ち、10代の応募者は大幅に増えたが、20代は逆に昨年度を下回り、引き続き若い層へのアピールが課題である。来場者数は、台風による臨時休館（8月15日）もあり昨年度には及ばなかったものの、ほぼ同数を記録した。



B2ポスター



チラシ

〈部門別応募点数及び入選数〉 ※（ ）内は入選数

絵画	223 (74)
彫刻・立体	20 (7)
工芸	33 (11)
書	87 (29)
写真	214 (72)
デザイン	21 (7)
計	598 (200)

〈審査員〉※各部門50音順/敬称略

[県展大賞]	林 洋子（兵庫県立美術館館長）
[絵画]	佐川 晃司（画家／京都精華大学教授）
	松生 歩（日本画家／京都芸術大学教授）
	山崎 均（神戸芸術工科大学教授／西脇市岡之山美術館副館長）*発熱のため、審査会欠席
[彫刻・立体]	安達 一樹（徳島県立近代美術館学芸員）
	安藤 榮作（彫刻家）
	内田 晴之（彫刻家）
[工芸]	植松 永次（陶芸家）
	洲鎌佐智子（京都府京都文化博物館学芸課長）



出品目録

	ひろいのぶこ（造形作家／染織研究）
〔書〕	遠周 宏員（兵庫県書作家協会運営理事）
	古溝 幽畦（兵庫県書作家協会副理事長）
	弓野 隆之（大阪市立美術館学芸員）
〔写真〕	日下部一司（美術家／大阪芸術大学教授）
	中山 博喜（写真家／京都芸術大学教授）
	安田 篤生（奈良県立美術館副館長）
〔デザイン〕	江村 耕市（グラフィック・デザイナー／美術家／嵯峨美術大学教授）
	かわいひろゆき（神戸芸術工科大学教授）
	竹内 幸絵（同志社大学教授）

印刷物

〔出品規定〕	A3二つ折り 両面2色
〔ポスター〕	B2片面 2色
〔チラシ〕	A4片面 2色
〔出品目録〕	A4横 6頁

関連記事

神戸新聞	5.4.30（朝刊）	2023県展 実施要項決まる
神戸新聞	5.8.5（朝刊）	2023県展 19日まで 原田の森ギャラリー 新進美術家の200点
神戸新聞	5.8.6（朝刊）	県展で入賞・入選の200点 絵画、工芸、書など6部門展示 時代切り取った作品多く（竜門和諒）
神戸新聞	5.8.16（朝刊）	県民賞に椿野さん 県展 絵画「昼さがり」が最多得票（朝来）

各部門入賞者

〔絵画〕

一席 部門大賞(知事賞)	野 潤 博	《声をきく》
二席 兵庫県立美術館賞	臼 杵 寿子	《ある物語の切り抜き》
三席 神戸新聞社賞	小 谷 孝子	《生まれてこられなかった子供達》
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞／特別賞 県民賞	椿 野 聖梨	《昼さがり》
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	笠 野 千尋	《病室》
佳作	門 脇 済美	《Map一月あかりの街》
佳作	岩 崎 ナギ	《時代をプチ抜く音を》
佳作	蜂 谷 真須美	《草原から》
佳作	武 内 司郎	《この星の、いのちのつながり、かがやき》

〔彫刻・立体〕

一席 部門大賞(知事賞)	円 山 栞多	《ヒトになりきれなかったものたちへ》
二席 兵庫県立美術館賞	竹 中 恭子	《ピラミッドランド》
三席 神戸新聞社賞	藤 本 尚隆	《ディオニュソス》
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	坂 口 英幸	《HOMURAび》
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	小 岩 芽生	《山頂溪谷》
佳作	佐 藤 美夫	《「つわものどもがゆめのあと」》
佳作	濱 坂 幸代	《息吹》

【工芸】

一席 部門大賞(知事賞)
 二席 兵庫県立美術館賞
 三席 神戸新聞社賞
 四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞
 奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞
 佳作
 佳作
 佳作

丹生 あさ 《浮沈》
 松尾昭一郎 《シャウエンの風》
 神谷 俊彰 《流転無窮》
 田中萬里子 《丹波布九寸名古屋帯地》
 三原 航大 《passage》
 重村眞由美 《蓮》
 村田 実智 《1匹の迷える羊》
 藤田有里子 《到光》

【書】

一席 部門大賞(知事賞)
 二席 兵庫県立美術館賞
 三席 神戸新聞社賞
 四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞
 奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞
 佳作
 佳作
 佳作
 佳作

小寺 佳美 《笹の葉に》
 石川 無外 《花下忘帰》
 大住 仁堂 《杜牧詩》
 大谷 陽子 《鶯》
 巽 翠連 《李庭詩》
 稲田 浩司 《波》
 加部 華子 《冑山》
 矢持 秀峰 《秀峰篆刻》
 廣津 甲仙 《文武天皇詩》

【写真】

特席 県展大賞／一席 部門大賞(知事賞)
 二席 兵庫県立美術館賞
 三席 神戸新聞社賞
 四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞
 奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞
 佳作
 佳作
 佳作
 佳作
 佳作

勝木 俊典 《遠い記憶》
 加藤 昭代 《「暑中見舞い64」》
 和田 國雄 《ファミリー》
 門脇多美代 《視線》
 山本 豊 《夜景_大阪》
 杉本 伸英 《祭りの日》
 CHRIS園田 《WITH HIS LAST OUNCE OF COURAGE 戦禍の友へ》
 山田 純一 《アートギャラリー》
 竹山 正能 《天空への螺旋階段》
 田中 博美 《それぞれの事情》

【デザイン】

一席 部門大賞(知事賞)
 二席 兵庫県立美術館賞
 三席 神戸新聞社賞
 四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞
 奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞
 佳作
 佳作

しらいよう 《どうも、ひょうご犬^{ケン}です》
 風呂本和彦 《近日上映》
 石田 貢 《ふるさと》
 福居 善之 《bengal eagle owl》
 山口 輝 《姫字城》
 島津 貴充 《令和五年 卯年 還暦》
 大山阿果理 《蒼玉への導き》

※佳作については目録番号順に掲載。

各部門大賞および県展大賞・県民賞 受賞作

[絵 画]



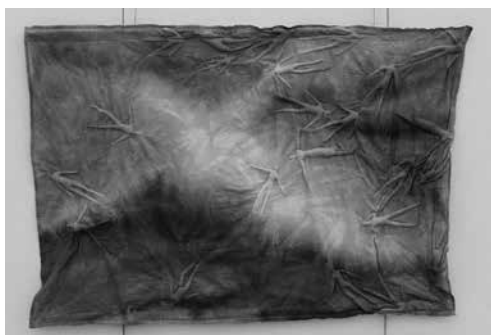
野淵 博《声をきく》

[彫 刻 ・ 立 体]



円山 栞多
《ヒトになりきれなかったものたちへ》

[工 芸]



丹生 あさ《浮沈》

[書]



小寺 佳美《笹の葉に》

[写 真]



勝木 俊典《遠い記憶》
県展大賞

[デザイン]



しらい よう
《どうも、ひょうご^{ケン}犬です》

県 民 賞



椿野 聖梨《昼さがり》
※絵画部門 四席受賞作品

2. 注目作家紹介プログラム チャンネル14 吉本直子 いのちをうたうー衣服、痕跡、その祈り 令和5年10月28日（土）～11月26日（日）

主 催：兵庫県立美術館
協 賛：公益財団法人伊藤文化財団、兵庫県立美術館「芸術の館友の会」
助 成：公益財団法人中内力コンベンション振興財団、公益財団法人野村財団
特別協力：Co3 Contemporary Dance Australia

注目作家を紹介するシリーズの第14回として、兵庫県出身の現代美術家、吉本直子（1972-）の個展を開催した。人が着用した白い古着を使った立体作品で知られる吉本の作品は、荘厳で儚く、見る者に生と死を感じさせる。本展では、アトリエ1にて吉本の代表作を展示し、人間が生きた記憶を留める数千枚もの古着の作品と静かに対峙する空間を創り出した。またアトリエ1から続く回廊とホワイエでは、コロナ禍に吉本がCo3コンテンポラリー・ダンス・オーストラリアと共に取り組んだプロジェクトを紹介。ダンス作品「アーカイブス・オブ・ヒューマニティ」は、コロナ禍で孤立したコミュニティが直面した危機と、その中でも前に進もうとする人間の強靱さを伝えた。世界各地の人々が自身の古着で鳥を制作し、思いをしたためた「ザ・バードメーカーズ・プロジェクト」では、黒い鳥の群れと手紙を展示。会期中に加わったカラフルな鳥は未来への希望を感じさせた。



チラシ

関連事業 ※参加者数等はp.103参照

- (1) アーティスト・トーク
吉本直子（出品作家）、遊免寛子（当館学芸員）
10月28日（土）14：00～15：00
- (2) ダンス作品「アーカイブス・オブ・ヒューマニティ」上映会
10月28日（土）、11月12日（日）、26日（日）
いずれも10：30～17：30
- (3) こどものイベント「ザ・バード・メーカーズ・プロジェクトー同じ空の下でー」“自分の服で鳥をつくろう！”
11月5日（日）10：30～15：30
- (4) 大人向けワークショップ「ザ・バードメーカーズ・プロジェクトー同じ空の下でー」
11月11日（土）13：15～16：30
- (5) ゆっくり解説会 ※Perfume展、コレクション展Ⅱと共通
11月12日（日）13：00～14：30



リーフレット

印刷物

- 〔チラシ〕 A4 両面カラー
〔リーフレット〕 B6 4ページ カラー

関連記事

神戸新聞 5.11.9（朝刊） 古着に宿る生と死表現 現代美術家・吉本直子さん個展

出 品 目 録						
No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	吉 本 直 子	本	2005	古着の白いシャツ、綿布	13×15×25	作家蔵
2	吉 本 直 子	地の残像	2012	古着のシャツ	43×97×230	作家蔵
3	吉 本 直 子	沈黙のこぼ	2012	白い古着、綿布、アクリル製の棚	90×90×18	作家蔵
4	吉 本 直 子	鼓動の庭	2012	白い古着、椅子	684×1,092×6	作家蔵
5	吉 本 直 子	白の棺	2021	古着の白いシャツ	67×102×266、 66×58×193	作家蔵
6	吉本直子とCo3コンテンポラリー・ダンス・オーストラリアと市民との協働	ザ・バード・メーカーズ・プロジェクト	2019-2023	古着、ワイヤー、手紙	サイズ可変	作家蔵
7	吉本直子とCo3コンテンポラリー・ダンス・オーストラリアと市民との協働	アーカイブス・オブ・ヒューマニティ	2021	映像	60分(繰り返し)	Co3コンテンポラリー・ダンス・オーストラリア

d. Ando Gallery

令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）

令和元年5月23日に第二展示棟としてオープンしたAndo Galleryでは、当館設計者でもある建築家・安藤忠雄に関する資料展示を通年で開催している。展示は安藤忠雄建築事務所が計画・担当し、主に同研究所の所蔵資料により（一部当館蔵）「Ⅰ 兵庫／復興」「Ⅱ 原点／仕事」「Ⅲ 最新プロジェクト」の3章構成で安藤の活動が紹介されている。本年度の出品目録は下記のとおりだが、一部の資料については他施設への貸出等のため未陳となる期間があった（当館所蔵資料の貸出についてはp.24参照）。なお本年度、Ando Galleryのリーフレットを作成し、来館者へ配布した（詳細はp.120参照）。

関連事業 参加者数等はp.103参照

Ken-Vi文化セミナー 安藤忠雄氏ギャラリートーク

5月28日（日）13：00～13：30

12月17日（日）13：00～14：00

出 品 目 録				
No. プロジェクト・タイトル	場所	年	資料内容	所蔵*
Ⅰ 兵庫/復興				
1～3 震災復興プロジェクト			パネル、映像	
1 淡路夢舞台	淡路市、兵庫県	1993-99	パネル	当館蔵
2 兵庫県立新美術館(芸術の館)+神戸市水際広場	神戸市、兵庫県	1997-2001	パネル、模型(1/200 スチレン)	
3 六甲の集合住宅ⅢⅣ	神戸市、兵庫県	1978-83、85-93、92-99、2002-09	パネル、図面(×2)、模型(1/300 コルク)	当館蔵
4 真言宗本福寺水御堂	淡路市、兵庫県	1989-91	パネル、模型(1/200 スチレン)	
5 小篠邸/KH ギャラリー	芦屋市、兵庫県	1979-81、83-84、2004-06	パネル、図面(×4)、模型(1/50 ボール紙)	
6 ロックフィールド 神戸ファクトリー	神戸市、兵庫県	2003-05	パネル	
7 ロックフィールド 静岡ファクトリー	磐田市、静岡県	1987-91、98-2000、06-08、19-	パネル、模型	
8 兵庫県立美術館 Ando Gallery	神戸市、兵庫県	2016-18	パネル	
Ⅱ 原点/仕事				
9 大淀のアトリエ	大阪市、大阪府	1980-91	パネル、模型(1/20 コンクリート)	
10 大淀のアトリエ アネックス	大阪市、大阪府	1994-95、2014-15	パネル、模型(1/10 コンクリート)	
11 住吉の長屋	大阪市、大阪府	1976	パネル、模型(1/10 コンクリート)	
12 光の教会/日曜学校	茨木市、大阪府	1989	パネル、模型(1/10 コンクリート)	
13 水の教会	勇払郡、北海道	1988	パネル	
14 住宅(富島邸、平岡邸、立見邸、内田邸、芝田邸、高橋邸、宇野邸、双生観・山口邸、松村邸、住吉の長屋・東邸、貫入・平林邸、番匠邸、帝塚山の家・真鍋邸、領壁の家・松本邸、ガラスブロックの家・石原邸、ガラスブロックウォール・堀内邸、片山ハウス、大西邸、松谷邸、上田邸、小篠邸、石井邸、赤羽邸、梅宮邸、九条の町屋・井筒邸、植条邸、茂木邸、城戸崎邸、金子邸、中山邸、畑邸、孫邸、佐々木邸、細工谷の家・野口邸、小倉邸、石河邸、李邸、ギャラリー野田、日本橋の家・金森邸、平野区の町屋・能見邸)		1971～1995	パネル、小模型	
Ⅲ 最新プロジェクト				
15～21 直島プロジェクト				
15 ベネッセハウス ミュージアム	直島町、香川県	1992	パネル、模型(1/300 木)	
16 ベネッセハウス オーバル	直島町、香川県	1995	パネル、模型(1/300 FRP)	
17 南寺 直島家プロジェクト	直島町、香川県	1999	パネル、模型(1/100 木)	
18 地中美術館	直島町、香川県	2004	パネル、模型(1/300 FRP)	
19 ベネッセハウス パーク/ビーチ	直島町、香川県	2006	パネル	
20 李禹煥美術館	直島町、香川県	2010	パネル、模型(1/300 FRP)	

No. プロジェクト・タイトル	場所	年	資料内容	所蔵*
21 Ando Museum	直島町、香川県	2013	パネル、模型(1/30 スチレン)	
22 こども本の森 中之島	大阪市、大阪府	2017-	パネル、模型(1/300 アクリル)	
23 中之島プロジェクト(アーバンエッグ+地層空間)	大阪市、大阪府	1998-	パネル、模型(1/300 FRP)	
24 IPU環太平洋大学の一連のプロジェクト	岡山市、岡山県	2006-	パネル、模型(1/300 スチレン)	
25~28 フランソワ・ピノー×安藤忠雄				
25 ピノー現代美術館(計画案)	パリ、フランス	2001	パネル	
26 パラッツォ・グラッシ・テアトリノ	ヴェニス、イタリア	2005-06、11-13	パネル	
27 プンタ・デラ・ドガーナ	ヴェニス、イタリア	2006-09	パネル、図面(×4)、模型(1/30 木) 模型(1/300 FRP)、映像	
28 ブルス・ドゥ・コメルス	パリ、フランス	2016-	パネル、模型(1/300 FRP) 模型(1/200 スチレン)、映像	

*記載のない場合は安藤忠雄建築研究所蔵



B2ポスター



リーフレット(内面)



ポストカード

B. 教育・普及活動およびイベント

- a. 学校教育との連携
- b. 来館者向けイベント
- c. 美術講座
- d. ボランティア
- e. 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

a. 学校教育との連携

当館は、前身の近代美術館時代より、子供たちが鑑賞マナーを習得しながら、芸術文化に対する関心を深め、美術作品の鑑賞を通じて感性を豊かに育むことが出来るように、学校の団体鑑賞を積極的に受け入れている。コレクション展では対話を用いて作品を鑑賞するギャラリートークを行い、特別展では鑑賞前のレクチャーを充実させるなど、児童・生徒・学生等がより能動的に美術作品を楽しめるようにサポートしてきた。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルスによる制限が解除されたため、展示室でのギャラリートークなどコロナ禍以前と同じプログラムを実施することが出来た。多くの学校は、各校の図工・美術専科及び校外学習担当の教員と当館の教育支援・事業担当の学芸員及びミュージアムティーチャーとの事前の下見及び打合せを経て作成したスケジュールのもとに受入れた。また、9月よりミュージアム・ボランティアの活動を再開し、当日は教育支援・事業担当の職員を中心に、他課の学芸員等が活動を支援した。

さらに、来館が困難な学校への出前授業、図工・美術専科担当の教員を対象にした事業を実施したほか、キャリア教育の支援、地域の学校の作品展への協力等、多くの学校や団体と連携し、地域と美術館を繋ぐさまざまな取り組みを行った。

1. 学校団体等の受入

No.	実施日	学校名	学年等	生徒数	引率数	鑑賞展覧会名
1	2023年4月8日(土)	四国大学 文学部 書道文化学科	1～3	85	4	コレクション展 I
2	2023年4月9日(日)	西宮市立学文中学校	美術部	9	1	コレクション展 I
3	2023年4月14日(金)	大阪市立九条南小学校	5,6	73	8	恐竜図鑑展、Ando Gallery
4	2023年4月18日(火)	神戸市立筒井台中学校 支援学級	1～3	7	2	恐竜図鑑展、Ando Gallery
5	2023年4月19日(水)	きのくにこどもの村中学校	1	5	1	恐竜図鑑展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
6	2023年4月28日(金)	大阪市立川北小学校	5	57	4	恐竜図鑑展
7	2023年4月28日(金)	芦屋市立朝日ヶ丘小学校	5	57	4	恐竜図鑑展
8	2023年4月29日(土)	神戸芸術工科大学 アート・クラフト学科	1	53	7	コレクション展 I、恐竜図鑑展
9	2023年5月2日(火)	大阪親愛学院中学校	1～3	98	11	コレクション展 I、恐竜図鑑展
10	2023年5月3日(水)	県立明石南高等学校	美術部	15	1	コレクション展 I、恐竜図鑑展
11	2023年5月10日(水)	かえで保育園		18	3	恐竜図鑑展
12	2023年5月11日(木)	神戸市立なぎさ小学校	6	47	3	恐竜図鑑展
13	2023年5月12日(金)	関西福祉科学大学高等学校	3	11	2	恐竜図鑑展
14	2023年5月12日(金)	ノートルダム女学院高等学校	3	110	6	コレクション展 I、恐竜図鑑展、Ando Gallery
15	2023年5月18日(木)	京都精華大学		33	3	コレクション展 I
16	2023年5月19日(金)	神戸朝鮮初中級学校	5	5	1	コレクション展 I
17	2023年5月20日(土)	甲南女子大学	2,3	19	1	コレクション展 I
18	2023年5月24日(水)	県立明石高等学校 美術科	1	40	2	コレクション展 I
19	2023年5月26日(金)	ECC国際外語専門学校 日本語学科		19	1	コレクション展 I
20	2023年5月30日(火)	神戸市立名倉小学校	6	31	3	コレクション展 I
21	2023年5月30日(火)	関西学院高等部	2	30	1	コレクション展 I、建築・屋外彫刻
22	2023年5月31日(水)	大阪教育大学 美術表現コース	1,3	19	3	コレクション展 I
23	2023年5月31日(水)	県立国際高等学校	1～3	17	3	コレクション展 I
24	2023年6月1日(木)	香美町立小代中学校	1	9	4	コレクション展 I、建築・屋外彫刻
25	2023年6月1日(木)	大阪市立西淀中学校	2	157	2	コレクション展 I、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
26	2023年6月4日(日)	甲南大学 文学部	1,2	58	1	金山平三展
27	2023年6月6日(火)	神戸市立淡河中学校	1	12	4	コレクション展 I、金山平三展、Ando Gallery
28	2023年6月7日(水)	兵庫教育大学 人間発達教育専攻	3	16	1	コレクション展 I、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
29	2023年6月7日(水)	養父市立養父中学校	1	58	7	コレクション展 I、金山平三展
30	2023年6月7日(水)	神戸市立なぎさ中学校	1	24	1	コレクション展 I、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
31	2023年6月7日(水)	大阪府立都島工業高等学校	1	97	6	建築・屋外彫刻
32	2023年6月9日(金)	姫路市立安富中学校	1	37	5	コレクション展 I、金山平三展、Ando Gallery
33	2023年6月11日(日)	甲南大学 文学部 人間科学科・歴史文化学科	1～4	60	3	コレクション展 I

No.	実施日	学校名	学年等	生徒数	引率数	鑑賞展覧会名
34	2023年6月11日(日)	神戸市立山田中学校	美術部	19	2	コレクション展 I
35	2023年6月13日(火)	神戸市立本山第一小学校①	5	72	4	コレクション展 I
36	2023年6月14日(水)	神戸市立本山第一小学校②	5	79	3	コレクション展 I
37	2023年6月16日(金)	神戸市立灘さくら支援学校 小学部	3～6	8	3	コレクション展 I、金山平三展
38	2023年6月20日(火)	県立武庫荘総合高等学校	3	22	2	コレクション展 I
39	2023年6月21日(水)	神戸市立ひよどり台小学校	6	72	5	コレクション展 I
40	2023年6月22日(木)	大阪大学	2～4	15	1	金山平三展
41	2023年6月28日(水)	大手前大学	4	14	1	コレクション展 I
42	2023年6月29日(木)	神戸市立灘の浜小学校	3	95	5	コレクション展 I
43	2023年6月30日(金)	神戸市立会下山小学校	4	86	6	コレクション展 I、Ando Gallery
44	2023年6月30日(金)	親和女子高等学校	3	3	2	コレクション展 I
45	2023年7月1日(土)	神戸市立西神中学校	美術部	6	2	コレクション展 I、金山平三展
46	2023年7月1日(土)	追手門大学 社会学部	2	62	3	コレクション展 I、金山平三展、Ando Gallery
47	2023年7月12日(水)	県立須磨友が丘高等学校	1	15	1	コレクション展 I、金山平三展
48	2023年7月12日(水)	神戸市立なぎさ小学校	6	46	3	コレクション展 I
49	2023年7月20日(木)	神戸市立駒ヶ林中学校	美術部	14	2	コレクション展 I、金山平三展、建築・屋外彫刻
50	2023年7月21日(金)	奈良教育大学附属中学校	美術部	16	1	コレクション展 I、金山平三展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
51	2023年7月21日(金)	橋本市立高野口中学校	美術部	11	1	コレクション展 I、金山平三展、Ando Gallery
52	2023年7月22日(土)	三田市立ゆりのき台中学校	美術部	19	2	コレクション展 I、金山平三展
53	2023年9月12日(火)	神出学園		11	2	コレクション展 II、パフューム展
54	2023年9月13日(水)	上田安子服飾専門学校	2	14	1	パフューム展
55	2023年9月13日(水)	東大阪大学敬愛高等学校 ファッション創造コース	2	17	2	パフューム展、建築・屋外彫刻
56	2023年9月13日(水)	西宮市立山口中学校	3	136	11	コレクション展 II、パフューム展
57	2023年9月13日(水)	新宮市立緑丘中学校	3	69	7	コレクション展 II、パフューム展
58	2023年9月14日(木)	大阪アミューズメントメディア専門学校 キャラクターデザイン学科	2	45	3	コレクション展 II、パフューム展
59	2023年9月14日(木)	中央学園高等専修学校	1～3	17	6	パフューム展
60	2023年9月15日(金)	神戸市立葺合高等学校	美術部	9	2	パフューム展
61	2023年9月16日(土)	神戸市立本庄中学校	家庭科部	15	1	パフューム展
62	2023年9月17日(日)	新北市立明德高級中学 (台湾)	2	22	2	コレクション展 II、パフューム展
63	2023年9月18日(月)	奈良芸術短期大学 デザインコース		145	12	コレクション展 II、パフューム展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
64	2023年9月22日(金)	神戸市立神陵台小学校	5	42	5	コレクション展 II
65	2023年9月22日(金)	神戸市立六甲アイランド高等学校 芸術系 美術・デザインコース	2	41	8	コレクション展 II、パフューム展
66	2023年9月27日(水)	神戸市立稗田小学校	6	98	5	コレクション展 II
67	2023年9月27日(水)	南あわじ市・洲本市組合立広田中学校	1	3	1	パフューム展
68	2023年9月27日(水)	淡路市立岩屋中学校	1	26	5	コレクション展 II、パフューム展
69	2023年9月28日(木)	PL学園高等学校	2	11	2	コレクション展 II、パフューム展
70	2023年9月28日(木)	神戸市立ありの台小学校	4	58	6	コレクション展 II
71	2023年9月28日(木)	猪名川町立猪名川中学校	1	50	6	コレクション展 II、パフューム展
72	2023年9月28日(木)	神戸市シルバーカレッジ	2	33	3	コレクション展 II
73	2023年9月29日(金)	神戸市立丸山ひばり小学校	4	33	4	パフューム展
74	2023年9月29日(金)	稲美町立天満南小学校	5	40	3	コレクション展 II
75	2023年9月29日(金)	宍粟市立山崎西中学校	1	78	8	コレクション展 II
76	2023年10月3日(火)	上田安子服飾専門学校 舞台衣装専攻・キッズ専攻	2,3	55	2	パフューム展
77	2023年10月4日(水)	佐用町立佐用中学校	1	41	6	コレクション展 II、パフューム展
78	2023年10月5日(木)	西宮市立小松小学校	4	114	6	コレクション展 II
79	2023年10月5日(木)	伊丹市立南中学校①	1	63	4	コレクション展 II
80	2023年10月5日(木)	伊丹市立南中学校②	1	117	5	コレクション展 II
81	2023年10月5日(木)	伊丹市立南中学校③	1	67	4	コレクション展 II
82	2023年10月5日(木)	中央工学校OSAKA インテリアデザイン科	1,2	29	2	パフューム展
83	2023年10月6日(金)	マロニエファッションデザイン専門学校	1	23	2	パフューム展
84	2023年10月6日(金)	神戸市立太山寺小学校	4	15	2	コレクション展 II

No.	実施日	学校名	学年等	生徒数	引率数	鑑賞展覧会名
85	2023年10月7日(土)	福知山淑徳高等学校 総合学科アパレルファッション系列	1～3	14	1	コレクション展Ⅱ、パフューム展
86	2023年10月7日(土)	甲南女子大学	2～4	67	2	パフューム展
87	2023年10月11日(水)	島根県立大田高等学校	2	34	3	コレクション展Ⅱ、パフューム展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
88	2023年10月12日(木)	神戸市シルバーカレッジ	3	17	2	コレクション展Ⅱ
89	2023年10月13日(金)	神戸市立布引中学校	家庭科部	4	2	パフューム展
90	2023年10月17日(火)	神戸市立福池小学校	5	117	8	コレクション展Ⅱ
91	2023年10月17日(火)	尼崎市立わかば西小学校	4	52	4	コレクション展Ⅱ
92	2023年10月18日(水)	マロニエファッションデザイン専門学校	3	26	2	パフューム展
93	2023年10月18日(水)	県立姫路工業高等学校	2	36	2	コレクション展Ⅱ、パフューム展
94	2023年10月18日(水)	国立米子工業高等専門学校 建築デザインコース	3	41	2	コレクション展Ⅱ、パフューム展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
95	2023年10月19日(木)	尼崎市立金楽寺小学校	5	89	4	コレクション展Ⅱ
96	2023年10月19日(木)	県立西宮今津高等学校	1	23	1	コレクション展Ⅱ、パフューム展
97	2023年10月19日(木)	兵庫教育大学附属中学校	1	89	6	コレクション展Ⅱ、パフューム展
98	2023年10月19日(木)	神戸学院大学		13	1	パフューム展
99	2023年10月20日(金)	宮城学院女子大学 生活文化デザイン学科		9	2	コレクション展Ⅱ、パフューム展
100	2023年10月20日(金)	神戸市立横尾小学校	4	42	3	コレクション展Ⅱ
101	2023年10月24日(火)	神戸市立科学技術高等学校	美術部	6	1	パフューム展
102	2023年10月25日(水)	文化服装学院		8	5	パフューム展
103	2023年10月25日(水)	セントヨゼフ女子学園中学校	3	70	7	コレクション展Ⅱ、パフューム展
104	2023年10月26日(木)	加古川市立志方小学校	4	29	3	建築・屋外彫刻
105	2023年10月27日(金)	東大阪市立英田中学校	1	100	5	コレクション展Ⅱ、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
106	2023年10月27日(金)	神戸常盤女子高等学校	1	70	3	コレクション展Ⅱ、パフューム展
107	2023年10月27日(金)	神戸常盤女子高等学校	2	68	4	コレクション展Ⅱ、パフューム展
108	2023年10月27日(金)	神戸山手女子中学・高等学校	アート部	18	2	パフューム展
109	2023年10月31日(火)	吉田愛服飾専門学校	1	26	4	パフューム展、建築・屋外彫刻
110	2023年10月31日(火)	西宮市立甲陵中学校	1	225	2	コレクション展Ⅱ、パフューム展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
111	2023年11月2日(木)	県立淡路三原高等学校	1	25	2	コレクション展Ⅱ、パフューム展
112	2023年11月2日(木)	上田安子服飾専門学校	1	34	3	パフューム展
113	2023年11月7日(火)	六甲学院高等学校	3	175	8	コレクション展Ⅱ、パフューム展、Ando Gallery
114	2023年11月7日(火)	尼崎市立武庫東中学校	1	211	12	建築・屋外彫刻
115	2023年11月8日(水)	兵庫県高等学校文化連盟加盟校 美術・工芸部門	美術部	170	4	コレクション展Ⅱ、パフューム展
116	2023年11月8日(水)	県立姫路東高等学校	1	9	1	コレクション展Ⅱ
117	2023年11月9日(木)	神戸市立友が丘中学校①	1	54	4	コレクション展Ⅱ、パフューム展
118	2023年11月9日(木)	神戸市立友が丘中学校②	1	53	4	コレクション展Ⅱ、パフューム展
119	2023年11月10日(金)	洲本市立青雲中学校	1	28	1	コレクション展Ⅱ、パフューム展
120	2023年11月10日(金)	県立神戸北高等学校		13	2	パフューム展
121	2023年11月10日(金)	神戸学院大学		15	1	コレクション展Ⅱ、パフューム展
122	2023年11月14日(火)	神戸市立長尾小学校①	6	81	3	コレクション展Ⅱ
123	2023年11月14日(火)	神戸市立長尾小学校②	6	81	3	コレクション展Ⅱ
124	2023年11月15日(水)	神戸市立渚中学校	3	122	9	コレクション展Ⅱ
125	2023年11月15日(水)	神戸女学院大学		21	1	コレクション展Ⅱ
126	2023年11月15日(水)	山形県立鶴岡工業高等学校 建築科	2	35	2	パフューム展、Ando Gallery
127	2023年11月16日(木)	神戸市立渚中学校	1	97	7	コレクション展Ⅱ
128	2023年11月16日(木)	神戸市立渚中学校	2	107	7	コレクション展Ⅱ
129	2023年11月16日(木)	兵庫県立大学①	1	12	1	パフューム展
130	2023年11月16日(木)	兵庫県立大学②	1	23	1	パフューム展
131	2023年11月17日(金)	神戸市立高倉台小学校	5	69	4	コレクション展Ⅱ
132	2023年11月17日(金)	同志社女子大学 生活科学部	3	9	2	パフューム展
133	2023年11月17日(金)	神戸市立灘の浜小学校	6	77	4	パフューム展
134	2023年11月18日(土)	高等専修学校神戸セミナー	1～3	4	2	コレクション展Ⅱ、パフューム展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
135	2023年11月18日(土)	神戸第一高等学校 ファッションデザインコース	2,3	7	1	パフューム展

No・	実施日	学校名	学年等	生徒数	引率数	鑑賞展覧会名
136	2023年11月21日(火)	神戸市立だいいち小学校	6	156	7	コレクション展Ⅱ
137	2023年11月21日(火)	鹿島朝日高等学校	1～3	10	2	パフューム展
138	2023年11月21日(火)	小出手ファッションビューティ専門学校	1～4	38	2	コレクション展Ⅱ、パフューム展
139	2023年11月22日(水)	関西国際学園 初等部	2	38	4	コレクション展Ⅱ、建築・屋外彫刻
140	2023年11月22日(水)	名古屋ファッション専門学校	1	34	2	パフューム展
141	2023年11月22日(水)	小出手ファッションビューティ専門学校	1～4	37	2	コレクション展Ⅱ、パフューム展
142	2023年11月22日(水)	神戸ファッション専門学校		101	3	パフューム展
143	2023年11月24日(金)	神戸市立本山南小学校	5	70	4	コレクション展Ⅱ
144	2023年11月24日(金)	小出手ファッションビューティ専門学校	1～4	36	2	コレクション展Ⅱ、パフューム展
145	2023年11月25日(土)	大阪成蹊大学 芸術学部 ファッション・コスチュームデザインコース	1	5	1	パフューム展
146	2023年11月25日(土)	武庫川女子大学附属中学校	3	53	2	コレクション展Ⅱ、パフューム展、Ando Gallery
147	2023年11月26日(日)	徳島文理大学 人間生活学部 人間生活学科		35	2	パフューム展
148	2023年11月28日(火)	神戸市立魚崎小学校①	6	74	3	コレクション展Ⅱ
149	2023年11月28日(火)	尼崎市立難波小学校	4	75	4	コレクション展Ⅱ
150	2023年11月29日(水)	神戸市立魚崎小学校②	6	111	4	コレクション展Ⅱ
151	2023年11月30日(木)	姫路市立鹿谷中学校	2	31	5	コレクション展Ⅱ
152	2023年12月1日(金)	神戸市立長尾小学校①	5	76	4	コレクション展Ⅱ、Ando Gallery
153	2023年12月1日(金)	神戸市立灘の浜小学校	5	70	3	コレクション展Ⅱ
154	2023年12月5日(火)	神戸市立福住小学校	5	79	6	コレクション展Ⅱ
155	2023年12月7日(木)	神戸市立向洋小学校①	4	66	4	コレクション展Ⅱ
156	2023年12月7日(木)	神戸市立向洋小学校②	4	99	5	コレクション展Ⅱ
157	2023年12月7日(木)	鳥取県立八頭高等学校	2	38	2	Ando Gallery
158	2023年12月8日(金)	姫路市立神南中学校	2	18	1	コレクション展Ⅱ、Ando Gallery
159	2023年12月13日(水)	神戸市立長尾小学校②	5	57	4	コレクション展Ⅱ、Ando Gallery
160	2023年12月13日(水)	神戸市立長尾小学校③	5	57	4	コレクション展Ⅱ、Ando Gallery
161	2023年12月15日(金)	神戸市立灘さくら支援学校 中学部	1～3	15	16	コレクション展Ⅱ
162	2023年12月16日(土)	関西国際大学	2～4	20	1	コレクション展Ⅱ
163	2023年12月16日(土)	甲南大学	1	58	2	コレクション展Ⅱ
164	2023年12月17日(日)	関西学院大学	1～4	12	1	コレクション展Ⅱ、安井仲治展
165	2023年12月20日(水)	神戸市立宮本小学校	6	47	3	コレクション展Ⅱ
166	2023年12月21日(木)	神戸市立魚崎小学校③	6	38	2	コレクション展Ⅱ
167	2023年12月21日(木)	神戸女子短期大学 幼児教育学科	2	7	1	コレクション展Ⅱ
168	2024年1月11日(木)	県立但馬やまびこの郷		7	3	安井仲治展
169	2024年1月11日(木)	コサック高等学校 (韓国)	2	25	2	安井仲治展、Ando Gallery
170	2024年1月12日(金)	神戸市立葺合高等学校	写真部	21	2	安井仲治展
171	2024年1月13日(土)	姫路市立書写中学校	美術部	15	2	コレクション展Ⅲ、安井仲治展
172	2024年1月13日(土)	明石市立魚住中学校	美術部	4	1	コレクション展Ⅲ
173	2024年1月14日(日)	神戸大学		22	1	コレクション展Ⅲ
174	2024年1月16日(火)	大手前大学	2	6	1	コレクション展Ⅲ
175	2024年1月16日(火)	大手前大学	3	5	1	コレクション展Ⅲ
176	2024年1月16日(火)	西宮市立苦楽園中学校	2	9	1	コレクション展Ⅲ、安井仲治展
177	2024年1月18日(木)	神戸市立六甲アイランド小学校	5	54	4	コレクション展Ⅲ
178	2024年1月19日(金)	神戸市立北五葉小学校	5	48	3	コレクション展Ⅲ
179	2024年1月23日(火)	神戸市立歌敷山中学校 支援学級		4	4	安井仲治展
180	2024年1月23日(火)	神戸市立向洋中学校 支援学級		4	2	コレクション展Ⅲ
181	2024年1月24日(水)	加古川市立平岡中学校①	1	80	6	コレクション展Ⅲ、Ando Gallery
182	2024年1月24日(水)	加古川市立平岡中学校②	1	200	9	コレクション展Ⅲ、安井仲治展、Ando Gallery
183	2024年1月24日(水)	神戸市立雲雀丘中学校	1	44	6	コレクション展Ⅲ、安井仲治展
184	2024年1月25日(木)	神戸市立御影小学校	5	135	8	コレクション展Ⅲ、建築・屋外彫刻
185	2024年1月26日(金)	大阪府立今宮工科高等学校	3	17	2	コレクション展Ⅲ、安井仲治展、Ando Gallery
186	2024年1月26日(金)	神戸市立灘の浜小学校	4	80	4	コレクション展Ⅲ

No.	実施日	学校名	学年等	生徒数	引率数	鑑賞展覧会名
187	2024年1月27日(土)	神戸市立兵庫中学校	美術部	8	2	コレクション展Ⅲ、安井仲治展
188	2024年1月31日(水)	神戸市立義務教育学校港島学園小学部	5	109	6	コレクション展Ⅲ
189	2024年2月2日(金)	姫路市立朝日中学校	2	80	5	コレクション展Ⅲ
190	2024年2月3日(土)	神戸大学 国際人間科学部・文化学研究科	1、大学院	13	2	コレクション展Ⅲ、安井仲治展
191	2024年2月3日(土)	甲南女子中学校・高等学校	地歴部	9	1	コレクション展Ⅲ、安井仲治展
192	2024年2月3日(土)	千葉県立国府台高等学校	書道部	9	1	コレクション展Ⅲ
193	2024年2月3日(土)	仙台育英学園高等学校	書道部	17	1	コレクション展Ⅲ
194	2024年2月3日(土)	岩手県立盛岡第二高等学校	書道部	3	1	コレクション展Ⅲ
195	2024年2月4日(日)	愛媛県立三島高等学校	書道部	10	1	コレクション展Ⅲ
196	2024年2月6日(火)	神戸市立春日野小学校	5	55	4	コレクション展Ⅲ
197	2024年2月7日(水)	姫路市立網干中学校	2	42	1	コレクション展Ⅲ、安井仲治展、Ando Gallery
198	2024年2月8日(木)	神戸市立西須磨小学校①	5	82	3	コレクション展Ⅲ
199	2024年2月8日(木)	神戸市立西須磨小学校②	5	83	3	コレクション展Ⅲ
200	2024年2月8日(木)	明石市立魚住中学校	2	5	1	コレクション展Ⅲ、安井仲治展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
201	2024年2月9日(金)	西脇市立西脇南中学校	1	37	1	コレクション展Ⅲ
202	2024年2月10日(土)	県立東灘高等学校	写真部	10	1	安井仲治展
203	2024年2月15日(木)	神戸市立妙法寺小学校	6	87	5	コレクション展Ⅲ
204	2024年2月16日(金)	神戸市立西舞子小学校	5	60	5	コレクション展Ⅲ
205	2024年2月20日(火)	明石市立錦浦小学校	5	127	7	コレクション展Ⅲ
206	2024年2月27日(火)	神戸市立なぎさ小学校	5	60	3	コレクション展Ⅲ
207	2024年2月27日(火)	神戸市立上野中学校	1	15	1	コレクション展Ⅲ、Ando Gallery
208	2024年2月29日(木)	尼崎市立武庫の里小学校	4	75	5	コレクション展Ⅲ
209	2024年3月1日(金)	神戸市立なぎさ小学校	3	62	4	コレクション展Ⅲ
210	2024年3月1日(金)	尼崎市立成文小学校	4	44	4	コレクション展Ⅲ
211	2024年3月5日(火)	神戸市立灘小学校	4	56	4	コレクション展Ⅲ
212	2024年3月7日(木)	神戸市立なぎさ小学校	4	59	3	コレクション展Ⅲ
213	2024年3月7日(木)	加西市立善防中学校	2	6	1	コレクション展Ⅲ
214	2024年3月8日(金)	尼崎市立明城小学校	6	74	5	コレクション展Ⅲ
215	2024年3月12日(火)	神戸ドイツ学院 (小学校)	5,6	10	1	コレクション展Ⅲ
216	2024年3月13日(水)	姫路市立城山中学校	2	28	1	コレクション展Ⅲ、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
217	2024年3月14日(木)	愛徳学園小学校	4	15	2	コレクション展Ⅲ
218	2024年3月19日(火)	神戸市立西神中学校	1	30	1	コレクション展Ⅲ、スーラージュと森田展
219	2024年3月19日(火)	大阪府立水都国際中学校	1	80	5	コレクション展Ⅲ
220	2024年3月21日(木)	神戸市立布引中学校	1	12	2	コレクション展Ⅲ
221	2024年3月26日(火)	神戸市立住吉中学校	美術部	27	2	コレクション展Ⅲ



1. 学校団体等の受入



2. 出前授業



3. トライやる・ウィーク

2. 出前授業

昨年度に引き続き、美術館スタッフが学校に伺い、所蔵作品の画像を用いた鑑賞授業を行った。

また、例年通り、神綱不動産株式会社のCSR活動に協力し、神戸市立なぎさ小学校の出前授業を行った。

日程	学校名	学年	クラス数	生徒数	内容
6月6日(火)	加西市立北条小学校	4	2	73	2.作品と出会う
6月16日(金)	神戸市立桂木小学校	5	2	79	2.作品と出会う
6月27日(火)	養父市立八鹿青溪中学校	1	2	73	1.学芸員の仕事とは？ 2.作品と出会う
7月6日(木)	姫路市立曾左小学校	5	3	112	2.作品と出会う
10月24日(火)	西脇市立重春小学校	6	4	150	2.作品と出会う
11月10日(金)	県立有馬高等学校	1	—	40	1.学芸員の仕事とは？
11月29日(水)	神戸市立なぎさ小学校	6	2	46	2.作品と出会う ※事前収録動画で参加
12月1日(金)	神戸市立なぎさ小学校	6	2	46	2.作品と出会う ※手紙で参加
12月6日(水)	神戸市立西山小学校	4	3	98	2.作品と出会う
12月12日(火)	西宮市立苦楽園小学校	6	2	73	2.作品と出会う ※学級閉鎖で1クラス不実施
12月19日(火)	神戸市立東須磨小学校	6	3	102	2.作品と出会う
1月12日(金)	神戸市立星陵台中学校	3	4	160	2.作品と出会う
1月30日(火)	稲美町立加古小学校	5	1	33	2.作品と出会う
2月1日(木)	県立上野ヶ原特別支援学校 ひかりの森分教室	小1～中2	—	11	1.学芸員の仕事とは？ 2.作品と出会う
2月7日(水)	宝塚市立宝塚第一小学校	6	5	187	3.技に注目！
3月12日(火)	加西市立北条東小学校	4	2	56	2.作品と出会う
計	15校			1,339人	

3. トライやる・ウィーク

平成10年度より、兵庫県では県内の中学校2年生を対象に、様々な社会体験の機会を提供する「トライやる・ウィーク」を実施している。令和5年度は、前期（6月）・後期（11月）ともに4日間の日程で実施した。体験内容の充実を図るために、各期上限4名の定員を設け、下記の学校から生徒を受入れ、美術館の様々な仕事を体験する機会を提供した。

受入れ期間	学校名	人数
6月6日（火）～9日（金）	神戸市立筒井台中学校	1
	神戸市立山田中学校	1
	神戸市立星陵台中学校	1
11月7日（火）～10日（金）	神戸市立義務教育学校港島学園（後期課程）	1
	神戸市立神戸生田中学校	1
	神戸市立垂水中学校	1
	神戸市立東落合中学校	1
	計	7人

4. 博物館実習

昨年度に引き続き、博物館学芸員資格認定のための実習を実施した。依頼のあった17大学19学部に所属する学生28名に対し、下記のスケジュールで実習を行った。

スケジュール

月日・曜日	時間	内容	参加者数
7月14日(金)	10:15～10:25	開講挨拶：林洋子	28
	10:25～10:30	全体説明：武澤里映	
	10:30～12:15	施設見学：武澤里映、遊免寛子、加藤香織、松上仁子	
	13:15～14:45	当館の歴史と理念：飯尾由貴子	
	15:00～16:15	作品収集・管理および常設展示について：西田桐子	
	16:30～17:45	瀬川・梅コレクションについて：柏木知子	

7月16日(日)	10:15~12:15	保存・修復について 施設見学、講義：横田直子、岩松智義、当麻さくら、遊免寛子、武澤里映	28
	13:15~14:45	特別展について：小林公	
	15:00~16:00	教育普及活動について：遊免寛子	
	16:15~17:45	ワークショップの説明と準備：武澤里映、遊免寛子	
7月17日(月・祝)	10:15~11:15	企画広報について：政岡伸一	28
	11:30~12:30	美術情報センターについて：岸本典子	
	13:30~14:30	美術館の施設管理について：木原真紀子	
	14:45~16:45	県展および県展補助にかかる作品の取り扱いについて：江上ゆか	
	17:00~17:30	展示についての課題説明：武澤里映、遊免寛子	
7月19日(水)	10:15~12:15	特別展の見学：武澤里映、遊免寛子	27
	13:15~14:45	常設展の見学：武澤里映、遊免寛子	
	15:00~17:30	展示に関する課題発表：武澤里映、遊免寛子	
7月20日(木)	9:30~17:30	県展作業補助（作品受付）：県展事務局スタッフ	4
7月21日(金)	9:30~17:30	県展作業補助（作品受付）：県展事務局スタッフ	8
7月22日(土)	9:30~17:30	県展作業補助（作品受付）：県展事務局スタッフ	8
7月25日(火)	9:30~17:30	県展作業補助（審査）：県展事務局スタッフ	8
7月26日(水)	9:30~17:30	県展作業補助（審査）：県展事務局スタッフ	6
7月29日(土)	13:00~17:00	県展作業補助（展示準備）：県展事務局スタッフ	8
7月30日(日)	10:00~16:00	県展作業補助（作品整理・撮影）：県展事務局スタッフ	8
8月1日(火)	9:30~17:30	県展作業補助（展示作業）：県展事務局スタッフ	8
8月2日(水)	9:30~17:30	県展作業補助（展示作業）：県展事務局スタッフ	7
8月5日(土)	9:30~17:30	県展作業補助（作品返却）：県展事務局スタッフ	8
8月6日(日)	9:30~17:30	県展作業補助（作品返却）：県展事務局スタッフ	8
8月8日(火)	10:15~12:15	ワークショップ：遊免寛子、武澤里映	26
	13:15~16:30	ワークショップ：遊免寛子、武澤里映	
	16:30~17:00	まとめ：武澤里映	
	17:00~17:15	閉講挨拶：野村孝	

- ・主会場は会議室。
- ・ワークショップは美術館に行きづらい人に向けたアクセシビリティ向上のためのイベントや展示を立案するもの。
- ・「：」以下は各講義担当者（役職等はp.169「委員及び職員名簿」を参照）

受入大学名及び人数

神戸大学 4名

京都芸術大学 3名

大阪成蹊大学、大手前大学、関西学院大学、甲南女子大学、甲南大学、神戸女子大学 2名

愛知県立芸術大学、大阪市立大学、大阪大学、京都精華大学、神戸芸術工科大学、高知大学、同志社女子大学、同志社大学、奈良女子大学 1名

計17校 19学部 28名

5. 教員を対象とした事業

特別展について、学校の教員を対象とした解説動画を配信。来館を促進すると共に、授業の中での活用を目指した。

開催日、提供期間	人数（校数）	展覧会名
9月9日（土）～11月26日（日）	13（12）	Perfume COSTUME MUSEUM

6. その他

(1) 「団体鑑賞」「出前授業」以外の学習活動

日程	学校名	学年	人数	内容
4月22日(土)	近畿大学	3	1	施設見学
6月16日(金)	信州大学(大学院・修士課程)	1	1	調査協力
6月29日(木)	神戸市立灘の浜小学校	2	30	取材対応
7月1日(土)	追手門学院大学	2	70	レクチャー
7月23日(日)	県立三木東高等学校	1	1	取材対応
	県立須磨東高等学校	2	1	
7～8月	県立三木東高等学校	3	1	メールにて質問に回答
7月30日(日)	新温泉町立加藤文太郎記念図書館	小学生	16	出前講座
8月18日(金)	神戸市立愛垂児童館	小学生	30	出前講座
10月5日(木)	神戸大学	4	1	調査協力
10月11日(水)	東京藝術大学	4	1	調査協力
10月28日(土)	甲南大学	3	27	施設見学
11月2日(木)	奈良教育大学(大学院・修士課程)	2	2	調査協力
11月	日本大学	4	1	アンケートに回答
11月12日(日)	関西大学	4	3	調査協力
11月30日(木)	関西学院大学	3	11	調査協力
	関西学院大学(大学院・修士課程)	1		
12月	奈良女子大学(大学院・修士課程)	2	1	アンケートに回答
1月	広島大学(大学院・修士課程)	2	1	アンケートに回答
計	17団体		199人	

(2) 教員研修の受入れ

実施日	名称	人数	場所
5月16日(火)	兵庫県高等学校教育研究会芸術三科合同研究大会	91	兵庫県立美術館
7月12日(水)	令和5年度 教員初任者研修にかかる社会体験研修	1	兵庫県立美術館
8月24日(木)	宝塚市図工部市内共同研修	20	宝塚市立文化芸術センター
計		112人	

(3) 令和5年度 神戸市 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校 造形展

「第23回 神戸っ子アートフェスティバル」

テーマ：つくりだそう夢・未来・神戸 一つながり つながる ほくとわたしと……

日時：令和6年1月23日(火)～1月28日(日) 10:00～18:00

場所：兵庫県立美術館 ギャラリー棟3F ギャラリー

※特別支援学校は学校のホームページ上で開催

主催：神戸っ子アートフェスティバル実行委員会、神戸市教育委員会、兵庫県立美術館

開催趣旨：子供たちに、豊かな心・豊かな生活や社会を創造していく態度、及び自ら学び・考える「生きる力」を育むとともに、本市の造形教育の推進を図るため、学びの成果である作品を展示し、文化・芸術に触れる機会や環境を充実させる。また、神戸市の幼稚園・小学校・中学校・高等学校の造形教育の取り組みについて、広く保護者・市民の方々に伝える。

来場者数：13,990人

b. 来館者向けイベント

展覧会に関連した一般来館者向け企画をはじめ、こどもを対象とした企画やコンサートなどの様々な種類のイベントを開催しており、以下にその内容ごとに記載した。展覧会の関連事業として実施されたイベントについては、備考欄にその名称を記載している。2023年4月に就任した林洋子館長の発案で、美術館をめぐる中長期的課題を識者とともに考えるトークセッションシリーズ「HART TALK 館長といっしょ！」が今年度より開始した。また、開催中の展覧会の見どころを手話通訳・要約筆記付きで解説する「ゆっくり解説会」を7月より開始した。

1. 講演会・解説会等

(1) 館長といっしょ！

日時	講演会名	講師	場所	参加者 (人)	備考
7月17日(月・祝) 14:00～15:30	HART TALK 館長といっしょ！ Vol.00 「いまを生きる画家が語る 金山平三」	津上みゆき(画家)、 林洋子(当館館長)	ミュージアムホール	123	「金山平三」展関連事業
9月12日(火) 16:00～17:00	HART TALK 館長といっしょ！ Vol.01 「福武総一郎さんにきく」	福武総一郎(株式会社ベネッセ ホールディングス名誉顧問・公益財団法人福武財団名誉理事長)、林洋子(当館館長)	ミュージアムホール	114	ギャラリー棟活性化事業
10月15日(日) 13:00～15:00	HART TALK 館長といっしょ！ Vol.02 「Ando Galleyからわかる建築家・安藤忠雄」	倉方俊輔(建築史家・大阪公立大学教授)、林洋子(当館館長)	Ando Galley	61	ギャラリー棟活性化事業
11月19日(日) 13:00～15:00	HART TALK 館長といっしょ！ Vol.03 「原田の森から脇浜海岸へ、近代美術館から美術館へ、兵庫県立美術館のこれから」	木下直之(静岡県立美術館長・東京大学名誉教授・元兵庫県立近代美術館学芸員)、林洋子(当館館長)	ミュージアムホール	79	
12月16日(日) 13:00～15:00	HART TALK 館長といっしょ！ Vol.04 「映画「手でふれてみる世界」上映会&トーク 〈手でふれてみる〉鑑賞とは？」	岡野晃子(映画監督、キュレーター)、林洋子(当館館長)	ミュージアムホール	116	ギャラリー棟活性化事業
2月3日(土) 14:00～15:30	HART TALK 館長といっしょ！ Vol.05 「京阪神のアートシーンの中での神戸、そして県立美術館—1970年代から今日まで」	藤本由紀夫(美術家、京都芸術大学名誉教授)+松尾恵(ヴォイスギャラリー主宰者)、林洋子(当館館長)	ミュージアムホール	116	

(2) 講演会、トーク

日時	講演会名	講師	場所	参加者 (人)	備考
4月8日(土) 14:00～15:30	講演会「古生物の復元」	小田隆(企画協力者、画家、京都精華大学教授)	ミュージアムホール	70	R4年度「恐竜図鑑」展関連事業
5月28日(日) 13:00～13:30	安藤忠雄氏ギャラリートーク	安藤忠雄(建築家)	Ando Galley	133	Ken-Vi文化セミナー
6月11日(日) 14:00～15:30	講演会「金山平三が見つめた風景の地平線」	志賀秀孝(前・府中市美術館副館長補佐兼学芸係長)	ミュージアムホール	66	「金山平三」展関連事業
10月28日(土) 14:00～15:00	アーティスト・トーク	吉本直子(出品作家)、 遊免寛子(当館学芸員)	ミュージアムホール	70	チャンネル14関連事業
11月4日(土) 14:00～15:30	記念トークショー1	Toshio Takeda、三田真一 (いずれもスタイリスト)	ミュージアムホール	227	「Perfume」展関連事業
11月18日(土) 14:00～15:30	記念トークショー2	櫻井利彦(ドレスメイカー)、松丸千枝(文化出版局「Perfume COSTUME BOOK」編集／『装苑』『装苑ONLINE』編集)	ミュージアムホール	225	「Perfume」展関連事業
12月2日(土) 13:30～14:30	Ken-Viスペシャルトーク with 澤田知子	澤田知子(出品作家)	レクチャールーム、 常設展示室	30	ギャラリー棟活性化事業
12月17日(日) 13:00～14:00	安藤忠雄氏ギャラリートーク	安藤忠雄(建築家)	Ando Galley	142	Ken-Vi文化セミナー
1月28日(日) 15:00～16:30	記念トーク「美術家から見た安井仲治」	島袋道浩(美術家)	ミュージアムホール	106	「安井仲治」展関連事業

2月18日(日) 14:00~15:30	講演会「呉昌碩の世界」	富田淳(九州国立博物館長)、鍋島稲子(台東区立書道博物館主任研究員)	ミュージアムホール	178	コレクション展Ⅲ 小企画関連事業
3月16日(日) 14:00~15:30	記念講演会	ブノワ・ドゥクロン(スーラージュ美術館館長)	ミュージアムホール	60	「スーラージュと森田子龍」展関連事業

(3) ゆっくり解説会

日時	講演会名	講師	場所	参加者 (人)	備考
7月11日(火) 11:00~12:00	ゆっくり解説会	西田桐子、河田亜也子 (いずれも当館学芸員)	レクチャールーム	19	プレミアム芸術デー 関連事業
11月12日(日) 13:00~14:30	ゆっくり解説会	橋本こずえ、林優、遊免寛子 (いずれも当館学芸員)	レクチャールーム	59	プレミアム芸術デー 関連事業
1月14日(日) 13:00~14:30	ゆっくり解説会 in Winter	小林公、安永幸史、柏木知子 (いずれも当館学芸員)	レクチャールーム	101	プレミアム芸術デー 関連事業

(4) 学芸員による解説会等

日時	講演会名	講師	場所	参加者 (人)	備考
4月9日(日) 15:00~15:45	学芸員による解説会	河田亜也子(当館学芸員)	レクチャールーム	30	コレクション展Ⅰ 特集1関連事業
4月22日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	鈴木慈子(当館学芸員)	レクチャールーム	45	R4年度「恐竜図鑑」 展関連事業
5月20日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	河田亜也子(当館学芸員)	レクチャールーム	20	コレクション展Ⅰ 特集1関連事業
6月17日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	相良周作(当館学芸員)	レクチャールーム	48	「金山平三」展関連事業
6月24日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	飯尾由貴子(当館学芸員)	レクチャールーム	52	「金山平三」展関連事業
7月22日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	西田桐子(当館学芸員)	レクチャールーム	40	「金山平三」展関連事業
9月16日(土) 15:00~15:45	学芸員によるレクチャー	橋本こずえ(当館学芸員)	レクチャールーム	60	「Perfume」展関連事業
9月24日(日) 15:00~15:45	学芸員によるガイドツアー	武澤里映(当館学芸員)	常設展示室	7	コレクション展Ⅱ 小企画関連事業
10月21日(土) 15:00~15:45	学芸員によるレクチャー	橋本こずえ(当館学芸員)	ミュージアムホール	138	「Perfume」展関連事業
10月28日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	林優(当館学芸員)	レクチャールーム	16	コレクション展Ⅱ 特集関連事業
11月19日(日) 15:00~15:45	学芸員によるガイドツアー	武澤里映(当館学芸員)	常設展示室	17	コレクション展Ⅱ 小企画関連事業
12月2日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	林優(当館学芸員)	レクチャールーム	15	コレクション展Ⅱ 特集関連事業
1月6日(土) 15:00~15:45	学芸員によるレクチャー	小林公(当館学芸員)	レクチャールーム	43	「安井仲治」展関連事業
1月20日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	柏木知子(当館学芸員)	レクチャールーム	45	コレクション展Ⅲ 小企画関連事業
1月27日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	江上ゆか(当館学芸員)	レクチャールーム	23	コレクション展Ⅲ 特集関連事業
2月10日(土) 15:00~15:45	学芸員によるレクチャー	小林公(当館学芸員)	レクチャールーム	45	「安井仲治」展関連事業
3月2日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	江上ゆか(当館学芸員)	レクチャールーム	7	コレクション展Ⅲ 特集関連事業
3月9日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	剣持翔伍(当館学芸員)	レクチャールーム	54	コレクション展Ⅲ 小企画関連事業

(5) その他

日時	講演会名	講師	場所	参加者 (人)	備考
10月28日(土)、 11月12日(日)、 26日(日) 10:30~17:30	ダンス作品「アーカイブス・オブ・ヒューマニティ」上映会	—	ミュージアムホール	—	チャンネル14関連事業

2. こどものイベント

日時	イベント名	講師・指導	対象	参加者 (人)	備考
4月29日(土・祝) 13:30~16:00	「きみも恐竜アーティスト!」	当館職員	小学生 ~高校生	35	R4年度「恐竜図鑑」 展関連事業
5月27日(土) 10:30~12:10	「美術館探偵、コレクション 展Iを調査せよ!」	当館職員	小学生	18	コレクション展I 特集1関連事業
6月24日(土) 13:30~16:00	「書の世界へようこそ!」	当館職員	小学生 ~中学生	24	コレクション展I 特集1関連事業
7月16日(日) 13:30~15:30	「美術館からの招待状 金 山平三ってだれやねん?!」	当館職員	小学生 ~中学生	16	「金山平三」展関連事業
8月26日(土) 10:30~12:00/ 13:00~15:00	夏休みスペシャル2023「缶 バッジをつくろう!」出張@横 尾忠則現代美術館	当館職員	小学生 ~高校生	30	ギャラリー棟活性化 事業
9月23日(日) 10:30~12:10	「美術館探偵“新入り”を調査 せよ!!」	当館職員	小学生	17	コレクション展II 特集関連事業
10月14日(土) 13:30~16:00	「あなたもデザイナー?! つくっ てみよう! マイ☆コスチュー ム」	当館職員	小学生 ~中学生	25	「Perfume」展関連事業
11月5日(日) 10:30~15:30	「ザ・バード・メーカーズ・プロ ジェクトー同じ空の下でー」 “自分の服で鳥をつくろう!”	吉本直子(出品作家)・当館 職員	小学生 ~高校生	15	チャンネル14関連事業
12月10日(日) 10:30~12:30	「~ギターにのせて~ きい て音楽 みて美術」	木村モモ(ギタリスト)・当 館職員	小学生 ~高校生	10	ギャラリー棟活性化 事業
1月21日(日) 10:15~16:30	特別編「野口里佳さんによる ワークショップ~野口さんと 一緒に写真が写る不思議を 体験しよう!~」	野口里佳(写真家)・当館職 員	小学3年生 ~中学生	17	「安井仲治」展関連事業
2月18日(日) 10:30~12:10	「美術館探偵“物語”を調査 せよ!」	当館職員	小学生	19	コレクション展III 特集関連事業
3月23日(土) 10:30~12:10	「スーラージュと森田子龍 ~ふたりはどんな仲間?~」	当館職員	小学生 ~中学生	8	「スーラージュと森田 子龍」展関連事業

- ・令和5年度の「こどものイベント」は、当館の教育普及担当学芸員1名およびミュージアムティーチャー1名が中心となり、必要に応じて展覧会担当学芸員や教育支援・事業グループ所属の学芸員と協議の上、内容を決定した。
- ・当館の教育支援・事業グループ所属の職員が進行のもと、一部イベントについては各展覧会担当学芸員が展覧会の見どころを解説し、事業を実施した。
- ・こどものイベントの成果をホームページで随時紹介した。(メニューバー「教育プログラム」→「こども・おやこ向け」→「こどもプログラム」→「イベチャン・ントチャンのイベント通信」)
- ・令和2年度より実施しているプログラム「つながる ひろがる 美術館」を当館ホームページ(「こどもプログラム」ページ)に公開した。

3. ワークショップ等

日時	イベント名	講師	場所	参加者 (人)	備考
11月11日(土) 13:15~16:30	大人向けワークショップ「ザ・ バードメーカーズ・プロジェク トー同じ空の下でー」	吉本直子(出品作家)	アトリエ1,2	14	チャンネル14関連事業
1月20日(土) 10:15~17:00	野口里佳さんによるワーク ショップ	野口里佳(写真家)	アトリエ2	11	「安井仲治」展関連事業
3月24日(日) 10:30~16:00	ワークショップ「降ろして運ん で切って磨いて 彫刻家が やって来る」	築山有城(彫刻家)	アトリエ1,2、 常設展示室	14	ギャラリー棟活性化 事業

4. 様々な芸術との融合事業

事業名			回数	延べ入場者数	平均入場者数
(1)	ミュージアム コンサート	①美術館の調べ	17	1,693	100
		②四季シリーズコンサート	6	614	102
		③展覧会共催コンサート等			
	小　　計		23	2,307	100
(2)	パフォーミングアーツ（舞台芸術等）		7	461	66
(3)	シネマサロン		12	1,880	157
合　　計			42	4,648	111

(1) ミュージアムコンサート

①美術館の調べ ※見え消し線（—）は、イベント中止・延期を示す。

開催日	事業内容	出演者	会場	開演時間	入場料	入場者数
4月1日(土)	渡部陽翔ピアノリサイタル 美術館によせて	渡部陽翔	アトリエ1	14:00	無料	118
4月15日(土)	高橋真珠 ヴァイオリンリサイタル	高橋真珠	アトリエ1	14:00	無料	120
5月20日(土)	木村モモギターリサイタル～ o n n e l l i n e n～	木村モモ	アトリエ1	14:00	無料	97
5月27日(土)	北島里枝&藤本紀子デュオコンサート 初夏、ウィーンからの音の便り	北島里枝、藤本紀子	アトリエ1	14:00	無料	130
6月10日(土)	角谷千紘ピアノリサイタル	角谷千紘	アトリエ1	14:00	無料	125
6月24日(土)	山中淳史&前北恵美デュオコ ンサート偉大なる先達の記録	山中淳史、前北恵美	アトリエ1	14:00	無料	100
7月1日(土)	天野由唯 作品個展リサイタル ピアノで描く、始まりの風景	天野由唯	アトリエ1	14:00	無料	97
7月22日(土)	歌とピアノが織りなすトリオコ ンサート ウィーン、わが夢の街	白石愛子、峯島望美、 市川麻里子	アトリエ1	14:00	無料	100
9月9日(土)	阪口 楓ソプラノリサイタル	阪口 楓、南山あい	アトリエ1	14:00	無料	73
9月16日(土)	中谷彩花ピアノリサイタル	中谷彩花	アトリエ1	14:00	無料	93
10月7日(土)	友近風紗ピアノリサイタル ～天に捧げるメロディー～	友近風紗	アトリエ1	14:00	無料	130
12月16日(土)	県立西宮高等学校音楽科 ウインターコンサート	県立西宮高等学校 音楽科生徒	アトリエ1	14:00	無料	64
12月23日(土)	ベルクレール クリスマスコンサート	村上麻央、山根邦子、 播磨奈弥、飯田一馬	アトリエ1	14:00	無料	69
1月27日(土)	音楽トーク1970年 大阪万博が開かれたころ	天宮 遥	アトリエ1	14:00	無料	105
2月3日(土)	金一未卯ピアノリサイタル 中止	金一未卯	アトリエ1	14:00	無料	—
2月24日(土)	波田野瑞歩 コントラバスリサイタル	波田野瑞歩、小川瑞葵	アトリエ1	14:00	無料	92
3月2日(土)	島多璃音ピアノリサイタル	島多璃音	アトリエ1	14:00	無料	102
3月16日(土)	花山未弥 クラリネットリサイタル	花山未弥、河野佐千栄	アトリエ1	14:00	無料	78

実施済 17回 延 1,693人

②四季シリーズコンサート

開催日	事業内容	出演者	会場	開演時間	入場料	入場者数
6月4日(日)	四季シリーズコンサート<春> 松本光史ピアノリサイタル	松本光史	アトリエ1	14:00	3,500円	101
7月16日(日)	四季シリーズコンサート <夏> 金澤恵子ピアノリサイタル	金澤恵子	アトリエ1	14:00	2,000円	75
9月10日(日)	四季シリーズコンサート <秋> フルーツ、チェロ、ハープによる 秋の調べ	吉岡美恵子、植木美帆、 野田千晶	アトリエ1	14:00	3,000円	79

10月1日(日)	芸術の秋クラシックコンサート Duo Concert 芸術の秋に奏でる名曲	谷本華子、西村奈葉	アトリエ1	14:00	無料	119
1月13日(土)	四季シリーズコンサート<冬> 古川知子コンサート ソロ&アンサンブル	古川知子、木村真理子、若松さより	アトリエ1	14:30	3,000円 学生 1,500円	131
2月18日(日)	四季シリーズコンサート<ファイナル> 芹澤文美 室内楽コンサート ～高木和弘、水野奈美を迎えて～	芹澤文美、高木和弘、水野奈美	アトリエ1	14:00	3,500円	109

実施済 6回 延 614人

(2) パフォーミングアーツ(舞台芸術等)

開催日	事業内容	出演者	会場	開演時間	入場料	入場者数
4月21日(金)	県美亭ワンコイン寄席～絵画をかいがいしく見て回って見た甲斐がありました	露の吉次、林家花丸	ミュージアムホール	14:00	500円	66
6月9日(金)	県美亭ワンコイン寄席～兵庫県立美術館とかけてワンコイン寄席ととく～そのころは、創作も個展(古典)もお客さんによるこんでもらいます	露の吉次、桂三步	ミュージアムホール	14:00	500円	61
7月15日(土)	県美亭ワンコイン寄席・県美亭初の講演～講演は、歴史上の人物や物語を見てきたようにおしゃべりするものです。ですからウソもかなり入っています…	露の吉次、旭堂南海	アトリエ1	14:00	500円	87
9月30日(土)	県美亭ワンコイン寄席～芸術の秋とかけ恋する乙女ととく～その心は高揚(紅葉)するでしょう	露の吉次、露の眞	アトリエ1	14:00	500円	60
12月2日(土)	県美亭ワンコイン寄席～阪神 アレ達成!とかけて兵庫県立美術館ととく～その心は…完勝(鑑賞)	露の吉次、笑福亭仁福	アトリエ1	14:00	500円	39
1月6日(土)	県美亭ワンコイン寄席～初夢とかけて県美亭ワンコイン寄席ととく～その心はどちらも縁起(演技)のいいのが見たいです	露の吉次、露の新治	アトリエ1	14:00	500円	73
3月9日(土)	県美亭ワンコイン寄席～兵庫県立美術館とかけて奇跡体験!アンビリバーボーととく～その心は「えー!(絵)」がたくさんでしょう	露の吉次、露の団四郎	アトリエ1	14:00	500円	75

実施済 7回 延 461人

(3) シネマサロン(KEN-Vi名画サロン(偶数月)・県美シネマクラシック(奇数月)等)

開催日	事業内容	会場	入場料	入場者数
4月14日(金)	県美シネマクラシック「ロスト・ワールド」、「キングコング」	ミュージアムホール	800円	91
5月19日(金)	県美シネマクラシック「キュリー夫人」	ミュージアムホール	800円	82
6月16日(金)	KEN-Vi名画サロン「永遠の門～ゴッホの見た未来」	ミュージアムホール	1,000円	245
7月8日(土)	県美シネマクラシック「欲望という名の電車」	ミュージアムホール	800円	105
9月22日(金)	令和4年度文化庁優秀映画鑑賞推進事業「Wの悲劇」、「どついたるねん」	ミュージアムホール	500円	53
9月23日(土)	令和4年度文化庁優秀映画鑑賞推進事業「つぐみ」、「ニンゲン合格」	ミュージアムホール	500円	53
10月13日(金)	KEN-Vi名画サロン「ルイス・ウェイン 生涯愛した妻とネコ」	ミュージアムホール	1,000円	149
11月10日(金)	県美シネマクラシック「アンナ・カレニナ」	ミュージアムホール	800円	103
12月9日(土)	KEN-Vi名画サロン「劇場版 荒野に希望の灯をともし」	ミュージアムホール	1,500円	469
1月19日(金)	県美シネマクラシックイングリッド・バーグマン サスペンス傑作選「ガス燈」、「汚名」	ミュージアムホール	800円	312
2月17日(土)	KEN-Vi名画サロン「太陽の塔」	ミュージアムホール	1,000円	105
3月15日(金)	県美シネマクラシック「美女と野獣」	ミュージアムホール	800円	113

実施済 12回 延 1,880人

C. 美術講座

当館では、普及活動の一環として県民に生涯学習の機会を提供する目的で、美術に関する継続的な講座を開講している。

実技講座

(1) 前期（4月～10月、全17回）

コース名	内 容	日 程		参加者数	講 師
デ ッ サ ン A	デッサンを通して絵画の基本的な要素である線、調子、色彩それぞれの造形的意味を学ぶ。	火	10:30～12:30	30名	栗田咲子
デ ッ サ ン B		火	13:30～15:30	29名	栗田咲子
日 本 画	画材の扱い方から作画まで日本画の初歩を学ぶ。	水	10:30～12:30	28名	田口涼一
水 彩 画	水彩画に親しみ、いろいろな対象を描く喜びを味わう。	水	13:30～15:30	29名	ウエダキョアキ
洋 画 A	具象、抽象の区別なく自由に表現することを考える。	木	10:30～12:30	16名	押江千衣子
洋 画 B		木	13:30～15:30	26名	押江千衣子
エ ッ チ ン グ	道具の扱い方を学び、エッチングの表現技法と制作に親しむ。	金	10:30～12:30	30名	集治千晶
木 版 画	道具の扱い方から作品の制作まで木版画の初歩を学び、木版画の表現に親しむ。	金	13:30～15:30	28名	田村洋子

(2) 後期（11月～3月、全17回）

コース名	内 容	日 程		参加者数	講 師
デ ッ サ ン A	デッサンを通して絵画の基本的な要素である線、調子、色彩それぞれの造形的意味を学ぶ。	火	10:30～12:30	25名	栗田咲子
デ ッ サ ン B		火	13:30～15:30	30名	栗田咲子
日 本 画	画材の扱い方から作画まで日本画の初歩を学ぶ。	水	10:30～12:30	29名	田口涼一
水 彩 画	水彩画に親しみ、いろいろな対象を描く喜びを味わう。	水	13:30～15:30	29名	ウエダキョアキ
洋 画 A	具象、抽象の区別なく自由に表現することを考える。	木	10:30～12:30	19名	押江千衣子
洋 画 B		木	13:30～15:30	23名	押江千衣子
エ ッ チ ン グ	道具の扱い方を学び、エッチングの表現技法と制作に親しむ。	金	10:30～12:30	30名	集治千晶
木 版 画	道具の扱い方から作品の制作まで木版画の初歩を学び、木版画の表現に親しむ。	金	13:30～15:30	21名	田村洋子

d. ミュージアム・ボランティア

当館では、前身である県立近代美術館時代の昭和62年からボランティア養成講座を実施し、翌63年からボランティア活動を開始した。本年度は、昨年度から引き続き更新した合計166名がボランティアに登録した。活動の体制として、ボランティアと美術館の双方に各活動の担当者を置く。その上で1ヶ月に1度事務局会議を開催し、担当者間で協議しながら活動を実施した。

本年度は、事務局運営や研修会、資料整理、学校の団体鑑賞やこどものイベント及び特別展のスライド解説などの活動については、感染リスクに配慮しつつ活動を行った。また、新型コロナウイルス感染症の5類への移行にともない、来館者との対面を要するガイドツアーについても段階的に再開した。「県展」「美術の中のかたち」展の補助作業も実施された。

なおミュージアム・ボランティア活動ならびにミュージアム・ボランティア養成セミナーは、平成11年度以降、兵庫県教育委員会社会教育課と当館、歴史博物館、人と自然の博物館、考古博物館による「生涯学習ボランティア活動支援・推進事業」の一環として実施している。

1. ボランティア活動

(1) ミュージアム・ボランティアの概要

ア 令和4年度登録者179名（男30名、女136名）

イ 年齢の内訳

20歳未満	0名	20歳代	1名	30歳代	3名
40歳代	3名	50歳代	17名	60歳代	56名
70歳代	66名	80歳代	17名	その他	3名

(2) 活動内容および活動実績（活動日数、のべ日数）

ア 班別の活動

（ア）事務局（15回／332名）

- ・事務局会議、例会、総会の運営
- ・活動の企画
- ・館職員との連絡調整
- ・ボランティアへの事務連絡
- ・ミュージアム・ボランティアだより『ミュゼV』の編集
- ・保険受付作業

（イ）資料班（199回／296名）

- ・下記資料の整理
美術関連新聞記事、ダイレクトメール、作家ファイル（県内、県外作家）
- ・班会

（ウ）解説班（37回／462名）

- ・研修会
- ・班会
- ・コレクション展ガイドツアーの実施
- ・学校の団体鑑賞時の案内・解説（活動なし）

（エ）こども班（13回／127名）

- ・研修会
- ・班会
- ・「こどものイベント」の指導補助

イ 班以外の活動

（ア）展覧会に関する活動

- ・「県展」の受付、審査、返却の作業補助ならびに会場監視（13回／87名）

- ・特別展スライド解説（62回／378名）
- ・「美術の中のかたち」展会場での案内・鑑賞補助（3回／45名）
- （イ）学校の団体鑑賞補助（37回／225名）
- （ウ）発送作業等（19回／66名）
- （エ）イベントの企画、運営補助
 - ・七不思議ツアーおよび絵本の読み聞かせの企画・運営（「美術館の日」、「関西文化の日」のイベントとして）（3回／16名）
- （オ）研修旅行等の企画・運営（0回／0名）
- （カ）美術情報センターでの図書、ポスター整理作業補助（43回／43名）
- （キ）ルーム当番等（ボランティア・ルームでの電話対応、その他）（18回／24名）
- （ク）コーディネーター養成セミナー（2回／15名）

以上合計 延 464回／2,154名

2. 生涯学習ボランティア活動支援・推進事業

本年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、新たな登録希望者を対象とする「ミュージアム・ボランティア養成セミナー」を再開した。また、活動経験者を対象とするコーディネーター養成セミナーについては、「ミュージアム・ボランティア養成セミナー」の一部と合同で実施した。開講時間は10:30から12:00まで、講義会場は当館レクチャールームで、館内見学や展示室内での研修も行った。

なお新規登録希望者の受講生は39名（募集定員40名）。7回の講座中5回以上受講した人を修了者とした。活動経験者の参加者数は、上記イ・（ク）に含めている。

ミュージアム・ボランティア養成セミナー（兼コーディネーター養成セミナー）カリキュラム

月 日	内 容	担当職員など
1月27日(土)	開講式	幹部職員、安永幸史・武澤里映（教育支援・事業担当学芸員）、ミュージアム・ボランティア事務局
	施設紹介（館内見学）	安永幸史・武澤里映（教育支援・事業担当学芸員）
2月3日(土)	美術館のボランティア活動について	鬼本佳代子氏（姫路市立美術館 学芸課長）
2月10日(土)	館長トーク「当館の当面の方向性について」	林洋子（館長）
2月17日(土)	兵庫県立美術館のボランティア活動（1）活動の概略	安永幸史（教育支援・事業担当学芸員）
	こども班	ミュージアム・ボランティアこども班
	資料班	ミュージアム・ボランティア資料班
	解説班	ミュージアム・ボランティア解説班
2月24日(土)	兵庫県立美術館のボランティア活動（2）手引き研修	森一成氏（神戸アイライト協会理事長）、神戸アイライト協会職員
3月2日(土)	兵庫県立美術館のボランティア活動（3）ミュージアム・ボランティアの歴史	武澤里映（教育支援・事業担当学芸員）
	兵庫県立美術館のコレクションと展覧会	飯尾由貴子（館長補佐）
3月9日(土)	兵庫県立美術館のボランティア活動（4）学校団体鑑賞の模擬実習	ミュージアム・ボランティア 遊免寛子（教育支援・事業担当学芸員）、 松上仁子（ミュージアムティーチャー）
	閉講式／修了者の登録案内	三木盛顕（教育支援・事業担当課長）、安永幸史（教育支援・事業担当学芸員）、ミュージアム・ボランティア事務局

e. 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

兵庫県立美術館「芸術の館友の会」は、兵庫県立近代美術館美友会をその前身とし、美術を通じて会員相互の親睦を深めるとともに、美術館の発展に寄与し、美術館を積極的に支援することを目的とした団体である。

事業内容は、各種行事の企画・実施（美術館との共同事業含む）のほか、会員への情報提供、美術館支援等である。本年度については、以下のとおり活動を展開した。

なお、令和3年度に運営体制について協議し、会員理事とボランティア・スタッフを中心とする運営に移行した。定期的な連絡会議の開催や入会受付事務・会費徴収事務への会員管理クラウドサービスの導入を実施した。

1. 行事

(1) 学芸員による総会記念レクチャー

実施日：令和5年6月25日（日） 15：00～16：00

会 場：レクチャールーム

担 当：新谷里美（会長）、西田桐子（当館学芸員）

(2) キラッと輝く近隣の美術館訪問

実施日：令和5年10月28日（土） 14：00～16：00

会 場：BBプラザ美術館、横尾忠則現代美術館

参加者：16名

(3) チャンネル14 「吉本直子 いのちをうたう」ワークショップ

実施日：令和5年11月11日（土） 14：00～16：00

会 場：アトリエ2

参加者：14名（内会員1名）

講 師：吉本直子（チャンネル14出品作家）

担 当：遊免寛子（当館学芸員）

(4) 保存修復室特別講座「愛用品からみる金山平三の旅路」

実施日：令和6年3月3日（日） 14：00～16：00

会 場：アトリエ2

参加者：24名

講 師：横田直子、西田桐子（美術館学芸員）、当麻さくら（美術館県政推進員）

2. 美術館支援

(1) 展覧会支援

下記の美術館展覧会関連事業の協賛金を補助し、印刷物に「兵庫県立美術館「芸術の館友の会」協賛」と記載された。

- ・注目作家紹介プログラム チャンネル14「吉本直子 いのちをうたう」
- ・2023年度コレクション展

(1) 保存修復事業支援

恩地孝四郎の作品の修復・処置費用を負担し、修復等の内容を会報誌で報告するとともに、展示活用の際にキャプション等で掲示された。

3. 情報提供

(1) 友の会会報誌の発行 4回

Vol.121号（令和5年6月）、Vol.122号（令和5年9月）、Vol.123号（令和5年12月）、Vol.124号（令和6年3月）

(2) メールマガジンの発行 13回

- ・特別展「出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち」
講演会「金山平三が見つめた風景」友の会優先座席参加者募集のお知らせ（5/25）
- ・HART TALK 館長といっしょ！「福武總一郎さんにきく」友の会優先座席のご案内（8/12）
- ・自主事業のお知らせ ＊キラッと輝く近隣の美術館訪問（9/18）
- ・「Perfume COSTUME MUSEUM」記念トークショー友の会優先座席参加者募集のお知らせ（9/29）
- ・自主事業「キラッと輝く近隣の美術館訪問」最終のご案内（10/7）
- ・【参加者募集のお知らせ】チャンネル14「吉本直子 いのちをうたうー衣服、痕跡、その祈り」ワークショップ（10/25）
- ・「Perfume COSTUME MUSEUM」記念トークショー友の会優先座席参加者募集のお知らせ（10/25）
- ・特別展「生誕120年 安井仲治－僕の大切な写真」記念トーク「美術家から見た安井仲治」友の会優先座席参加者募集のお知らせ（12/27）
- ・兵庫県立美術館「芸術の館友の会」会員のみなさまへ新年のご挨拶（1/1）
- ・＜コレクション展Ⅲ＞講演会「呉昌碩の世界」友の会優先座席参加者募集のお知らせ（1/26）
- ・保存修復特別講座「触れて知る旅路～金山平三の愛用品から～」参加者募集のお知らせ（1/31）
- ・映画情報 （2月・3月）（2/5）
- ・特別展「スーラージュと森田子龍展」関連イベント 記念講演会 友の会優先座席参加者募集のお知らせ（2/23）

4. 他団体との連携事業

公益財団法人 兵庫県芸術文化協会との共催事業

令和5年度 兵庫県生活文化大学「日本美術講座」

実施日：令和5年4月～令和6年2月 計10回

会 場：兵庫県民会館

講 師：河田昌之（大阪芸術大学教授、和泉市久保惣記念美術館館長）

料 金：当会会員価格…13,000円、一般…17,000円

参加者：50名（うち、友の会会員5名）

令和5年度 兵庫県生活文化大学「西洋美術講座」

実施日：令和5年4月～令和6年2月 計10回

会 場：兵庫県民会館

講 師：蜷川順子（関西大学名誉教授）

料 金：当会会員価格…13,000円、一般…17,000円

参加者：52名（うち、友の会会員12名）

令和5年度 兵庫県生活文化大学「文化財講座」

実施日：令和5年4月～令和6年2月 計10回

会 場：兵庫県民会館

講 師：山中理（白鶴美術館評議員）、近藤利江子（関西学院大学非常勤講師）、萩原英子（兵庫陶芸美術館学芸員）、柏木知子（兵庫県立美術館学芸員）、仙海義之（公益財団法人阪急文化財団理事）、斎藤朋子（大阪芸術大学非常勤講師）、宇代貴文（阿海）（比叡山国宝殿主任学芸員）

料 金：当会会員価格…13,000円、一般…17,000円

参加者：39名（うち、友の会会員3名）

5. 特典・優待

(1) 会員証提示による優待 ※は連携・協力による相互優待

- ・常設展の無料観覧
- ・特別展の一定回数の無料観覧
- ・特別展の当日観覧券を団体割引料金で購入できる
- ・館内ミュージアムショップの商品（対象外の商品あり）を1,000円以上まとめて購入した場合は5%割引（対象外商品：図録・書籍・チケット）
- ・当館で開催する催しの一部優待
- ・兵庫県立美術館で開催する「KEN-Vi名画サロン」、「県美シネマクラシック」が一部を除き500円で観覧できる（元から500円の場合は割引なし）
- ・横尾忠則現代美術館で企画展が団体料金にて観覧できる
- ・姫路市立美術館で企画展と常設展が団体料金にて観覧できる
- ・兵庫県立歴史博物館で常設展が観覧無料、特別展・特別企画展が団体料金にて観覧できる
- ・兵庫陶芸美術館の展覧会を団体料金にて観覧できる
- ・兵庫県芸術文化協会の主催する講座を優待料金で受講できる
- ・兵庫県民会館の喫茶、理容室が割引料金で利用できる
- ・日本旅行関西企画旅行支店で指定の企画旅行が割引料金で利用できる
- ・「ミュージアムロード美術館応援店MAP」掲載店舗での割引等の優待

(2) 特別招待券等による優待（法人会員）

(3) 美術館情報誌『HART』、『ART RAMBLE』等を会報誌発送に同封

6. 総会・理事会等

- 6月3日（土） 第1回理事会
- 6月25日（日） 総会
- 3月16日（土） 第2回理事会

7. 会員数

年度	個人会員	法人会員	計
令和5年度	287	5	292

C. 保存・修復

保存、修復に関する活動

はじめに

収蔵作品を適切な状態で保存し、次世代へと継承することは、美術館の大切な業務の一つである。兵庫県立美術館では、平成14年の移転を契機として新たに修復室など保存施設を整え、それとともに専門の職員を配置して保存、修復の活動にあたっている。

保存修復活動の目指すところは作品のオリジナルな状態を出来る限り維持し続けることにあり、作品自体を安易に強化、改善することではない。まずは作品を取りまく環境の整備を優先して実行し、作品に対する直接的な介入＝処置は必要最小限に止める。処置に使用する材料や方法が少なからず作品の表情を変えたり、様々な情報を読みづらくしてしまうこともあるからである。また、限られた作品の修復に重点を置くよりもコレクション全体の保存状態の改善、向上に力を注ぐべきであると考えている。

1. 環境管理

保存の前提として、作品が劣化する因子（光、温湿度、空気、生物など）を排除あるいは制御することが重要である。そのため照明の調整、紫外線のモニター、空調の温湿度設定管理、館内空気の特性調査、IPM（Integrated Pest Management：総合的有害生物管理）活動などを継続的に実施している。

また、館内の環境データは複数の系統＝計測器機で並行して記録し、異常の発生を見逃すことのないようにしている。

2. 保存計画

作品個々の状態調査を実行し、展示、貸出などの作品活用との関係を考慮に入れつつ、保存処置の必要性和優先順位を決定してゆく。また、同時に環境調査と状態調査の結果を統合してコレクション全体の長期的な保存方法の改善に役立てるようにしている。

3. 活用と保存

館内のコレクション展での展示や館外貸出しに際しては、事前の作品状態調査で展示や輸送におけるリスクを把握し、必要に応じて修復処置や額装方法の改善を行っている。また、展示作業や輸送手段に対しても適切な方法が採られるよう助言し、活用前後で作品状態に変化がないか状態記録をもとに点検・確認を行っている。

特別展では、借用作品が当館の環境に馴染むよう十分馴し期間を置いてから開梱展示にかかるようにしている。また、開梱時に作品の状態点検を行い、展示中の変化や異常に備えている。

4. 修復処置

整った収蔵展示環境のもと、日常的に作品の状態をチェックできるという美術館のメリットを十分に活かして、現状維持を基本に将来再処置が可能な可逆性のある処置方法を採用している。本来コレクション全体の中長期的な保存計画を立案して処置に取り組むべきであるが、実際には活用の際に処置を行うことが多く、現在当館では油彩画と紙作品の2つの部門でそれぞれ1名ずつの専門職員が作業にあたっている。また、専門分野の異なる日本画や彫刻作品については外部の専門家に業務委託し、美術館側と処置方針を協議しながら作業を進めている。

本年度の処置作品は27ページの令和5年度美術品修復状況を参考のこと。

5. 調査活動

学芸部門との連携を図りながら、光学的な作品調査を行っている。赤外線ビジコンカメラの他、160kVと120kV（マイクロフォーカス）のX線透過装置を備えている。また、非破壊で元素の定性定量分析が可能な可搬型蛍光X線分析装置があり、施設内はもとより、検査対象のある場所に赴いての調査が可能である。

D. 美術情報センター

a. 美術情報センターの来館者サービス

美術情報センターでは、来館者へのサービスとして、美術に関する図書・資料等の閲覧サービス、当館の各種データベースの検索サービス、美術に関係したビデオ映像の鑑賞サービス、美術に関する相談受付及び、全国各地の美術館など展覧会等のポスターやチラシの展示と一部配布サービスを行っている。

1. 美術に関する図書・資料等の閲覧

内外の美術関係図書、展覧会図録、美術・芸術関係の雑誌等を収集し、閲覧席24席を配置して、来館者の閲覧に供している。

兵庫県立近代美術館の時代に収集してきた美術関係図書、展覧会図録に、平成13年度に新美術館開館に向けて美術図書の充実を図るために購入した内外の美術図書を加え、開館から現在までに収集した美術関係図書、展覧会図録、雑誌等を取り揃えている。

今後も、購入・寄贈・相互交換により美術関係図書等の充実を図っていく。



閲覧席



書架

2. 蔵書及び所蔵美術作品のデータベース検索

来館者が操作するためのパソコンとして、来館者用パソコン端末6台を設置し、蔵書データベース及び美術作品データベースを来館者が容易に検索することができる。

また、ネットミュージアム兵庫文学館が閲覧できる。



データベース検索用端末

3. 美術に関する映像ソフトの鑑賞 ※現在提供休止中

4. 美術に関する図書資料に係る相談受付（レファレンス）

来館者はもちろん、電話やインターネットによる、蔵書や美術に関する様々な問い合わせについて、調査、回答を行っている。



カウンター風景



美術情報センター内全景

5. 美術に関するチラシの展示・配布

全国の美術館など他館で開催される展覧会等について、チラシ、案内ハガキの展示と一部配布を行っている。

6. 面積、設備

(1) 面積

- ・美術情報センター（開架閲覧室・情報事務室） 352㎡
- ・資料室（閉架書庫） 150㎡

(2) 美術情報センターの主な設備

- ・来館者用パソコン端末 6台 ※蔵書検索端末1台のみ稼働
- ・A Vブース 8席（モニター5台）※現在提供休止中
- ・図書閲覧席 24席
- ・マイクロフィルムリーダー 1台 ※現在提供休止中

7. 開室日・開室時間

- (1) 開室日 美術館の開館日と同じ（年末年始の臨時開館時を除く）
- (2) 開室時間 10：00～18：00

8. 令和5年度美術情報センター利用統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 室 日 数	月計	26	26	26	20	0	19	26	26	24	24	25	27	269
入 室 者 数	月計	275	299	271	293	0	229	264	272	301	258	234	242	2,938
	日平均	10.6	11.5	10.4	14.7	0.0	12.1	10.2	10.5	12.5	10.8	9.4	9.0	10.9
レファレンス 件 数	月計	12	21	24	17	0	20	18	31	16	24	37	17	237
	日平均	0.5	0.8	0.9	0.9	0.0	1.1	0.7	1.2	0.7	1.0	1.5	0.6	0.9
映 像 ソ フ ト 視 聴 件 数	月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

b. Web（ホーム）ページ

URL [https://\(www.artm.pref.hyogo.jp\)](https://www.artm.pref.hyogo.jp)

(1) 内容

- ① トップページ（最新情報のタイトル、展覧会やイベントなど特に注目してほしいページのリンクバナーを掲載、常時更新）
- ② 最新情報（館からのお知らせ、展覧会やイベントなどの最新情報、記者発表資料）
- ③ 展覧会案内（年間スケジュール、開催中あるいは過去に開催した特別展や常設展（コレクション展）の詳細）
- ④ イベント案内（各月のイベントを紹介）
- ⑤ 交通案内（各交通機関での所要時間等のアクセス情報、当館周辺マップ）
- ⑥ 総合案内（開館時間・料金のお知らせ、館内マップ、館内施設紹介、貸し施設案内、館の基本理念や沿革・組織紹介、お問い合わせフォーム）
- ⑦ コレクション案内（所蔵作品の紹介、所蔵作品検索、新着図書リスト）
- ⑧ 教育プログラムの紹介（こども・おやこ向け、大人向け、学校向けの美術館活用プログラム、美術講座の紹介や告知）
- ⑨ 美術情報センター（利用案内、当館刊行物、蔵書検索）
- ⑩ 友の会（会員募集告知、会員特典の紹介、お問い合わせフォーム）
- ⑪ ボランティア（活動紹介、スライド解説等の日程の告知）
- ⑫ ミュージアムショップ・カフェ（利用案内、オリジナルグッズの紹介）
- ⑬ SNS（X（旧Twitter）、Facebook、Instagram）

(2) アクセス数：2,623,990件（7,169件/日）

E. 国際交流

1. 特別展関連（来館）

- ・令和5年7月11日（火）にクレラー＝ミュラー美術館のリゼット・ベルサース館長による視察を受け入れた。
- ・令和2年度にフランス、アヴェロン県と兵庫県の友好提携20年を記念して開催予定だった「スーラージュと森田子龍」について、当初は令和2年11月28日～令和3年1月24日に開催予定であったものを令和4年3月12日（土）から5月8日（日）に延期したが、令和3年末から翌4年にかけて全世界でコロナウイルスの感染者が爆発的に急増したため再度延期し、最終的に令和6年3月16日（土）～5月19日に開催した。同展開催に際してはクーリエとしてスーラージュ美術館からブノワ・ドゥクロン館長とレジストラのアマンディヌ・ムーニエ氏が来館し、当館学芸員と作品点検を行った。3月15日の開会式に際して、アヴェロン県よりアルノー・ヴィアラ議長、クリスティーヌ・プレヌヌ副議長、ナタリー・プジェ官房長、アメリー・コンブル企画担当、クリストフ・パルス オクシタニー州商工会議所国際技術・サービスアドバイザー、ピエール＝マリー・ブランケ元副議長が来館した。3月16日にはドゥクロン氏による記念講演会を実施した。

F. 出版

1. 令和4年度 兵庫県立美術館 年報

令和4年度の事業記録として、『令和4年度 兵庫県立美術館 年報』を発行した。

A4版 176頁（モノクロ印刷） 令和6年1月25日発行

2. 令和5年度 展覧会のご案内（年間スケジュール）

平成14年度より、一年間の展覧会をまとめたスケジュール表を発行している。

A4変型 観音開き 両面カラー 令和5年3月発行

3. 芸術の館情報 HART

館内で開催される各種の催しを案内する情報誌『HART』を下記のとおり発行した。
令和6年1月号をもって廃刊とし、紙媒体から広い層にアプローチできるWebでの情報発信へ移行した。

- ・第120号 A4版 4頁（カラー印刷） 令和5年7月発行
- ・第121号 A4版 4頁（カラー印刷） 令和5年10月発行
- ・第122号 A4版 4頁（カラー印刷） 令和6年1月発行 ※最終号

4. ART RAMBLE

平成15年度、館藏品や美術館活動、近隣の美術活動などに関するエッセイを掲載する季刊誌『ART RAMBLE』を創刊した。令和4年度の内容等は下記のとおり。

- ・第79号 A4版 8頁（カラー4頁、モノクロ4頁） 令和5年6月28日発行
1頁 コレクションから 河合（田中）美和《5月の陽気》（小林公）
2-3頁 学芸員の視点 2023年コレクション展Ⅰ〔特集1〕「虚実のあわい」を開催して（河田亜也子）
4-5頁 特別寄稿 「恐竜図鑑—失われた世界の想像/創造」を振り返って（岡本弘毅）
6頁 ショート・エッセイ1 兵庫県と近現代の書（剣持翔伍）
7頁 トピックス ギャラリー棟活性化事業報告 1 アーティストトーク with 西山美なコ/2 ワークショップ/「恐竜図鑑」展 関連事業/蓑豊館長、名誉館長に
8頁 ショート・エッセイ2 館長就任にあたって（林洋子）
- ・第80号 A4版 8頁（カラー4頁、モノクロ4頁） 令和5年10月27日発行
1頁 コレクションから 丸本耕《作品》（江上ゆか）
2-3頁 学芸員の視点 新収蔵品を囲む会—2023年コレクション展Ⅱ「Welcome! 新収蔵品歓迎会」（林優）
4-5頁 特別寄稿 金山平三展の会場で考えたこと（木下直之）
6頁 ショート・エッセイ 金山平三のアルバム（当麻さくら）
7頁 トピックス 2023年コレクション展Ⅰ 関連事業/金山展関連事業を開催しました。/「2023県展」を開催しました
8頁 美術館の周縁 美術館の周縁 片町線（相良周作）
- ・第81号 A4版 8頁（カラー4頁、モノクロ4頁） 令和5年12月26日発行
1頁 コレクションから 小出檣重《芸術家の家族》（西田桐子）



令和4年度 年報



展覧会のご案内



HART 第120号

- 2-3頁 学芸員の視点1 美術の中のかたち一手で見る造形 遠藤薫眼と球について（武澤里映）
- 4-5頁 学芸員の視点2 Perfume COSTUME MUSEUM（橋本こずえ）
- 6頁 ショート・エッセイ 「チャンネル14 吉本直子 いのちをうたう ー衣服、痕跡、その祈り」のこと（遊免寛子）
- 7頁 トピックス 館長と一緒に始動／2023年度コレクション展Ⅱ 特集「Welcome！新収蔵品歓迎会」関連事業／チャンネル14 関連イベントのご報告
- 8頁 美術館の周縁 それぞれの、仲治への旅（尾崎登志子）



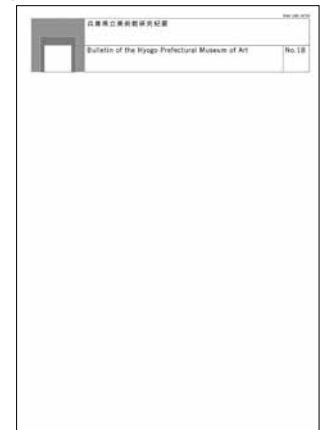
ART RAMBLE 第79号

- ・第82号 A4版 8頁（カラー4頁、モノクロ4頁） 令和5年3月28日発行
- 1頁 コレクションから 青木千絵《BODY10-1》（橋本こずえ）
- 2-3頁 学芸員の視点1 甲辰の年に呉昌碩生誕180年を寿ぐ（柏木知子）
- 4-5頁 特別寄稿 安井仲治展再見（竹葉丈）
- 6頁 ショート・エッセイ 「美術の中の物語」をめぐる物語（安永幸史）
- 7頁 トピックス 館長と一緒に！第4回と第5回の様子／安井仲治展の関連イベント／コレクション展Ⅲ小企画関連事業 講演会「呉昌碩の世界」を終えて
- 8頁 美術館の周縁 連帯を編む『アートワークーズ』翻訳出版について（武澤里映）

5. 兵庫県立美術館研究紀要 第18号

平成18年度より、当館学芸員（平成24年度より横尾忠則現代美術館学芸員も加わる）の調査研究の報告として「兵庫県立美術館研究紀要」を発行している。令和5年度の執筆者と内容は次のとおり。

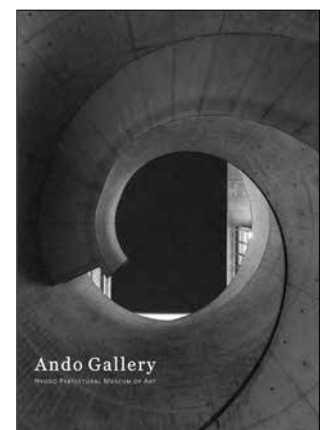
- A4版 58頁（モノクロ印刷） 令和6年3月22日発行
- ・菅木志雄《中律－連界体》の保存修復（岩松智義）
- ・金山らくについて（承前）（西田桐子）
- ・宇野亞喜良インタビュー（平林恵）
- ・英文要旨



兵庫県立美術館研究紀要
第18号

6. その他

- ・収蔵作品9種と当館安藤建築見どころ6種、美かえる1種の16種類のポストカードを新たに発行した。
- ・Ando Galleryや当館について、安藤忠雄氏略歴と兵庫県下の主な作品を掲載したAndo Galleryリーフレットを作成した。
- A5 巻き折り6頁 両面カラー



Ando Gallery リーフレット

G. 施設貸出

1. ミュージアムホール

利用日	利 用 目 的	利 用 者	利用者数
5月16日	第15回芸術三科合同研究大会	兵庫県高等学校教育研究会書道部会	91
5月20日	第20回管理組合通常総会	摩耶シーサイドプレイススイート管理組合	49
7月4日	令和5年度兵庫県高等学校文化連盟 芸術・工芸部門 美術部顧問会	兵庫県高等学校文化連盟 芸術・工芸部門	65
10月29日	Perfume COSTUME MUSEUM トークショー ～Another COSTUME～	株式会社インターグループプロダクションズ	470
11月8日	第47回兵庫県高等学校総合文化祭 美術・工 芸部門展 兼 第72回兵庫県高等学校美術展	兵庫県教育委員会事務局高校教育課	180
11月14日	防災関連の専門家によるフォーラム（学術会議）	WHO健康開発総合研究センター	72
11月23日	明石高校創立100周年記念美術展講演会	明石高校創立100周年実行委員会	52
1月25日	卒展 カオス2024 リハーサル	神戸芸術工科大学	50
2月7日～2月11日	卒展 カオス2024	神戸芸術工科大学	500
3月23日	関西フランコフォニーフェスティバル2024in 神戸	関西フランコフォニーフェスティバルin 神戸実行委員会	118

2. レクチャールーム

利用日	利 用 目 的	利 用 者	利用者数
5月16日	第15回芸術三科合同研究大会各部総会	兵庫県高等学校教育研究会書道部会	25
5月21日	色覚レンズで見るゴッホ・アライブ体験ツアー	NPO法人 True Colors	84
6月25日	令和5年度兵庫県立美術館 「芸術の館友の会」総会	兵庫県立美術館「芸術の館友の会」	30
7月5日	第19回みんなのアート展（兵庫県特別支援学 校等作品展）第1回実行委員会	兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課	45
7月7日～7月8日	第36回不二現代書展授賞式	公益財団法人日本教育書道学会	38
11月7日	第19回みんなのアート展（兵庫県特別支援学 校等作品展）第2回実行委員会	兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課	43
11月17日	兵庫県立学校事務職員協会阪神支部会計班研修会	兵庫県立学校事務職員協会阪神支部	26
11月23日	ANCS FORUM 2023 ～おもしろいで遊ぶ図工室・美術室～	岡山大学教育学部美術教育講座	77
3月29日～3月30日	第37回不二現代書展授賞式	公益財団法人日本教育書道学会	32

3. アトリエ1

利用日	利 用 目 的	利 用 者	利用者数
4月16日	B.B.Q.演奏会	篠原健吾	50
4月18日	ゴッホ・アライブ展シノビー収録控室	讀賣テレビ放送株式会社	8
4月22日	Lemurian Music Festival ～レムリアの音楽祭～	西川順子	39
5月13日	うみのかぜの小さなコンサート	うみのかぜ音楽教室	57
5月14日	フルート・サクソフォン・ピアノによる午後の音楽会	Trio Éclat	70
5月16日	第15回芸術三科合同研究大会各部総会	兵庫県高等学校教育研究会書道部会	31
7月2日	神戸大学医学部クラシック音楽愛好会 夏のコンサート2023	神戸大学医学部クラシック音楽愛好会	75
7月9日	ピアノの発表会	かたぎピアノ教室	60
7月23日	立川正美サクソフォンコンサート	立川正美	97
9月17日	演奏会	時本野歩	60
9月18日	オーケストラ練習	セント・マーティン・オーケストラ	55
9月23日	中村葉子ソロアットザミュージアム	CLUB FOGLIA	38
9月24日	ウクライナフェス	528株式会社	70

12月3日	ピアノと歌によるクリスマスコンサート～ 子どもから大人まで楽しめる ～クリスマスに聴きたい！ 名曲コンサート	尼崎信用金庫音楽部	85
12月17日	KIRARI音楽教室クリスマスコンサート	KIRARI音楽教室	84
12月24日	LA萌DIEクリスマスコンサート	LA萌DIE	77
1月28日	ウクライナフェス	528株式会社	90
2月6日～2月12日	卒展 カオス2024	神戸芸術工科大学	2,000
2月25日	チェロ・ヴァイオリンコンサート	中嶋寄恵	80
3月17日	ヴァイオリンとソプラノとピアノのクラシックコンサート～オーストリアの風薫るスプリングコンサート～	オーストリアの風コンサート企画	104

4. アトリエ2

利用日	利用目的	利用者	利用者数
4月9日	書道教室	翠雨書道教室	9
4月13日	ゴッホ・アライブ演出者控室	讀賣テレビ放送株式会社	20
6月25日	書道教室	翠雨書道教室	9
7月2日	神戸大学医学部クラシック音楽愛好会夏のコンサート2023 控室	神戸大学医学部クラシック音楽愛好会	75
10月29日	Perfume COSTUME MUSEUM トークショー～Another COSTUME～ スタッフ控室	株式会社インターグローヴプロダクションズ	10
11月25日～11月26日	明石高校創立100周年記念美術展特別企画ワークショップ	明石高校創立100周年実行委員会	80
2月10日～2月11日	入学準備プログラム	神戸芸術工科大学	50
2月25日	チェロ・ヴァイオリンコンサート控室	中嶋寄恵	80

5. ギャラリー

利用日	利用目的	利用者	利用者数
4月1日～6月11日	ゴッホ・アライブ展	讀賣テレビ放送株式会社	171,455
6月18日～6月25日	AU展	Art Unidentified	700
7月4日～7月11日	第36回不二現代書展	公益財団法人日本書道教育学会	606
9月10日～9月18日	IFA展2023	IFA国際美術協会	500
9月21日～9月27日	芦屋・第二モダニズム展	Ashiya Art Photo Session	440
10月6日～10月9日	榎倉香邨 遺墨展 『あくがれへの旅路 香邨の求めた書』	書道香環会	1,100
10月11日～10月17日	N氏コレクション 棟方志功展	株式会社 阪急阪神百貨店神戸阪急リビング・呉美宝営業部	400
10月19日～10月22日	Hui Kai Art展	Hui Kai Art協会	250
10月27日～11月5日	稲田峻 展 INSIDE/OUTSIDE	稲田峻	410
11月8日～11月12日	第47回兵庫県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門展 兼 第72回兵庫県高等学校美術展	兵庫県教育委員会事務局高校教育課	900
11月14日～11月19日	一水会大阪展	一水会	3,100
11月21日～11月26日	明石高校創立100周年記念美術展	明石高校創立100周年実行委員会	685
11月29日～12月3日	新・童美展2023	保育造形の会	1,750
1月11日～1月14日	第39回明石高校美術科展	兵庫県立明石高等学校	978
2月6日～2月12日	卒展 カオス2024	神戸芸術工科大学	2,000
2月14日～2月21日	第12回未来のまち夢のわが家こども絵画コンテスト作品展示及びなぎさ小学校6年生の作品展示「伝えよう HAT神戸の"ステキ"」	TC神鋼不動産株式会社	380
2月22日～2月25日	卒業進級制作展	専門学校アートカレッジ神戸	400
2月27日～3月10日	第19回兵庫県障害者芸術・文化祭美術工芸作品公募展	第19回兵庫県障害者芸術・文化祭実行委員会	1,500
3月16日～3月19日	2024年度大学連携住宅設計合同講評会	株式会社建築資料研究社	200
3月26日～3月31日	第37回不二現代書展	公益財団法人日本書道教育学会	501

共催特別展

ゴッホ・アライブ展

令和5年3月18日（土）～6月4日（日）

ギャラリー棟3階ギャラリー

主催：「ゴッホ・アライブ」神戸会場実行委員会

共催：兵庫県立美術館

協賛：非破壊検査

後援：兵庫県、FM802、FM COCOLO

1880年～1890年のフィンセント・ファン・ゴッホの作品を場中に設置した最大7mの壁・床スクリーンに投影する没入型展覧会。3000以上の画像が巨大なスケールで映し出され、スクリーン、壁、柱、床までも埋め尽くす光と色と音楽が融合し、五感すべてに刺激を与える新しい体験を提供した。

H. その他の活動

1. 美術館の日

平成14年4月6日に兵庫県立美術館が開館したのを記念して、毎年4月に「美術館の日」を設けている。本年は4月29日（土）、30日（日）を「美術館の日」としてさまざまなプログラムを実施した。

	時間	イベント名	参加人数		備考
			4月29日	4月30日	
1	11:00～11:15	特別展「恐竜図鑑」ミュージアム・ボランティアによるスライド解説会	29	27	◎
2	13:30～16:00	こどものイベント「きみも恐竜アーティスト！」	35	-	○○
3	13:30～14:00	わくわくドキドキえほんのじかん	-	27	
4	15:00～15:45	コレクション展Ⅰ 学芸員による解説会	-	24	◎
計			64	78	

○＝「こどものイベント」として実施（p.105参照）、◎＝展覧会関連事業として実施（p.103参照）

項 目		4月29日	4月30日
入館者数 ※		6,590	6,945
特別展「恐竜図鑑」	入場者数	1,276	1,437
コレクション展Ⅰ 特集1「虚実のあわい」	入場者数	226	151

※入館者数は、センサーによる数字

2. 関西文化の日

11月18日（土）、19日（日）を関西文化の日として、さまざまなプログラムを実施した。

	時間	プログラム名	参加人数		備考
			11月18日	11月19日	
1	11:00～11:15	特別展「Perfume COSTUME MUSEUM」ミュージアム・ボランティアによるスライド解説会	55	55	◎
2	11:00～17:00	一時保育	2	-	
3	14:00～15:30	特別展「Perfume COSTUME MUSEUM」記念トークショー	225	-	◎
4	13:30～15:00	HART TALK 館長といっしょ！vol.03 「原田の森から脇浜海岸へ、近代美術館から美術館へ、兵庫県立美術館のこれから」	-	79	
5	15:00～15:45	コレクション展Ⅱ《小企画》「美術の中のかたち－手で見える造形 遠藤薫 眼と球」学芸員によるガイドツアー	-	17	◎
計			282	151	

◎＝展覧会関連事業として実施（p.103参照）

項 目		11月18日	11月19日
入館者数 ※		3,299	3,377
特別展「Perfume COSTUME MUSEUM」	入場者数	1,660	1,609
コレクション展Ⅱ 特集「Welcome！新収蔵品歓迎会」 小企画「美術の中のかたち－手で見える造形 遠藤薫 眼と球」	入場者数	760	1,005

※入館者数は、センサーによる数字



美術館の日チラシ



関西文化の日チラシ

3. プレミアム芸術デー

7月11日（火）から7月17日（月・祝）まで、コレクション展及び特別展の観覧料を無料にした。

入館者数 ※		9,466
2023コレクション展 I 特集1「虚実のあわい」	入場者数	4,241
特別展「出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち」展	入場者数	5,354

※入館者数はセンサーによる数字

4. ふるさと納税寄附金による無料観覧

1月17日(水)のコレクション展観覧料を無料にした。

入館者数 ※		647
2023コレクション展 III 特集「美術の中の物語」 小企画「生誕180年記念呉昌碩の世界－海上派と西泠名家－」	入場者数	151

※入館者数はセンサーによる数字

5. 公益財団法人伊藤文化財団の協賛による無料観覧

毎月第2日曜をコレクション展の観覧料を無料にした。

入館者数 ※		31,894
4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、9月10日、10月8日、11月12日、12月10日、1月14日、2月11日、3月10日	入場者数	5,663

※入館者数はセンサーによる数字

6. 共催・後援・協力事業

(1) 共催・後援・協力事業（館外）

No.	実施時期	名称	主催者名	会場	区分	利用者数
1	6月16日～3月29日	防災力強化県民運動 ポスターコンクール	ひょうご安全の日推進県民会議	人と防災未来センター、 ギャラリー棟1階ホワイエ	後援	-
2	9月3日、9月10日、 9月17日	2023 「K O B E ポート教室」	H A T 神戸 ポートコース設立実行委員会	神戸市中央区脇浜海岸通4 (HATゆめ公園南側生田川河口水域)	後援	52
3	9月15日～10月1日	第29回公募展 木彫フォークアートおおや	木彫フォークアートおおや実 行委員会、養父市	養父市立おおやホール	後援	3,081
4	10月29日	第10回「H A T 神戸 レ ガッタ 2023」	H A T 神戸 ポートコース設立実行委員会	神戸市中央区脇浜海岸通4 (HATゆめ公園南側生田川 河口水域 特設コース)	後援	250
5	1月28日	H A T 神戸連携防災イベント 「イザ! 美かえる大キャラバン! 2024」	国際防災研修センター実行委 員会	JICA関西、 人と防災未来センター	共催	750
6	3月10日	政策科学研究所シンポジウム 「共生と芸術文化 持続可能社会実現のために」	兵庫県立大学政策科学研究所	AI・HALL (伊丹市立演劇ホール)	共催	101

(2) 共催・後援・協力事業（館内）

No.	実施時期	名称	主催者名	会場	区分	利用者数
1	3月18日～6月4日	ゴッホ・アライブ展	讀賣テレビ放送株式会社	ギャラリー棟3階 ギャラリー	共催	196,561
2	9月12日～9月17日	IFA展2023	IFA国際美術協会	ギャラリー棟3階 ギャラリー	後援	494
3	10月29日	Perfume COSTUME MUSEUM トークショー ～Another COSTUME～	株式会社アミューズ	ギャラリー棟1階 ミュージアムホール	協力	470
4	12月6日～12月10日	第19回みんなのアート展 (兵庫県特別支援学校等作 品展) 及び表彰式	兵庫県教育委員会	ギャラリー棟3階 ギャラリー、 ギャラリー棟1階 ミュージアムホール	共催	1,016
5	2月15日～2月20日	第12回 未来のまち 夢のわ が家 こども絵画コンテスト	TC神鋼不動産株式会社	ギャラリー棟3階 ギャラリー、 BBプラザホール	後援	380

(3) 共同事業（芸術の館友の会）

No.	実施時期	名称	主催者名	会場	区分	利用者数
1	6月25日	学芸員による総会記念レクチャー	兵庫県立美術館 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」	レクチャールーム	共催	22
2	11月11日	注目作家紹介プログラム チャンネル14「吉本直子 いの ちをうたう」ワークショップ	兵庫県立美術館 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」	アトリエ2	共催	14
3	3月3日	保存修復室特別講座「愛用品 からみる金山平三の旅路」	兵庫県立美術館 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」	アトリエ2	共催	24

業務一覧

当館学芸員17名が令和5年度に行った業務を「1. 美術館内での業務等」「2.美術館外での業務等」「3.調査・研究活動」「4.社会貢献活動」「5.その他」の順で記した。記載は氏名の五十音順とした（役職等はp.169「委員及び職員名簿」参照）。

飯尾由貴子（いおい・ゆきこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・企画・学芸部門の統括
- ・課の統括（保存・修復担当）
- ・学芸分科会の主宰

【担当展覧会】

- ・特別展 ある画家の肖像 金山平三と同時代の画家たち展（副担当）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・金山平三展学芸員による解説会：6/24
- ・金山平三展レクチャー（日本教育公務員弘済会兵庫支部会員対象）：7/1

【教育支援・ボランティア・友の会】

- ・博物館実習「兵庫県立美術館の歴史と理念 美術館をとりまく現状と課題」：7/14
- ・「兵庫県立美術館を活用した学習」関西大学学生による聞き取り
博物館経営論@関西大学 11/12

2. 美術館外での業務等

【講演会・シンポジウム等】

- ・「旅と、出会いと、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち」（阪神シニアアカレッジ）：6/7

3. 調査・研究活動

【館内出版物への執筆】

- ・「壁画への道」（明治神宮聖徳記念絵画館の壁画）pp.58-75「生命への眼差し」pp.96-107（『ある画家の肖像 金山平三と同時代の画家たち展』図録、2023年）
- ・「蓑豊館長、名誉館長に」（『ART RAMBLE』79号、p.7）

【著作・論文・口頭発表】

- ・「本多錦吉郎の文献について」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9

【館外出版物への執筆】

- ・「日本のアーティスト事典」作家解説、レファレンスデータの作成「橋本関雪」「村上華岳」（独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター設置準備室）
- ・金山平三展《菊》神戸新聞連載（『神戸新聞』6/11）
- ・「網谷義郎の人物画 兵庫県立美術館の所蔵品から」（『網谷義郎作品集』 2024年3月31日 pp.78-79）
- ・「作家解説 三谷十糸子」（『平成の日本画 1989-2019日本画と水墨画、30年の軌跡』美術年鑑社 2022年6月 p.37）
- ・「施設紹介「兵庫県立美術館」」（『一般社団法人兵庫県建築会会報』第447号 2023年3月1日 pp.7-9）

【作品調査】

- ・作品調査（大阪市西区）：4/27
- ・作品調査（兵庫県新宮市）：9/26
- ・作品調査（岡山県立美術館他）：7/19
- ・作品調査（神戸市中央区）：9/14
- ・作品調査（神戸市中央区）：10/4、10/18

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・西宮市大谷記念美術館専門委員会 1/8
- ・芦屋市立美術博物館協議会 4/18、3/14
- ・芦屋市立美術博物館 芦屋市美術品収集委員会委員会 2/13
- ・富山県美術館運営委員会 11/6
- ・赤艸社賞選考委員：10/31
- ・神戸市文化賞選考会 10/13
- ・大阪中之島美術館収集委員会 11/21
- ・姫路市立美術館美術品購入等審議委員
- ・第9回東山魁夷記念日経日本画大賞推薦委員
- ・阪神南県民センター「具体」魅力発信推進委員会委員

【公募展審査、作品評価など】

- ・第46回但馬美術展審査員 7/27
- ・作品評価 兵庫県立リハビリテーション中央病院：4/30
- ・作品評価 兵庫県立リハビリテーション中央病院：8/22
- ・作品評価 有馬富士公園：10/17

岩松智義（いわまつ・ともよし）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・館内環境の管理
- ・コレクション展毎の出品候補作品の状態確認
- ・コレクション展、特別展における作品展示、固定、開梱包作業
- ・館外貸出に伴う作業（候補作品の事前状態調査、輸送・梱包方法の提案と確認、作品出入時の状態確認）
- ・洋画、彫刻（主に立体）作品の保存修復処置（令和5年度美術品修復状況p.27のうち紙が支持体でない作品）

【教育支援・ボランティア】

- ・博物館実習対応「保存・修復について」：7/16
- ・トライやるウィーク対応：6/9、11/9

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：4/27
- ・第45回文化財保存修復学会：6/24、25
- ・令和5年度保存担当学芸員研修：7/10-14

【著作・論文・口頭発表】

- ・「菅木志雄《中律－連界体》の保存修復」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9
- ・「菅木志雄《中律－連界体》の保存修復」（『兵庫県立美術館研究紀要』18号、pp.4-21）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・文化財保存修復学会会員
- ・文化財保存支援機構登録会員

江上ゆか（えがみ・ゆか）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・資料収集・資料交換
- ・『年報』の編集と発行
- ・『兵庫県立美術館研究紀要』編集
- ・ボランティア資料班との連携

【担当展覧会】

- ・2023県展
- ・コレクション展Ⅲ（副担当）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・コレクション展Ⅲ 学芸員による解説会：3/2

【教育支援・ボランティア】

- ・トライやる・ウィーク対応：6/8、11/7
- ・博物館実習講義：7/17
- ・こどものイベント夏休みスペシャル補助：8/26
- ・コレクション展Ⅲ こどものイベント：2/18

【その他補助業務】

- ・安井仲治展カタログ校正・作業・イベント補助
- ・コレクション展Ⅰ（次年度開催準備、リスト補助）
- ・次年度寄贈候補作品の屋外設置にかかる調整
- ・金山平三展作業補助：5/29
- ・Perfume展作業補助：8/18
- ・スーラージュと森田子龍展集荷・作業補助：3/5-6、3/10-14

2. 美術館外での業務等

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・「原田要展 絵画と彫刻の深みに…＜対談＞江上ゆか×原田要」（真庭市蒜山ミュージアム）：9/30
- ・「「CAP LAB ROKKO」トークイベント みんなでつくる「六甲山町美術館」」トークゲスト（六甲山地域福祉センター）：10/1
- ・「『しばたゆりMaterial colors“そこにいるもの”』アーティストトーク 江上ゆか×しばたゆり」（自在空間 ArtStep）：10/8
- ・「特殊講義3 作り手と出会う場所—80年代関西の画廊」（大阪成蹊大学）：11/14
- ・「国立アトリサーチセンター国際シンポジウム・ワークショップ2023 美術館とリサーチ | アートを“深める”とは？ セッション1：美術館とアーカイブ」パネリスト（国立新美術館）：3/21

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・館蔵作家に関する資料調査：5/12、19、26、7/14

【著作・論文・口頭発表】

- ・「喫茶DONとその時代」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9

【館内出版物への執筆】

- ・「コレクションから 丸本耕《作品》」（『ART RAMBLE』80号、p.1）

【館外出版物への執筆】

- ・「選考実見録」（『Idemitsu Art Award 2023』図録、2023年12月、pp.4-5）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美学会会員
- ・美術史学会会員
- ・令和5年度国立アートリサーチセンター研究資料委員会委員：4/27、6/15、9/26、11/30、3/7 ※9/26を除きオンライン会合
- ・令和5年度滋賀県立美術館価格評価委員会委員：6/29
- ・令和5年度国立国際美術館美術作品購入評価委員会（第1回）委員：12/18
- ・令和5年度第2回京都国立近代美術館美術作品購入等評価員：1/29

【公募展審査、作品評価など】

- ・Idemitsu Art Award 2023 審査員：9/24（審査）、12/15（講評）

尾崎登志子（おさき・としこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・作品の寄贈に関する業務（副担当）
- ・作品の寄託に関する業務（副担当）
- ・作品貸出（作品搬出入立会い6回）
- ・収蔵品の写真撮影（副担当）

【担当展覧会】

- ・特別展 安井仲治展（副担当）
- ・2024年コレクション展Ⅰ（副担当）
- ・2024年コレクション展Ⅱ小企画 美術の中のかたち展—一手で見る造形（次年度開催準備）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・安井仲治展 ワークショップ：1/20
- ・安井仲治展 学校団体向け解説会：2/3

【教育支援・ボランティア】

- ・安井仲治展 こどものイベント：1/21

【その他補助業務】

- ・金山平三展作業補助：5/18、5/31

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・2024年コレクション展Ⅱ小企画 美術の中のかたち展作品調査：11/22、12/4

【著作・論文・口頭発表】

- ・「クリムト後期の肖像画における中国的図像—第一次世界大戦期における人的交流に着目して」（『鹿島美術研究』40号、pp.460-471）
- ・「安井仲治とモンタージュ 1930年代の合成写真から「半静物」まで」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9

【館内出版物への執筆】

- ・「美術館の周縁 それぞれの、仲治への旅」（『ART RAMBLE』81号、p.8）

【館外出版物への執筆】

- ・章解説「都市への眼差し」 p.38、「安井仲治とモンタージュ 1930年代の合成写真から「半静物」まで」 pp.234-240、自作解説 pp.271-276、年譜 pp.288-300、出品歴 pp.301-307、参考文献 pp.308-316（『安井仲治作品集』河出書房新社、2023年10月）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員
- ・民族芸術学会会員
- ・ハプスブルク史研究会会員

柏木知子（かしわざ・ともこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・課の統括（近世日本・中国美術担当）
- ・潁川コレクション・梅舒適コレクションの保存・修理に関する業務
- ・両コレクションの作品貸出に関する業務（作品貸出立会い10日）
- ・両コレクションの作品調査に関する業務（調査のべ49日）
- ・両コレクションの写真撮影に関する業務（副担当、撮影のべ12日）
- ・梅舒適コレクションの作品収集会議の開催に関する業務
- ・梅舒適コレクション活用・研究事業に関する業務

【担当展覧会】

- ・2023年コレクション展Ⅰ特集2「中国明清の書画篆刻—梅舒適コレクションの精華—」（副担当）
- ・2023年コレクション展Ⅲ小企画「生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西泠名家—」

【展覧会解説会】

- ・コレクション展Ⅲ小企画 ゆっくり解説会：1/14
- ・コレクション展Ⅲ小企画 解説会：1/20
- ・コレクション展Ⅲ小企画 団体向け解説会（関西中国書画コレクション研究会）：2/7

【教育支援・ボランティア】

- ・博物館実習「潁川・梅舒適コレクションについて」：7/14
- ・コレクション展Ⅲ小企画 ボランティア解説会：11/25

【その他】

- ・潁川コレクション・梅舒適コレクションの学術調査対応：4/7、6/14、9/3、3/27
- ・西宮分館書籍調査・輸送作業：5/9、5/11、5/17、5/30、5/31

2. 美術館外での業務等

【講演会・シンポジウム等】

- ・令和5度兵庫県生活文化大学文化財講座「呉昌碩の世界」：9/20
- ・阪神中哲談話会「生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西泠名家—展」について：12/16

【著作・論文・口頭発表】

- ・「梅舒適の呉昌碩コレクションについて—《篆書還樸精廬》をめぐる—」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9
- ・「富岡鉄斎と考槃社」（高木博志『近代京都と文化「伝統」の再構築』、pp.397-423）

【館内出版物への執筆】

- ・章解説3件（コレクション展Ⅲ 小企画「生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西泠名家—」、p.5、7、14）
- ・「学芸員の視点1 甲辰の年に呉昌碩生誕180年を寿ぐ」（『ART RAMBLE』第82号、pp.2-3）
- ・「コレクション展Ⅲ小企画関連事業講演会「呉昌碩の世界」を終えて」（『ART RAMBLE』第82号、p.7）

【館外出版物への執筆】

- ・「梅舒適コレクションの呉昌碩刻印」、「呉昌碩と富岡鉄斎」（『生誕180年記念 呉昌碩の世界』公益財団法人台東区芸術文化財団、pp.46-47、pp.120-121）
- ・解説「清・呉昌碩書 篆書還樸精廬」（『國華』第1539号「特集 梅舒適コレクションの明清書画」pp.58-60）
- ・「兵庫縣立美術館「誕辰180周年記念 呉昌碩の世界—海上派與西泠名家—」（剣持翔伍共著・沈伯陽訳）（『典藏 古美術』第378号、pp.74-81）

【インタビュー等】

- ・高橋利郎「書の扉 第44回 兵庫県立美術館の梅舒適コレクション—柏木知子兵庫県立美術館学芸員、剣持翔伍同学芸員に聞く」（『美術の窓』No.485、pp.122-125）

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・コレクション展Ⅲに関する作品調査：7/19、10/19～20、11/7～8、11/23、12/21、1/5
- ・受贈・購入候補作品等調査：10/12、10/24～26、12/8

4. 社会貢献活動

【所属学会・研究会】

- ・関西中国書画コレクション研究会会員

河田亜也子（かわだ・あやこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・調査報告会の運営と『兵庫県立美術館研究紀要』編集（12/6まで）
- ・ボランティア特別展解説会の調整
- ・Ando Gallery
- ・『ART RAMBLE』編集（副担当）

【担当展覧会】

- ・2023年コレクション展Ⅰ
- ・特別展 Perfume COSTUME MUSEUM（副担当）
- ・特別展 パウル・クレー展 創造をめぐる星座（次年度開催準備）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・コレクション展Ⅰ 学芸員による解説会：4/9、5/20
- ・コレクション展Ⅰ 「ひょうごプレミアム芸術デー」ゆっくり解説会：7/11

【教育支援・ボランティア】

- ・コレクション展Ⅰ 学校団体向けレクチャー：5/20、5/24、6/11
- ・コレクション展Ⅰ こどものイベント：5/27
- ・Perfume展 こどものイベント：10/14

3. 調査・研究活動

【著作・論文・口頭発表】

- ・「ハラルト・ゼーマン「総合芸術作品への志向」展をめぐる④」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9

【館内出版物への執筆】

- ・「2023年コレクション展Ⅰ [特集1] 「虚実のあわい」を開催して」（『ART RAMBLE』79号、pp.2-3）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・表象文化論学会

剣持翔伍（けんもち・しょうご）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・ 額川コレクション・梅舒適コレクションの作品調査に関する業務（調査のべ46日）
- ・ 両コレクションの作品取集会議・評価会議の開催に関する業務
- ・ 両コレクションの年報、印刷物に関する業務
- ・ 両コレクションの写真撮影に関する業務（撮影のべ12日）
- ・ 両コレクションのデータ整理に関する業務
- ・ 両コレクションの図版掲載に関する業務
- ・ 両コレクションの貸付に関する業務（副担当、貸出立会い9日）

【担当展覧会】

- ・ 2023年コレクション展Ⅰ 特集2「中国明清の書画篆刻—梅舒適コレクションの精華—」
- ・ 2023年コレクション展Ⅰ「近現代の書」
- ・ 2023年コレクション展Ⅲ小企画「生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西泠名家—」（副担当）

【展覧会解説会】

- ・ コレクション展Ⅰ「近現代の書」 団体向け解説会（四国大学）：4/8
- ・ コレクション展Ⅰ「近現代の書」 美術館の日 解説会：4/30
- ・ コレクション展Ⅲ小企画 団体向け解説会（関西中国書画コレクション研究会）：2/7
- ・ コレクション展Ⅲ小企画 解説会：3/9

【教育支援・ボランティア】

- ・ こどものイベント「書の世界へようこそ!」：6/24

【その他】

- ・ 額川コレクション・梅舒適コレクションの学術調査対応：4/7、6/14、9/3、3/27
- ・ コレクションの学術調査対応：11/29
- ・ 西宮分館書籍調査・輸送作業：5/9、5/11、5/17、5/30、5/31

2. 美術館外での業務等

【出前事業等教育支援活動】

- ・ 出前授業「プロフェッショナル in 有馬～働くことについて考える～ 学芸員という仕事」（兵庫県立有馬高校）：11/10

【講演会、シンポジウム等】

- ・ 講演会「書画篆刻作品を中心としたコレクション展を担当して」（令和5年度兵庫県高等学校教育研究会 芸術（音楽、美術・工芸、書道）部会 芸術三科合同研究大会、兵庫県立美術館ミュージアムホール）：5/16
- ・ 兵庫県立美術館連携講座 気軽にアートvol.38「兵庫県と近現代の書」（兵庫県立神戸生活創造センター）：5/19
- ・ 講演会「上田桑鳩と兵庫県」（「郷土の書人・画人・教育者 上田桑鳩展～上田家・飛雲会寄贈作品～」、三木市立みき歴史資料館3階講座室）：11/11

【著作・論文・口頭発表】

- ・ 口頭発表「新発見の廉泉「小萬柳堂書画コレクション」—張璠図《行書玄都壇歌寄元逸人詩》初探—」（書学書道史学会例会（オンライン））：7/9

- ・口頭発表「神戸に誕生した「南湖扇面美術館」について」（当館学芸員調査報告会・口頭発表）：8/9
- ・口頭発表「梅舒適コレクション『丁丑劫餘印存』からみた西泠印社初期社員の一面」（第33回書学書道史学会大会、文化フォーラム春日井）：10/29
- ・「兵庫県立美術館所蔵 上田桑鳩《啼鳥》について—菅野清峯先生へのインタビューを振り返って—」（『奎星』第50号（奎星会）、pp.24-25）
- ・「『書の世界へようこそ!』を振り返って」（『奎星』第51号（奎星会）、pp.22-23）
- ・口頭発表「梅舒適コレクション『丁丑劫餘印存』からみた西泠印社初期社員の一面（補足）」（言書会例会（オンライン））：1/27

【館内出版物への執筆】

- ・章解説3件（コレクション展Ⅲ小企画『生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西泠名家—』、p.3、9、12
- ・ショート・エッセイ1「兵庫県と近現代の書」（『ART RAMBLE』79号、p.6）

【館外出版物への執筆】

- ・「呉昌碩と西泠印社創始者」（図録『生誕180年記念 呉昌碩の世界』、公益財団法人台東区芸術文化財団、pp.102-103）
- ・剣持翔伍「解説 明・張璠図書 行書玄都壇歌寄元逸人詩」（『國華』第1539号「特輯 梅舒適コレクションの明清書画」、pp.36-38）
- ・「兵庫県立美術館「誕辰180周年紀年呉昌碩の世界—海上派と西泠名家—」（柏木知子共著・沈伯陽訳）（『典藏 古美術』No.378、pp.74-81）

【インタビュー等】

- ・高橋利郎「書の扉 第44回 兵庫県立美術館の梅舒適コレクション—柏木知子兵庫県立美術館学芸員、剣持翔伍同学芸員に聞く」（『美術の窓』No.485、pp.122-125）

3. 調査・研究活動

【館内での調査・研究】

- ・コレクション展Ⅲに関する作品調査：7/19、10/19～20、11/7～8、11/23、12/20～21、1/5、3/15～16
- ・受贈・購入候補作品等調査：10/12、10/24～26、12/8

4. 社会貢献活動

【所属学会・研究会】

- ・関西中国書画コレクション研究会会員

【公募展審査、作品評価など】

- ・南あわじ市滝川記念美術館 玉青館 寄贈作品価格評価：3/8

小林公（こばやし・ただし）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・課の統括（特別展・国際交流担当）
- ・特別展の運営と展覧会会議の開催など
- ・展示室点検当番の管理

【担当展覧会】

- ・特別展 安井仲治展
- ・特別展 安彦良和展（副担当、次年度開催予定）
- ・特別展 1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち（次年度開催予定）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・安井仲治展 ワークショップ：1/20

【教育支援・ボランティア】

- ・安井仲治展 こどものイベント：1/21

2. 美術館外での業務等

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・トークイベント出演（吉岡千尋個展「griglie」、アートコートギャラリー）：11/25
- ・「気軽にアート 安井仲治」（神戸生活創造センター）：1/19

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・特別展および館蔵作家作品・資料調査：4/19、4/20、4/22、4/28、4/29、5/3、5/12、5/27、5/29、5/30、6/1、6/9、6/19、7/9、7/17、7/18、7/26、7/27、7/28、7/29、7/30、8/17、10/7

【著作・論文・口頭発表】

- ・「安井仲治 僕の大切な写真」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9

【館内出版物への執筆】

- ・「コレクションから 田中（河合）美和「5月の陽気」（『ART RAMBLE』79号、p. 1）

【館外出版物への執筆】

- ・案内文（富倉崇個展（Oギャラリーeyes、11/20-12/2）DM
- ・「絵画の翻訳」（個展（LEESAYA、3/25-4/23）記録冊子『LS No. 26 田中秀介』）
- ・「絵を見るよろこび」（『とべ たみ画集－夢を見た』インターパブリカ、2024年3月）
- ・レビュー（ユアサエボシ個展「涯にて」（ヨシアキイノウエギャラリー、10/2-24）リーフレット）
- ・章解説「静物のある風景」p.78、「安井仲治 僕の大切な写真」pp.210-225、資料pp.227-281（『安井仲治作品集』河出書房新社、2023年10月）
- ・「しまだそう」（「VOCA展2023 現代美術の展望－新しい平面の作家たち－」図録、2024年3月）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員
- ・美学会会員
- ・一般社団法人全国美術館会議 美術館運営研究部会メンバー
- ・芦屋市展審査
- ・大阪成蹊大学全国アート&デザインコンペティション審査

相良周作（さがら・しゅうさく）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・作品収集会議の開催
- ・作品寄託

【担当展覧会】

- ・特別展 金山平三と同時代の画家たち（共同企画）
- ・2023年コレクション展Ⅱ（副担当）
- ・クレール展（次年度開催準備）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・金山展 解説会：6/17
- ・金山展 こどものイベント：7/16
- ・コレクション展Ⅱ こどものイベント：9/23

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・金山展 学校団体向け解説会：6/4
- ・金山展 団体向け解説会：6/27
- ・コレクション展Ⅱ 学校団体向け解説会：9/22、10/19
- ・コレクション展Ⅱ ミュージアム・ボランティア向け解説会：9/16

【その他補助業務】

- ・2023県展現場対応：8/11
- ・安彦良和展 写真撮影補助：3/19

2. 美術館外での業務等

【展覧会解説会】

- ・金山展 解説会（於：さらら仁川）：7/9

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：4/9、10/8、10/13
- ・県公館作品調査：10/4、10/18
- ・紀要用作品調査：7/19、7/21、8/4
- ・寄託作品調査立会い：3/28

【著作・論文・口頭発表】

- ・「藤田金之助について」（当館学芸員紀要調査報告会・レポート提出）：8/9

【館内出版物への執筆】

- ・「金山平三と新井完」pp.41-46「列車を乗り継いで－風景画家の旅」pp.108-150（『ある画家の肖像 金山平三と同時代の画家たち』展図録、2023年）
- ・トピックス「金山平三展関連事業を開催しました。」（『ART RAMBLE』80号、p.7）
- ・美術館の周縁「片町線」（『ART RAMBLE』80号、p.8）
- ・「特別展「出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち」」（『Sea Front』121号、p.1）
- ・「特別展「出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち」」（『ミュゼV』96号、p.2）

【館外出版物への執筆】

- ・ハナヤ勘兵衛《船出（神戸港）》《銀めし》作品解説（『神戸商工だより』2023年7月号、p.31）

【テレビ、ラジオ、新聞等】

- ・金山平三《習作（男女坐像）》作品解説（『神戸新聞』令和5年6月10日号朝刊、p.21）
- ・金山平三《筒石へ》作品解説（『神戸新聞』令和5年6月13日号朝刊、p.11）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美学会会員
- ・美術史学会会員

鈴木慈子（すずき・よしこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・美術品の貸出に関する業務（作品搬出入立会い12回）
- ・図版掲載・特別観覧

【担当展覧会】

- ・特別展 恐竜図鑑
- ・特別展 スーラージュと森田子龍
- ・2024年コレクション展Ⅰ（白髪一雄生誕百年特別展示）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・恐竜図鑑 映画上映会解説：4/14
- ・恐竜図鑑 学芸員による解説会：4/22

【教育支援・ボランティア】

- ・恐竜図鑑 こどものイベント：4/29
- ・スーラージュと森田子龍 こどものイベント：9/23
- ・ミュージアム・インクルージョン：9/27

【その他補助業務】

- ・2023県展作業ヘルプ：7/22、8/19
- ・Perfume展作業ヘルプ：8/17、8/18、11/28
- ・コレクション展Ⅱ作業ヘルプ：8/31、9/5

2. 美術館外での業務等

【展覧会解説会】

- ・展覧会特別鑑賞講座 スーラージュと森田子龍（兵庫県芸術文化協会）：3/21
- ・アートを楽しもう！Vol.5（さらら仁川）：3/31

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・講座「まなびはく」「具体」を知り尽くす（芦屋市立美術博物館）：4/23

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：10/18

【著作・論文・口頭発表】

- ・「具体の野外展について」（当館学芸員調査報告会・口頭発表）：8/9

【館内出版物への執筆】

- ・トピックス「「恐竜図鑑」展 関連事業」（『ART RAMBLE』79号、p.7）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員
- ・民族芸術学会会員
- ・日仏美術学会会員

武澤里映（たけざわ・りえ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・博物館実習に関すること
- ・友の会に関すること
- ・貸館（ギャラリーの展覧会）に関すること

【担当展覧会】

- ・特別展 石岡瑛子Ⅰ デザイン（副担当、次年度開催準備）
- ・2023年コレクション展Ⅰ（副担当）

- ・2023年コレクション展Ⅱ 小企画 美術の中のかたち—手で見る造形展
- ・2024年コレクション展Ⅱ（次年度開催準備）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・コレクション展Ⅰ 解説会：4/30
- ・コレクション展Ⅱ 小企画 ガイドツアー：9/24、11/19
- ・HART TALK 館長といっしょ！vol.4 「手でふれてみる世界」上映会&トーク：12/16

【教育支援・ボランティア】

- ・コレクション展Ⅱ ミュージアム・ボランティア向けガイドツアー：9/16

2. 美術館外での業務等

【出前事業等教育支援活動】

- ・出前授業：6/16、1/12

【講演会、シンポジウム等】

- ・「カフェトーク@ミュージアムロード」（ぱんだかふえ）：12/2
- ・「ジュリア・プライアン＝ウィルソン教授トークイベント 芸術労働者（アートワーカー）はいかに社会と関わりうるか？」（京都芸術センター）：3/14
- ・「ジュリア・プライアン＝ウィルソン特別講義「“アートワーカー”はどこにいる？——60年代アメリカの芸術、労働、ジェンダー」（東京藝術大学）：3/17

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈および購入候補作品調査：4/9、8/10

【著作・論文・口頭発表】

- ・「『Assemblage, Environments and Happenings』を巡る具体美術協会とアラン・カプローの交流について」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9
- ・「『アッサンブラージュ、エンヴァイロメンツ、ハプニングス』における具体美術協会とアラン・カプローの関わり」（第74回美学会全国大会若手研究者フォーラム）：10/15
- ・「1960年代の日本での批評にみるオノ・ヨーコとハプニングの関係性—アメリカ化とジェンダーの観点から」（待兼山芸術学会）：3/30
- ・「1960年代前半の日本におけるハプニング受容—批評の言説からの解明」（日本メディア学会・社会情報学会「修士論文報告会」）：3/30

【館内出版物への執筆】

- ・「学芸員の視点1「美術の中のかたち—手で見る造形 遠藤薫 眼と球」を振りかえって」（『ART RAMBLE』81号、pp.2-3）
- ・「美術館の周縁 連帯を編む—『アートワーカーズ』翻訳出版について」（『ART RAMBLE』82号、p.8）

【館外出版物への執筆】

- ・「神戸の名作」（『神戸商工だより』神戸商工会議所、2023年、p.31）
- ・ジュリア・プライアン＝ウィルソン著、高橋沙也葉、長谷川新、松本理沙、武澤里映訳『アートワーカーズ—制作と労働をめぐる芸術家たちの社会実践』フィルムアート社、2024年3月

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美学会会員

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・課の統括（常設展・コレクション収集管理担当）
- ・収集（寄贈、寄託、購入）について
- ・収集会議について
- ・コレクション展（計画、作業等）
- ・他課との連携
- ・横尾忠則現代美術館との調整
- ・印刷物（新規リーフレット等）の作成

【担当展覧会】

- ・特別展 金山平三と同時代の画家たち（副担当）
- ・2023年コレクション展Ⅲ（展示室4リスト担当）
- ・2024年コレクション展Ⅰ（小磯室、金山室リスト担当）

【解説会等】

- ・金山展レクチャー：7/11、7/22
- ・金山展団体：6/22

【教育支援、ボランティア、友の会】

- ・ボランティア向け説明会：5/6
- ・友の会レクチャー：3/3

【その他補助業務】

- ・県展作業：8/6
- ・パフューム展作業：8/14、11/27
- ・スーラージュと森田子龍展：2/8、2/27、3/10

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：9/10、10/4、10/13、11/10、10/18、10/8、12/22、3/29

【著作・論文・口頭発表】

- ・金山らくについて（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9
- ・「金山らくについて（承前）」（『兵庫県立美術館研究紀要No.18』pp.22-36）

【館内出版物への執筆】

- ・『ある画家の肖像 金山平三と同時代の画家たち』展図録、2023年（pp.9-37、70-95、151-160）
- ・「コレクションから 小出槇重《芸術館の家族》」（『ART RAMBLE』81号、p.1）

【館外での発表】

- ・「金山らくについて」（東北大学116周年ホームカミングデー「東北大学女子学生入学110周年事業記念式典」）：9/30

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員

【公募展審査、作品評価など】

- ・堺市展審査および展示：10/24、11/7
- ・神戸市立小磯記念美術館 作品評価：1/24

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・『ART RAMBLE』の編集と発行
- ・ボランティア解説班との連携

【担当展覧会】

- ・2023年コレクション展Ⅰ（副担当）
- ・特別展 Perfume COSTUME MUSEUM

【展覧会解説会、イベント等】

- ・Perfume展 学芸員によるレクチャー：9/16、10/21
- ・Perfume展 学芸員説明会（日本教員公務員弘済会）：10/22
- ・Perfume展 記念トークショー進行：11/4、11/18
- ・ゆっくり解説会：11/12

【教育支援・ボランティア】

- ・Perfume展 ミュージアム・ボランティア向け説明会：6/24
- ・Perfume展 学校団体対応：9/13、10/3、10/6、10/7、10/25、10/31、11/16、11/22
- ・Perfume展 こどものイベント：10/14

【その他補助業務】

- ・スーラージュと森田子龍展作品集荷、展示作業補助：2/26-28、3/1、3/10、5/22

2. 美術館外での業務等

【展覧会解説会】

- ・「Perfume COSTUME MUSEUM」展解説講座（さらら仁川「アートを楽しもう！Vol.4」）：10/1

【展覧会企画、クーリエ、友の会等】

- ・安井仲治展関連出張：10/17、18

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・次々年特別展調査：11/11、12/23、1/30

【著作・論文・口頭発表】

- ・「藤田嗣治と国吉康雄のメキシコでの足跡」（当館学芸員調査報告会・口頭発表）：8/9

【館内出版物への執筆】

- ・解説（『Perfume COSTUME MUSEUM』カタログpp.5、11、17-24、25、35）
- ・「Perfume COSTUME MUSEUM 兵庫県立美術館だよりVol.27」（『神戸佳族』103号）
- ・「Perfume COSTUME MUSEUM 開館」（『ミュゼV』97号）
- ・「学芸員の視点2 Perfume COSTUME MUSEUM」（『ART RAMBLE』81号、pp.4-5）
- ・「トピックス 館長と一緒に始動」（『ART RAMBLE』81号、p.7）
- ・「コレクションから 青木千絵《BODY10-1》」（『ART RAMBLE』82号、p.1）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会会員

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・美術品の寄贈に関する業務
- ・収蔵品の写真撮影
- ・図版掲載・特別観覧（副担当）

【担当展覧会】

- ・2023県展（副担当）
- ・2023年コレクション展Ⅱ
- ・特別展 スーラージュと森田子龍（副担当）
- ・特別展 石岡瑛子 I デザイン（次年度開催準備）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・コレクション展Ⅱ 学芸員による解説会：10/28、12/2
- ・ゆっくり解説会：11/12
- ・コレクション展 団体解説：11/15
- ・Ken-Vi スペシャルトーク with 澤田知子：12/2

【教育支援・ボランティア】

- ・コレクション展Ⅱ こどものイベント：9/23
- ・コレクション展Ⅱ ミュージウム・ボランティア向け説明会：9/16
- ・「手で触れてみる世界」ユニバーサル上映会&トーク関連企画 視覚障害者のための触察鑑賞ワークショップ対応：12/16

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：4/27、9/26、10/4、3/29

【著作・論文・口頭発表】

- ・「1965年のグラフィック・デザイン ―ペルソナ展と石岡瑛子」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9

【館内出版物への執筆】

- ・トピックス「ギャラリー棟活性化事業報告 1 アーティストトークwith西山美なコ」（『ART RAMBLE』79号、p.7）
- ・「新収蔵品を囲む会—2023年コレクション展Ⅱ『Welcome！新収蔵品歓迎会』」（『ART RAMBLE』80号、pp.2-3）
- ・トピックス「2023年コレクション展Ⅱ特集『Welcome！新収蔵品歓迎会』関連事業」（『ART RAMBLE』81号、p.7）
- ・「Welcome！新収蔵品歓迎会」（『シーフロン』122号、p.1）
- ・「新収蔵品のための新歓パーティー」（『ミュゼV』97号、p.2）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・ボランティアに関すること
- ・貸館（ギャラリーの展覧会）に関すること
- ・こどものイベントに関すること

【担当展覧会】

- ・特別展 恐竜図鑑展（副担当）
- ・2023年コレクション展Ⅱ小企画 美術の中のかたち—手で見る造形展（副担当）
- ・2023年コレクション展Ⅲ特集「美術の中の物語」
- ・特別展 描く人、安彦良和展（次年度開催準備）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・ゆっくり解説会 in Winter：1/14
- ・コレクション展Ⅲ 解説会：1/27

【教育支援・ボランティア】

- ・令和5年度ミュージアム・ボランティア養成セミナー：1/27、2/3、2/10、2/17、2/24、3/2、3/9

2. 美術館外での業務等

【講演会、シンポジウム等】

- ・「「美術」と「物語」」（神戸市文化創造セミナー兵庫県立美術館連携講座「気軽にアート」vol.41）：2/22

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈および購入候補作品調査：10/5
- ・特別展出品作品調査：5/29～6/2、7/27～29

【著作・論文・口頭発表】

- ・「近代日本美術におけるヤマトタケルの図像表現について」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9

【館内出版物への執筆】

- ・「ショート・エッセイ「美術の中の物語」をめぐる物語（『ART RAMBLE』82号、p.6）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・学校教育との連携
- ・美術講座
- ・ギャラリー棟活性化事業に関すること（副担当）
- ・博物館実習（副担当）
- ・貸館：ギャラリーの利用に関すること（副担当）

【担当展覧会】

- ・チャンネル14 吉本直子展

- ・2024県展（次年度開催準備）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・チャンネル14 アーティスト・トーク（聞き手）：10/28
- ・チャンネル14 ゆっくり解説会：11/12

【教育支援・ボランティア】

- ・兵庫県高等学校芸術三科合同研修大会 トークセッション：5/16
- ・チャンネル14 こどものイベント：11/5
- ・チャンネル14 大人のワークショップ：11/11
- ・学校の団体鑑賞 ボランティア研修：7/4、5、9/15、21、3/9
- ・ギャラリー棟活性化事業ワークショップ「降ろして運んで切って磨いて 彫刻家がやって来る」：3/24

【その他補助業務】

- ・2023県展作業補助：7/20、21、22、25、26、8/5、6、19、20
- ・貸館対応：7/23、12/10、2/12、29、3/17

2. 美術館外での業務等

【出前事業等教育支援活動】

- ・出前講座（新温泉町立加藤文太郎記念図書館）：7/30
- ・宝塚市図工部市内共同研修：8/4
- ・出前講座（神戸市立愛垂児童館）：8/18
- ・京都芸術大学 講義：8/28
- ・関西学院大学 ゲストスピーカー：12/21
- ・神戸大学 講義：12/27、1/10

【講演会、シンポジウム等】

- ・美術による学び研究会2023東京大会「対話型鑑賞75年を超えて」：6/11
- ・一般財団法人全国美術館会議 第38回学芸員研修会 ファシリテーター：3/7、8

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・一般財団法人全国美術館会議 広報委員会 ホームページ担当会合：3/13
- ・一般財団法人全国美術館会議 教育普及研究部会会合：11/9、10

【著作・論文・口頭発表】

- ・「日本の対話型鑑賞について」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/9

【館内出版物への執筆】

- ・トピックス「ワークショップ」（『ART RAMBLE』79号、p.7）
- ・ショート・エッセイ「「チャンネル 14 吉本直子 いのちをうたうー衣服、痕跡、その祈り」のこと」（『ART RAMBLE』81号、p.6）
- ・トピックス「チャンネル14 関連イベントのご報告」（『ART RAMBLE』81号、p.7）

【館外出版物への執筆】

- ・「みんなの美術館？」（「美術による学び研究会メールマガジン」第485号、8/6、pp.6-11）
- ・「アフターコロナの美術館の学び」（「美術による学び研究会メールマガジン」第510号、2/18、pp.1-6）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員
- ・一般財団法人全国美術館会議 広報委員会 委員
- ・『ひょうご2023 こどもの詩と絵』 「絵」選考委員

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・館内環境の管理
- ・生物被害対策
- ・コレクション展毎の出品候補作品の状態確認
- ・コレクション展、特別展における作品展示、額装作業補助
- ・館外貸出に伴う作業（候補作品の事前状態調査、輸送・梱包方法の提案と確認、作品出入時の状態確認）
- ・紙を支持体とする作品の保存修復処置（令和5年度美術品修復状況p.27のうち紙を支持体とする作品）

【教育支援・ボランティア、友の会等】

- ・博物館実習「保存・修復について」：7/16
- ・博物館学 学校団体解説：4/22、6/23、10/28
- ・トライやる・ウィーク「保存・修復について」：6/9、11/9
- ・友の会行事 保存・修復特別講座「触れて知る旅路～金山平三の愛用品から～」：3/3

3. 調査・研究活動

【著作、論文、口頭発表等】

- ・「金山平三の滞欧作について —《無題（坐す女）》と《海岸風景》—」（当館学芸員調査報告会・口頭発表）：8/9

利用統計

- A. 令和5年度観覧者数及び入館者数
- B. 観覧者アンケート

A. 令和5年度観覧者数及び入館者数

1. 入館者数

	総入館者数 ()は開館日数	うちAndoGallery
4月	95,293 (26)	21,442
5月	158,838 (26)	28,895
6月	41,852 (26)	8,810
7月	20,841 (20)	3,700
8月	(0)	
9月	27,393 (19)	5,526
10月	37,177 (26)	7,167
11月	48,239 (26)	7,562
12月	17,901 (24)	5,274
1月	31,518 (25)	6,800
2月	26,060 (25)	6,117
3月	21,097 (27)	5,811
5年度計	526,209 (270)	107,104
4年度計	320,287 (305)	56,702

※7/24～9/8メンテナンス休館

2. コレクション展観覧者数

展 覧 会 名	会 期 開催期間()は日数	観 覧 者 数			
		有 料	無 料	合 計	累 計
コレクション展Ⅰ	5. 4. 1～ 7. 23 (82)	5,754	10,948	16,702	16,702
コレクション展Ⅱ	9. 9～ 12. 24 (92)	8,768	13,098	21,866	38,568
コレクション展Ⅲ	6. 1. 13～ 4. 7 (68)	8,117	6,098	14,215	52,783
5年度計	総 計 (242)	22,639	30,144	52,783	

3. 特別展観覧者数

展 覧 会 名	会 期 開催期間()は日数	観 覧 者 数			
		有 料	無 料	合 計	累 計
「恐竜図鑑-失われた世界の想像/創造」展	5. 3. 4～ 5. 14 (38)	18,862	11,532	30,394	30,394
「出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち」展	6. 3～ 7. 23 (44)	4,048	7,856	11,904	42,298
「Perfume COSTUME MUSEUM」展	9. 9～ 11. 26 (68)	44,571	11,735	56,306	98,604
「安井仲治-僕の大切な写真」展	12. 16～ 2. 12 (47)	7,223	3,239	10,462	109,066
「スーラージュと森田子龍」展	6. 3. 16～ 5. 19 (14)	1,695	906	2,601	111,667
5年度計	総 計 (211)	76,399	35,268	111,667	

4. その他

展 覧 会 名	会 期 開催期間()は日数	観 覧 者 数			
		有 料	無 料	合 計	累 計
2023県展	5. 8. 5～ 8. 19 (12)	0	2,751	2,751	2,751
チャンネル14 吉本直子 いのちをうたうー衣服、痕跡、その祈り	10. 28～ 11. 26 (26)	0	2,409	2,409	5,160
5年度計	総 計 (38)	0	5,160	5,160	

B. 観覧者アンケート

令和5年度の特別展観覧者を対象にしたアンケートの結果概要は、以下のとおりである。

1. 調査対象（特別展） (人)

展覧会名	調査期間	回答数	調査反映数	観覧者数
「恐竜図鑑」展	4/1～5/14	1,802	956	16,241
「金山平三と同時代の画家たち」展	6/3～7/23	178	178	11,904
「Perfume COSTUME MUSEUM」展	9/9～11/26	2,320	2,320	56,306
「安井仲治」展	12/16～2/12	197	197	10,462
「スーラージュと森田子龍」展	3/16～3/31	76	76	2,601
計		4,573	3,727	97,514

2. アンケート結果

(1) 居住地

地域	HAT神戸 地区	神戸市内 (HAT神戸以外)	阪神 地区内	その他 県内	大阪府	京都府	奈良県	和歌山県	滋賀県	その他 都道府県	合 計
集計数(人)	25	701	323	443	769	210	83	16	50	1,095	3,715
割合	0.7%	18.9%	8.7%	11.9%	20.7%	5.7%	2.2%	0.4%	1.3%	29.5%	100.0%

(2) 年齢

年齢層	①小中学生	②高校生	③大学生・ 専門学校生・ 大学院生	②③以外の 10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合 計
集計数(人)	213	72	284	770	864	598	573	266	75	3,715
割合	5.8%	1.9%	7.6%	20.7%	23.3%	16.1%	15.4%	7.2%	2.0%	100.0%

(3) 職業等

ア 恐竜図鑑・金山平三と同時代の画家たち

職業	会社員・公務員	自営業	学 生	主 婦	アルバイト・パート	その他	合 計
集計数(人)	336	43	267	71	95	99	911
割合	36.9%	4.7%	29.3%	7.8%	10.4%	10.9%	100.0%

イ Perfume COSTUME MUSEUM・安井仲治・スーラージュと森田子龍

職業	会社員・公務員	自営業	芸術関係	学生	その他	合 計
集計数(人)	1,870	113	46	319	245	2,593
割合	72.1%	4.4%	1.8%	12.3%	9.4%	100.0%

※Perfume COSTUME MUSEUMからアンケート回答内容変更による

(4) 展覧会を知ったきっかけ（複数回答）

媒体等	インターネット	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	ポスター・ 看板等	チラシ等	知人等から のすすめ	広報誌 HART	その他	合 計
集計数(人)	2,288	172	105	207	173	899	611	691	45	78	5,269
割合	43.4%	3.2%	2.0%	3.9%	3.3%	17.1%	11.6%	13.1%	0.9%	1.5%	100.0%

(5) 当館を訪れた回数

ア 恐竜図鑑・金山平三と同時代の画家たち

回数	はじめて	2～5回目	6回目以上	合 計
集計数(人)	481	347	286	1,114
割合	43.2%	31.1%	25.7%	100.0%

イ Perfume COSTUME MUSEUM・安井仲治・スーラージュと森田子龍

回数	はじめて	月1回以上	3ヶ月に1回	半年に1回	1年に1回	その他	合 計
集計数(人)	1,563	37	173	250	344	226	2,593
割合	60.3%	1.4%	6.7%	9.6%	13.3%	8.7%	100.0%

※Perfume COSTUME MUSEUM展からアンケート回答内容変更による

(6) 当館までの利用交通機関（複数回答）

交通機関	J R	阪神電鉄	阪急電鉄	神戸電鉄	山陽電鉄	南海電鉄	近畿 日本鉄道	京阪電鉄	神戸市 バス	阪神バス
集計数(人)	1,462	1,227	423	34	43	38	85	43	149	40
割合	28.9%	24.2%	8.4%	0.7%	0.8%	0.7%	1.7%	0.8%	2.9%	0.8%

交通機関	神戸市営 地下鉄	大阪 メトロ	自家用車	タクシー	その他	合計
集計数(人)	117	123	850	57	379	5,070
割合	2.3%	2.4%	16.8%	1.1%	7.5%	100.0%

美術情報システムの構築と運用

当館は、平成14（2002）年4月の開館に伴い、より一層県民に親しまれる施設として、幅広い層への情報発信力を持つため、「美術情報システム」の運用を開始した。

「美術情報システム」では、当館全体のネットワークと、様々なデータベースを管理するサーバ群及びデータベースを利用するためのパソコン端末で構成する情報通信基盤を整備し、5分野の業務システムを構築し、運用している。

なお、平成29（2017）年3月と令和4（2022）年3月には、サーバ等において最新のセキュリティ対策を講じ、システムの機能改善やデータ保存容量拡張のため、システム全般の更新を行った。

各業務システムの概要は次のとおりである。

1. 学芸業務システム

美術館が所蔵する美術作品のデータベースを運用、管理し、美術作品情報の維持管理や、多様な履歴管理等を行うシステムである。

（1）作品データベース管理

美術作品等情報関連の登録、修正、削除、検索操作や、美術作品の来歴、出品歴、修復歴、利用等の履歴管理を行うシステムである。

2. 蔵書管理システム

美術館が所蔵する蔵書のデータベースを運用、管理し、蔵書情報の維持管理や、多様な検索機能等を運用するシステムである。

（1）蔵書データベース管理

美術関連図書資料等の登録、修正、削除、簡易検索・高度検索や、目録作成を行うシステムである。

3. 運営業務システム

美術館の事業を支援するためのシステムである。

（1）施設スケジュール等管理

当館貸し施設の空き情報等を管理するシステムである。

（2）電子メール管理

職員用電子メールの運用・管理するシステムである。

4. 来館者システム

所蔵美術作品や蔵書等、各システムで蓄積される情報を基にして、来館者向けに美術情報として提供するシステムである。

(1) 来館者用パソコン端末による情報提供

美術情報センターでは、来館者が操作するためのパソコンとして、来館者用パソコン端末6台を設置し、蔵書データベース及び所蔵美術作品データベースを検索できるシステムの運用により、様々な情報提供サービス等を行っている。

- ① 蔵書のデータベース検索サービスをパソコン4台で提供 (約125,300冊)
- ② 所蔵美術作品のデータベース検索サービスをパソコン1台で提供 (約13,000作品)
- ③ ネットミュージアム兵庫文学館の閲覧サービスをパソコン1台で提供

5. 情報発信システム

当館を利用する様々な人々の利便を図るため、美術館の情報発信サービスとして英語・中国語・韓国語を含むホームページを作成し、当館の特別展・常設展（コレクション展）の展覧会案内やイベント案内、利用案内等に係る情報発信のほか、当館が所蔵する美術作品や蔵書のデータベース検索による情報提供サービスを行っている。

関係法規

- A． 兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例
- B． 兵庫県立美術館管理規則
- C． 兵庫県立美術館の管理に関する規程
- D． 兵庫県立美術館の運営にかかる有識者会議開催要綱
- E． 兵庫県立美術館作品収集会議開催要綱
- F． 兵庫県立美術館美術品取扱要綱
- G． 美術情報システム運用管理規程
- H． 美術品等取得基金条例

A. 兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例

(昭和45年3月31日)
(条例第15号)

改正 昭和46年3月25日条例第11号 昭和52年3月26日条例第18号
昭和53年3月25日条例第27号 昭和55年3月26日条例第5号
昭和56年3月27日条例第11号 平成4年3月27日条例第7号
平成14年3月27日条例第32号 平成16年3月26日条例第7号
平成18年3月24日条例第2号 平成18年9月28日条例第53号
平成19年3月16日条例第9号 平成21年3月23日条例第8号
平成22年3月19日条例第6号 平成24年3月21日条例第8号
平成26年3月20日条例第8号 平成29年3月23日条例第7号
平成31年3月19日条例第5号 令和2年3月24日条例第15号
令和3年3月5日条例第6号 令和5年3月1日条例第6号

兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例をここに公布する。

兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例

題名改正〔平成14年条例32号〕

(設置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上を図るとともに、芸術の振興を図るため、兵庫県立美術館（以下「美術館」という。）を置く。

2 美術館に、分館として、王子分館を置く。

一部改正〔平成14年条例32号・令和2年15号・5年6号〕

(位置)

第2条 美術館の本館（以下「本館」という。）の位置は、神戸市中央区脇浜海岸通1丁目とする。

2 王子分館の位置は、神戸市灘区原田町3丁目とする。

全部改正〔平成14年条例32号〕、一部改正〔平成24年条例88号・令和2年15号・5年6号〕

(業務)

第3条 美術館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術その他の芸術に関する図書、文献、模写、模造、写真、フィルム、テープ等（以下「美術館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを県民の利用に供すること。
- (2) 美術その他の芸術に関する展覧会、講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 美術その他の芸術に関する講座を開設すること。
- (4) 美術その他の芸術の創作、研究等又は美術に関する展覧会の開催その他芸術の振興を目的とする事業のために美術館の施設を県民の利用に供すること。
- (5) 美術品及び美術館資料に関する学術調査及び研究を行うこと。
- (6) 美術品の保存及び修復を行うこと。
- (7) 他の美術館、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するために必要な業務

一部改正〔昭和53年条例27号・55年55号・平成14年32号〕

(職員)

第4条 美術館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(美術品の観覧)

第5条 本館に常時展示している美術品を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

2 本館に特別に展示している美術品を観覧しようとする者は、別表第2に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額の観覧料を納めなければならない。

3 教育委員会は、特別に展示している美術品に係る観覧料について、前項に規定する額により難いと認めるときは、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。

4 王子分館に展示している美術品を観覧しようとする者は、当該美術品の観覧に係る料金を納めなければならない。

全部改正〔平成14年条例32号〕、一部改正〔平成19年条例99号・2424年88号・令和2年15号〕

(美術品の特別の観覧)

第6条 本館に展示し、又は保管している美術品について学術研究等のために模写、模造、撮影等しようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,200円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

2 王子分館に展示し、又は保管している美術品について学術研究等のために模写、模造、撮影等しようとする者は、教育委員会の許可を受け、当該美術品の特別の観覧に係る料金を納めなければならない。

一部改正〔昭和55年条例5号・平成14年32号・24年8号・26年8号・31年5号・令和2年15号〕

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、美術館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
- (2) 施設又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者（遵守事項等）

第8条 美術館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品に触れないこと。
- (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
- (3) 許可を受けないで模写、模造、撮影等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- (5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。

2 教育委員会は、美術館に入館した者が前項の規定に違反したとき、又は美術館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

一部改正〔昭和53年条例27号〕

(講座の受講)

第8条の2 本館において美術その他の芸術に関する講座を受講しようとする者は、教育委員会の許可を受け、16,800円を超えない範囲内で教育委員会規則で定める額の受講料を納めなければならない。

2 王子分館において美術その他の芸術に関する講座を受講しようとする者は、教育委員会の許可を受け、当該講座の受講に係る料金を納めなければならない。

追加〔昭和55年条例5号〕、一部改正〔平成14年条例32号・24年8号・26年8号・31年5号・令和2年15号〕

(施設の利用)

第9条 別表第3に掲げる本館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 別表第4に掲げる王子分館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、当該施設の利用に係る料金を納めなければならない。

3 教育委員会は、前2項の利用の許可を受けた者が美術館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、前2項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

一部改正〔昭和53年条例27号・平成14年32号・18年2号・24年8号・令和2年15号・5年6号〕

(原状回復の義務等)

第10条 美術館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、美術品又は美術館資料を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

全部改正〔昭和53年条例27号〕、一部改正〔平成14年条例32号〕
(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条第1項から第3項までの観覧料、第6条第1項の特別観覧料、第8条の2第1項の受講料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

一部改正〔昭和55年条例5号・平成24年8号・令和2年15号・5年6号〕
(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料、受講料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔昭和53年条例27号・55年5号〕
(王子分館の管理)

第13条 教育委員会は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、王子分館の管理を指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせる。

2 第5条第4項、第6条第2項、第8条の2第2項及び第9条第2項に規定する料金(以下「利用料金」という。)は、指定管理者にその収入として収受させる。

3 利用料金の額は、別表第4から別表第6までに定める基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。ただし、便利施設について、公募に付して、価格その他の条件が最も有利なものをもって申込みをした者に利用させる場合にあっては、その者の申込みに係る価格に相当する額とする。

4 指定管理者は、教育委員会の承認を受けた基準により、利用料金の全部又は一部を免除し、又は返還することができる。

全部改正〔平成18年条例2号〕、一部改正〔平成22年条例6号・24年8号・令和2年15号〕

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成14年条例32号〕

附 則

この条例は、昭和45年10月10日から施行する。ただし、第4条及

び第9条の規定は、昭和45年4月1日から施行する。

附 則(昭和46年3月25日条例第11号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和52年3月26日条例第18号)

(施行期日)

1 この条例は、昭和52年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に改正前の兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例第9条第1項の規定に基づき使用の許可を受けた者に係る使用料の額については、改正後の兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(昭和53年3月25日条例第27号)

この条例は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則(昭和55年3月26日条例第5号抄)

(施行期日)

1 この条例は、昭和55年4月1日から施行する。(後略)

附 則(昭和56年3月27日条例第11号抄)

(施行期日)

1 この条例は、昭和56年4月1日から施行する。(後略)

(経過措置)

4 昭和56年4月1日前に第3条から第11条まで、第13条、第16条から第25条まで及び第27条から第31条までの規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用、使用又は受講の許可を受けた者(第18条の規定による改正前の兵庫県立勤労青少年寮の設置及び管理に関する条例の規定に基づき寮室の利用の許可を受けた者を除く。)に係る使用料又は受講料の額については、第3条から第11条まで、第13条、第16条から第25条まで及び第27条から第31条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成4年3月27日条例第7号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。ただし、(中略)第18条から第20条までの規定は同年4月8日(中略)から施行する。

附 則(平成14年3月27日条例第32号)

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。ただし、第1条の改正規定(美術館の分館に係る部分に限る。)、第2条の改正規定(美術館の分館に係る部分に限る。)、第13条を第14条とし、第12条の次に1条を加える改正規定及び別表第3の改正規定(美術館の分館に係る部分に限る。)は、公布の日から起算して1年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成14年9月教育委員会規則第17号で、同14年10月1日から施行)

2 美術品取得基金条例(昭和46年兵庫県条例第16号)の一部を次のように改正する。

第1条中「兵庫県立近代美術館」を「兵庫県立美術館」に改める。

附 則(平成16年3月26日条例第7号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。(後略)

附 則(平成18年3月24日条例第2号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成18年9月28日条例第53号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月16日条例第9号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成21年3月23日条例第8号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

（1）～（7）（略）

（8）第7条の規定 公布の日から起算して6月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日（平成21年8月教育委員会規則第13号で、同21年9月1日から施行）

附 則（平成22年3月19日条例第6号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

（1）・（2）（略）

（3）（前略）第36条中兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例第13条第3項にただし書を加える改正規定及び同条例別表第4に利便施設の款を加える改正規定（中略）規則で定める日（平成24年3月規則第17号で、同24年4月1日から施行）

（4）～（6）（略）

（7）第36条中兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例別表第2の改正規定 平成22年4月5日

（8）（略）

附 則（平成24年3月21日条例第8号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

（1）・（2）（略）

（3）第3条の規定（兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例別表第4の改正規定を除く。） 公布の日から起算して9月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日（平成24年10月教育委員会規則第13号で、同24年11月3日から施行）

附 則（平成26年3月20日条例第8号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。（後略）

（経過措置）

4 施行日前に第9条、第14条、第18条、第20条、第47条、第48条、第50条、第52条及び第53条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第9条、第14条、第18条、第20条、第47条、第48条、第50条、第52条及び第53条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年3月23日条例第7号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月19日条例第5号）

（施行期日）

1 この条例は、平成31年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

（1）～（4）（略）

（5）第1条中使用料及び手数料徴収条例別表第1、別表第2並びに別表第4の15の部、36の部、58の部（5）の款、64の2の部備考

（1）、65の部備考3（1）並びに66の部備考1（1）及び備考3（1）

の改正規定並びに第2条、第4条から第15条まで、第17条から第45条まで及び第47条から第55条までの規定 平成31年10月1日（経過措置）

2 第2条の規定による改正後の使用料及び手数料徴収条例別表第4の69の部（1）の款の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に同款に規定する証明書の交付の申請をする者について適用する。

3 施行日前に第4条、第14条、第18条、第21条、第23条、第48条、第49条、第51条、第53条及び第54条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については第4条、第14条、第18条、第21条、第23条、第48条、第49条、第51条、第53条及び第54条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和2年3月24日条例第15号）

改 正（令和3年3月5日条例第6号）

（令和5年3月1日条例第6号）

この条例は、令和2年4月1日から施行する。ただし、第9条の改正規定（同条第2項中「分館」を「王子分館」に改める部分を除く。）、第11条及び第13条第2項の改正規定、別表第1の次に1表を加える改正規定並びに別表第3の次に1表を加える改正規定は、公布の日から起算して3年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。（第9条第2項の改正規定（「第9条第2項」を「第9条第3項」に改める部分に限る。）及び別表3の次に1表を加える改正規定については、令和3年3月教育委員会規則第6号で、同3年4月1日から施行）

附 則（令和3年3月5日条例第6号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（令和5年3月1日条例第6号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1（第5条関係）

区 分	観覧料(1人につき)		備 考
	個 人	団 体	
一 般	円 500	円 400	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生以下」とは、高等学校、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 常時展示している美術品と特別に展示している美術品とを併せて観覧する場合は、左欄に掲げる個人で観覧するときのそれぞれの額の5分の3の額とする。 5 4により算出した額に50円未満の端数が生じたときはその端数を切り捨て、50円以上100円未満の端数が生じたときはその端数を50円とする。
大学生	400	300	
高校生以下	無 料		

全部改正〔平成29年条例77号〕

別表第2（第5条関係）

区 分	特別展示観覧料(1人につき)		備 考
	個 人	団 体	
一 般	2,000 ^円	1,600 ^円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生以下」とは、高等学校、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。
大学生	1,500	1,200	
高校生	無 料		

全部改正〔平成29年条例7号〕

別表第3（第9条関係）

区 分		使 用 料				備 考
		10時から 12時まで	13時から 18時まで	10時から 18時まで	特別利用 時 間	
ホ ー ル	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	円 11,200	円 28,000	円 39,200	円 16,800	1 入場料その他これに類するものを徴収する利用の場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の2分の3の額とする。 2 商品の販売、宣伝等の営業行為を伴う利用の場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の2倍に相当する額とする。 3 展示室を利用する場合で、その面積の4分の3、2分の1又は4分の1の面積を利用するときは、左欄に掲げるそれぞれの額の4分の3、2分の1又は4分の1の額とする。 4 3により算出した使用料の額に50円未満の端数が生じたときはその端数を切り捨て、50円以上100円未満の端数が生じたときはその端数を50円とする。 5 「特別利用時間」とは、金曜日及び土曜日において、教育委員会が必要があると認めて開館時間を変更したときの10時から18時まで以外の利用時間をいう。 6 「休日」とは、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。 7 「平日」とは、土曜日、日曜日及び休日以外の日をいう。
	平日に利用する場合	9,900	24,600	34,500	14,900	
講 義 室		3,300	8,000	11,300	5,000	
展 示 室	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	15,000	37,600	52,600	22,500	
	平日に利用する場合	13,200	33,100	46,300	19,800	
アトリエ	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	3,000	7,300	10,300	4,500	
	平日に利用する場合	2,600	6,400	9,000	3,900	
附 属 設 備		別に教育委員会規則で定める額				
利 便 施 設		使用料及び手数料徴収条例（平成12年兵庫県条例第12号）別表第1建物使用料の款専用使用の項の規定の例により算定した額（一般競争入札又は指名競争入札に付して、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした者のうち、価格その他の条件が県にとって最も有利なものをもって申込みをした者に対して利用を許可する場合にあっては、当該入札の落札者の申込みに係る価格に相当する金額）				

全部改正〔平成14年条例32号〕、一部改正〔平成16年条例7号・18年2号・53号・22年6号・26年8号・29年7号・31年5号〕

別表第4（第9条、第13条関係）

区 分			基 準 額				備 考
			10時から 12時まで	13時から 18時まで	10時から 18時まで	特別利用 時 間	
会 議 室			A 円 1,900	円 4,700	円 6,600	円 2,900	1 入場料その他これに類するものを徴収する利用の場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の2分の3の額とする。 2 商品の販売、宣伝等の営業行為を伴う利用の場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の2倍に相当する額とする。 3 展示室A又はBを利用する場合で、その面積の4分の3、2分の1又は4分の1の面積を利用するときは、左欄に掲げるそれぞれの額の4分の3、2分の1又は4分の1の額とする。 4 3により算出した額に50円未満の端数が生じたときはその端数を切り捨て、50円以上100円未満の端数が生じたときはその端数を50円とする。 5 「特別利用時間」とは、金曜日及び土曜日において、教育委員会が必要であると認めて開館時間を変更したときの10時から18時まで以外の利用時間をいう。 6 「休日」とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう。 7 「平日」とは、土曜日、日曜日及び休日以外の日をいう。
			B 600	1,600	2,200	900	
講 義 室			A 2,900	7,100	10,000	4,400	
			B 2,100	5,300	7,400	3,200	
展示室	A	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	17,100	42,800	59,900	25,700	
		平日に利用する場合	15,000	37,600	52,600	22,500	
	B	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	8,300	20,400	28,700	12,500	
		平日に利用する場合	7,200	17,900	25,100	10,800	
	C	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	3,300	8,000	11,300	5,000	
		平日に利用する場合	2,900	7,100	10,000	4,400	

展示室	D	土曜日、日曜日及び休日 に利用する場合	3,100	7,600	10,700	4,700
		平日に利用する場合	2,800	6,700	9,500	4,200
収蔵庫			1平方メートルにつき1日 100円			
利便施設			使用料及び手数料徴収条例別表第1建物使用料の款 専用使用の項の規定の例により算定した額			
附属設備			別に教育委員会規則で定める額			

追加〔平成18年条例2号〕、一部改正〔平成18年条例53号・21年8号・22年6号・24年8号・26年8号・29年7号・31年5号〕

別表第5（第13条関係）

区 分		基準額 (1人につき)		備 考
		個人	団体	
美術品の 観覧に係 る料金	一 般	円 1,000	円 800	1 「大学生」とは、大学及びこれに 準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生以下」とは、高等学校、 中学校、小学校及びこれらに準ずる 学校の生徒及び児童並びに就学前の 者をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合を いう。
	大学生	800	600	
	高校生 以下	無 料		

全部改正〔平成29年条例7号〕

別表第6（第13条関係）

区 分	基 準 額
美術品の特別の観覧に係る料金	1点1回につき、3,200円の範囲内で教育委員会規則で定める額
講座の受講に係る料金	16,800円を超えない範囲内で教育委員会規則で定める額

追加〔平成24年条例8号〕、一部改正〔平成26年条例8号・31年5号〕

B. 兵庫県立美術館管理規則

(昭和45年4月1日)
教育委員会規則第18号)

改正 昭和46年9月10日教育委員会規則第16号
昭和46年12月28日教育委員会規則第20号
昭和47年4月1日教育委員会規則第26号
昭和47年9月30日教育委員会規則第29号
昭和48年4月1日教育委員会規則第9号
昭和50年8月1日教育委員会規則第16号
昭和51年8月1日教育委員会規則第12号
昭和53年4月1日教育委員会規則第9号
昭和55年3月28日教育委員会規則第12号
昭和57年3月31日教育委員会規則第6号
昭和58年4月1日教育委員会規則第8号
昭和58年4月1日教育委員会規則第9号
昭和62年4月1日教育委員会規則第8号
平成4年3月27日教育委員会規則第10号
平成4年10月26日教育委員会規則第19号
平成14年3月29日教育委員会規則第10号
平成16年3月26日教育委員会規則第14号
平成18年3月31日教育委員会規則第10号
平成22年3月31日教育委員会規則第6号
平成23年3月29日教育委員会規則第8号
平成24年10月26日教育委員会規則第14号
平成26年3月28日教育委員会規則第7号
平成29年3月31日教育委員会規則第4号
平成31年3月29日教育委員会規則第7号
令和3年3月30日教育委員会規則第7号
令和3年9月28日教育委員会規則第12号
令和5年3月24日教育委員会規則第2号

兵庫県立近代美術館管理規則をここに公布する。

兵庫県立美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例(昭和45年兵庫県条例第15号。以下「条例」という。)第14条及び公の施設の指定管理者の指定等に関する条例(平成16年兵庫県条例第2号)第4条の規定に基づき、兵庫県立美術館(以下「美術館」という。)の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 美術館の開館時間は、10時から18時までとする。ただし、金曜日及び土曜日のうち、条例第5条第2項に規定する美術品を特別に展示する日の本館及び同条第4項に規定する美術品を展示する日の分館の開館時間は、10時から20時までとする。

2 美術館には、閉館時刻の30分前以降は入館することができない。

3 第1項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたるときは、その翌日(当該翌日が同法に規定する祝日にあたるときは、その翌々日)と

する。

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧料の納付)

第4条 条例第5条の規定により美術館に展示されている美術品を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後に納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(特別展示観覧料)

第5条 条例第5条第2項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

(特別の観覧の許可等)

第6条 条例第6条の規定により特別の観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第6条第1項に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

(講座の受講の許可等)

第7条 条例第8条の2の規定により美術その他の芸術に関する講座を受講しようとする者は、講座受講許可申請書(様式第2号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の講座受講許可申請書の提出があった場合において、受講の許可を決定したときは、講座受講許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第8条の2第1項に規定する教育委員会規則で定める受講料の額は、別表第2のとおりとする。

(施設の利用の許可等)

第8条 条例第9条第1項の規定により本館の施設を利用しようとする者又は同条第2項の規定により王子分館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立美術館利用許可申請書(様式第3号。以下「利用許可申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設を利用しようとする者は、教育委員会が指定する期間に、兵庫県立美術館利便施設事業申請書(様式第4号。以下「利便施設事業申請書」という。)に、利便施設の利用計画を記載した図面その他教育委員会が必要と認める書類を添付して提出しなければならない。

3 教育委員会は、利用許可申請書又は利便施設事業申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立美術館利用許可書(以下「利用許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

4 利便施設に係る利用許可書の交付を受けた者は、その利用の内容を変更しようとするときは、あらかじめ兵庫県立美術館利便施設事業内容変更承認申請書(様式第5号。以下「利便施設事業内容変更承認申請書」という。)に、既に交付を受けた利用許可書その他教育委員会が必要と認める書類を添えて、これを教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

5 教育委員会は、利便施設事業内容変更承認申請書を受理した場合において、当該申請の内容がやむを得ないものであると認めるときは、これを承認するものとする。この場合においては、第3項の規定を準用する。

6 利用許可書の交付を受けた者は、その者の住所又は氏名（法人及び団体にあっては、所在地又は名称）を変更したときは、速やかにその旨を教育委員会に通知しなければならない。

7 第3項の許可を受けて美術館の本館又は王子分館の施設を利用した者が、入場料を徴収した場合には、当該施設の利用期間満了後、直ちに、当該利用期間における入場者数及び徴収した入場料の額を教育委員会に届け出なければならない。

（利用等の許可の基準等）

第9条 教育委員会は、第6条第1項の特別観覧許可申請書、第7条第1項の講座受講許可申請書、前条第1項の利用許可申請書又は同条第2項の利便施設事業申請書の提出があった場合において、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、条例第6条、条例第8条の2、条例第9条第1項又は同条第2項の許可をしないものとし、その理由を付して当該申請をした者に文書で不許可の通知をするものとする。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 美術館の施設又は設備を損傷するおそれがあるとき。
- (3) 集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の管理上支障があるとき。

2 第6条第2項、第7条第2項又は前条第3項の場合において、教育委員会は、美術館の管理上必要があるときは、当該許可に条件を付することができる。

（本館の附属設備の使用料の額）

第10条 条例別表第3の規定により、別に教育委員会規則で定める額は、別表第3のとおりとする。

（分館の附属設備の利用料金の基準額）

第11条 条例別表第4の規定により、別に教育委員会規則で定める額は、別表第4のとおりとする。

（分館の美術品の特別の観覧に係る料金及び講座の受講に係る料金の基準額）

第11条の2 条例別表第6の規定により、教育委員会規則で定める額は、別表第5及び別表第6のとおりとする。

（本館の特別観覧料、受講料及び使用料の納付）

第12条 特別観覧許可書、講座受講許可書及び利用許可書（美術館の本館に係るものに限る。）の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料、受講料及び使用料を納付しなければならない。ただし、使用料については、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、当該利用の終了後に納付することができる。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設について条例第9条第1項及び第2項の許可を受けた場合であって、当該許可の期間が翌年度以降にわたるときは、翌年度以降の使用料は、毎年度、当該年度分をその年度の初めに納付するものとする。

（観覧料等の免除）

第13条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料（特別展示観覧料を含む。）、特別観覧料、受講料及び使用料（以下「観覧料等」という。）の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 70歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。 観覧料（特別展示観覧料を含む。）の2分の1に相当す

る額

- (2) 教育委員会が特別の理由があると認めたとき。 観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額（観覧料等の還付）

第14条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧、講座の受講又は施設の利用ができなくなったとき。 観覧料等に相当する額
- (2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めたとき。

ア 利用の日の7日前までのとき。 当該使用料の全額

イ 利用の日の3日前までのとき（アに該当する場合を除く。）。当該使用料の2分の1に相当する額

2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立美術館観覧料等還付請求書（様式第6号）を教育委員会に提出しなければならない。

（寄託又は寄贈）

第15条 美術館に美術品の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

（権限の委任）

第16条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により本館の管理に関する教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は前項の事務の一部を館長に委任することができる。（管理）

第17条 条例及びこの規則に基づく分館の管理に関する教育委員会の権限のうち、条例第13条第3項本文及び第4項並びに第15条及び次条第2項に基づく権限以外の権限は、条例第13条第1項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行うものとする。

（補則）

第18条 この規則に定めるもののほか、本館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

2 この規則に定めるもののほか、王子分館の管理に関して必要な事項は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める。

附 則

この規則は、昭和45年10月10日から施行する。ただし、第1章、第2章、第3章中第11条及び第13条、第4章並びに第5章の規定は、公布の日から施行する。

附 則（昭和46年9月10日教育委員会規則第16号）

この規則は、昭和46年9月15日から施行する。

附 則（昭和46年12月28日教育委員会規則第20号）

この規則は、昭和47年1月1日から施行する。

附 則（昭和47年4月1日教育委員会規則第26号抄）

（施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和47年9月30日教育委員会規則第29号）

この規則は、昭和47年10月1日から施行する。

附 則（昭和48年4月1日教育委員会規則第9号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和50年8月1日教育委員会規則第16号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和51年8月1日教育委員会規則第12号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和53年4月1日教育委員会規則第9号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和55年3月28日教育委員会規則第12号）
この規則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年3月31日教育委員会規則第6号）
この規則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則（昭和58年4月1日教育委員会規則第8号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和58年4月1日教育委員会規則第9号抄）
（施行期日）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和62年4月1日教育委員会規則第8号抄）
（施行期日）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成4年3月27日教育委員会規則第10号）

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第1条中第10条第1号を削る改正規定、同条第2号を同条第1号とする改正規定及び同条第3号を同条第2号とする（中略）改正規定は、平成4年4月8日から施行する。

附 則（平成4年10月26日教育委員会規則第19号）
この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則（平成14年3月29日教育委員会規則第10号）
この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月26日教育委員会規則第14号）
この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月31日教育委員会規則第10号）
この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月31日教育委員会規則第6号抄）
（施行期日）

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。ただし、第3条の規定による改正後の兵庫県立美術館管理規則第13条第1号の規定は、特別展示観覧料の免除については、平成22年4月5日から適用する。

附 則（平成23年3月29日教育委員会規則第8号抄）
（施行期日）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年10月26日教育委員会規則第14号）
この規則は、平成24年11月3日から施行する。

附 則（平成26年3月28日教育委員会規則第7号）
（施行期日）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の日前に第2条から第4条まで、第6条及び第7条の規定による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第4条まで、第6条及び第7条の規定による改正後のそれぞれの規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年3月31日教育委員会規則第4号）
この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月29日教育委員会規則第7号）
（施行期日）

- 1 この規則は、平成31年10月1日から施行する。（後略）

（経過措置）

- 2 この規則の施行の日前に第1条及び第2条の規定による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第1条及び第2条の規定による改正後のそれぞれの規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月30日教育委員会規則第7号）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和3年9月28日教育委員会規則第12号抄）
（施行期日）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則による改正後のそれぞれの規則の規定による申請書その他の書類については、この規則の施行の際現に残存するこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定（以下この項において「旧様式」という。）による用紙に限り、旧様式によることができる。

附 則（令和5年3月24日教育委員会規則第2号）

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1（第6条関係）

区 分		特別観覧料（1点1回につき）	
熟 覧		250円	
模 写 ・ 模 造		3,200円	
撮 影		学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単 色	250円	1,500円
	原 色	450円	3,200円
原 板 使 用		3,200円	

備考

- 1 屏風^{びょうぶ}は、1双^{そう}を1点とする。
- 2 1揃え^{そろ}をなす卷子^{かんす}は、3巻以内を1点とする。
- 3 対幅^{ついふく}は、3幅以内^{ふく}を1点とする。
- 4 普通個別の美術品は、各個を1点とする。
- 5 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別表第2（第7条関係）

区 分		受 講 料
短 期 講 座	入門コース	3,200円
	応用コース	6,300円
中 期 講 座	入門コース	9,500円
	応用コース	12,500円
長 期 講 座		16,800円
1 日 講 座		1,000円

別表第3（第10条関係）

附属設備	使用料	
グランドピアノ	1台につき	8,400円
駐 車 場	車1台当たり駐車時間2時間（美術館の利用者以外の者が利用する場合は、1時間）につき400円とし、これらの時間を超えるときは、30分につき200円を加算した額とする。	
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき	250円
持込み電気器具用コンセント（録音器具を持ち込む場合）	持込み器具1式につき	2,100円
持込み電気器具用コンセント（録画器具を持ち込む場合）	持込み器具1式につき	3,200円
持込み電気器具用コンセント（ミキシングセットを持ち込む場合）	持込み器具1式につき	5,200円

備考

- 1 ピアノの調律は、利用者が行うこと。
- 2 駐車時間に30分に満たない端数があるときは、これを30分とする。
- 3 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

別表第4（第11条関係）

附属設備	基準額
グランドピアノ	1台につき 8,400円
駐 車 場	車1台当たり駐車時間2時間（美術館の利用者以外の者が利用する場合は、1時間）につき400円とし、これらの時間を超えるときは、30分につき200円を加算した額とする。
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250円
持込み電気器具用コンセント（録音器具を持ち込む場合）	持込み器具1式につき 2,100円
持込み電気器具用コンセント（録画器具を持ち込む場合）	持込み器具1式につき 3,200円
持込み電気器具用コンセント（ミキシングセットを持ち込む場合）	持込み器具1式につき 5,200円

備考

- 1 ピアノの調律は、利用者が行うこと。
- 2 駐車時間に30分に満たない端数があるときは、これを30分とする。
- 3 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

別表第5（第11条の2関係）

区 分	特別の観覧に係る料金の基準額（1点1回につき）		
熟 覧	250円		
模 写 ・ 模 造	3,200円		
撮 影		学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単 色	250円	1,500円
	原 色	450円	3,200円
原 板 使 用	3,200円		

備考

- 1 屏風は、1双を1点とする。
- 1 揃えをなす巻子は、3巻以内を1点とする。
- 対幅は、3幅以内を1点とする。
- 普通個別の美術品は、各個を1点とする。
- 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別表第6（第11条の2関係）

区 分	講座の受講に係る料金の基準額
短 期 講 座	入門コース 3,200円
	応用コース 6,300円
中 期 講 座	入門コース 9,500円
	応用コース 12,500円
長 期 講 座	16,800円
1 日 講 座	1,000円

様式第1号（第6条関係）

様式第1号（第6条関係）

特 別 観 覧 許 可 申 請 書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話

次のとおり申請します。

品 目	点 数	所 有 者	備 考
観覧希望日時	年 月 日	時から 時まで	
研究の方法	熟覧	模写	模造
研究の目的	撮影 原板使用		

様式第2号（第7条関係）

様式第2号（第7条関係）

講 座 受 講 許 可 申 請 書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住 所
氏 名
電 話

次のとおり申請します。

受 講 講 座 名	
-----------	--

様式第3号（第8条関係）

様式第3号（第8条関係）

兵庫県立美術館利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話

次のとおり申請します。

利 用 目 的	
利 用 室 名	
附属設備の名称	
期 間	年 月 日 時から 時まで
入 場 料	無 料 有 料
入 場 料	学 生 大人 円
備 考	利用者数又は 推定入場者数

様式第4号（第8条関係）

様式第4号（第8条関係）

兵庫県立美術館利便施設事業申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話

重

次のとおり申請します。

利 便 施 設 の 用 途	
事業を行うとする利便施設	
事業を行うとする期間	年 月 日から 年 月 日まで
※ 使 用 料	円
※ 備 考	

（注）

1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。

2 自動販売機の設置の事業を行うとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第5号（第8条関係）

様式第5号（第8条関係）

兵庫県立美術館利便施設事業内容変更承認申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話

重

次のとおり申請します。

変更の内容	事 項	変 更 前	変 更 後
	利 便 施 設 の 用 途		
	事業を行う利便施設		
事業を行う期間	年 月 日から	年 月 日から	年 月 日まで
	年 月 日まで	年 月 日まで	年 月 日まで
変 更 の 理 由			

（注）

自動販売機の設置の事業を行う場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第6号（第14条関係）

様式第6号（第14条関係）

兵庫県立美術館観覧料等返付請求書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話

重

電子メール

次のとおり請求します。

許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号
返還請求の内容	※返付金の内訳
利用等の日時	年 月 日から (日 時間) 日まで
既 納 付 額	円
返還を望むようとする理由	
※ 還 付 率	パーセント
※ 還 付 額	円

（注）

1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。

2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

C. 兵庫県立美術館の管理に関する規程

（昭和58年4月1日）
（教育長訓令第5号）

改正 平成4年3月31日教育長訓令第3号
平成14年3月29日教育長訓令第1号
平成18年4月1日教育長訓令第3号

本 庁
美 術 館

兵庫県立近代美術館の管理に関する規程を次のように定める。
兵庫県立美術館の管理に関する規程

（趣旨）

第1条 この訓令は、兵庫県立美術館管理規則（昭和45年兵庫県教育委員会規則第18号。以下「規則」という。）第18条第1項の規定に基づき、兵庫県立美術館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。
（権限の委任）

第2条 教育長は、規則第16条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第13条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成4年3月31日教育長訓令第3号）

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成14年3月29日教育長訓令第1号）

この訓令は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成18年4月1日教育長訓令第3号）

この訓令は、公布の日から施行する。

D. 兵庫県立美術館の運営にかかる有識者会議開催要綱

1 目的

兵庫県立美術館の運営のあり方等について、有識者等の意見を聴取するため、兵庫県立美術館の運営にかかる有識者会議（以下「有識者会議」という。）を開催する。

2 検討事項

- (1) 兵庫県立美術館の運営方針
- (2) 兵庫県立美術館の事業計画
- (3) 前各号に掲げるもののほか、兵庫県立美術館の運営に関し必要な事項

3 運営

- (1) 有識者会議は、別表に掲げる者をもって構成する。
- (2) 有識者会議の開催に係る委員の招集は兵庫県立美術館館長（以下「館長」という。）が行う。
- (3) 有識者会議の議事を進行するため、委員の互選により、座長を選任する。座長は、委員の承認を得て、委員の中から座長代理を指名することができる。
- (4) 座長代理は、座長に事故があるときはその職務を代理する。
- (5) 館長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に有識者会議への出席を求め、その意見を聴くことができる。

4 謝金・旅費

- (1) 委員が有識者会議に出席したときは、謝金及び旅費を支給する。
- (2) 前項の謝金の支給については、別に定める。
- (3) 第1項の額は、職員等の旅費に関する条例（昭和35年兵庫県条例第44号）の規定により算出した額に相当する額とする。

5 委任

この要綱に定めるもののほか、有識者会議の開催に関して必要な事項は、別に定める。

6 附則

- (1) この要綱は、令和5年12月27日から施行する。
- (2) この要綱は、令和8年3月31日に限り、その効力を失う。

(別表)

(50音順)

氏 名	職 名
赤 松 玉 女	公立大学法人京都市立芸術大学理事長・学長、 美術家
家 次 恒	シスメックス株式会社代表取締役会長 グループCEO
島 敦 彦	国立国際美術館館長
高 梨 柳太郎	株式会社神戸新聞社代表取締役社長
矢 崎 和 彦	株式会社フェリシモ代表取締役社長
藪 田 貫	兵庫県立歴史博物館館長

E. 兵庫県立美術館作品収集会議開催要綱

1 目的

兵庫県立美術館（以下「美術館」という。）における美術作品の収集等専門的事項を適切に処理するため、兵庫県立美術館作品収集会議（以下「会議」という。）を開催する。

2 検討事項

- (1) 美術作品収集の検討に関すること。
- (2) その他美術作品に関する専門的事項に関すること。

3 組織及び運営

- (1) 会議は、別表に掲げる者をもって構成する。
- (2) 会議は座長を置く。座長は構成員の互選により選任する。座長は構成員の承認を得て、構成員の中から座長代理を指名することができる。
- (3) 座長代理は、座長に事故があるときは職務を代理する。
- (4) 会議の招集は、美術館館長（以下「館長」という。）が行う。
- (5) 会議は、構成員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- (6) 館長は、必要があるときは、構成員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聴くことができる。

4 謝金・旅費

- (1) 構成員が会議に出席したときは、謝金及び旅費を支給する。
- (2) 謝金の支給については別に定める。
- (3) 旅費の額は、職員等の旅費に関する条例（昭和35年兵庫県条例第44号）の規定により算出した額に相当する額とする。
- (4) 3（6）で出席を求めた者も構成員と同様の取扱とする。

5 補則

この要綱に定めるもののほか、会議の開催に関して必要な事項は館長が定める。

6 附則

- (1) この要綱は 令和5年10月1日から施行する。
- (2) この要綱は、令和7年3月31日限り、効力を失う。

別表

(五十音順)

氏 名	職 名
池 上 裕 子	神戸大学大学院教授
尾 崎 信一郎	鳥取県教育委員会事務局 美術館整備局 美術振興監
加須屋 明 子	京都市立芸術大学教授
菅 谷 富 夫	大阪中之島美術館長
並 木 誠 士	京都工芸繊維大学特定教授 美術工芸資料館館長
拝 戸 雅 彦	愛知県美術館長
平 井 章 一	関西大学教授

F. 兵庫県立美術館美術品取扱要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、美術館に美術品の寄託及び寄贈をしようとする場合並びに美術館が美術品の貸付け及び借入れをする場合に必要事項を定めるものとする。

2 以下各条の手続きは兵庫県財務規則に基づいてこれを行う。

(寄託の申出)

第2条 美術品の寄託をしようとする者は、美術品寄託申出書(様式第1号)を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

(寄託期間)

第3条 寄託期間は3年とする。ただし、館長が必要と認めるときは、これを短縮することができる。

(寄託品の預り及び返還)

第4条 館長は、美術品の寄託を受けたときは、寄託者に預り証(様式第2号)を公布する。

2 館長は、前項の寄託品を返還するときは、預り証と引換えに寄託者に引渡すものとする。

3 寄託品の返還を受けようとする者が寄託者の代理人であるときは、委任状その他これを証する書面を添えなければならない。

(寄託品の譲渡)

第5条 寄託者が寄託品を譲渡したときは、すみやかに預り証に所有権の移転を証する書面を添え、これを館長に提出しなければならない。

(預り証の再交付)

第6条 寄託者が預り証を亡失し、または損傷した場合は、その理由を記載し、損傷の場合にあってはその預り証を添え、すみやかに館長に再交付の申請をしなければならない。

(寄託品の保存等)

第7条 館長は、寄託品の展示及び保存その他の取扱いについては、美術館に所蔵する美術品に準じて行う。

2 館長は前項の取扱いについて、補修の必要を認めたときは寄託者に必要な指示を行うことがある。

(寄贈)

第8条 美術品の所有者は、美術品を寄贈しようとするときは寄贈申込書(様式第3号)を館長に提出しなければならない。

(寄贈の決定)

第9条 館長は、前項の申込みがあった場合は受入れの適否を決定し当該申込者に通知する。

(美術品の一時預り等)

第10条 館長は、受入れ適否を決定するため、美術品の一時預り、写真その他の資料の提出等を求めることがある。

(貸付け)

第11条 館長は、美術館に所蔵する美術品を公私立美術館又はこれに準ずる者(以下「美術館等」という。)に貸付けることができる。

(貸付けの申請)

第12条 美術品の貸付けを受けようとする美術館等は、美術品、借用の目的、借用期間、保存方法等を記載した申請書を館長に提出しなければならない。

(貸付けの許可)

第13条 館長は、前項の申込みがあった場合において、美術館の業務に支障がないと認めるときは、これを許可することができる。

2 前項の貸付期間は、2箇月をこえることができない。ただし特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

(貸付け条件)

第14条 美術品を貸付ける場合の条件は、次の各号に定めるとおりとする。

1 貸付品の貸付期間中の保管は、貸付を受けた者の責任とする。

2 貸付に伴うすべての経費は、貸付を受けた者の負担とする。

3 貸付期間中に貸付品が亡失し、又は損傷した場合には貸付を受けた者が賠償の責めを負うものとする。

4 前各号に掲げるもののほか、館長は、必要があると認める条件を付けることができる。

(借用書の提出)

第15条 貸付けの許可を受けた者は、貸付けを受けるとき、館長に借用書を提出しなければならない。

(借入れ)

第16条 館長は、美術館が主催する展覧会に展示するため美術品の所有者の承認を得て美術品を借入れることができる。

第17条 美術品を借入れる場合の条件は、原則として次の各号に定めるとおりとする。

1 借入れした美術品の借入れ期間中の保管の責任を有する。

2 借入れ期間中に、借入れした美術品を亡失し、または損傷した場合は、その補償をする。ただし、天災その他不可抗力による場合はその限りではない。

3 借入れに基づくすべての経費を負担する。

4 所有者の承認を受けなければ、美術品の所蔵先を公表しない。

5 美術館で発行する展覧会目録、若しくは美術館に記録として保管するため、または報道機関に対して資料を提供する場合のほか、所有者の承認を得ないで写真の撮影及び複写等を行わないものとする。

(借用書の発行)

第18条 館長は、美術品を借入れたときは、所有者に借用書(様式第4号)を発行する。

(美術品の返還)

第19条 館長は、借入れた美術品を返還する場合は、借用書と引換えに所有者に美術品を返還する。

(補則)

第20条 この要綱に定めるもののほか、施行に関して必要な事項は、館長が教育長と協議して定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和45年10月5日から施行する。

附 則(昭和53年8月25日改定)

1 この要綱の一部改正は昭和53年9月1日から施行する。

附 則(平成14年4月1日改定)

1 この要綱の一部改正は平成14年4月1日から施行する。

様式第1号

年 月 日

美術品寄託申出書

兵庫県立美術館長様

現住所
(電話) 氏 名 〇

次の美術品を寄託したいので申請します。

記

作品名

作家名

材 質

規 格

寄託期間 年 月 日から 年 月 日まで

備 考

様式第2号

預 託 原 符

兵庫第 号

預 託

年 月 日

年 月 日

兵庫第 号

預託発行 年 月 日

預託期 年 月 日

出品者

住所

氏名

分 類

引継封印

監査者印

兵庫県立美術館長
兵庫県立美術館出納員

下記的美術品様にお預かりいたしました。

記

様式第3号

年 月 日

寄 贈 申 込 書

兵庫県立美術館長様

現住所
氏 名 〇

作品名

作家名

材 質

規 格

備 考

上記の美術品を県立美術館の所蔵品として寄贈したいので採納ください。

様式第4号

借 用 書 原 符

兵庫第 号

借 用 書

年 月 日

年 月 日

兵庫第 号

借用書発行 年 月 日

借用期 年 月 日

出品者

住所

氏名

分 類

引継封印

監査者印

兵庫県立美術館長

下記的美術品様に借用いたしました。

記

G. 美術情報システム運用管理規程

第1章 体制

(目的)

第1条 この規程は、兵庫県立美術館が開発、運用している美術情報システムの運用管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(運用管理者)

第2条 美術情報システムの適正な運用を図るために、美術情報システムの運用管理者を置く。

2 運用管理者には兵庫県立美術館館長をもって充てる。

3 運用管理者は、美術情報システムの運用に関して、安全性及び信頼性を確保するため情報セキュリティ対策の実施手順（以下「実施手順」という。）を策定するものとする。

4 運用管理者は、兵庫県情報セキュリティ対策指針（以下「指針」という。）及び実施手順の遵守状況を適宜点検し、これらの実効性が保たれるよう必要な措置を講ずるものとする。

(利用責任者)

第3条 美術情報システムの適正な利用を確保するために、美術情報システムの利用責任者を置く。

2 利用責任者には兵庫県立美術館副館長をもって充てる。

3 利用責任者は、指針及び実施手順が遵守されるよう必要な措置を講ずるものとする。

(利用者)

第4条 美術情報システムの利用ができる者（以下「利用者」という。）は、兵庫県立美術館に勤務する職員、臨時職員、嘱託員、日々雇用職員及びその他運用管理者が認めた者とする。

2 利用者は、運用管理者及び利用責任者の指示に従い、美術情報システムの適切な利用を行わなければならない。

3 利用者は、不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成11年法律第128号）、個人情報の保護に関する条例（平成8年兵庫県条例第24号）及びその他関係法令を遵守し、これに従わなければならない。

第2章 美術情報システム用パソコンの運用管理

(美術情報パソコンの設置、返却等)

第5条 利用者は、美術情報システム用パソコン（以下「美術情報パソコン」）の運用管理について、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 人事異動等により美術情報パソコンの増設、移設、利用者変更又は不要になった場合は、速やかに利用責任者に報告するものとする。

(2) 美術情報パソコンにソフトウェアの追加、削除又は変更を行う場合、周辺機器を接続する場合は、利用責任者に協議するものとする。

(3) 利用責任者は、前項による協議があったときは、その適否について検討し、その結果を当該利用者に通知するものとする。

(美術情報パソコンの利用)

第6条 利用者は、美術情報パソコンの適切な管理に努めるほか、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 美術情報パソコンにソフトウェアを無断で追加、削除、変更又は複写しないこと。

(2) 利用責任者があらかじめ設定したIPアドレス、コンピュータ名、その他基本ソフトの設定を無断で変更しないこと。

- (3) 美術情報パソコンの磁気ディスク装置に作成したファイルのバックアップを行うこと。
- (4) 美術情報パソコンの利用者が変更となる場合、前利用者は作成したファイルを整理すること。
- (5) 美術情報パソコンの接続場所や接続方法を無断で変更しないこと。
- (6) その他美術情報パソコンや美術情報システムの利用に支障を及ぼす行為を行わないこと。

第3章 物理的セキュリティ対策

(機器の設置)

第7条 運用管理者は、美術情報システムの機器の設置について、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 耐震対策として、美術情報パソコンを設置した室は免震構造を備えた鉄骨鉄筋コンクリート造とする。
- (2) 防火対策として、スプリンクラー、消火器を設置するものとする。
- (3) 防犯対策として、館内の通路、主な部屋への入退室は通報機能を備えた電気錠の入退室管理システムによるものとする。
- (4) 美術情報パソコンを設置した室は、中央監視室で制御する空調設備により室温の適正な管理を行うものとする。
- (5) 美術情報パソコンの操作は、利用者のID及びパスワードによることとし、利用者以外の者が容易に操作できないようにするものとする。

(情報処理室の設置管理)

第8条 運用管理者は、情報処理室（美術情報システムのサーバやネットワーク機器を設置し独立した室をいう。）について、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 耐震対策として、情報処理室は免震構造を備えた鉄骨鉄筋コンクリート造とする。
- (2) 防火対策として、スプリンクラー、消火器を設置するものとする。
- (3) 防犯対策として、情報処理室への入退室は通報機能を備えた電気錠の入退室管理システムによるものとする。
- (4) 情報処理室は、独立した空調設備により室温の適正な管理を行うものとする。
- (5) 利用責任者は、美術情報担当職員、専任システムエンジニア及び利用責任者が特に認めた者以外の者については、情報処理室に入室させてはならない。
- (6) 前号の規定により利用責任者が特に認めた者が情報処理室へ入室しようとするときは、事前に、利用責任者の確認を得、美術情報担当職員又は専任システムエンジニアの立会いにより入室するものとする。なお、入退室時に入退室記録簿へ所要の事項を記入するものとする。
- (7) 情報処理室へ機器等を搬入する場合は、事前に、利用責任者へ許可申請書及び既存システムの安全性が確認できる作業計画書を提出するものとする。

第4章 人的セキュリティ対策

(情報資産の管理)

第9条 情報資産（美術情報システムの利用等に係るすべての電磁的に記録されたデータをいう。）の管理にあたって、利用者は次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) データのき損、滅失等に備えるため、利用者は、美術情報パソコンのデータのバックアップをバックアップフォルダ（職員共有パソコンのハードディスク）へ定期的に保管するものとする。
- (2) バックアップフォルダは、利用者毎にセキュリティが確保されたものとする。
- (3) 利用責任者の許可を得ず、美術情報システムで処理するデータ及びその複製を定められた場所から移動させてはならないものとする。
- (4) 退庁時及び長時間離席する場合は、使用する美術情報パソコン等の電源を切るものとする。
- (5) その他、自己の管理する情報が他に流出しないよう保護するものとする。

2 利用責任者は、サーバのデータをバックアップ装置へ保管し、データのき損、滅失等に備えるものとする。

- (1) 毎日1回、全データをバックアップ装置へ保管するものとする。
- (2) 毎月1回、バックアップ記録媒体を装置から取り出し、保管庫で収納、管理するものとする。

(記録媒体の管理)

第10条 情報資産をフロッピーディスク、MO等の記録媒体で管理する場合は、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) フロッピーディスク、MO等取り出し可能な記録媒体は、紛失や盗難、損傷の防止のために適切な管理を行うものとする。
- (2) 記録媒体は、施錠可能な場所に保管し、管理簿を設けるなど適切な管理を行うものとする。
- (3) 記録媒体が不要となった場合は、当該媒体に含まれる情報を記録媒体の初期化などにより、情報を復元できないように消去を行った上で廃棄するものとする。

(利用禁止行為)

第11条 利用者は、美術情報システムの利用について次の各号に掲げる行為を行ってはならない。

- (1) 業務に関連しない目的で美術情報システムを利用すること。
- (2) 法令又は公序良俗に反した利用を行うこと。
- (3) 他の利用者又は第三者の著作権、人権及びプライバシーを侵害する恐れのある利用を行うこと。
- (4) 情報の改ざん、き損及び滅失並びに虚偽の情報提供を行うこと。
- (5) 通信を阻害する行為及び情報資産に損害又は不利益を及ぼす利用を行うこと。
- (6) 職務上知り得た秘密を漏洩すること。

2 利用責任者は、前項に該当する利用が行われていると認める場合は当該利用者に対して美術情報システムの利用を停止することができる。

(ID及びパスワードの管理)

第12条 利用者は、自己の保有するIDとパスワードに関し、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 他の利用者のIDは使わないこと。
- (2) パスワードは十分な長さ（英数字8文字以上）とし、文字列はアルファベット、数字を混在させるなど容易に推定できないものとする。
- (3) パスワードは定期的に変更し、古いパスワードの再利用はしないこと。
- (4) パスワードを秘密にし、パスワードの照会等には一切応じないこと。

(5) パスワードの盗用や漏えいがあった場合は、直ちに利用責任者に連絡すること。

(6) その他、ID及びパスワードの適正な管理を行うこと。

(教育)

第13条 利用責任者は、すべての利用者が美術情報システム運用管理規定について理解を深め、遵守を徹底するよう、情報セキュリティ対策に関する研修と普及啓発を行うものとする。

(事故等の報告)

第14条 利用者は、情報資産の流出、漏えい、改ざん、美術情報システムの障害及び誤動作等の事故（以下「事故等」という。）を発見した場合には、直ちに利用責任者に報告し、その指示に従い必要な措置を講じるものとする。

2 美術情報パソコンに生じたソフトウェア障害の復旧については、原則として利用責任者が対応するものとする。

3 美術情報パソコンに生じたハードウェア障害の復旧については、原則として利用責任者が対応するものとする。

4 前項の規定に関わらず、利用者が適切な利用や管理を行わないために発生したハードウェア障害は利用者の負担により対応するものとする。

(外部委託に関する管理)

第15条 運用管理者は、美術情報システムの運用管理を外部委託事業者に委託するにあたり、遵守すべき事項を明記した契約を締結するものとする。

2 運用管理者は、外部委託事業者の責任者や業務に携わる社員の名簿を作成するものとする。

3 運用管理者は、身分証明書の提示を外部委託事業者に求めるなどにより、契約で定められた資格を有するものが作業に従事しているか確認を行うものとする。

第5章 技術的セキュリティ対策

(アクセス記録の取得等)

第16条 利用責任者は、インターネットサーバ、メールサーバ、ファイアウォールへのアクセス記録を取得し、ハードディスクに2年間保存するものとする。

2 利用責任者は、アクセス記録等を分析、監視するものとする。

3 利用責任者は、管理者権限（美術情報システムのあらゆる機能を制限なく使用できる権限）の許可を美術情報担当課長及び専任システムエンジニア（以下「サーバ管理者」）にのみ与えるものとする。

4 利用責任者は、サーバ管理者に、美術情報システムを管理、運用させるものとする。

(利用者の管理)

第17条 利用責任者は、美術情報システムの利用者登録、変更、抹消等、利用者の登録情報を適正に管理するものとする。

2 システムへのアクセスは、利用者の範囲を最小限とし、異なったアクセス権限（美術情報システムの機能を使用できる権限）を設定することにより、データベースの信頼性を確保するものとする。

(外部ネットワークとの接続)

第18条 美術情報システムと美術情報システム以外のネットワーク（以下「外部ネットワーク」）との接続は原則として禁止する。

2 運用管理者は、電子メールなど業務の効率化に必要な機能を提供するため、インターネットと接続するものとする。

3 外部からの美術情報システムへの不正アクセスを防止するた

め、ファイアウォールを運用するものとする。

(コンピュータウイルス対策)

第19条 コンピュータウイルスによるサーバへの被害を防止するため、全てのサーバにサーバ用ウイルス対策ソフトを導入するものとする。

(1) 新種ウイルスに対応できるように、最新のパターンファイルはサーバが自動的にダウンロードし、指定したサーバへ自動配信するものとする。

(2) 毎日1回、全データのウイルスチェックを行い、併せて、リアルタイムでのウイルスチェックを行うものとする。

2 コンピュータウイルスによる美術情報パソコンへの被害を防止するため、全ての美術情報パソコンにウイルスバスターを導入するものとする。

(1) 新種ウイルスに対応できるように、最新のパターンファイルはサーバが自動的にダウンロードし、美術情報パソコンへ自動配信するものとする。

(2) リアルタイムでのウイルスチェックにより、メール添付ファイルやフロッピーディスク等からのウイルス感染を防止するものとする。

(3) 美術情報パソコンでウイルスが発見された場合、専任システムエンジニアへウイルス検出メールが自動的に送信され、専任システムエンジニアが迅速に対応するものとする。

(管理情報)

第20条 運用管理者はネットワーク管理情報、ハードウェア管理情報、ソフトウェア管理情報を作成し、情報処理室において厳重に保管するものとする。

(1) ネットワーク管理情報として、システム構成図、ネットワーク体系図、IPアドレス管理簿等を作成、更新し、厳重に保管するものとする。

(2) ハードウェア管理情報として、機器名、型番、設置場所等を記録した管理簿を作成、更新し、厳重に保管するものとする

(3) ソフトウェア管理情報として、名称、利用パソコン等を記録した管理簿を作成、更新し、厳重に保管するものとする。

第6章 運用面の対策

(システムの監視)

第21条 利用責任者は、美術情報システムの円滑な運用を確保するため、サーバ、ネットワーク、データベース等の常時監視を行い、障害が起きた際は速やかに対応するものとする。

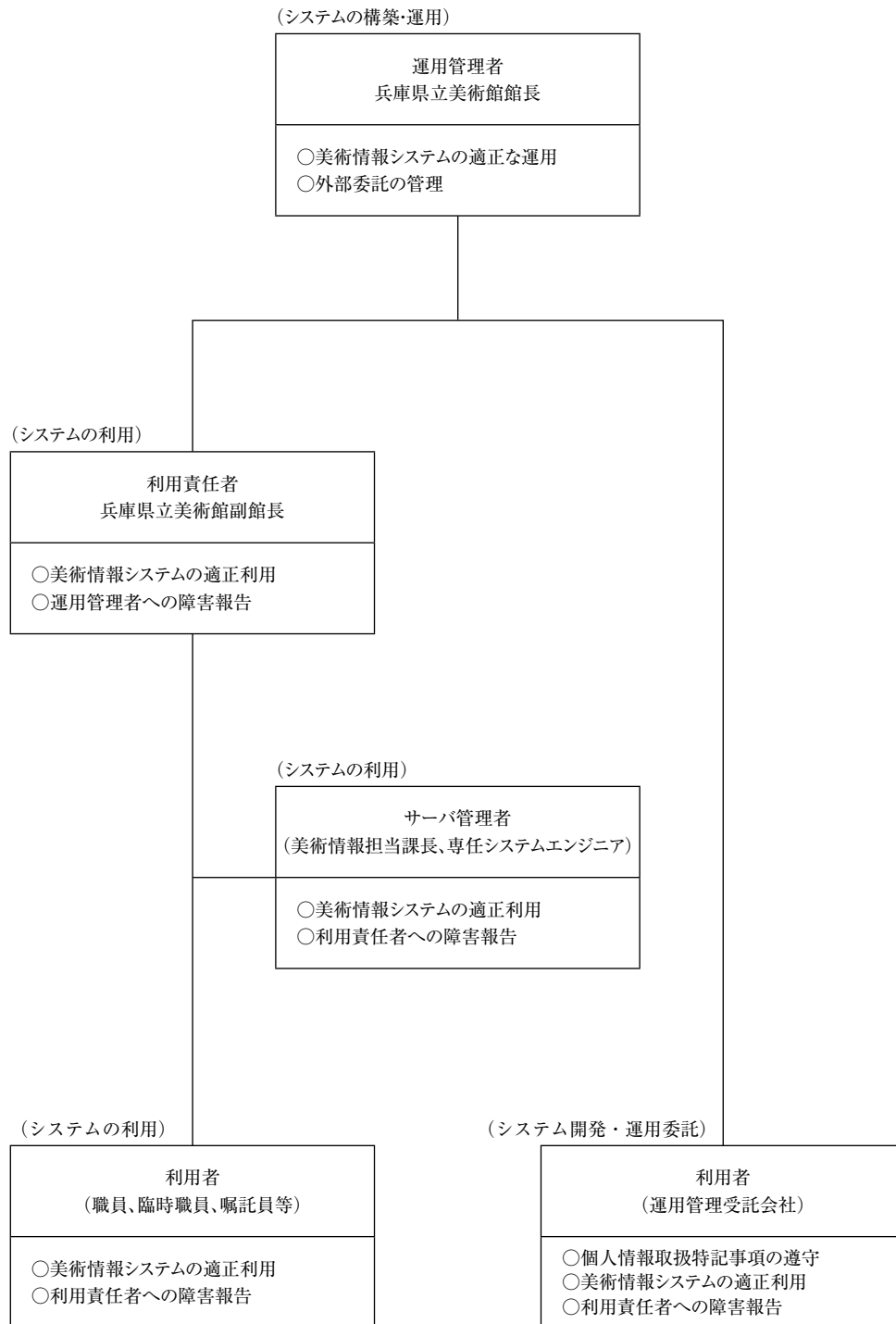
(連絡体制)

第22条 運用管理者は、災害等が発生した場合に備えて、緊急体制表を作成するものとする。

附則

この規定は、平成15年3月31日から適用する。

美術情報システム運用管理体制



H. 美術品等取得基金条例

(昭和46年3月25日)
(条例第16号)

改正 平成11年10月8日条例第43号 平成14年3月27日条例第32号
平成15年3月17日条例第37号 平成17年3月28日条例第15号
平成19年2月28日条例第2号 平成19年3月16日条例第25号
令和5年3月1日条例第2号

美術品取得基金条例をここに公布する。

美術品等取得基金条例

題名改正〔平成15年条例37号〕

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫陶芸美術館の陶芸美術品等（以下「美術品等」という。）を円滑に取得するため、美術品等取得基金（以下「基金」という。）を設置する。

一部改正〔平成14年条例32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。

3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。

4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもって美術品等を取得することができる。

一部改正〔平成15年条例37号・令和5年2号〕

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。

一部改正〔平成19年条例2号〕

(繰替運用)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

一部改正〔平成11年条例43号・19年2号・令和5年2号〕

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年10月8日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成14年3月27日条例第32号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。（後略）

附 則 (平成15年3月17日条例第37号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第15号)

この条例は、兵庫陶芸美術館の設置及び管理に関する条例（平成17年兵庫県条例第14号）の施行の日から施行する。

附 則 (平成19年2月28日条例第2号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成19年3月16日条例第25号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (令和5年3月1日条例第2号)

この条例は、令和5年3月31日から施行する。

委員及び職員名簿（令和5年度）

1. 有識者会議構成員名簿

委員	赤松玉女
〃	家次恒
〃	島敦彦
〃	高梨柳太郎
〃	矢崎和彦
〃	藪田貫（五十音順）
〃	（令和5年12月27日現在）

2. 作品収集会議構成員名簿

構成員	池上裕子
〃	尾崎信一郎
〃	加須屋明子
〃	菅谷富夫
〃	並木誠士
〃	拝戸雅彦
〃	平井章一（五十音順）
〃	（令和5年10月1日現在）

3. 職員名簿

名誉館長	養林	豊子
館長	野村	孝之
副館長	山田	剛之
次長	飯尾	由貴子
館長補佐	山本	武司
館長補佐	木原	真紀子
〈総務部門〉		
総務課長	木原	真紀子（兼務）
主査	川野	晃
主査	宮川	雅代
主任	山崎	大輔
事務職員	坂口	晴香
事務職員	岡田	花佳（長期研修生）
保安員	陰山	豊
県政推進員	中山	由恵
課長（企画・広報担当）	政岡	伸一
教育事務推進専門員	飛田	具美
社会教育推進専門員	柏	早苗
事務職員	早栗	悠香（長期研修生）
広報専門員	成松	佐知子
県政推進員	丸山	文絵
ワークセンタースタッフ	伊藤	美寿々
課長（美術情報担当）	松井	富廣
主査	岸本	典子
県政推進員	林	恭子
県政推進員	竿下	みさき
〈企画・学芸部門〉		
課長（教育支援・事業担当）	三角	木盛
指導主事	角田	晃一
教育事務推進専門員	椋田	千亜紀
主査・学芸員	遊免	寛子
主任・学芸員	安永	幸史
学芸員	武澤	里映
ミュージアムティーチャー	松上	仁子
ミュージアムティーチャー	加藤	香織
課長（特別展・国際交流担当）	小林	公
主査・学芸員	江上	ゆか
主査・学芸員	橋本	こずえ
主査・学芸員	河田	亜也子
学芸員（臨時）	森田	理美
課長（常設展・コレクション収集管理担当）	西田	桐子
主査・学芸員	相良	周作
主査・学芸員	鈴木	慈子
主査・学芸員	林	優
学芸員	尾崎	登志子
県政推進員	佐野	美由紀
課長（保存・修復担当）	飯尾	由貴子（兼務）
主査・学芸員	横田	直子
主任・学芸員	岩松	智義
県政推進員	当廣	さくら
課長（近世日本・中国担当）	柏木	知子
学芸員	剣持	翔伍
アートコーディネーター	水内	真

令和5年度職員動静

退職者（令和5年3月31日）

課長（常設展・コレクション収集管理担当）	岡本弘毅
保安員	千歳周治
ジョブサポーター	上柳貴義
県政推進員	田邊美佐子
（令和5年12月31日）	
ジョブサポーター	中村恵子

転出者（令和5年3月31日）

次長兼館長補佐	奥野所正樹
課長（教育・支援事業担当）	安東裕達
事務職員	福本万里子
事務職員	酒戸那奈美
事務職員	東原れみ（長期研修生）

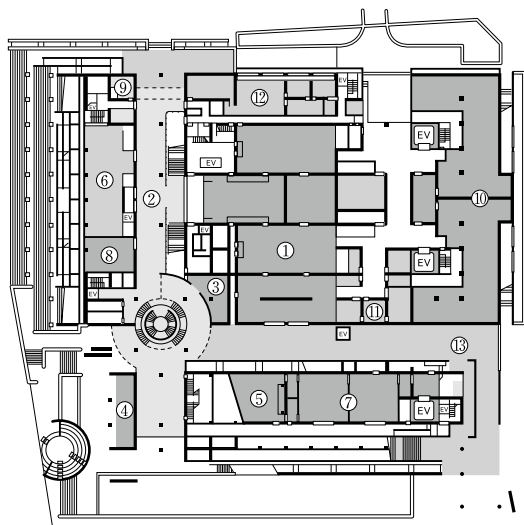
建築概要

設 計	建築／安藤忠雄建築研究所
	構造／木村俊彦構造設計事務所、金箱構造設計事務所
工 期	設備／森村設計
	防災／安宅防災設計事務所
地区・地域	監理／兵庫県県土整備部まちづくり局営繕課・設備課、安藤忠雄建築研究所
	平成11年3月～平成13年9月
建 物 規 模	都市計画区域近隣商業地域準防火地域
	地下1階・地上4階
敷 地 面 積	美術館／鉄骨鉄筋コンクリート（免震構造）
	廃棄物保管庫／鉄筋コンクリート
延 床 面 積	19,000.00㎡
	28,076.15㎡
主な外部仕上	床／コンクリート平板ブロック貼り
	壁／アルミカーテンウォール、金属製パネル、自然石貼り
《設備概要》	屋根／FRP防水、一部トップライト＋庇
免 震 構 造	積層ゴムアイソレータ／190台
	鋼棒ダンパー／173台
受変電設備	鉛ダンパー／76台
	受変電 受電電圧6,600Vトランス容量4,200KVA
電 気 設 備	本線予備2回線受電
	非常用発電 ガスタービン6,600V 500KV
空 調 設 備	地下オイルタンク20,000L
	中央監視 最大管理点数 3,170点（監視内容：受変電・一般照明・調光・空調動力）
衛 生 設 備	弱电通信 放送・電気時計・インターホン・便所呼出・TV共調・ITV・電話・映像LAN配管・情報配管・駐車管制
	防犯 CPUにて防犯および出入管理
昇降機設備	防災 総合操作盤 複合GR型 1,189点
	映像・音響・舞台照明 ミュージアムホール・レクチャールーム
ガ ス 設 備	写真撮影 X線室照明設備
	熱源 1）地域冷暖房 冷熱源2,900Kw
昇降機設備	温熱源1,500Kw
	2）空冷水蓄熱ユニット 700Kw×2台
ガ ス 設 備	うち1台は熱回収型
	空調 空調機×50台
昇降機設備	収蔵庫・展示室系統に化学吸着フィルター
	外気取入れ系統に海塩粒子除外フィルター
昇降機設備	排気・排煙 避圧ダクト 機械排煙4系統
	給水 上水系統 上水道本管からの一般給水
昇降機設備	（直圧給水方式）
	中水系統 雨水利用による便所洗浄水給水
昇降機設備	（加圧給水方式）
	排水 屋内分流、屋外合流方式 地下排水はポンプ排水
昇降機設備	給湯 電気温水器による個別局所給湯方式
	消火 屋内消火栓、スプリンクラー、泡消火（駐車場）
昇降機設備	、窒素系ガス消火設備（中央監視室・収蔵庫・展示室）
	厨房器具 レストラン及びカフェ厨房
昇降機設備	昇降 荷物用エレベーター（3t） 3台、
	乗用エレベーター 5台、
昇降機設備	人荷物エレベーター 4台 計12台
	ガス 2階レストラン厨房（都市ガス）

各施設面積			
区分	室名	階	面積(㎡)
展示部門	常設展示室1	1階	407.07
	常設展示室2	1階	186.88
	常設展示室3	1階	407.07
	常設展示室4	1階	306.45
	常設展示室5	1階	379.76
	常設展示室6	2階	464.9
	小磯良平記念室	2階	178.15
	金山平三記念室	2階	185.85
	企画展示室1	3階	610.39
	企画展示室2	3階	433.48
	企画展示室3	3階	610.39
	ギャラリー	3階	814.65
普及部門	第2展示棟	2～3階	614.74
	アトリエ1	1階	195.69
	アトリエ2	1階	195.69
	アトリエ準備室・講師控室等	1階	161.86
	ボランティアルーム	1階	42.98
	レクチャールーム	1階	131.43
	美術情報センター	1階	352.1
	ミュージアムホール	2階	335.6
	調整室		
	収蔵庫1	1階	624.13
	収蔵庫2	1階	624.13
	仮置室	1階	135.17
保管部門	収蔵庫前室	1階	84.26
	資材保管室	1階	51.36
	くん蒸室	1階	26.91
	木工室	1階	27.52
	搬入口・荷解場	1階	358.92
	収蔵庫3	2階	277.13
	収蔵庫3	2階	115.27
	収蔵庫前室	2階	52.08
	倉庫・資材保管庫	3階	165.89
	企画展示室前室	3階	96.58
	ギャラリー前室	3階	39.43
	搬入口	地下	90.56
調査研究部門	荷解場	地下	232.2
	エデュケーションルーム	2階	28.12
	研究室・準備室・資料室・作業室	2階	402.28
	客員研究室	2階	29.52
	修復室1	1階	56.94
	修復室2	1階	71.46
	修復事務室	1階	45.78
	X線室・操作室・現像室	1階	73.46
	館長室	1階	50.33
	副館長室	1階	35.33
	応接室	1階	44.16
	会議室	1階	95.11
管理部門	事務室	1階	148.66
	救護室	1階	15.94
	守衛室	1階	22.41
	情報処理室・閉架書庫等	1階	106.89
	倉庫	1階	172.22
	中央監視室	地下	132.48
	倉庫	地下	358.11
	ロッカースペース	1階	63.48
	エントランスホール・インフェメーション・チケットブース	1階	673.66
	ラウンジ・ホワイエ	1階	250.63
	カフェ	1階	93
	ミュージアムショップ	1階	97.98
共用部門	エレベーター・エレベーターホール	1階	567.98
	階段・廊下	1階	896.51
	空調機械室等	1階	195.08
	その他	1階	1068.44
	エレベーター・エレベーターホール	2階	224.92
	階段・廊下	2階	1035.49
	空調機械室	2階	101.85
	その他	2階	405.11
	レストラン	2階	350.8
	エレベーター・エレベーターホール	3階	95.7
	階段・廊下・回廊	3階	2100.43
	空調機械室	3階	279.87
昇降機設備	その他	3階	155.58
	エレベーター・エレベーター機械室	4階	186.16
	階段	4階	67.37
	空調機械室	4階	528.31
	その他	4階	4.05
	駐車場	地下	3363.69
	委託職員詰所	地下	65.3
	エレベーター・エレベーターホール	地下	197.39
	階段・廊下	地下	130.67
	空調機械室等	地下	2960.77
	その他	地下	10.06

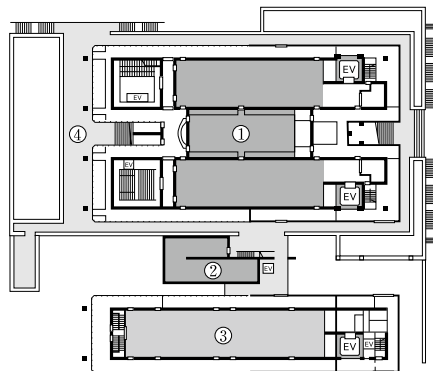
1F

- ① 常設展示室
- ② エントランスホール
- ③ ミュージアムショップ
- ④ カフェ
- ⑤ ミュージアムホール(250席)
- ⑥ 美術情報センター
- ⑦ アトリエ
- ⑧ レクチャールーム
- ⑨ ボランティアルーム
- ⑩ 収蔵庫
- ⑪ 修復機能施設
- ⑫ 管理部門施設
- ⑬ 屋外展示スペース



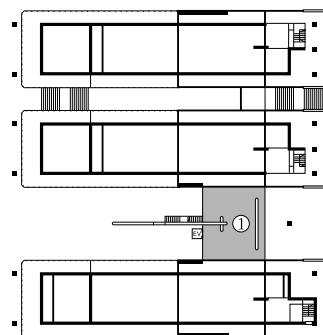
3F

- ① 企画展示室
- ② Ando Gallery
- ③ ギャラリー
- ④ 屋外展示スペース



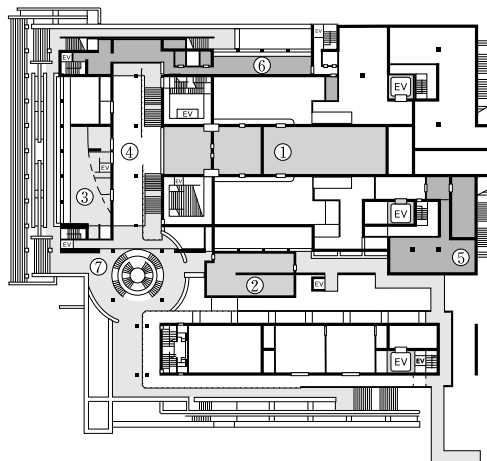
4F

- ① 屋外展示スペース



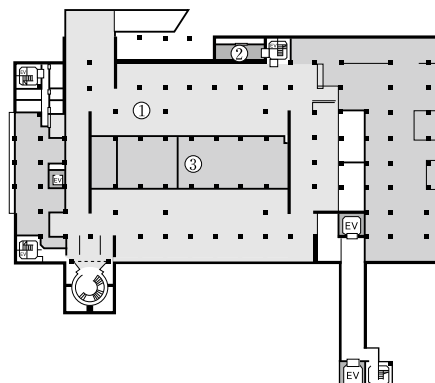
2F

- ① 常設展示室
(小磯良平記念室)
(金山平三記念室)
- ② Ando Gallery
- ③ レストラン
- ④ エントランスホール
- ⑤ 収蔵庫
- ⑥ 研究部門施設
- ⑦ 屋外展示スペース



B1F

- ① 駐車場(80台)
- ② 中央監視室
- ③ 機械室



沿革

昭和40年 6 月 7 日	県政100年記念事業計画協議会において県立美術館の建設を決定
昭和41年 5 月25日	兵庫県立美術館建設委員会設置
7 月20日	建設委員会より「県立美術館建設に関する報告」を知事あて提出
昭和42年12月 8 日	「兵庫県立美術館の基本計画」まとめる
昭和44年 1 月 7 日	兵庫県立美術館の起工式举行
6 月12日	兵庫県立美術館開館準備委員会設置
昭和45年 3 月31日	兵庫県立美術館の工事完了
4 月 1 日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例公布（昭和45年兵庫県条例第15号） 同条一部施行。総務課、事業課設置 兵庫県立近代美術館管理規則（昭和45年兵庫県教育委員会規則第18号）一部施行 西尾正博館長職務代理者ほか関係職員任命
6 月20日	阪本勝館長就任
6 月27日	兵庫県立近代美術館審美委員会設置
10月10日	開館 兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例全面施行 兵庫県立近代美術館管理規則全面施行
11月28日	美友会総会
昭和46年 3 月25日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第11号）
4 月 1 日	美術品取得基金条例（昭和46年兵庫県条例第16号）公布施行
4 月14日	「美術博物館」登録
9 月10日	兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第16号）老人料金設定
昭和48年 4 月 1 日	兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第9号）普及課設置
昭和50年 3 月22日	阪本勝館長死去・退任
7 月 1 日	坂井時忠兵庫県知事名誉館長就任
8 月 1 日	兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第16号）
昭和51年 6 月 3 日	坂井時忠兵庫県知事名誉館長退任
6 月 4 日	桧崎四郎館長就任
昭和52年 4 月 1 日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第18号）使用料改正
昭和53年 4 月 1 日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第27号）現状回復の義務、使用料改正 兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第9号）事業課を学芸課に課名変更、休館日の一部変更
昭和54年 3 月21日	スペイン国立現代美術館と友好姉妹提携盟約調印
昭和55年 4 月 1 日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第5号）実技講座の受講料徴収 兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第12号）受講料額の決定、実技講座受講申請書の様式等制定
昭和56年 3 月13日	新館（西館）建設着工
4 月 1 日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第11号）観覧料改正
6 月 1 日	障害者に対する観覧料一部免除
昭和57年 3 月27日	新館（西館）建設竣工
9 月 1 日	新館（西館）開館
昭和58年 3 月31日	桧崎四郎館長退任
4 月 1 日	井野辰男教育長館長兼務就任 兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第8号）実技教室の受講料改定、諸規定整備
7 月31日	井野辰男館長兼務退任
8 月 1 日	金井元彦館長就任
11月 1 日	常設展示室無料開放をはじめて実施（～3日）
昭和62年 2 月24日	郷土出身芸術家記念館（東館）着工
昭和63年 3 月31日	郷土出身芸術家記念館（東館）竣工
4 月 1 日	新館を西館、郷土出身芸術家記念館を東館と名称変更
8 月27日	東館開館
平成 3 年 8 月 6 日	金井元彦館長死去・退任
平成 4 年 4 月 1 日	貝原俊民兵庫県知事名誉館長就任 兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第7号）観覧料改正
平成 5 年11月 1 日	兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第19号）特別観覧料許可申請書等押印廃止

平成 6 年 4 月 28 日	兵庫県立美術館基本構想検討委員会を設置
平成 7 年 1 月 17 日	阪神・淡路大震災により被災
1 月 18 日	長期臨時休館（～8月14日）
4 月 24 日	震災復旧工事着工
6 月	兵庫県立美術館基本構想を決定
8 月 15 日	東館・西館開館
11 月 11 日	本館開館
11 月 20 日	兵庫県立美術館基本計画検討委員会を設置
12 月 10 日	震災復旧工事完了
平成 8 年 10 月	県立美術館基本計画を決定
平成 9 年 3 月 17 日	国際公募型プロポーザル実施、設計者を安藤忠雄建築研究所に決定
9 月	基本設計完了
平成 10 年 3 月	実施設計完了
3 月 31 日	貝原俊民名誉館長退任
4 月 1 日	木村重信館長就任
平成 11 年 3 月	建築工事着工
平成 13 年 9 月	建築工事竣工
9 月 25 日	兵庫県立美術館－「芸術の館」－（仮称）へ移転準備のため休館
平成 14 年 3 月 27 日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第 32 号）美術館新設移転に伴う条項整備
平成 14 年 4 月 4 日	兵庫県立美術館開館記念式典
平成 14 年 4 月 6 日	兵庫県立美術館開館
平成 18 年 4 月 1 日	木村重信名誉館長就任
	中原佑介館長就任
平成 22 年 4 月 1 日	中原佑介名誉館長就任
	蓑豊館長就任
	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第 6 号）利便施設使用許可
平成 23 年 3 月 3 日	中原佑介名誉館長死去・退任
平成 24 年 3 月 21 日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第 8 号）横尾現代美術館開館に伴う条項整備
平成 26 年 3 月 20 日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第 8 号）使用料改正
平成 29 年 1 月 30 日	木村重信名誉館長死去・退任
平成 29 年 3 月 23 日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第 7 号）使用料改正
平成 30 年 8 月 31 日	第 2 展示棟竣工
令和元年 5 月 23 日	第 2 展示棟（Ando Gallery）開館
令和元年 10 月 1 日	（公財）颯川美術館の解散に伴い、土地、建物、美術品等を県が受贈
令和 3 年 3 月 5 日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第 6 号）西宮分館開設
令和 3 年 4 月 1 日	貸館として西宮分館を開設
令和 5 年 3 月 1 日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第 6 号）西宮分館廃止
令和 5 年 3 月 31 日	西宮分館を閉館
令和 5 年 4 月 1 日	蓑豊名誉館長就任
	林洋子館長就任

令和6年11月29日発行
06教①1-009A4

発 行 兵 庫 県 立 美 術 館
神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
電話 078-262-0901

印 刷 有限会社 リーストワーク